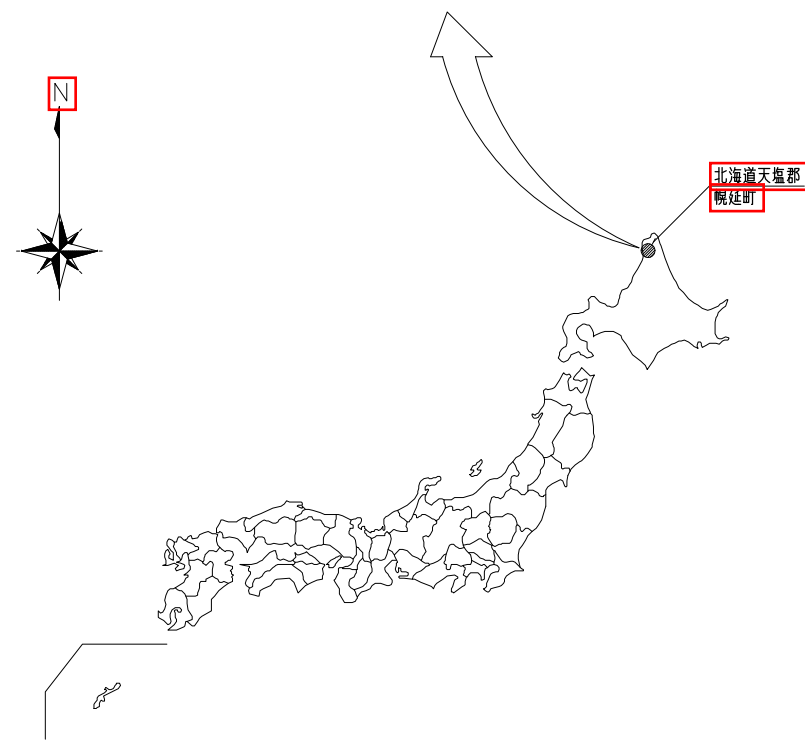
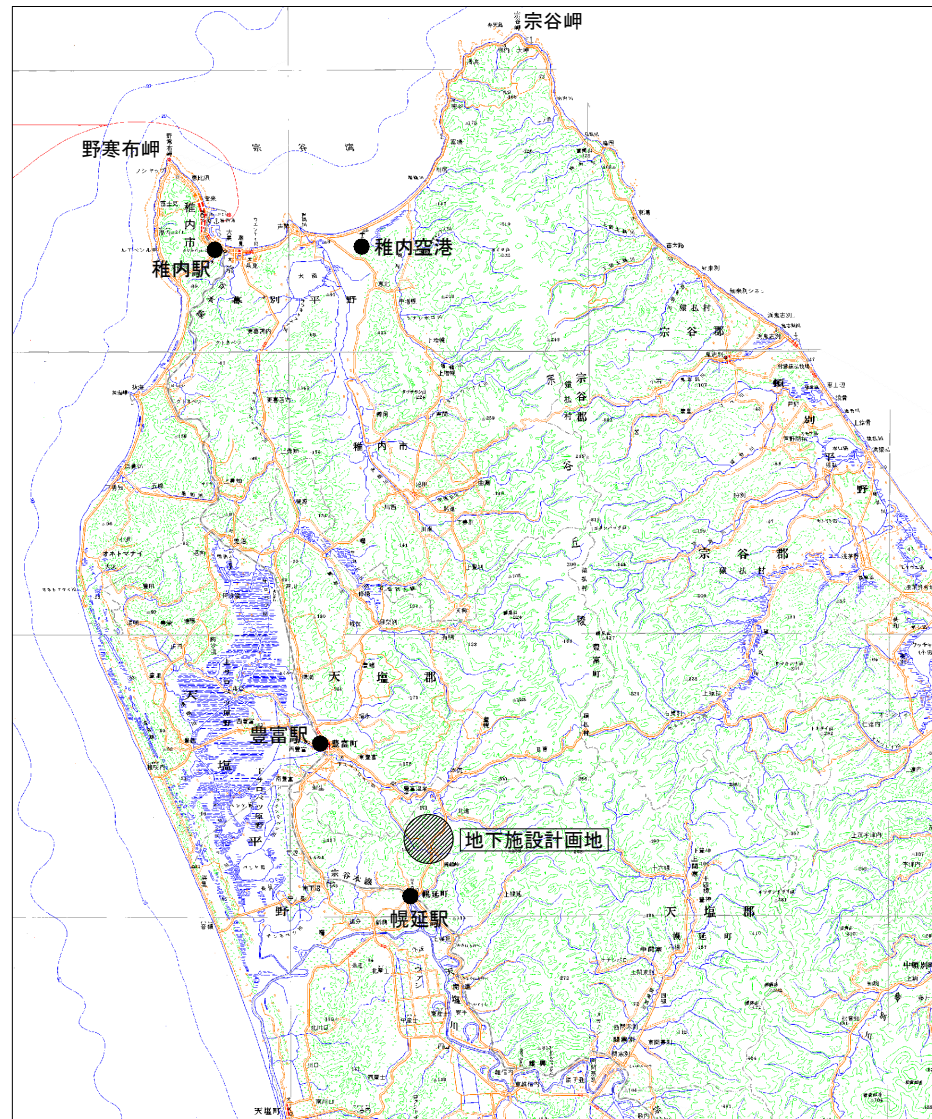




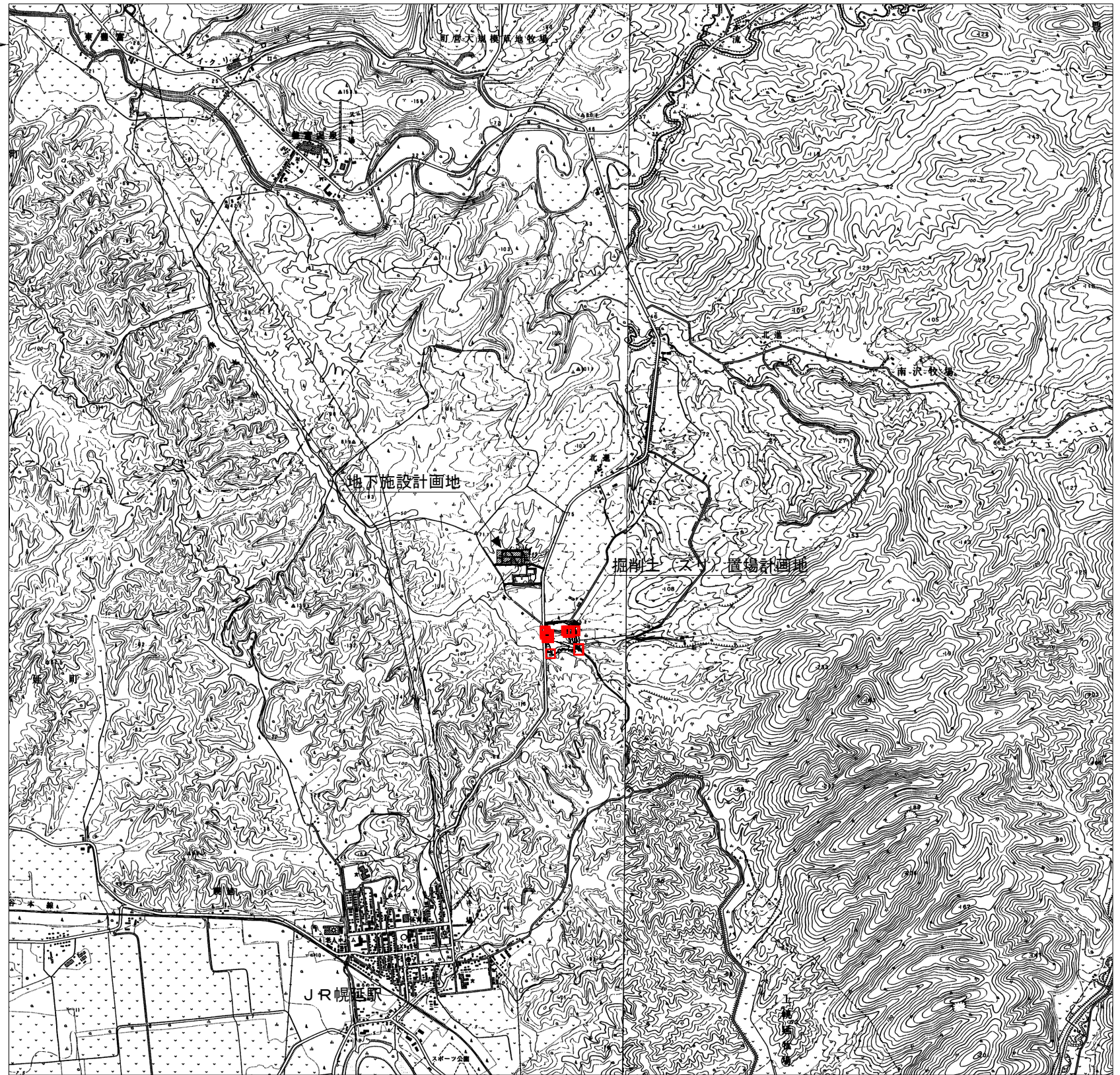
位置図



地下施設位置図



平面図



幌延深地層研究計画		第 1 号図	
地下研究施設整備（第三期）等事業			
図面名称	地下施設位置図		
1 枚の内	その 1	縮尺	—
承 認	設 計	写 真	作成年月日
			令和 3 年 9 月 30 日 完工
整理番号	No.		
日本原子力研究開発機構			

No.01

地下施設一般平面図・測量基準点

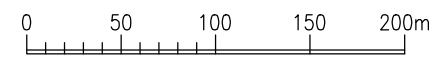
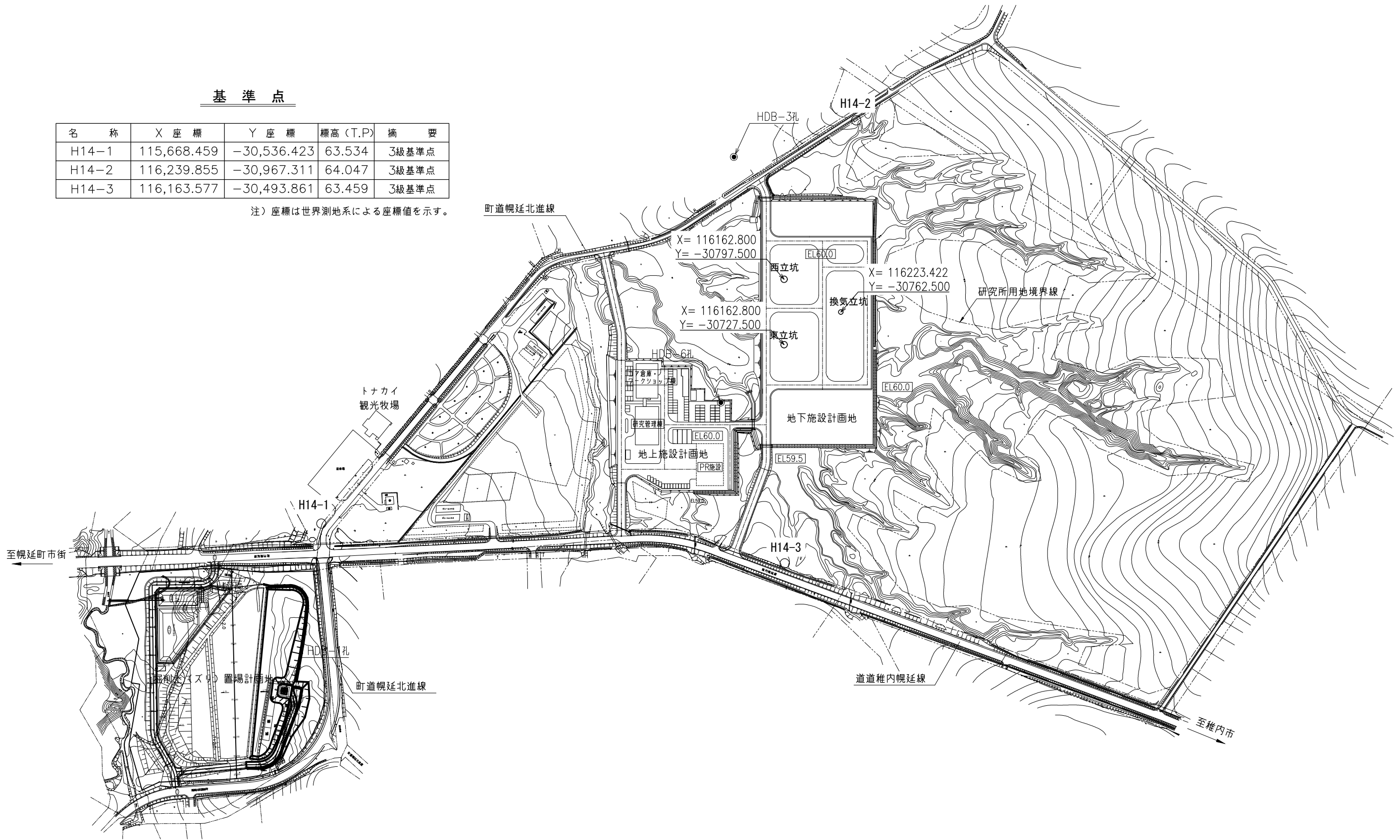
平面図



基準点

名称	X座標	Y座標	標高(T.P)	摘要
H14-1	115,668.459	-30,536.423	63.534	3級基準点
H14-2	116,239.855	-30,967.311	64.047	3級基準点
H14-3	116,163.577	-30,493.861	63.459	3級基準点

注) 座標は世界測地系による座標値を示す。

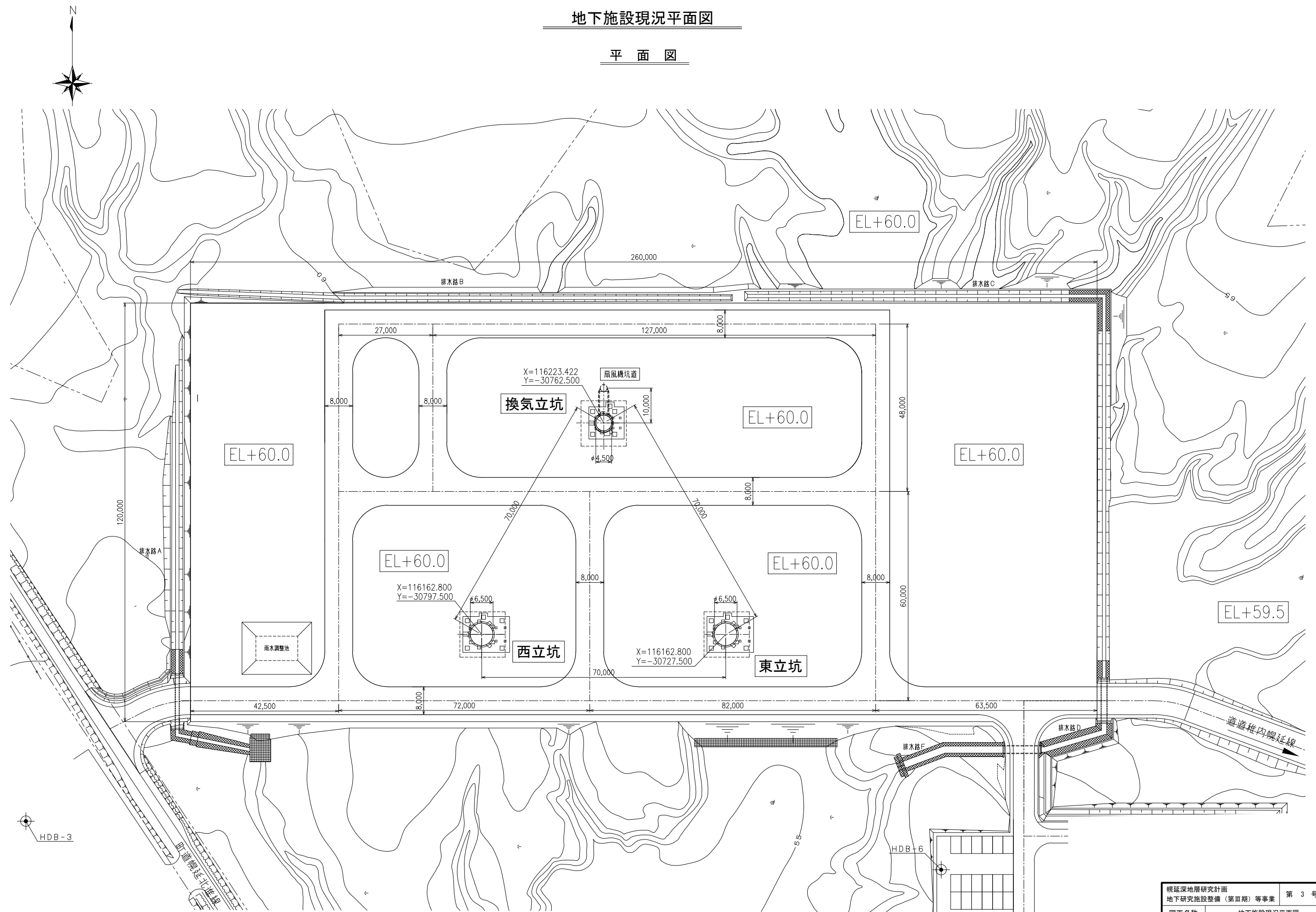


No.02

幌延深地層研究計画		第 2 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	地下施設一般平面図・測量基準点	縮尺	1/4000
1枚の内	その1	縮尺	1/4000
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.	令和3年9月30日 完工	
日本原子力研究開発機構			

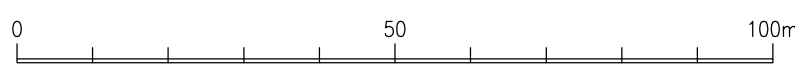
地下施設現況平面図

平面図



HDB-3

HDB-6

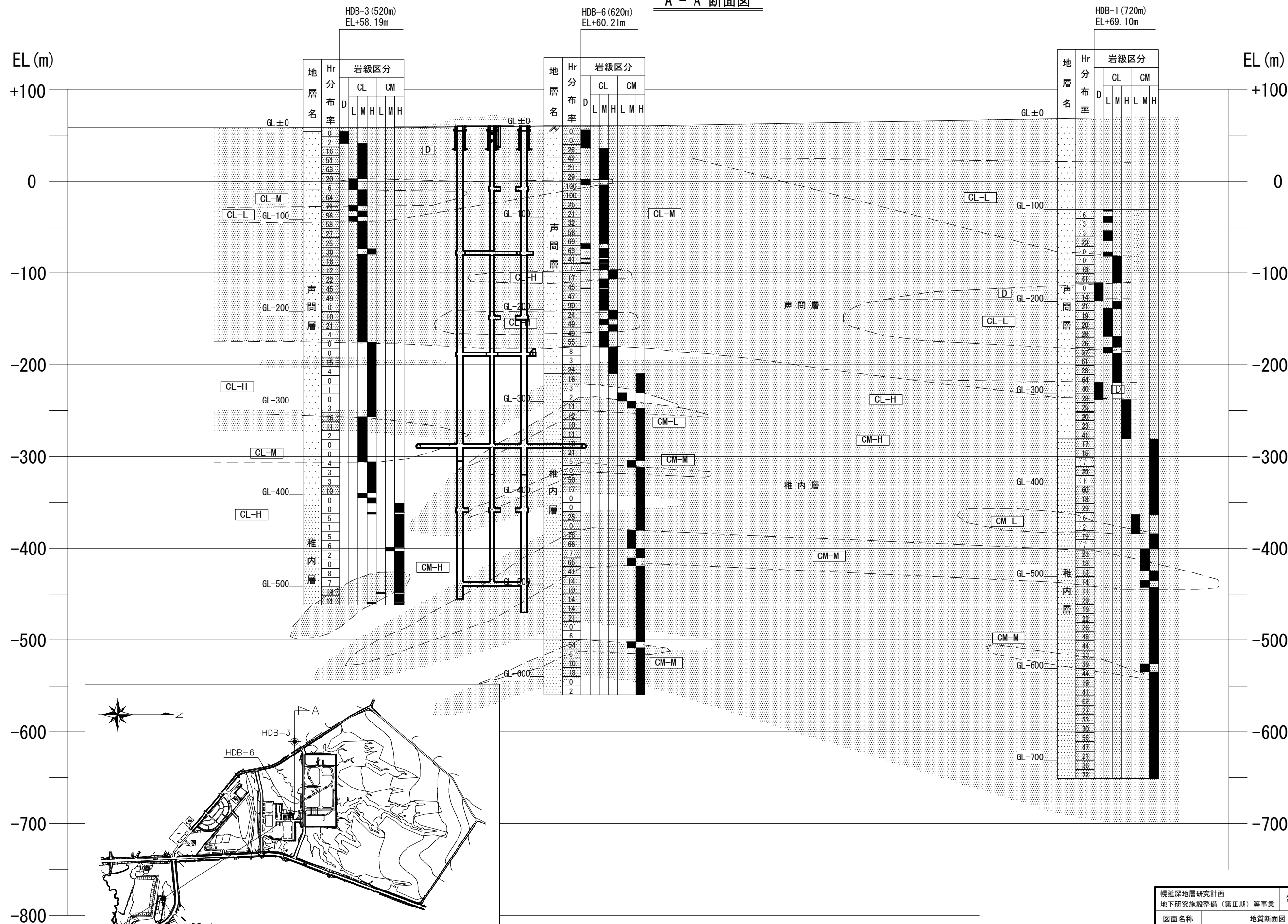


幌延深地層研究計画		第 3 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	地下施設現況平面図		
1 枚の内	その 1	縮尺	1/1000
承	認	設計	写図
			作成年月日
整理番号	No.		令和 3 年 9 月 30 日 完工
日本原子力研究開発機構			

No.03

地質断面図

A - A 断面図



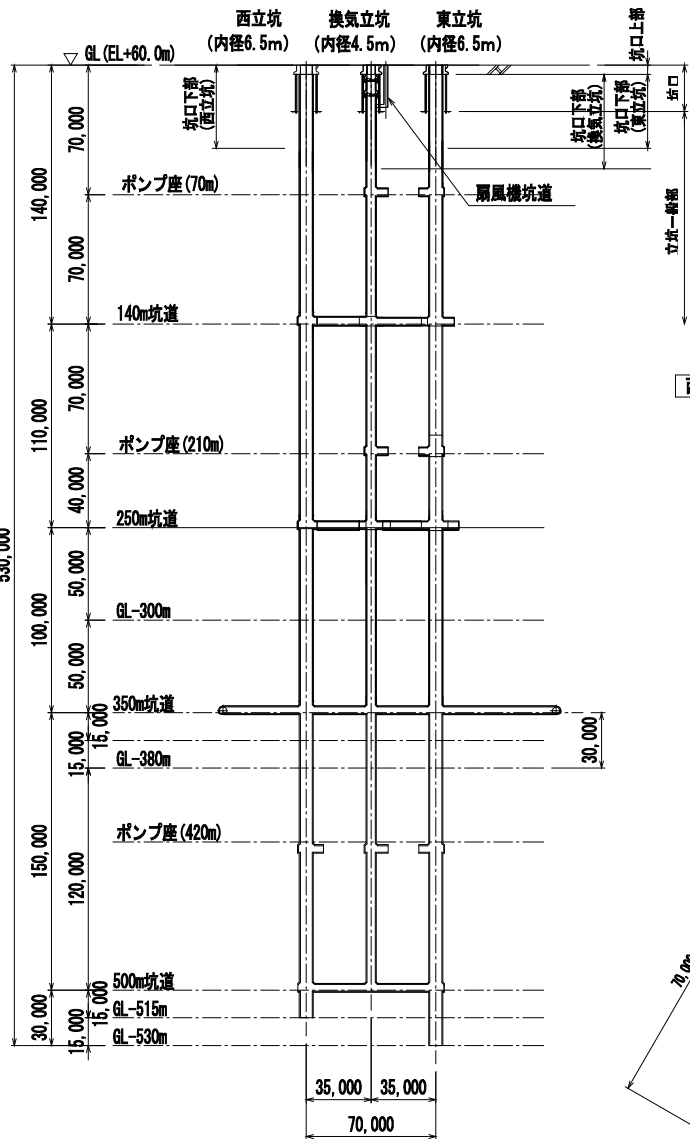
注) Hr分布率は、ボーリングコア観察に基づくヘアークラックが10m当りに分布する割合を示す。

No.04

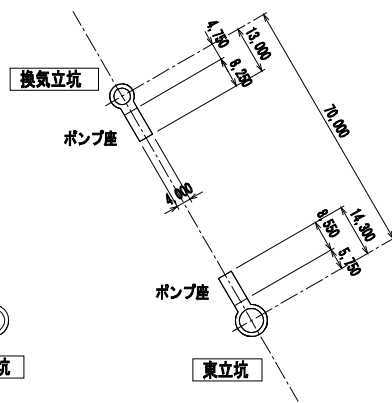
幌延深地層研究計画		第 4 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	地質断面図		
1枚の内	その1	縮尺	1/400
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.	令和3年9月30日 完工	
日本原子力研究開発機構			

地下施設工事計画図

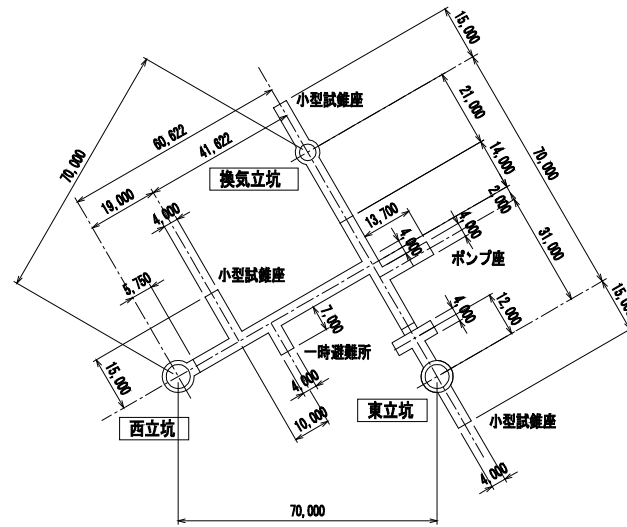
地下施設立面図  
S=1/4000



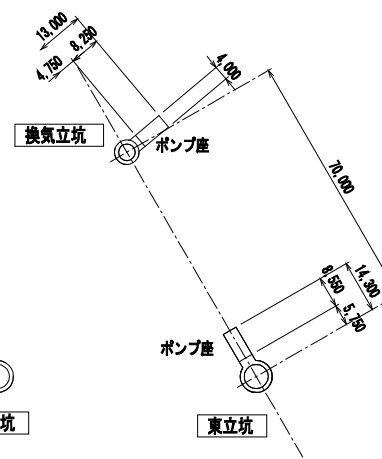
ポンプ座 (70m) 水平断面図  
S=1/2000



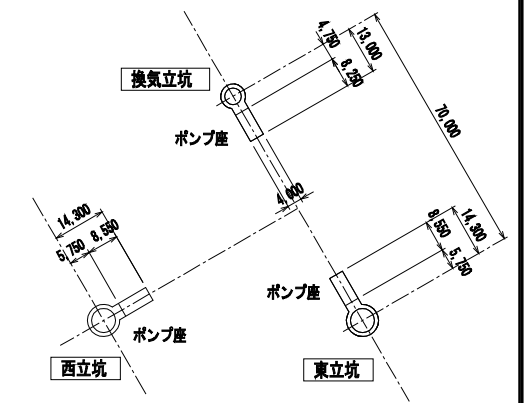
140m坑道水平断面図  
S=1/2000



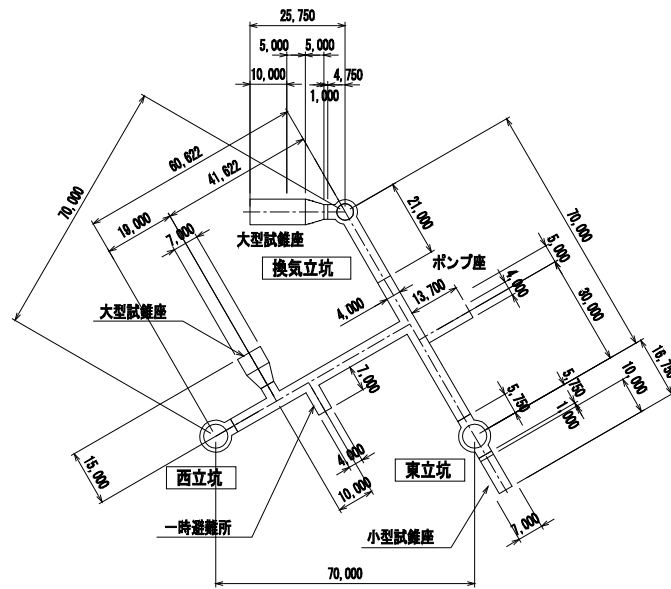
ポンプ座 (210m) 水平断面図  
S=1/2000



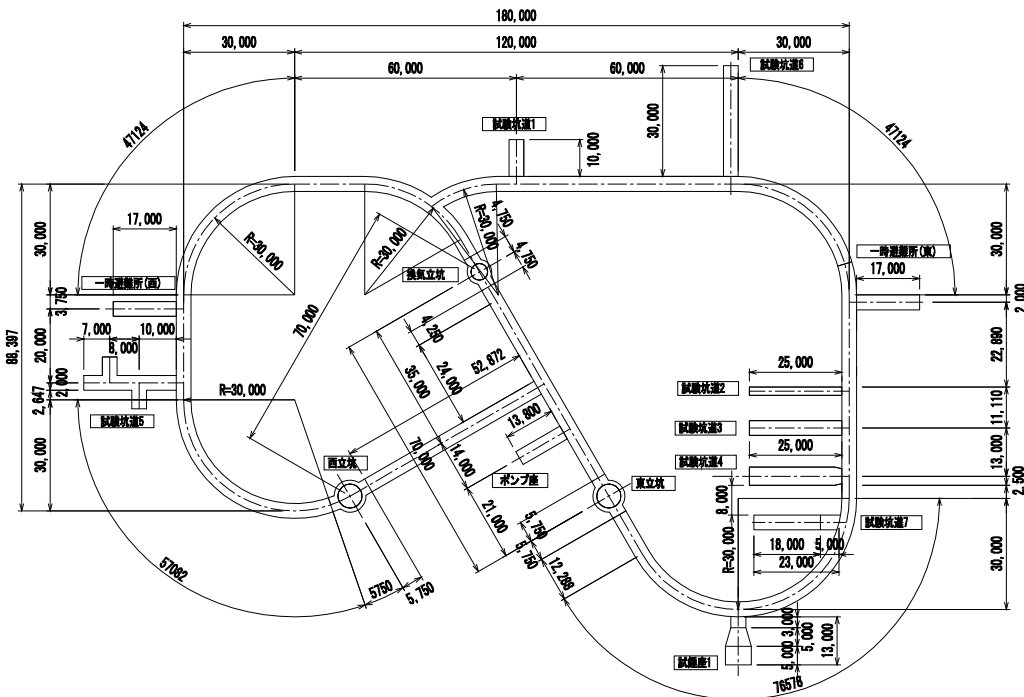
ポンプ座 (420m) 水平断面図  
S=1/2000



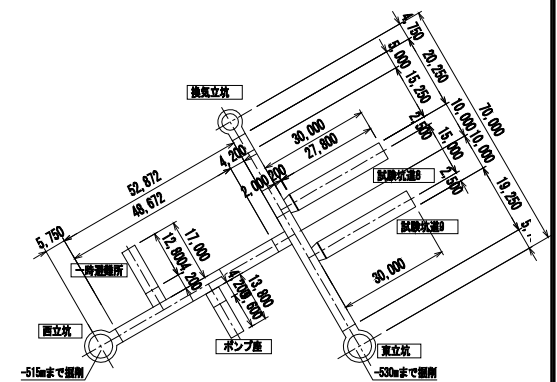
250m坑道水平断面図  
S=1/2000



350m坑道水平断面図  
S=1/2000



500m坑道水平断面図  
S=1/2000

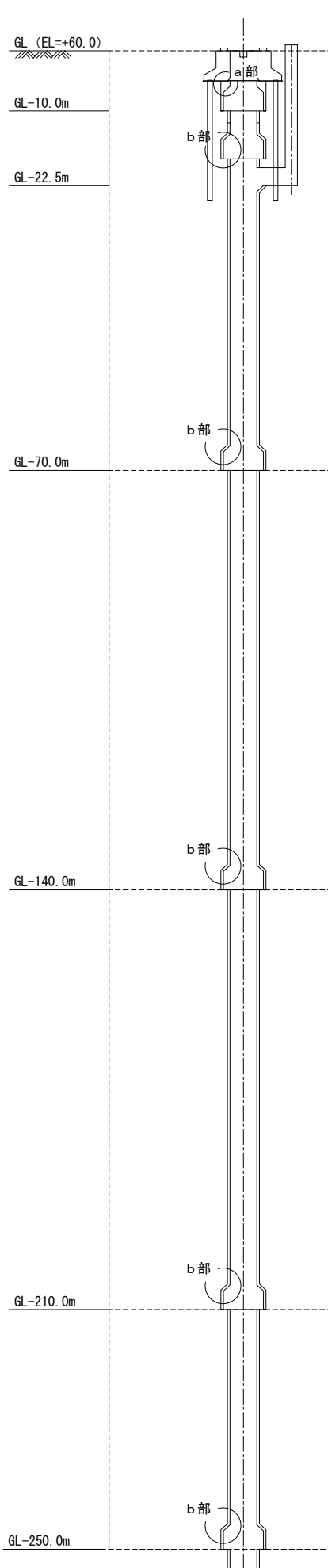


幌延深地層研究計画		第 5 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	地下施設工事計画図		
1 枚の内 その 1	縮尺	図示	
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		
令和 3 年 9 月 30 日 竣工			
日本原子力研究開発機構			

No.05

換気立坑 縦断面図 (1)

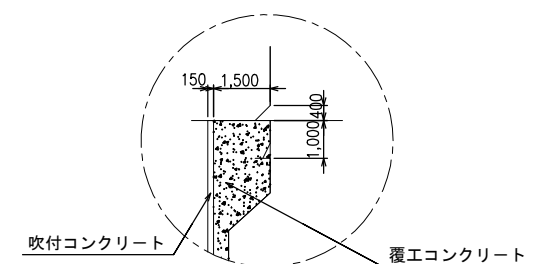
S=1/1000



地層名	地山区分 <sup>#1)</sup>	支保パターン	区間長 (m)	深度 (m)	仕上り内径 (m)	吹付コンクリート		覆工コンクリート		繊維補強	ロックボルト	鋼製支保工 <sup>#2)</sup>	掘削方法	区間名称	
						厚さ (cm)	f <sub>ck</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	厚さ (cm)	f <sub>ck</sub> (N/mm <sup>2</sup> )						
未固結堆積物 (シルト)	-	-	5.000	GL-5.000	4.500	-	-	-	-	GL-5.000	-	-	-	坑口上部	
		DI a-KU	5.000	GL-10.000	4.500 ~6.700	15	18	-	-	-	-	H-150×150 建込間隔=0.33m	ショートステップ工法 (二重支保:一次支保工+覆工コンクリート) 掘進長1.0m	坑口下部 (気密室上段拡幅部)	
		DI a-1	3.000	GL-13.000	4.500	-	-	-	-	-	-	-	-	坑口下部 (気密室下段拡幅部および拡幅上部工)	
		DI a-KL	5.000	GL-18.000	4.500 ~6.700	40	40	-	-	-	-	H-150×150 建込間隔=0.50m	ショートステップ工法 (二重支保:一次支保工+覆工コンクリート) 掘進長1.0m	坑口下部 (扇風機坑道連接部)	
		DI a-2	6.000	GL-24.000	4.500	15	36	-	-	-	-	-	-	-	
声間層	CL-M(Hr)	DI-1	1.000	GL-25.000	4.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		DI-2	1.000	GL-26.000	4.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		-	10.000	GL-36.000	4.500	-	-	40	40	-	-	-	-	-	坑口下部 (覆工掘削 GL-50.000 GL-51.000)
		DII-1	15.000	GL-51.000	4.500	-	-	40	24 (GL-50.000)	-	-	L=2.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.189m	H-125×125 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	-
		-	9.000	GL-60.000	4.500	-	-	40	24	-	-	L=2.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.189m	H-125×125 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	一般部
		DII-1	5.800	GL-65.800	4.500	-	-	40	24	-	-	L=2.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.178m	H-125×125 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) (二重支保:一次支保工+覆工コンクリート) 掘進長1.0m	接続部
		DII a-II	4.200	GL-70.000	4.500 ~6.700	15	18	40	24	-	-	L=2.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.189m	H-125×125 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	一般部
		DII-1	20.000	GL-90.000	4.500	-	-	40	24	-	-	L=2.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.189m	H-125×125 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	一般部
		DIII-1	45.800	GL-135.800	4.500	-	-	40	24	-	-	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.189m	H-125×125 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) (二重支保:一次支保工+覆工コンクリート) 掘進長1.0m	接続部
		DIII a-II	4.200	GL-140.000	4.500 ~6.700	15	18	40	24	-	-	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.178m	H-125×125 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) (二重支保:一次支保工+覆工コンクリート) 掘進長1.0m	接続部
声間層	CL-M(Hr)	DIII-1	20.000	GL-160.000	4.500	-	-	40	24	-	-	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.189m	H-125×125 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	一般部
		DIII-1	10.000	GL-170.000	4.500	-	-	40	24	-	-	L=2.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.189m	H-125×125 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	一般部
		DIII-1	34.000	GL-204.000	4.500	-	-	40	24	-	-	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.189m	H-125×125 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	一般部
		DII-1	1.800	GL-205.800	4.500	-	-	40	24	-	-	L=2.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.189m	H-125×125 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) (二重支保:一次支保工+覆工コンクリート) 掘進長1.0m	接続部
		DII a-II	4.200	GL-210.000	4.500 ~6.700	15	18	40	24	-	-	L=2.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.178m	H-125×125 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	接続部
声間層	CL-H(Hr)	DII-1	17.000	GL-227.000	4.500	-	-	40	24	-	-	L=2.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.189m	H-125×125 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	一般部
		DIII-2	15.000	GL-242.000	4.500	-	-	40	40	-	-	L=4.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.189m	H-150×150 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	一般部
		DII-2	3.800	GL-245.800	4.500	-	-	40	40	-	-	L=2.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.189m	H-150×150 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) (二重支保:一次支保工+覆工コンクリート) 掘進長1.0m	接続部
声間層	CL-H	DII a-3I	4.200	GL-250.000	4.500 ~6.700	15	18	-	-	-	-	L=2.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.178m	H-150×150 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) (二重支保:一次支保工+覆工コンクリート) 掘進長1.0m	接続部

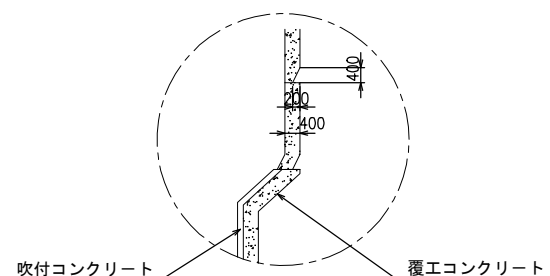
a部詳細図

S=1/200



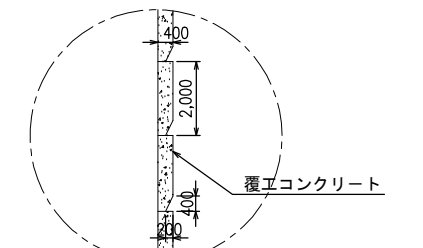
b部詳細図

S=1/200



一般部詳細図

S=1/200



注1) ボーリングコア観察より、ヘアークラックが10m当り10%以上存在する地山区分については(Hr)と表記する。  
注2) 鋼製支保工H-154×151はHT590を使用し、それ以外はSS400を使用する。

No.6

幌延深地層研究計画		第 6 号図	
地下研究施設整備 (第 II 期2次) 工事		換気立坑 縦断面図 (1)	
図面名称	2 枚の内 その 1	縮尺	図示
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.	令和 3 年 9 月 30 日 完工	
日本原子力研究開発機構			

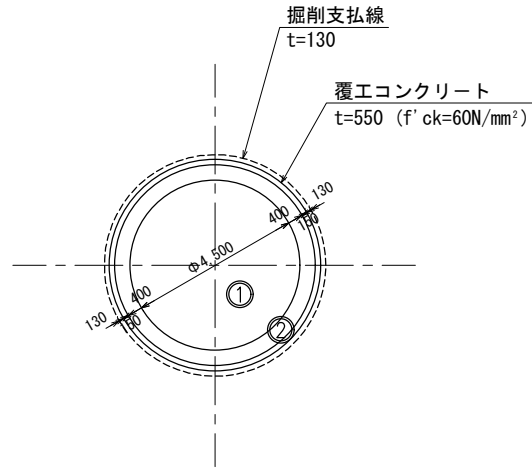




**換気立坑 一般部 標準断面図・支保パターン図  
(D IV-2)**

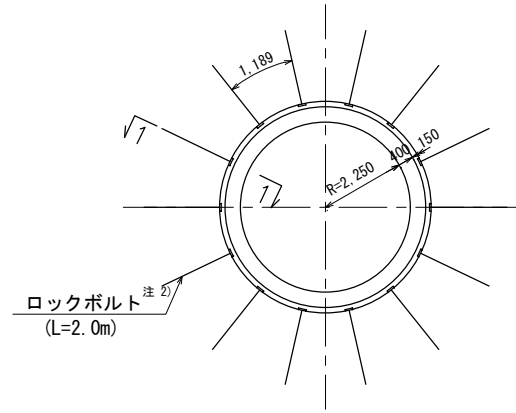
**標準断面図(D IV-2)**

S=1/200



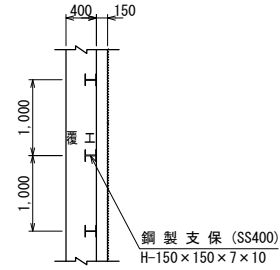
**支保パターン図(D IV-2)**

S=1/200



**1-1 断面図**

S=1/100



**数量表**

名称	掘削 (m³/m)		一次覆工 (m³/m)		二次覆工 (m³/m)		吹付コンクリート (m²/m)
	設計	支払	設計	支払	設計	支払	
① 全断面掘削	24.630	26.970	-	-	-	-	-
② 覆工	-	-	2.568	4.908	6.158	6.158	-
合計	24.630	26.970	2.568	4.908	6.158	6.158	-

**諸元表**

ロックボルト			鋼製支保	一次覆工厚 (cm)	二次覆工厚 (cm)	金網	変形余裕量 (cm)
長さ (m)	周方向 (m)	延長方向 (m)					
2.000	1.189	1.000	H-150x150x7x10	15	40	-	-

**ロックボルト材料表**

(1.0m当り)

名称	形状寸法	規格	単位	数量	摘要
ロックボルト	L=2000	耐力176.5KN	本	14	
座金	150x150x9	SS400	枚	14	
ナット	-	M24	個	14	
金網	-	-	m²	-	
吹付コンクリート	-	-	m²	-	

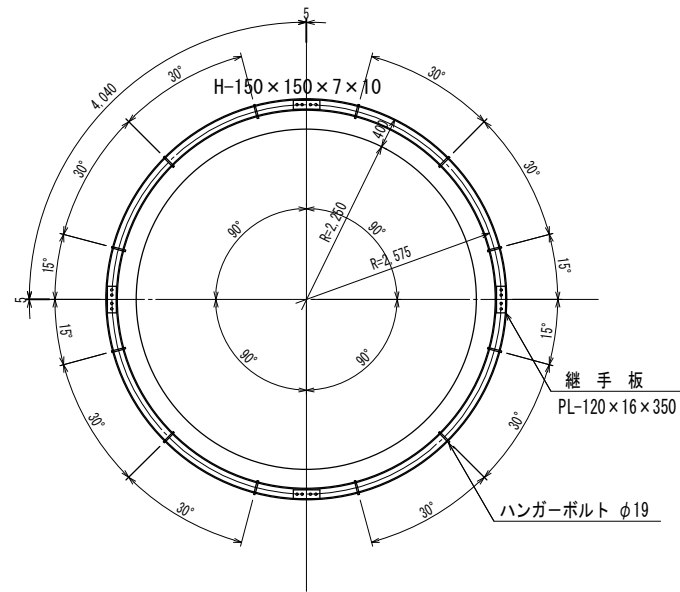
幌延深地層研究計画		第 8 号図
地下研究施設整備 (第三期) 等事業		
図面名称	換気立坑 一般部 標準断面図・支保パターン図 (D IV-2)	
1枚の内	その 1	縮尺 図示
承認	設計	写図 作成年月日
整理番号	No.	令和 3 年 9 月 30 日 完工
日本原子力研究開発機構		

**No.08**

換気立坑 一般部 鋼製支保工図  
(DIV-2)

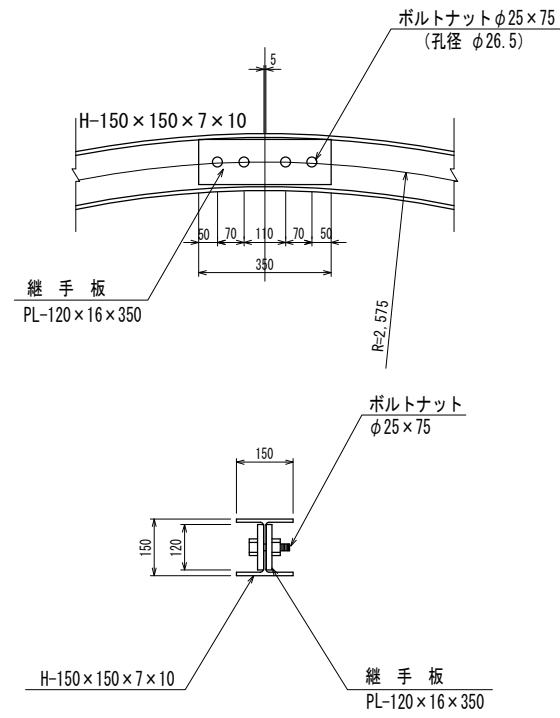
鋼製支保 平面図

S=1/100



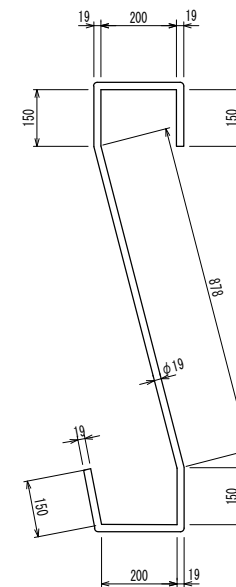
継手板 詳細図

S=1/20



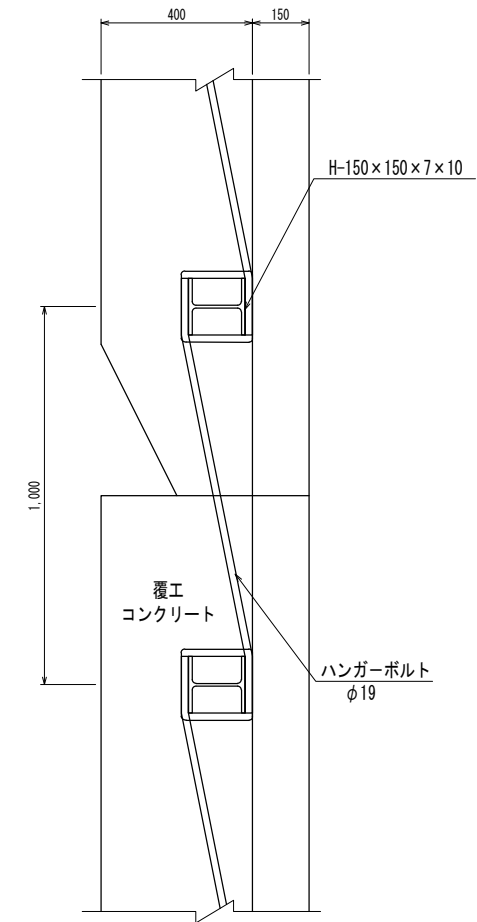
ハンガーボルト詳細図

S=1/20



鋼製支保 建込図

S=1/20



材料表

(1基当り)

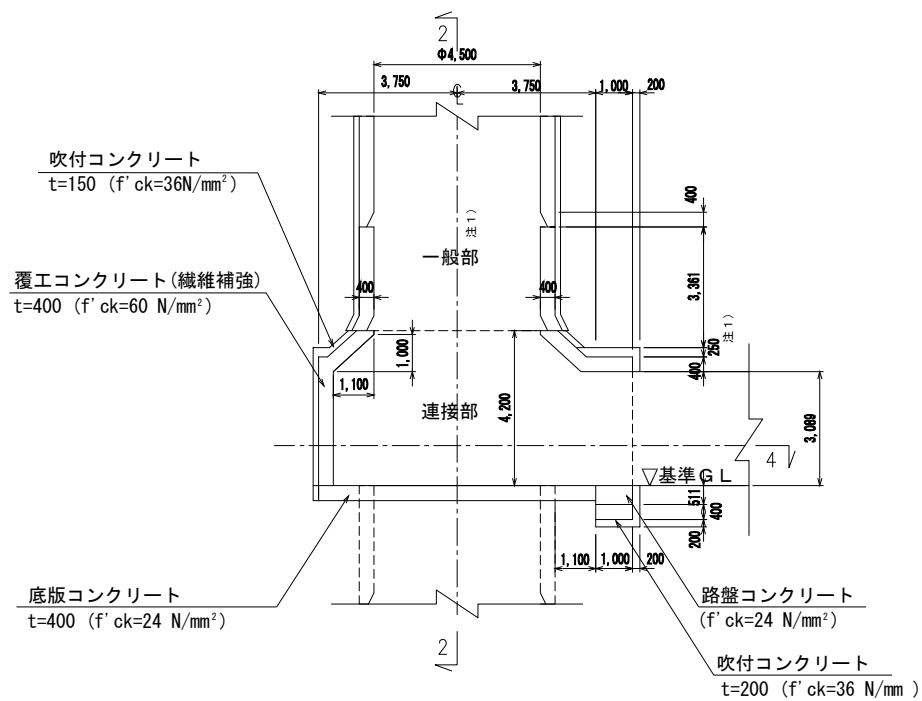
名称	形状寸法	単位	数量	単位重量	重量	備要
H型钢	H-150×150×7×10 L=4,040	kg	4	126	504	31.1kg/m SS400
継手板	PL-120×16×350	kg	8	5.28	42	
ボルトナット	φ25×75	kg	16	0.621	10	
ハンガーボルト	φ19×1,960	kg	12	4.37	52	2.23kg/m
合計				鋼材	608kg	

No.09

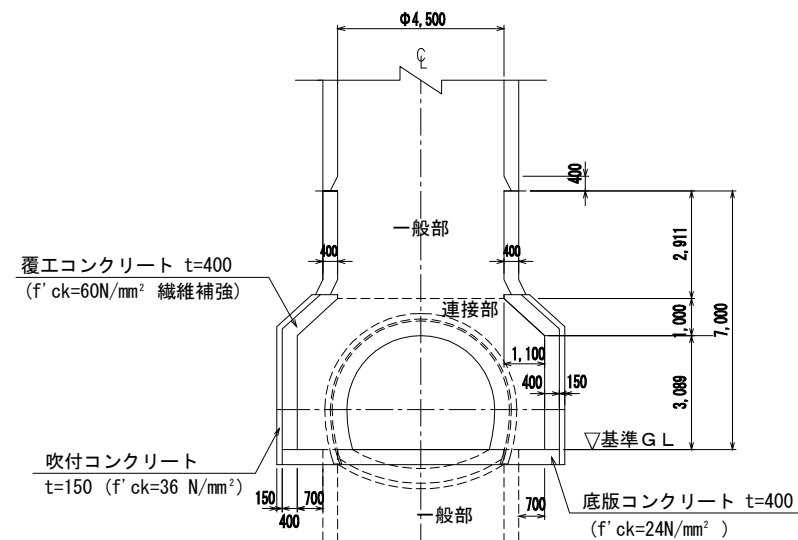
幌延深地層研究計画 地下研究施設整備（第三期）等事業		第 9 号図	
図面名称 換気立坑 一般部 鋼製支保工図 (DIV-2)		図示	
1枚の内	その1	縮尺	図示
承	認	設計	写図
		作成年月日	
		令和3年9月30日 完工	
整理番号	No.		
日本原子力研究開発機構			

換気立坑 接続部 構造図  
(GL-420, -500m)

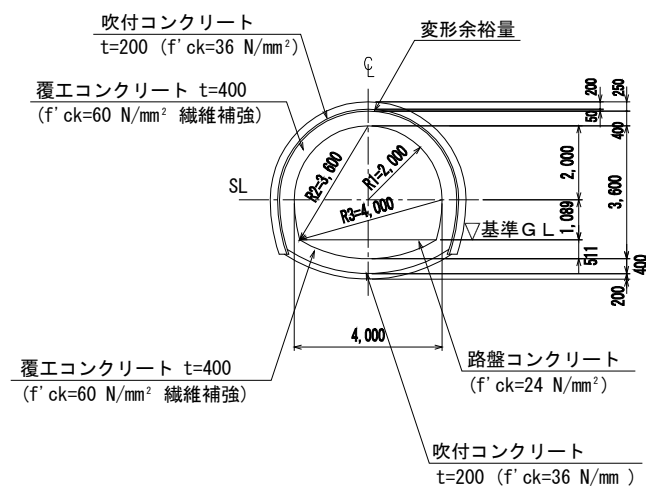
1-1 断面図



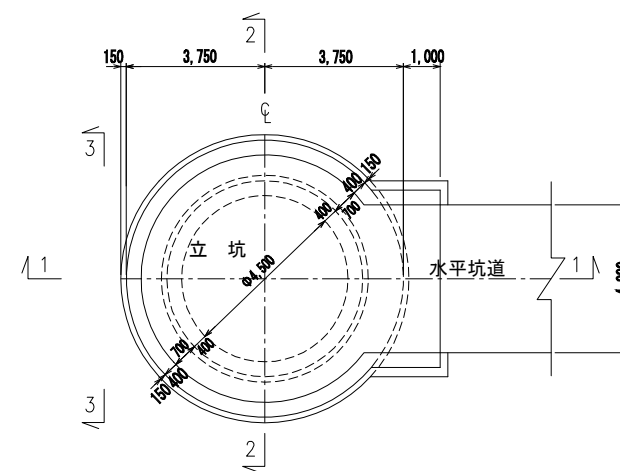
2-2 断面図



3-3 断面図



4-4 平面図



注1) 変形余裕量 50mmを含む。

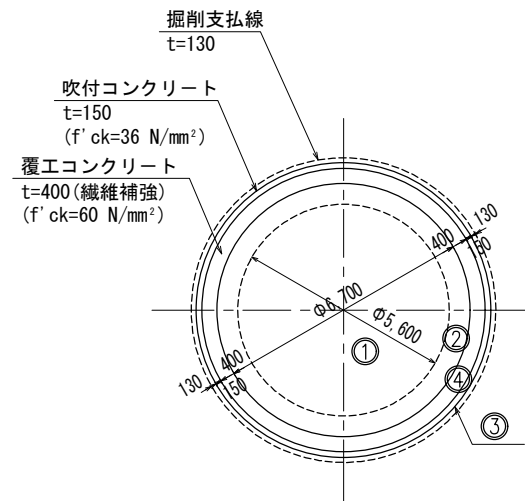
横延深地層研究計画 地下研究施設整備 (第三期) 等事業		第 00 号図	
図面名称 換気立坑 接続部 構造図 (GL-500m)			
1 枚の内	その 1	縮尺	1/200
承	認	設計	写図
		作成年月日	
整理番号		No.	
		令和 3 年 4 月 30 日 竣工	
日本原子力研究開発機構			

No.10

換気立坑 接続部 標準断面図

(DIV a-2)

標準断面図 (DIV a-2)



数量表

名称	掘削 (m <sup>3</sup> /m)		覆工 (m <sup>3</sup> /m)		吹付コンクリート (m <sup>2</sup> /m)	
	設計	支払	設計	支払	設計	支払
① 中央部	24.630	24.630	-	-	-	-
② 周辺部	26.900	30.261	-	-	-	-
③ 吹付コンクリート	-	-	-	-	一次 3.605	一次 5.585
	-	-	-	-	二次 8.922	二次 8.922
④ 覆工コンクリート	-	-	8.922	10.827	-	-
合計	51.530	54.891	8.922	10.827	12.527	14.507

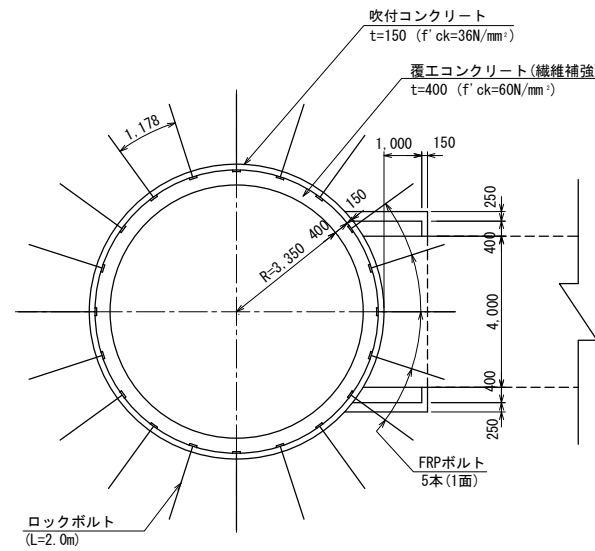
No.11

幌延深地層研究計画		第 12 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業		換気立坑	
図面名称		接続部 標準断面図 (DIV a-2)	
1 枚の内	その 1	縮尺	1/200
承	認	設計	写図
		作成年月日	
		令和 3 年 9 月 30 日 完工	
整理番号	No.		
日本原子力研究開発機構			

**換気立坑 接続部 支保パターン図**  
(DIV a-2)

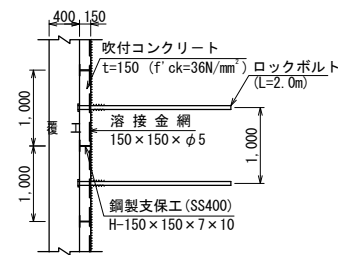
**支保パターン図 (DIV a-2)**

S=1/200



**1-1 断面図**

S=1/100



**諸元表**

ロックボルト			鋼製支保工	覆工厚 (cm)	金網	変形余裕量 (cm)
長さ (m)	周方向 (m)	延長方向 (m)				
2.000	1.178	1.000	H-150x150x7x10	40	全周	-

**吹付・ロックボルト材料表 (GL-420m, -500m) (1箇所当り)**

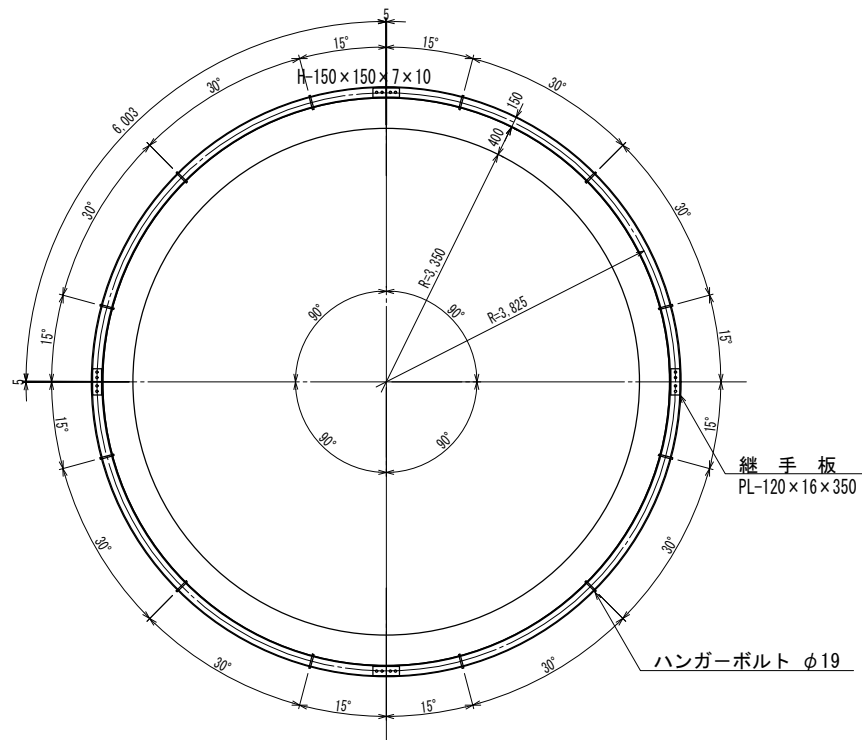
名称	形状寸法	規格	単位	数量	摘要
ロックボルト	L=2000	耐力 176.5KM	本	72	
FRPボルト	L=2000		本	25	
座金	150x150x9	SS400	枚	97	
ナット	-	M24	個	97	
金網	150x150xφ5	JISG 3551	m <sup>2</sup>	118.731	
吹付コンクリート	t=150	36N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	24.504	

幌延深地層研究計画		第 12 号図
地下研究施設整備 (第三期) 等事業		
図面名称	換気立坑 接続部 支保パターン図 (DIV a-2)	図示
1枚の内	その1	縮尺
承認	設計	写図
		作成年月日
整理番号	No.	令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構		

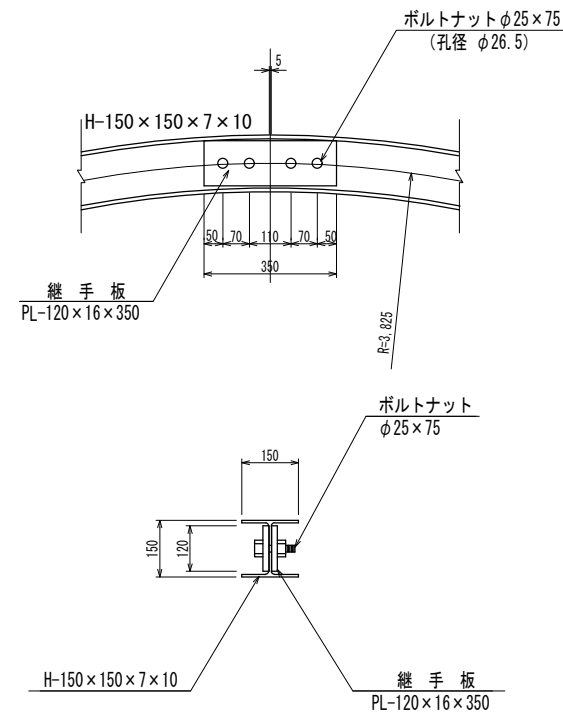
**No.12**

換気立坑 接続部 鋼製支保工図  
(DIV a-2)

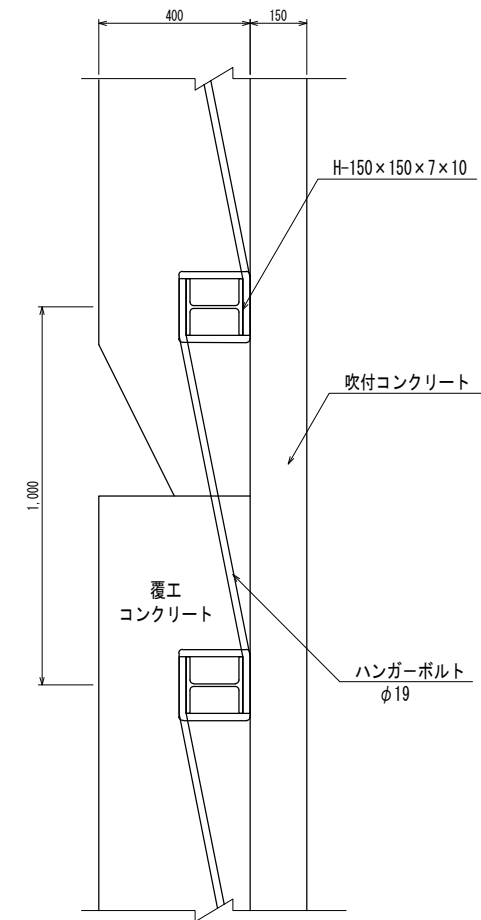
鋼製支保 平面図  
S=1/100



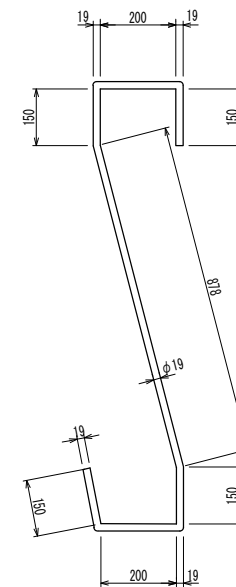
継手板 詳細図  
S=1/20



鋼製支保 建込図  
S=1/20



ハンガーボルト 詳細図  
S=1/20



材料表

(1基当り)

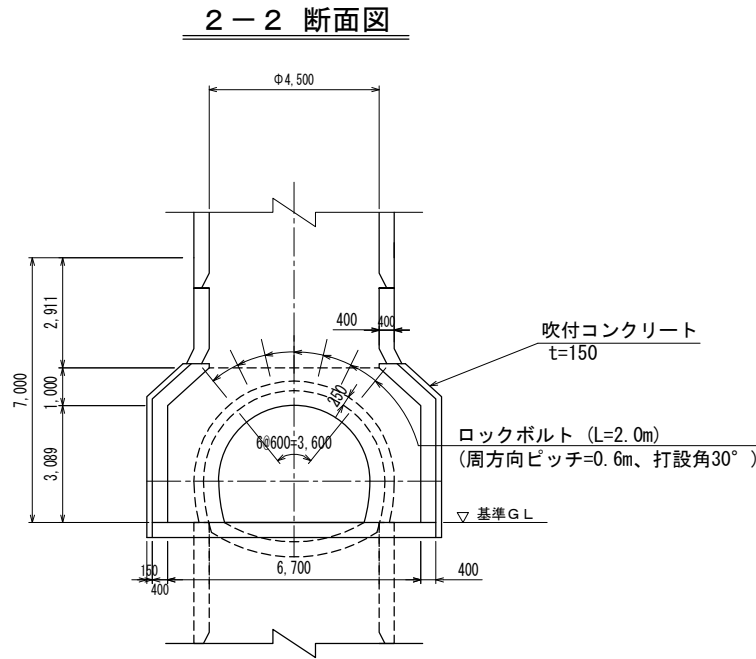
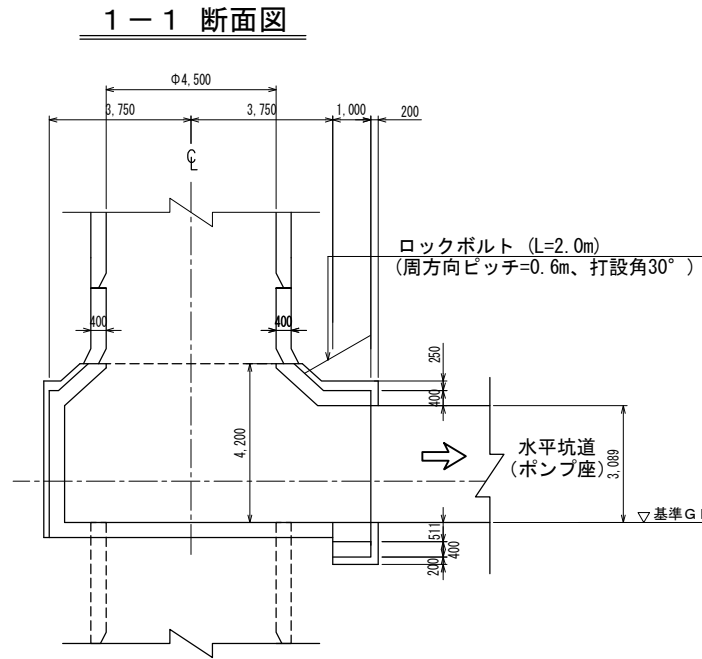
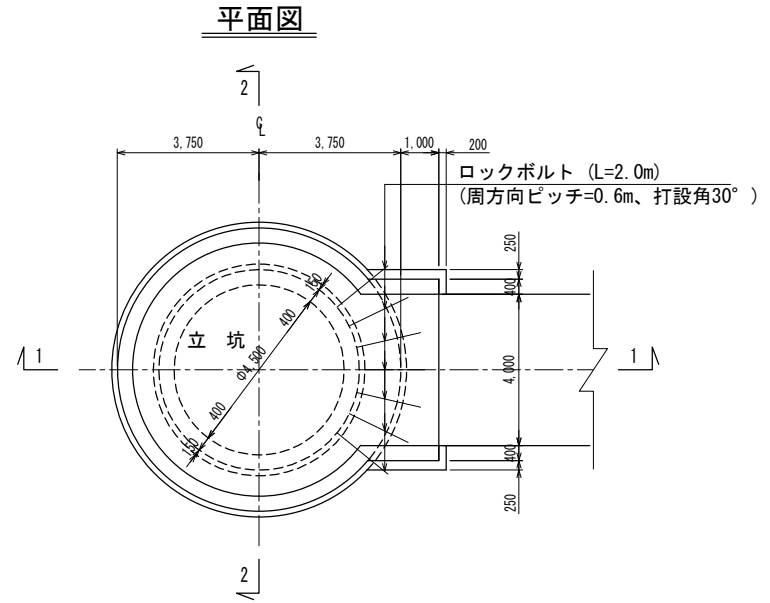
名称	形状寸法	単位	数量	単位重量	重量	摘要
H型钢	H-150×150×7×10 L=6,003	kg	4	187	748	31.1kg/m SS400
継手板	PL-120×16×350	kg	8	5.28	42	
ボルトナット	φ25×75	kg	16	0.621	10	
ハンガーボルト	φ19×1,960	kg	12	4.37	52	2.23kg/m
合計				鋼材	852kg	

幌延深地層研究計画 地下研究施設整備（第三期）等事業		第 13 号図	
換気立坑 接続部 鋼製支保工図 (DIV a-2)			
図面名称	その 1	縮尺	図示
1枚の内	承	認	設計 写 図
作成年月日			
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

No.13

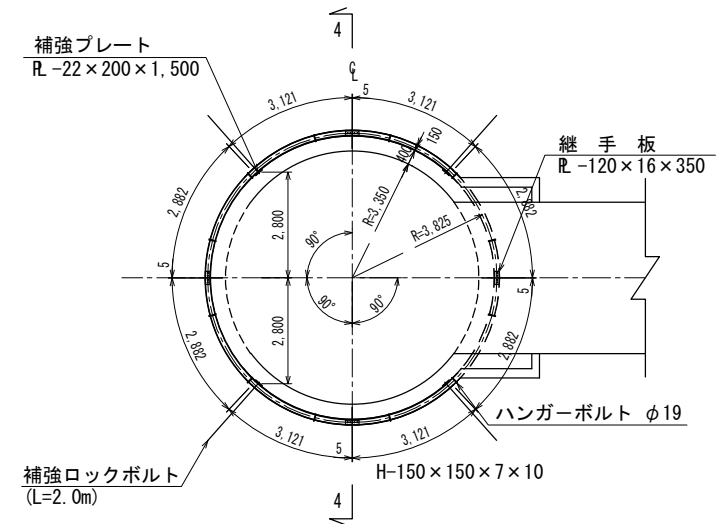
換気立坑 接続部 補強ボルト図・鋼製支保補強工図  
(GL-420, -500m)

補強ボルト図

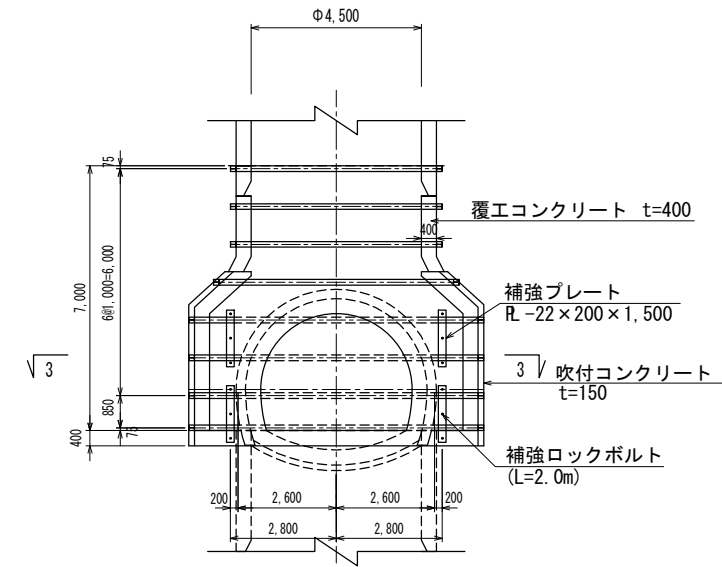


鋼製支保補強工図

3-3 平面図



4-4 断面図



補強工材料表 (1箇所当り)

名称	形状寸法	単位	数量	単位重量	重量	概要
補強プレート	R-22x200x1,500	枚	4	51.8	414	34.5 kg/m
ロックボルト	L=2,000	本	7	—	—	176.5KN
座金	150x150x9	枚	7	—	—	SS400
ナット	—	個	7	—	—	M24

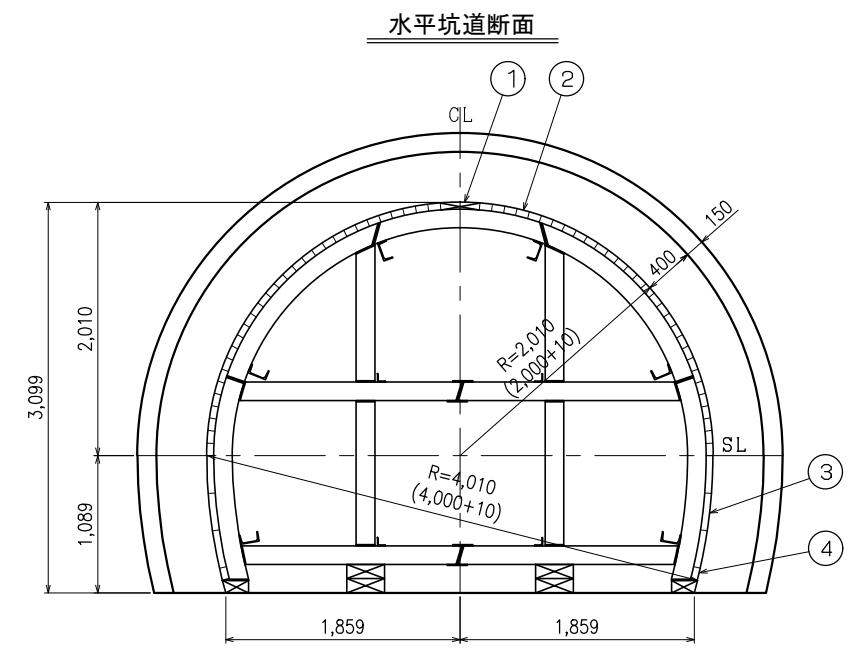
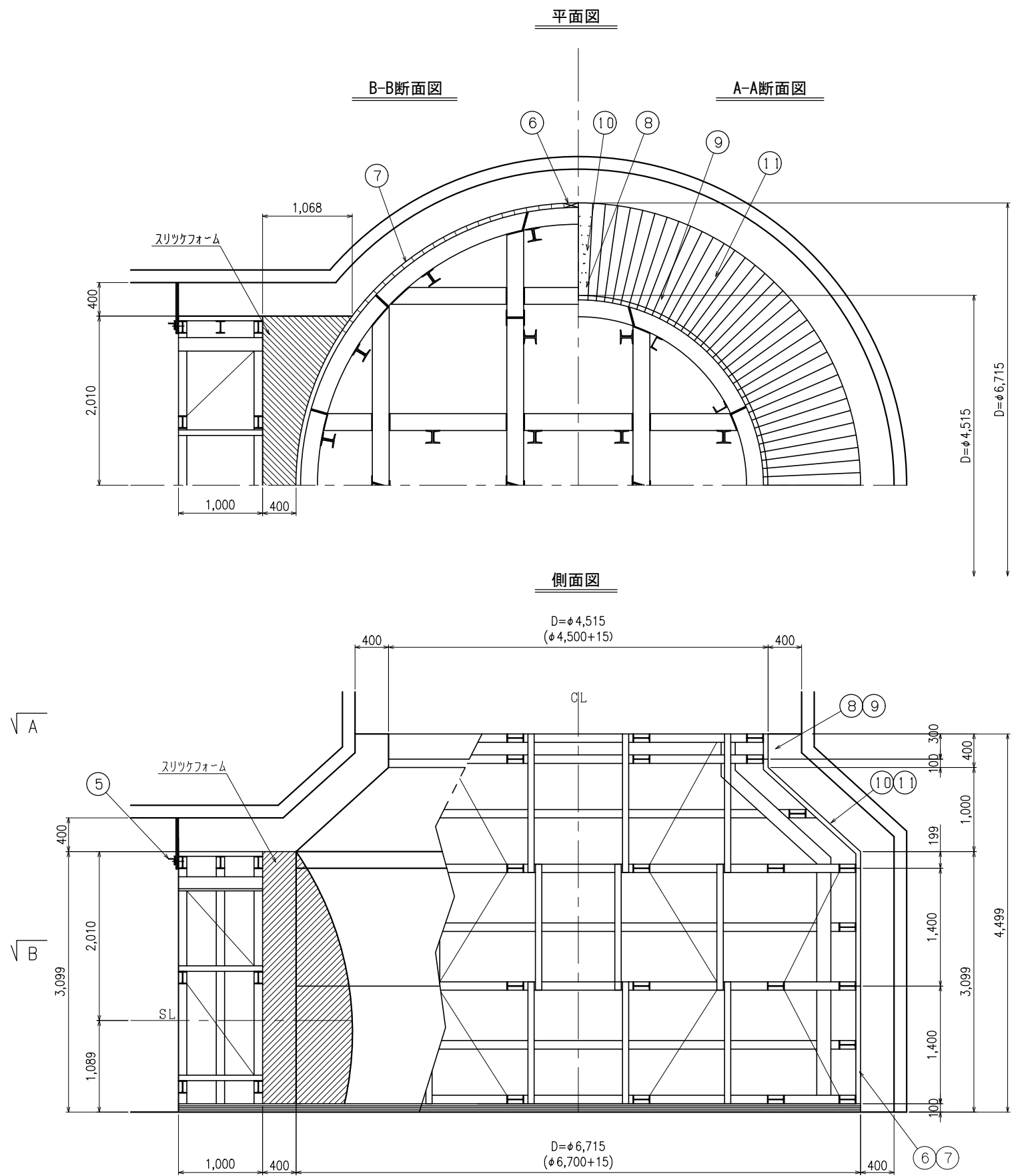
撤去工材料表 (1箇所当り)

名称	形状寸法	単位	数量	単位重量	重量	概要
H形鋼	H-150x150x7x10	kg	8	89.6	1,434	31.1 kg/m
ハンガーボルト	φ19x1,960	本	16	4.37	140	2.23 kg/m
継手板	R-120x16x350	本	8	5.28	85	—
ボルト・ナット	φ25x75	本	16	0.621	20	—
合計	—	—	—	—	鋼材 1,679 kg	—

No.14

幌延深地層研究計画 地下研究施設整備(第三期)等事業		第16号図	
図面名称	換気立坑 接続部 補強ボルト図・鋼製支保補強工図 (GL-500m)		
1枚の内	その1	縮尺	1/200
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

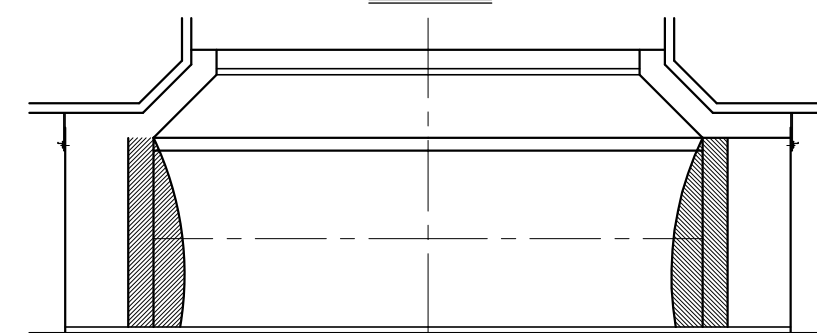
換気立坑 接続部 覆工型枠工図



設計条件

コンクリート打設条件			
コンクリート温度 15°C			
打設速度	0.96 m/Hr	側圧	0.03 N/mm <sup>2</sup>
コンクリート温度 10°C			
打設速度	0.82 m/Hr	側圧	0.03 N/mm <sup>2</sup>

配置図



注) 水平坑道は左右に有る場合と片側に有る場合の2パターン有り

使用部品表

番号	名称	員数		単位	備考
		片側1基分	両側2基分		
水平坑道型枠					
1	天端取揃フォーム	1	(2)	枚	L=1000
2	メタルフォーム	60	(120)	枚	T=1010
3	メタルフォーム	6	(12)	枚	T=3010
4	特殊フォーム	2	(4)	枚	L=1000
5	妻板止メ器具	1	(2)	式	天板式 (L=75X75X6)
	メタル止メ器具			組	L60
	メタル止メ器具	136	(272)	組	L160
	Uクリップ	272	(544)	ヶ	
	タイロッドピン			本	
換気立坑型枠					
6	取揃フォーム	2	(2)	枚	L=1400
7	メタルフォーム	86	(112)	枚	T=3014
8	取揃フォーム	1	(1)	枚	L=300
9	特殊フォーム	139	(139)	枚	L=300
10	特殊コーナー付取揃フォーム	1	(1)	枚	
11	特殊コーナー付取揃フォーム	139	(139)	組	
	メタル止メ器具	298	(298)	組	L60
	メタル止メ器具	198	(198)	組	L160
	Uクリップ	1,164	(1,164)	ヶ	
	タイロッドピン	256	(256)	本	

横延深地層研究計画		第 15 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称		換気立坑 接続部 覆工型枠工図	
1 枚の内	その 1	縮尺	1/60
承	認	設計	写図
			作成年月日
整理番号	No.		令和 3 年 9 月 30 日 完工
日本原子力研究開発機構			

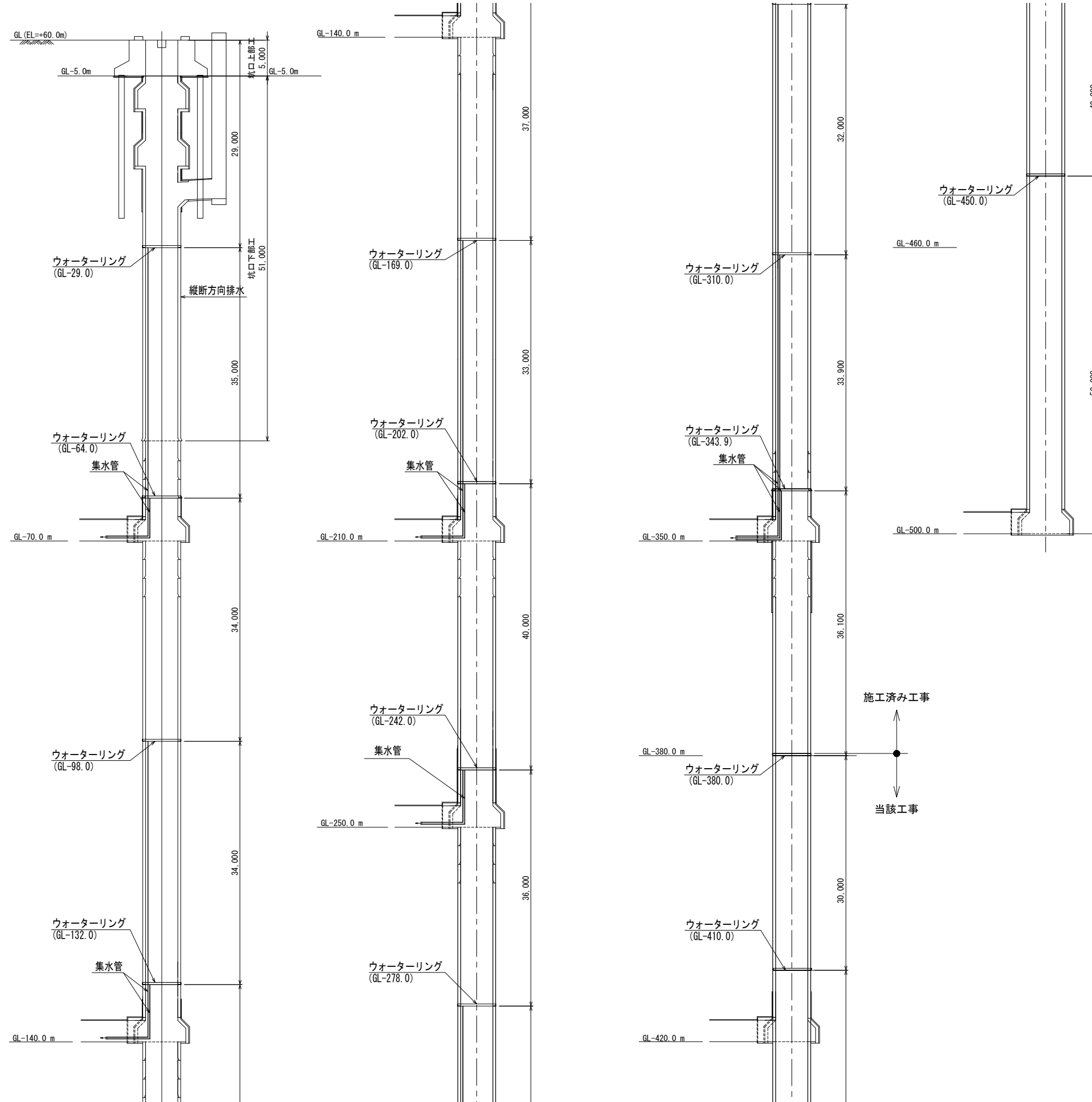
No.15



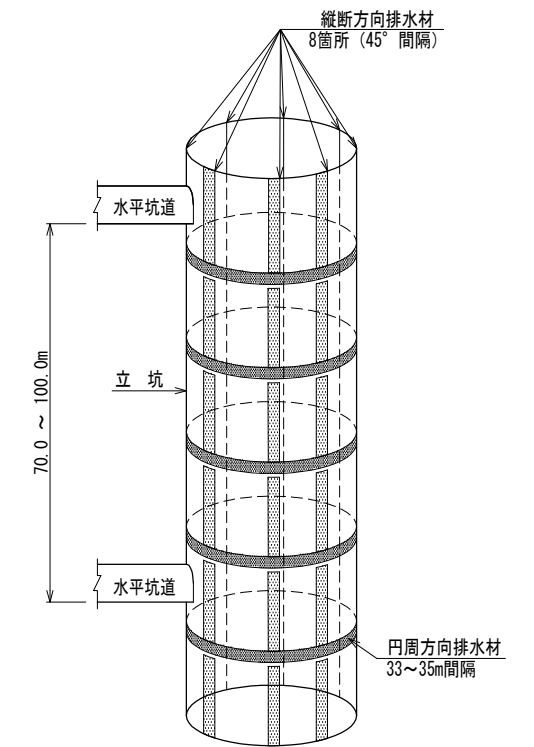
換気立坑 裏面排水工全体立面図

裏面排水工全体立面図

S=1/600



排水材概念図

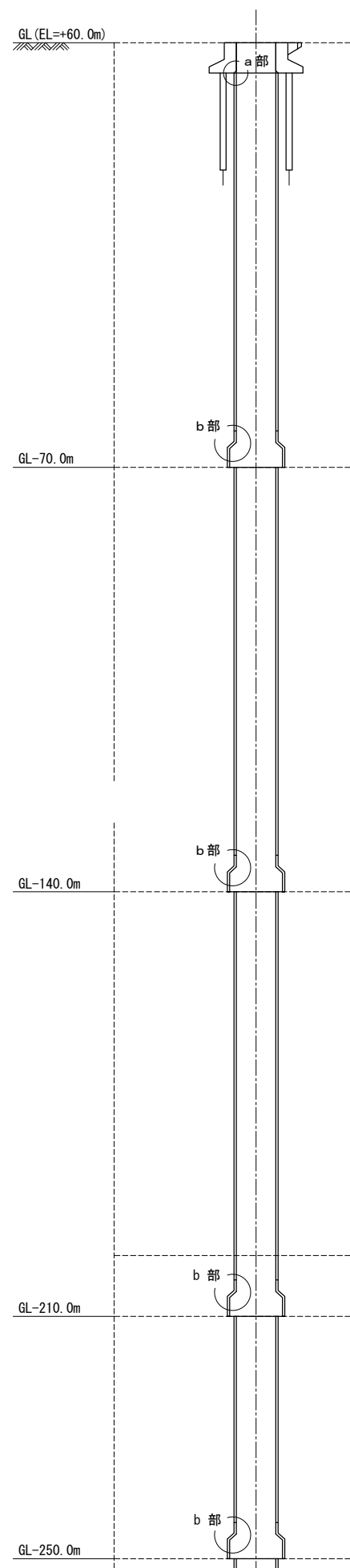


桃延深地層研究計画		第 16 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業		換気立坑	
図面名称		裏面排水工全体立面図	
1 枚の内	その 1	縮尺	1/600
承	認	設計	写図
		作成年月日	
		令和 3 年 9 月 30 日 完工	
整理番号	No.		
日本原子力研究開発機構			

No.16

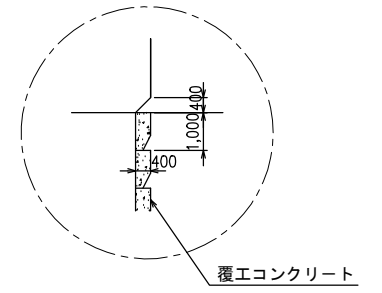
# 東立坑 縦断面図 (1)

S=1/1000

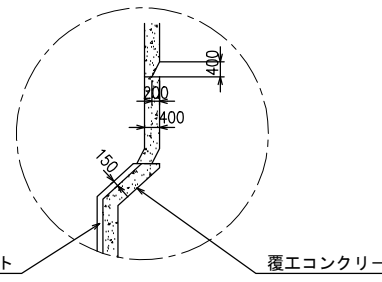


地層名	地山区分 <sup>※1)</sup>	支保パターン	区間長 (m)	深度 (m)	仕上り内径 (m)	吹付コンクリート		覆工コンクリート		ロックボルト	鋼製支保工 <sup>※2)</sup>	掘削方法	区間名称	施工区分	
						厚さ (cm)	f'ck (N/mm <sup>2</sup> )	厚さ (cm)	f'ck (N/mm <sup>2</sup> )						繊維補強
未固結堆積物 (ソルト)	-	-	5.000	GL-5.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	坑口上部		
		DI-1	1.000	GL-6.000	6.500	-	-	40	40	GL-5.000	-	-	-		坑口下部
		DI-2	14.000	GL-20.000	6.500	-	-	40	40	-	H-150×150 建込間隔=0.33m	ショートステップ工法 (標準) 掘進長1.0m 覆工長1.0m	(覆工 掘削 GL-41.000)		
CL-M(Hr)	-	DI-3	1.000	GL-21.000	6.500	-	-	40	40	-	H-150×150 建込間隔=0.50m	ショートステップ工法 (標準) 掘進長1.0m 覆工長1.0m		一般部	
		-	10.000	GL-31.000	6.500	-	-	40	24	GL-31.000	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.147m	H-125×125 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 (標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m		
		-	10.000	GL-41.000	6.500	-	-	40	24 (GL-40.000)	-	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.147m	H-125×125 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 (標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m		
		-	19.000	GL-60.000	6.500	-	-	40	24	GL-54.000	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.147m	H-125×125 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 (標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m		
CL-L(Hr)	-	DI-1	5.800	GL-65.800	6.500	15	18	40	24	-	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.194m	H-125×125 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 (二重支保:一次支保工+覆工 コンクリート) 掘進長1.0m	接続部	
		DI-a-1I	4.200	GL-70.000	6.500 ~8.700	-	-	40	24	GL-80.000	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.147m	H-125×125 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 (標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	一般部	
CL-M(Hr)	-	DI-1	20.000	GL-90.000	6.500	-	-	40	40	-	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.147m	H-150×150 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 (標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	一般部	
		DI-1	44.000	GL-134.000	6.500	-	-	40	40	GL-124.000	L=4.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.147m	H-150×150 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 (標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	接続部	
		DI-2	1.800	GL-135.800	6.500	15	36	40	40	GL-140.000	L=4.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.194m	H-150×150 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 (二重支保:一次支保工+覆工 コンクリート) 掘進長1.0m	一般部	
		DI-a-1I	4.200	GL-140.000	6.500 ~8.700	-	-	40	40	GL-150.000	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.147m	H-150×150 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 (標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	一般部	
CL-H(Hr)	-	DI-1	10.000	GL-170.000	6.500	-	-	40	40	-	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.147m	H-150×150 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 (標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	一般部	
		DI-1	30.000	GL-200.000	6.500	-	-	40	40	GL-194.000	L=4.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.147m	H-150×150 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 (標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	一般部	
CL-M(Hr)	-	DI-2	2.000	GL-202.000	6.500	-	-	40	40	-	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.194m	H-150×150 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 (二重支保:一次支保工+覆工 コンクリート) 掘進長1.0m	接続部	
		DI-a-2I	3.800	GL-205.800	6.500 ~8.700	15	36	40	40	GL-220.000	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.147m	H-150×150 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 (標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	一般部	
CL-H(Hr)	-	DI-1	17.000	GL-227.000	6.500	-	-	40	40	-	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.147m	H-150×150 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 (標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	一般部	
		DI-1	13.000	GL-240.000	6.500	-	-	40	50	GL-234.000	L=4.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.147m	H-150×150 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 (標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	一般部	
CL-H	-	DI-1H	5.800	GL-245.800	6.500	-	-	50	50	-	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.147m	H-150×150 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 (標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	接続部	
		DI-a-3I	4.200	GL-250.000	6.500 ~8.700	15	36	40	40	GL-250.000	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.194m	H-150×150 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 (二重支保:一次支保工+覆工 コンクリート) 掘進長1.0m	一般部	

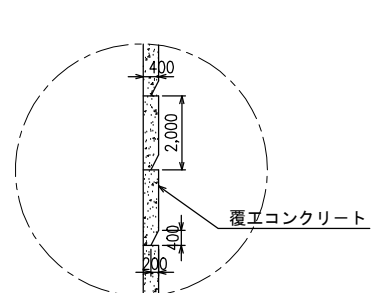
a部詳細図 S=1/200



b部詳細図 S=1/200



一般部詳細図 S=1/200



- 注1) ボーリングコア観察より、ヘアークラックが10m当り10%以上存在する地山区分については(Hr)と表記する200
- 注2) 鋼製支保工H-154×151はHT590を使用し、それ以外はSS400を使用する。

桃延深地層研究計画		第17号図	
地下研究施設整備(第三期)等事業		東立坑	
図面名称		縦断面図(1)	
2枚の内	その1	縮尺	図示
承	認	設計	写図
整理番号	No.	作成年月日	令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

No.17

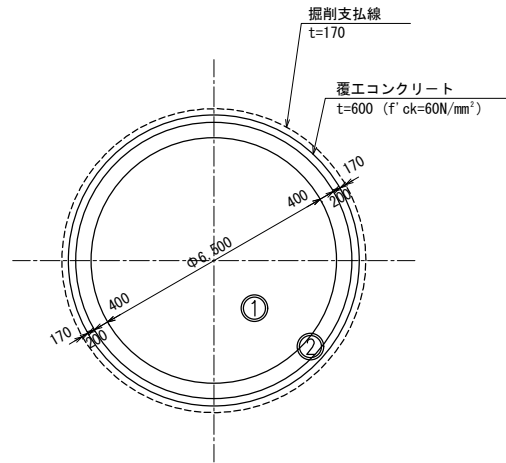
東立坑 縦断図 (2)  
S=1/1000

地層名	地山区分 <sup>#1)</sup>	支保パターン	区間長 (m)	深度 (m)	仕上り内径 (m)	吹付コンクリート		覆工コンクリート		ロックボルト	先受けロックボルト	鋼製支保工 <sup>#2)</sup>	掘削方法	区間名称	施工区分														
						厚さ (cm)	f'ck (N/mm <sup>2</sup> )	厚さ (cm)	f'ck (N/mm <sup>2</sup> )							繊維補強													
声間層	CL-H	DIII-1	60.000	GL-310.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	ショートステップ工法 (標準) 掘進長 1.0m×2 覆工長 2.0m	一般部	当														
																GL-260.000	GL-276.000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	GL-318.000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																
														CL-H(Hr)	DIII-a-3	16.000	GL-326.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	GL-339.000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																-
														CM-H(Hr)	-	10.000	GL-336.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	CM-H	DIII-1	9.800	GL-345.800	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-																-
														CM-L(Hr)	DIII-a-5	4.200	GL-350.000	6.500	15	36	40	60	-	-	-	-	-	-	
	CM-H(Hr)	DIII-a-4	10.000	GL-360.000	6.500	-	-	40	60 (※)	-	-	-	-																-
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	DIII-a-3	20.000	GL-380.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	-	-														-	-	
CM-H(Hr)														-	-	-	-												

**東立坑 一般部 標準断面図・支保工パターン図**  
(DIV-1)

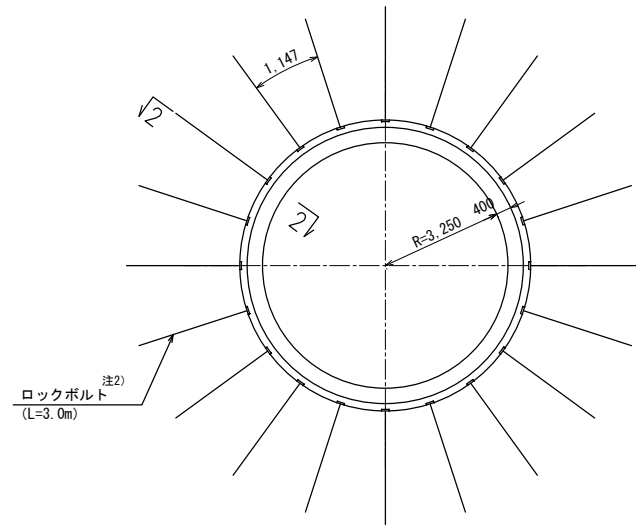
標準断面図(DIV-1)

S=1/200



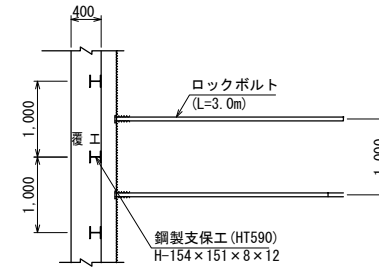
支保パターン図(DIV-1)

S=1/200



1-1 断面図

S=1/100



数量表

名称	掘削 (m <sup>3</sup> /m)		一次覆工 (m <sup>3</sup> /m)		二次覆工 (m <sup>3</sup> /m)		吹付コンクリート (m <sup>2</sup> /m)
	設計	支払	設計	支払	設計	支払	
① 全断面掘削	46.566	50.769	-	-	-	-	-
② 覆工	-	-	4.712	8.916	8.671	8.671	-
合計	46.566	50.769	4.712	8.916	8.671	8.671	-

諸元表

ロックボルト			鋼製支保工	一次覆工厚 (cm)	二次覆工厚 (cm)	金網	変形余裕量 (cm)
長さ (m)	周方向 (m)	延長方向 (m)					
3.000	1.147	1.000	H-154x151x8x12	20	40	全周	-

ロックボルト材料表

(1.0m当り)

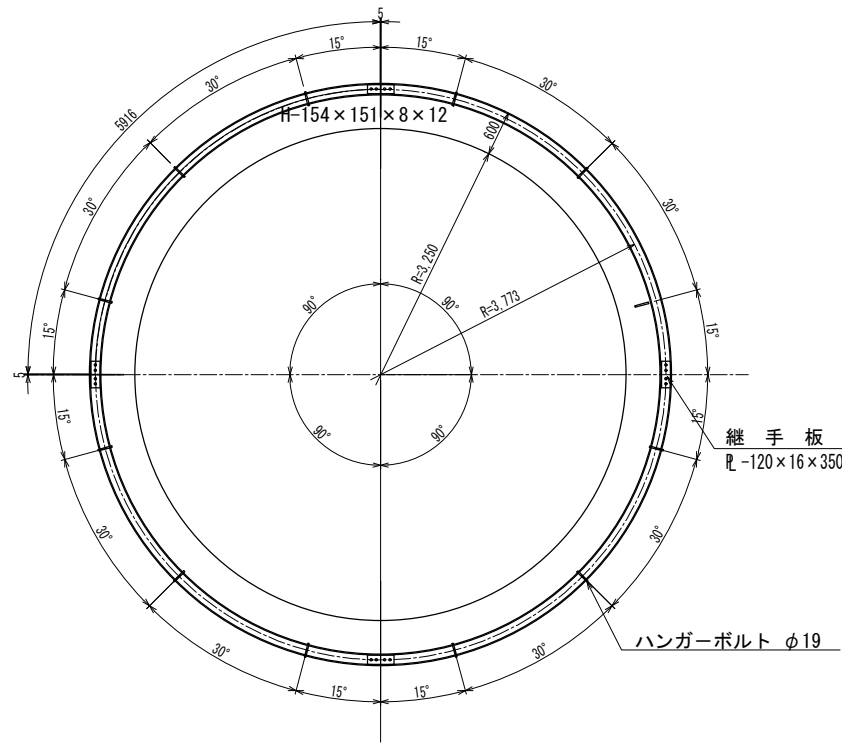
名称	形状寸法	規格	単位	数量	摘要
ロックボルト	L=3000	耐力176.5KN	本	20	-
座金	150x150x9	SS400	枚	20	-
ナット	-	M24	個	20	-

幌延深地層研究計画		第 26 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	東立坑 一般部 標準断面図・支保工パターン図 (DIV-1)	縮尺	図示
1枚の内	その1	縮尺	図示
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

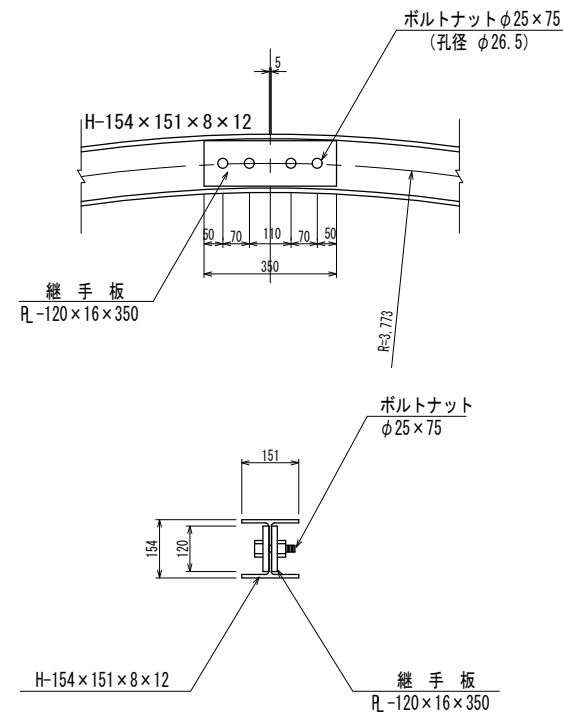
No.19

東立坑 一般部 鋼製支保工図  
(DIV-1)

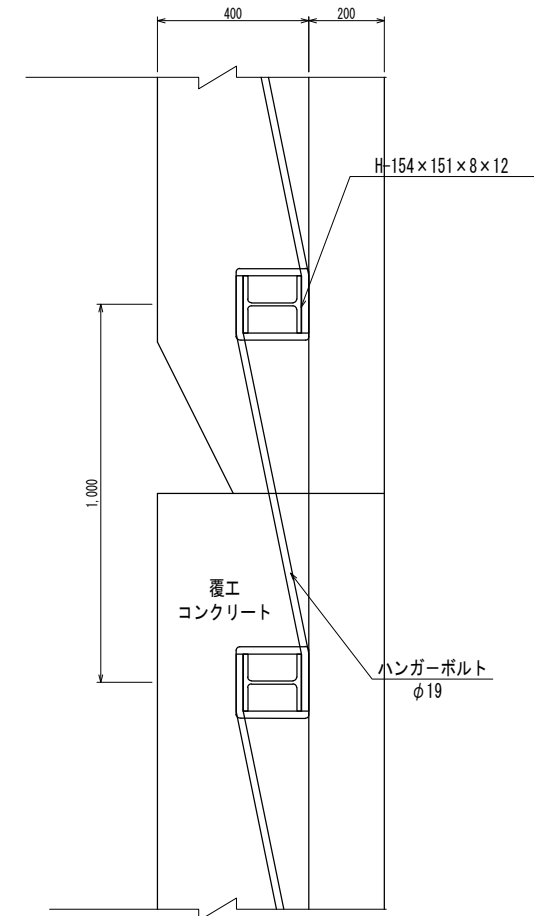
鋼製支保 平面図  
(DIV-1) S=1/100



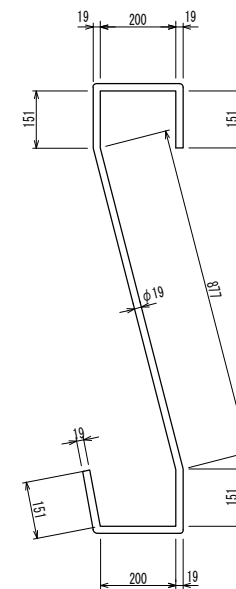
継手板 詳細図  
S=1/20



鋼製支保 建込図  
S=1/20



ハンガーボルト詳細図  
S=1/20



材料表

(1基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	単位重量	重量	概要
H型钢	H-154x151x8x12 L=5,916	kg	4	219	876	37.0kg/m HT590
継手板	PL-120x16x350	kg	8	5.28	42	
ボルトナット	φ25x75	kg	16	0.621	10	
ハンガーボルト	φ19x1,960	kg	12	4.37	52	2.23kg/m
合計				鋼材	980kg	

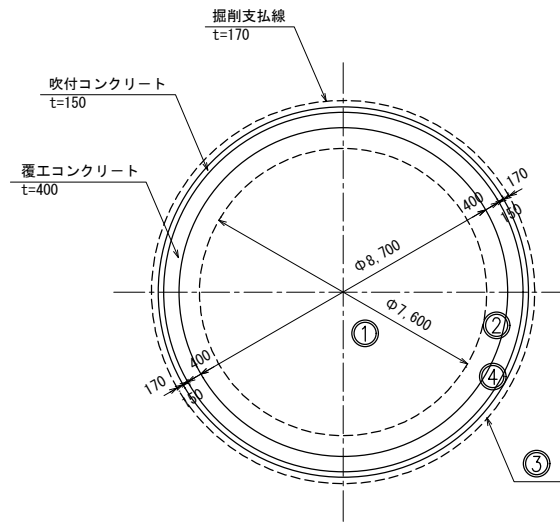
No.20

幌延深地層研究計画 地下研究施設整備(第三期)等事業		第20号図	
図面名称	東立坑 一般部 鋼製支保工図(DIV-1)		
1枚の内	その1	縮尺	図示
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和 年 月 日 完工
日本原子力研究開発機構			



東立坑 接続部 標準断面図  
(DIVa-1)

標準断面図 (DIVa-1)



数量表

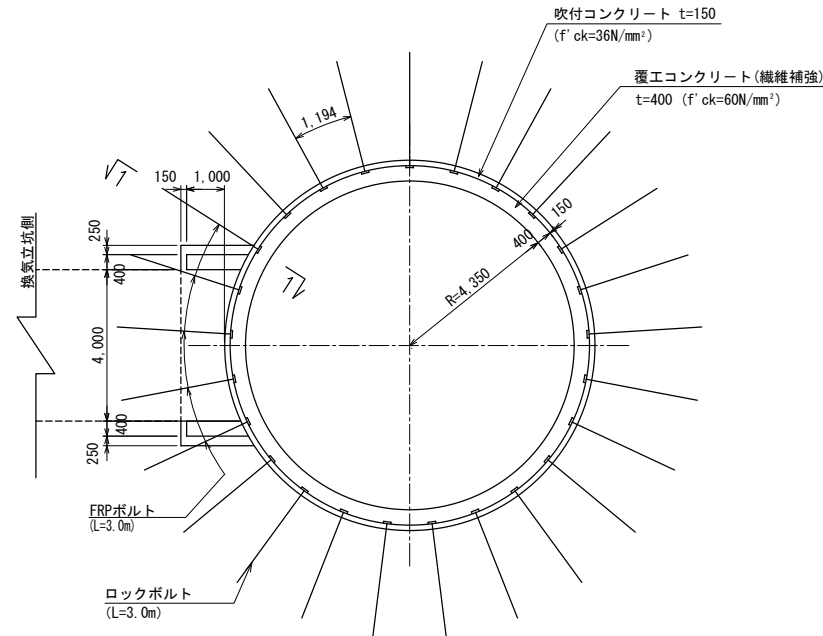
名称	掘削 (m <sup>3</sup> /m)		覆工 (m <sup>3</sup> /m)		吹付コンクリート (m <sup>2</sup> /m)	
	設計	支払	設計	支払	設計	支払
① 中央部	46.566	46.566	-	-	-	-
② 周辺部	35.147	40.685	-	-	-	-
③ 吹付コンクリート	-	-	-	-	一次 6.095	一次 9.236
	-	-	-	-	二次 11.435	二次 11.435
④ 覆工コンクリート	-	-	11.435	14.451	-	-
合計	81.713	87.251	11.435	14.451	17.530	20.671

No.22

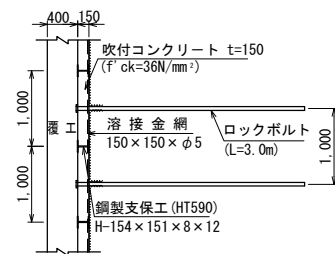
幌延深地層研究計画		第 32 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	東立坑 接続部 標準断面図 (DIVa-1)		
1枚の内	その 1	縮尺	1/200
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和 年 月 日 完工
日本原子力研究開発機構			

**東立坑 接続部 支保パターン図**  
(DIVa-1)

**支保パターン図 (DIVa-1)**  
S=1/200



**1-1 断面図**  
S=1/100



**諸元表**

ロックボルト			鋼製支保工	覆工厚 (cm)	金網	変形余裕量 (cm)
長さ (m)	周方向 (m)	延長方向 (m)				
3.000	1.194	1.000	H-154x151x8x12	40	全周	-

**吹付・ロックボルト材料表** (1箇所当り)

名称	形状寸法	規格	単位	数量	摘要
ロックボルト	L=3000	耐力 176.5KM	本	97	
FRPボルト	L=3000		本	25	
座金	150x150x9	SS400	枚	122	
ナット	-	M24	個	122	
金網	150x150xφ5	JISG 3551	m <sup>2</sup>	149.477	
吹付コンクリート	t=150	36N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	30.788	

幌延深地層研究計画 地下研究施設整備(第三期)等事業		第 23 号図	
図面名称	東立坑 接続部 支保パターン図 (DIVa-1)		
1枚の内	その1	縮尺	図示
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

**No.23**

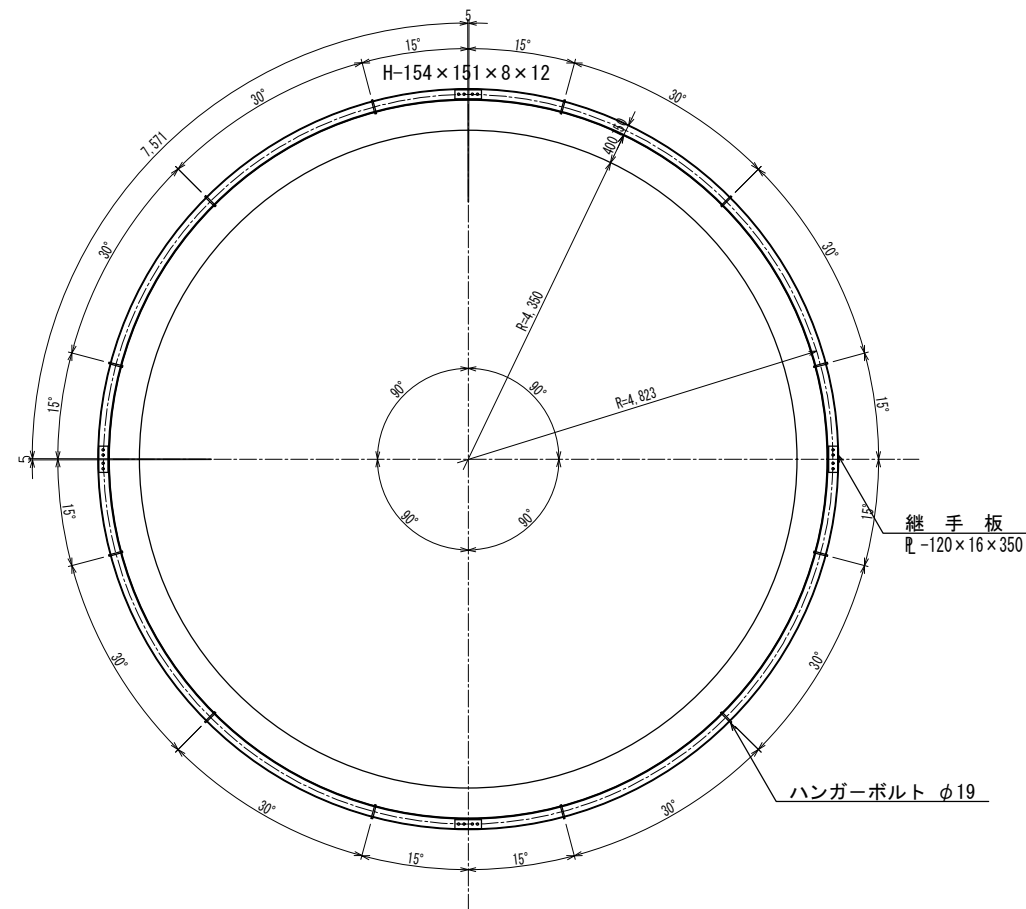


東立坑 接続部 鋼製支保工図

(DIVa-1)

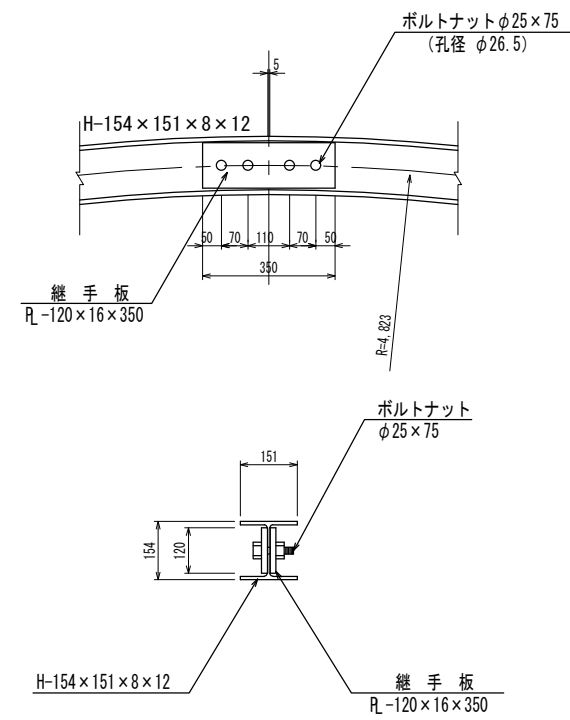
鋼製支保 平面図

(DIVa-1) S=1/100



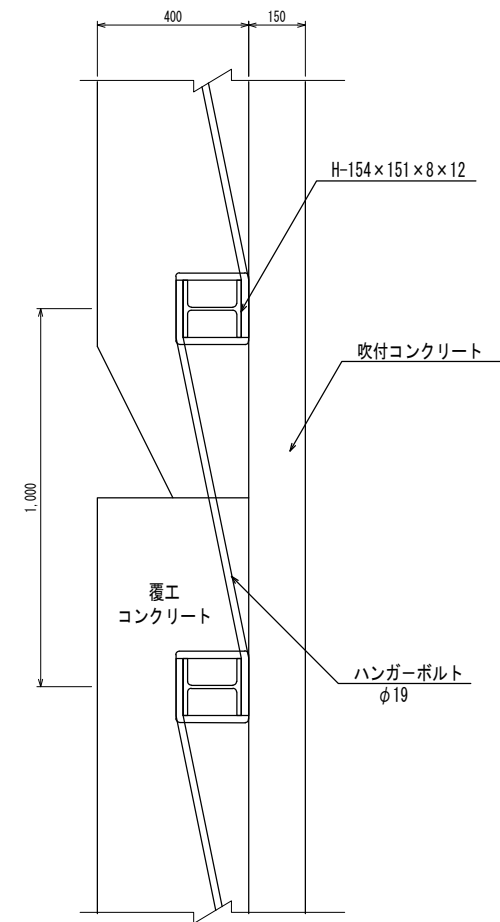
継手板 詳細図

S=1/20



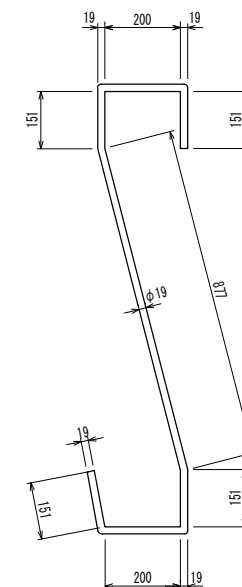
鋼製支保 建込図

S=1/20



ハンガーボルト詳細図

S=1/20



材料表

(1基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	単位重量	重量	備註
H型钢	H-154×151×8×12 L=7,571	kg	4	280	1,120	37.0kg/m HT590
継手板	PL-120×16×350	kg	8	5.28	42	
ボルトナット	φ25×75	kg	16	0.621	10	
ハンガーボルト	φ19×1,960	kg	12	4.37	52	2.23kg/m
合計				鋼材	1,224kg	

桃延深地層研究計画 地下研究施設整備(第三期)等事業		第24号図	
図面名称	東立坑 接続部 鋼製支保工図(DIVa-1)		
1枚の内	その1	縮尺	図示
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

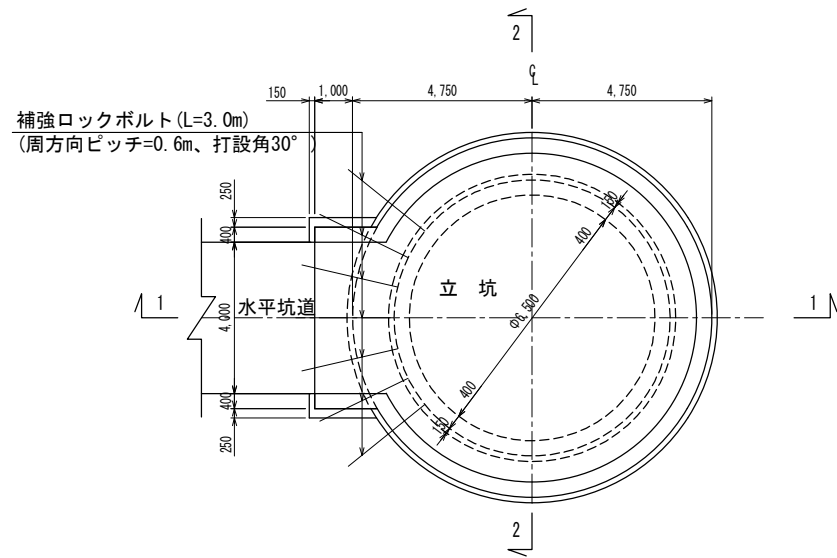
No.24

東立坑 接続部 補強ボルト図・鋼製支保工補強工図  
(GL-420m, -500m)

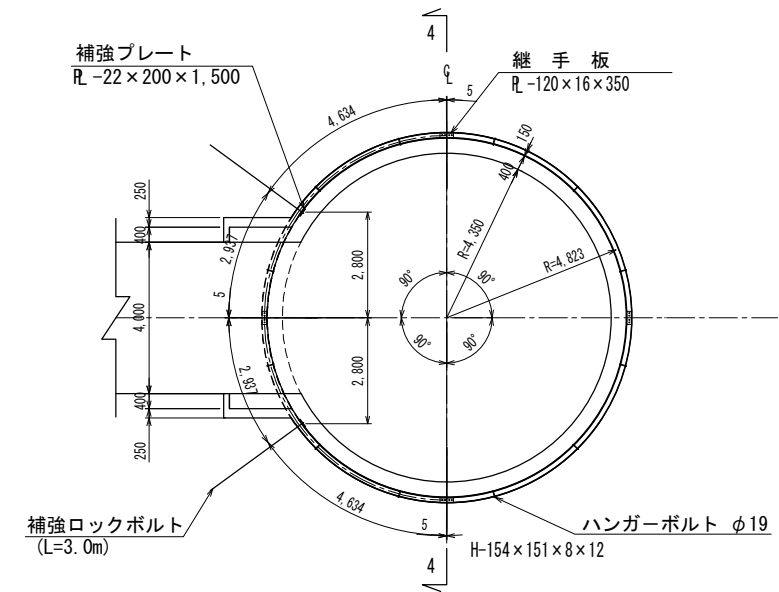
補強ボルト図

鋼製支保工補強工図

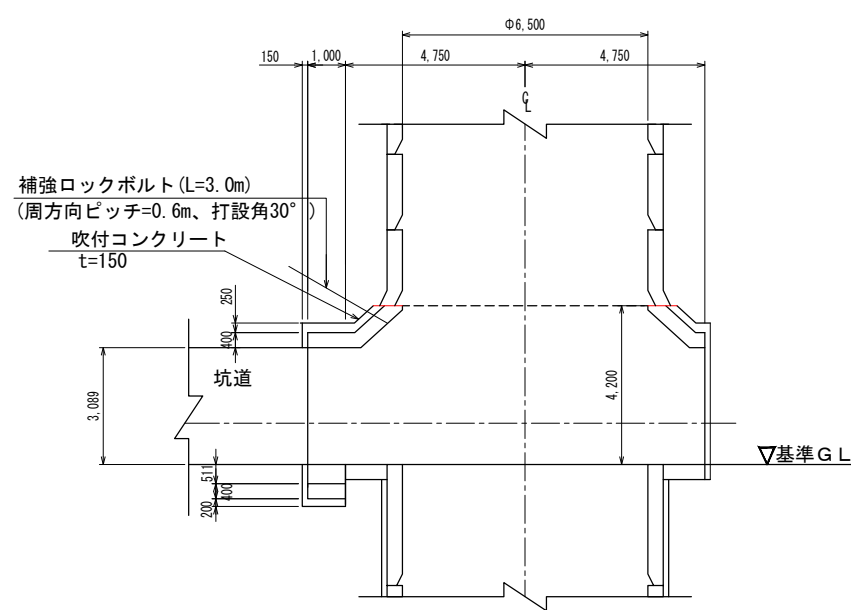
平面図



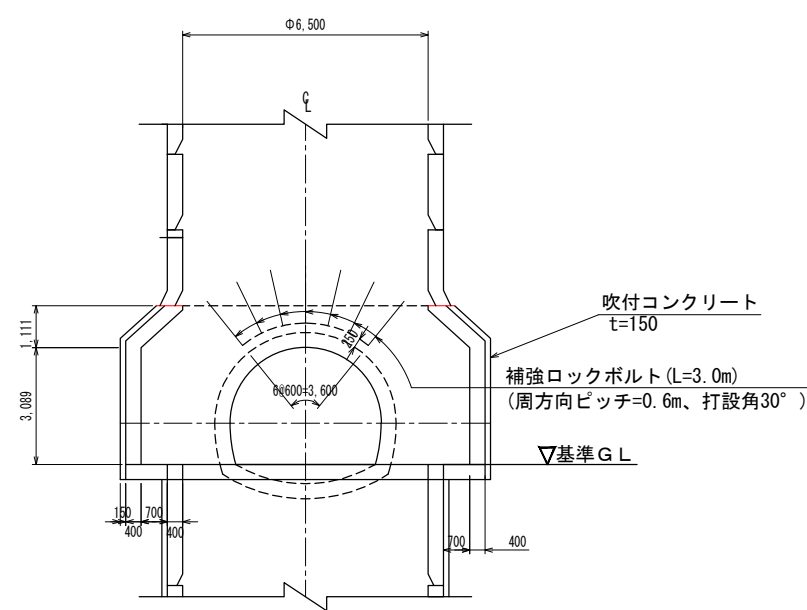
3-3 断面図



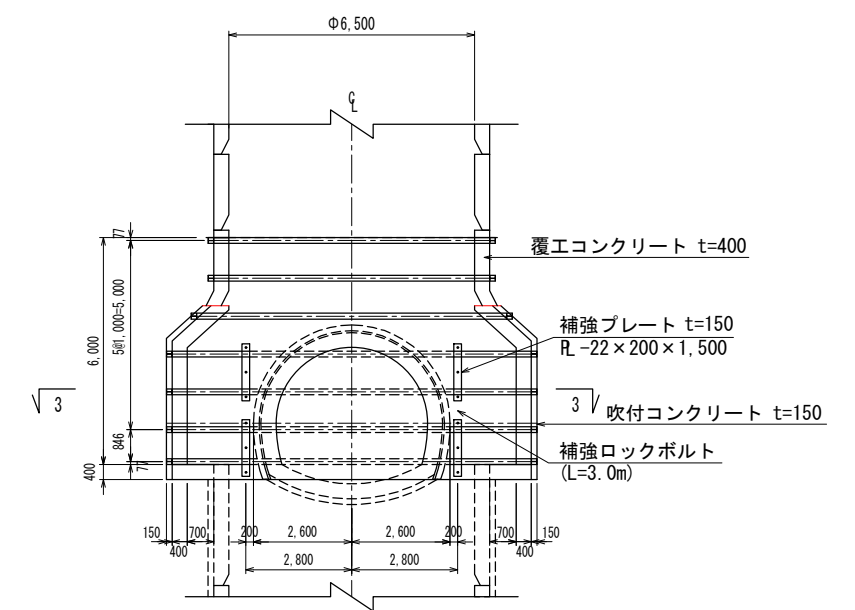
1-1 断面図



2-2 断面図



4-4 断面図



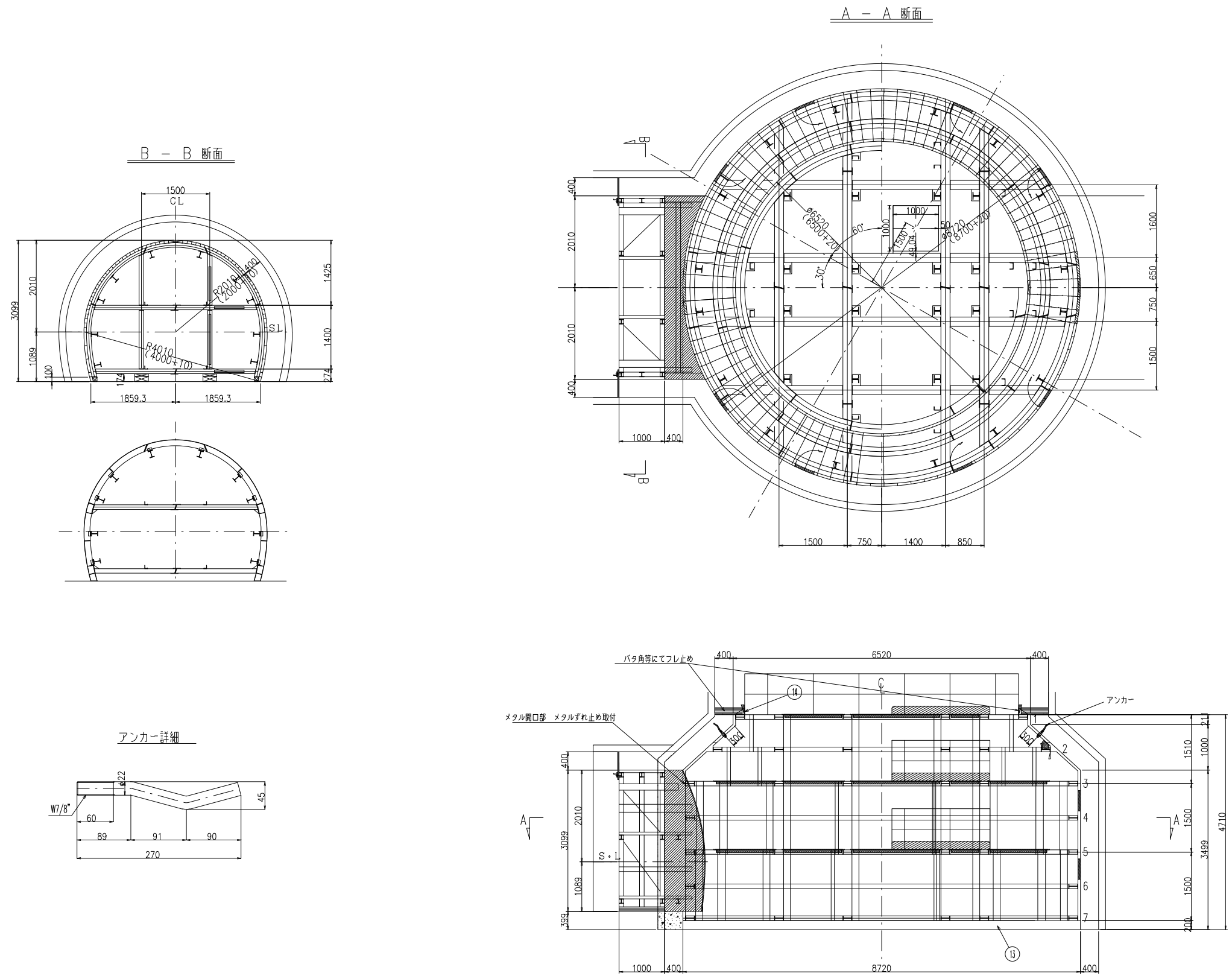
補強工材料表 (1箇所当り)

名称	形状寸法	単位	数量	単位重量	重量	摘要
補強プレート	R-22x200x1,500	枚	4	51.8	207	34.5kg/m
ロックボルト	L=3,000	本	7	—	—	176.5KN
座金	150x150x9	枚	7	—	—	SS400
ナット		個	7	—	—	M24

幌延深地層研究計画 地下研究施設整備(第三期)等事業		第 25 号図
図面名称	東立坑 接続部 補強ボルト図・鋼製支保工補強工図 (GL-420m, -500m)	
1枚の内	その 1	縮尺 1/200
承認	設計 写図	作成年月日
整理番号	No.	令和 3 年 9 月 30 日 完工
日本原子力研究開発機構		

No.25

東立坑 接続部覆工型枠工図

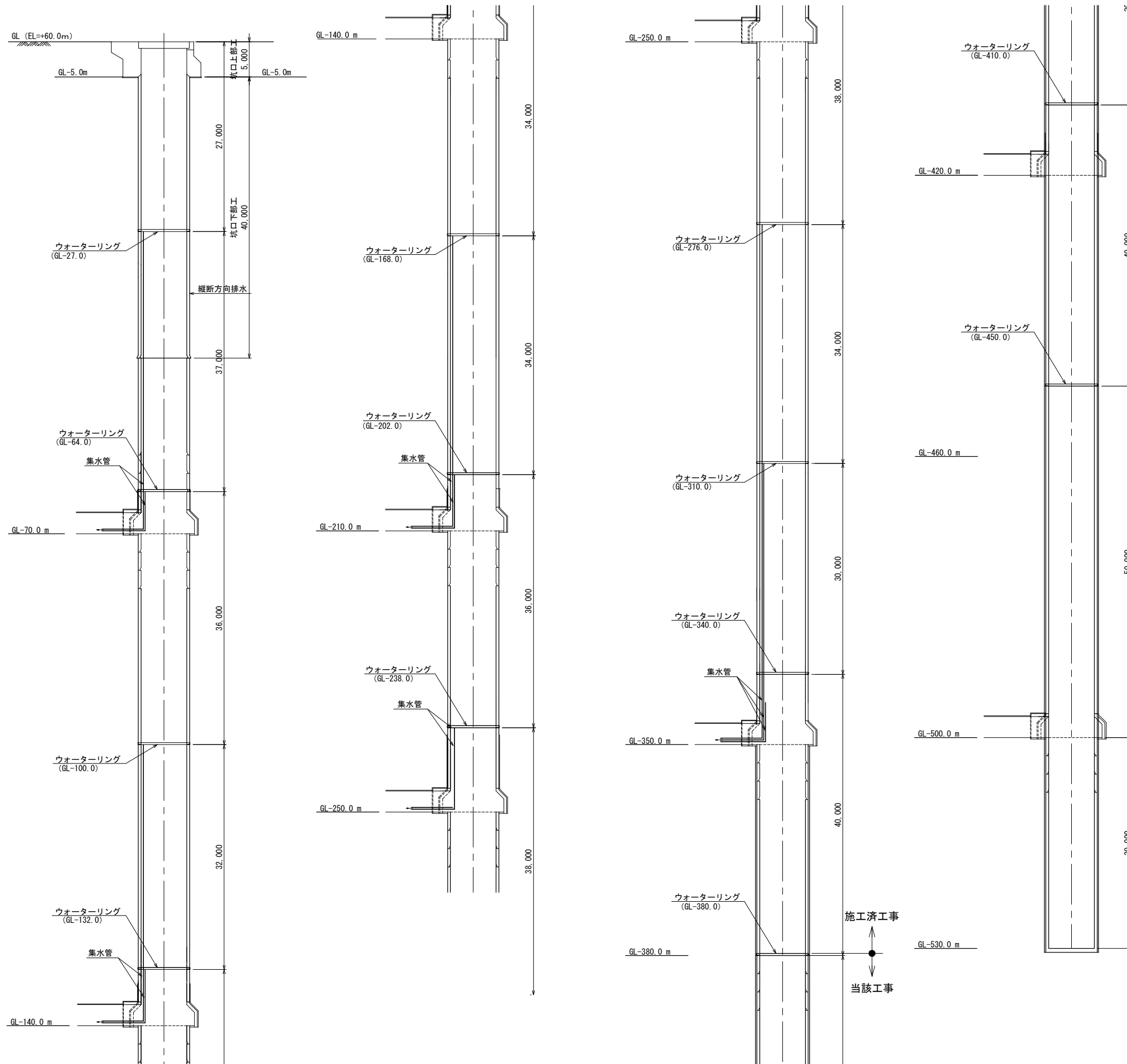


横延深地層研究計画		第 26 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称		東立坑 接続部覆工型枠工図	
1 枚の内	その 1	縮尺	1/100
承	認	設計	写図
整理番号			作成年月日
No.			令和 3 年 9 月 30 日 完工
日本原子力研究開発機構			

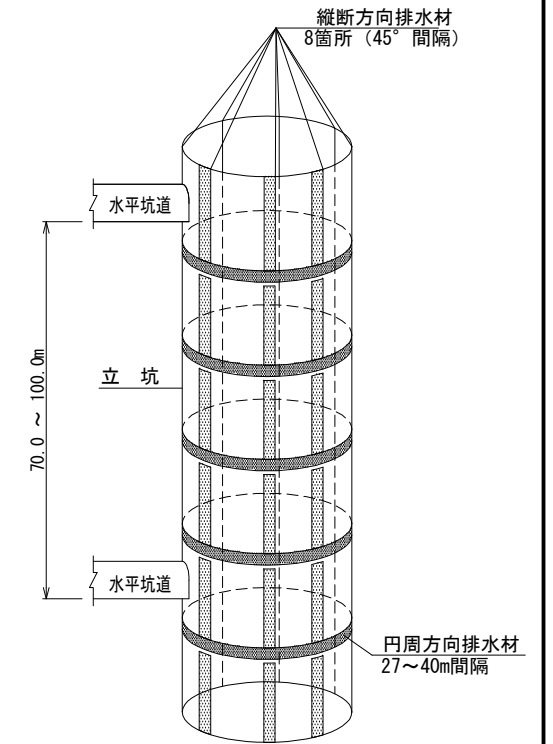
No.26

# 東立坑 裏面排水工全体立面図

S=1/600



## 排水材概念図

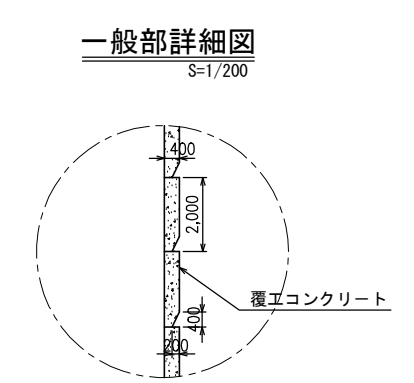
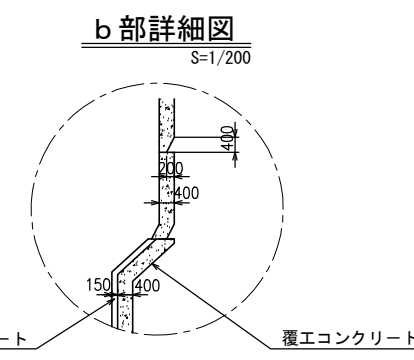
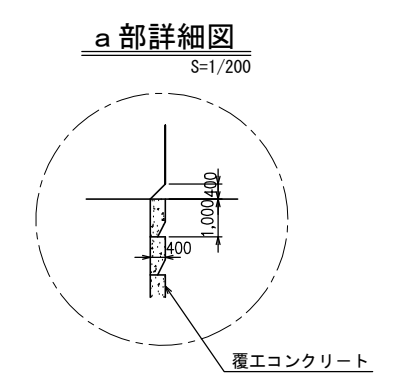


幌延深地層研究計画 地下研究施設整備（第三期）等事業		第 27 号図	
図面名称		東立坑 裏面排水工全体立面図	
1枚の内	その1	縮尺	1/600
承認	設計	号図	作成年月日
整理番号	No.	令和3年9月30日 完工	
日本原子力研究開発機構			

# No.27

西立坑 縦断図 (1)  
S=1/1000

地層名	地山区分 <sup>#1)</sup>	支保パターン	区間長 (m)	深度 (m)	仕上り内径 (m)	吹付コンクリート		覆工コンクリート		ロックボルト	鋼製支保工 <sup>#2)</sup>	掘削方法	区間名称	施工区分		
						厚さ (cm)	f' c k (N/mm <sup>2</sup> )	厚さ (cm)	f' c k (N/mm <sup>2</sup> )						繊維補強	
未固結堆積物 (シルト)	-	-	6.500	GL-6.500	6.500	-	-	-	-	-	-	-	坑口上部			
			DI-1	0.900	GL-7.400	6.500	-	-	40	40	GL-6.500	-	H-150×150 建込間隔=0.30m		ショートステップ工法 (標準) 掘進長1.0m 覆工長1.0m	坑口下部
			DI-2	19.000	GL-25.000	6.500	-	-	40	40	-	H-150×150 建込間隔=0.50m	-			
声周層	CL-M(Hr)	DI-3	10.000	GL-36.000	6.500	-	-	40	40	-	H-125×125 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 (標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	一般部			
			DII-1	10.000	GL-46.000	6.500	-	-	40	24	-	H-125×125 建込間隔=1.00m		-		
声周層	CL-L(Hr)	DII-1(a)	14.000	GL-60.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	一般部			
			30.000	GL-90.000	6.500	-	-	40	40	-	-	ショートステップ工法 (標準) 掘進長1.0m×3 覆工長3.0m				
			45.800	GL-135.800	6.500	15	36	40	40	GL-115.000 増しRB L=2.0m 耐力176.5KN GL-124.000 GL-127.000 増しRB L=2.0m 耐力176.5KN GL-135.800	H-150×150 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 二重支保 (一次支保工+覆工 コンクリート) 掘進長1.0m		接続部		
			4.200	GL-140.000	6.500 ~8.700	15	36	40	40	GL-146.000 増しRB L=2.0m 耐力176.5KN GL-158.000	H-150×150 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 二重支保 (一次支保工+覆工 コンクリート) 掘進長1.0m		接続部		
			20.000	GL-160.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-		-		
	CL-H(Hr)	DIII-1(a)	10.000	GL-170.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	一般部			
			32.000	GL-202.000	6.500	-	-	40	60	増しRB L=3.0m 耐力176.5KN	H-150×150 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 (標準) 掘進長1.0m×3 覆工長3.0m				
			7.000	GL-209.000	6.500	-	-	-	-	-	-	GL-209.000		-		
			18.000	GL-227.000	6.500	-	-	40	60	GL-228.700 L=4.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.147m	H-154×151 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法 (標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m		接続部		
			15.000	GL-242.000	6.500	-	-	40	60	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.147m	H-154×151 建込間隔=1.00m	二重支保 (一次支保工+覆工 コンクリート) 掘進長1.0m		接続部		
CL-H	DIII-2	2.000	GL-244.000	6.500	-	-	-	-	-	-	-	接続部				
		1.800	GL-245.800	6.500	-	-	-	-	-	-	-					
		4.200	GL-250.000	6.500 ~8.700	15	36	40	60	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.194m	H-154×151 建込間隔=1.00m	二重支保 (一次支保工+覆工 コンクリート) 掘進長1.0m					



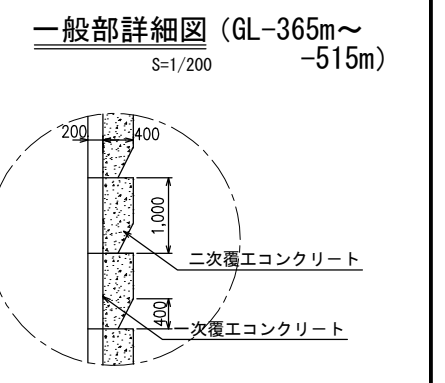
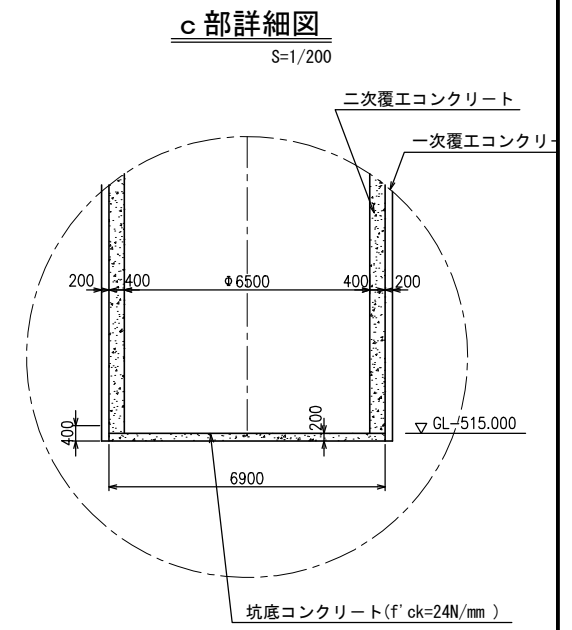
注1) ボーリングコア観察より、ヘアークラックが10m当り10%以上存在する地山区分については (Hr) と表記する。  
注2) 鋼製支保工H-154×151はHT590を使用し、それ以外はSS400を使用する。

No.28

観延深地層研究計画 地下研究施設整備 (第三期) 等事業		第 28 号図
西立坑 縦断図 (1)		
2枚の内 第 1 号	縮尺	図示
承認	設計	号図
整理番号	No.	作成年月日
		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構		

西立坑 縦断図 (2)  
S=1/1000

地層名	地山区分 <sup>#1)</sup>	支保パターン	区間長 (m)	深度 (m)	仕上り内径 (m)	吹付コンクリート		覆工コンクリート		ロックボルト	鋼製支保工 <sup>#2)</sup>	掘削方法	区間名称	施工区分											
						厚さ (c.m)	f'ck (N/mm <sup>2</sup> )	厚さ (c.m)	f'ck (N/mm <sup>2</sup> )						繊維補強										
声間層	CL-H	DII-2	16.000	GL-266.000	6.500	-	-	40	-	増しRB L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.194m	H-154×151 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m	一般部	当 該 工 事											
			44.000	GL-310.000				50																	
		DIIIα-3(500)	3.000	GL-313.000	6.500	-	-	60	-	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.194m	H-154×151 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) 掘進長1.0m×1 覆工長1.0m													
			13.000	GL-326.000				40																	
		DIIIα-3	10.000	GL-336.000	6.500	-	-	40	-	増しRB L=3.0m 耐力176.5KN GL 327.000	H-150×150 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m													
			7.900	GL-343.900				60																	
		DIIIα-3	1.800	GL-345.800	6.500	-	-	60	-	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.147m	H-154×151 建込間隔=1.00m	三重支保(一次支保工+覆工 コンクリート)掘進長1.0m 掘進長1.0m×2 覆工長2.0m GL-354.000													
			4.200	GL-350.000				60																	
		DIIIα-5I	6.500 ~8.700	GL-350.000	6.500 ~8.700	-	-	40	-	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.194m	H-154×151 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) 掘進長1.0m×1 覆工長1.0m													
			10.000	GL-360.000				60																	
DIIIα-4	5.000	GL-365.000	6.500	-	-	40	-	-	H-154×151 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) 掘進長1.0m×1 覆工長1.0m															
	10.000	GL-360.000				60																			
稚内層	CM-H(Hr)	DIIIα-3	5.000	GL-365.000	6.500	-	-	60	60	-	HH-154×151 建込間隔=1.00m	ショートステップ工法(標準) 掘進長1.0m 覆工長1.0m	一般部	当 該 工 事											
			115.800	GL-495.800											6.500 ~8.700	15	36	60	60	-	-	-	接続部		
			4.200	GL-500.000																				60	60
			DIIIα-1	15.000											GL-515.000	6.500	-	-	60	60	-	L=3.0m 耐力176.5KN 延長方向間隔=1.0m 周方向間隔=1.210m	HH-154×151 建込間隔=1.00m		
				15.000											GL-515.000									60	60

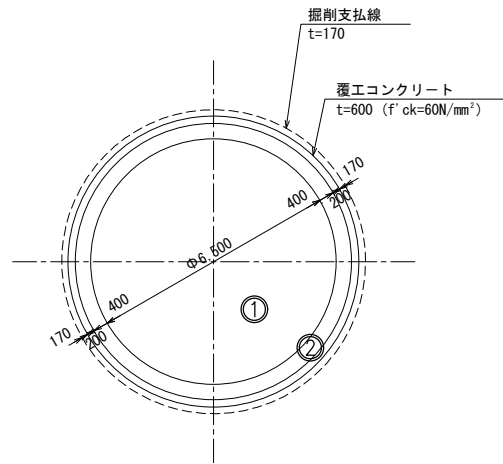


注1) ボーリングコア観察より、ヘアークラックが10m当り10%以上存在する地山区分については(Hr)と表記する。  
注2) 鋼製支保工H-154×151はHT590を使用し、それ以外はSS400を使用する。

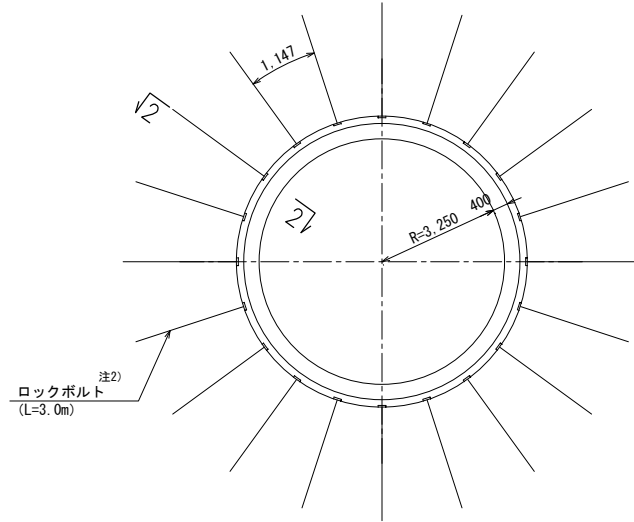
No.29

西立坑 一般部標準断面図・支保工パターン図  
(DIV-1)

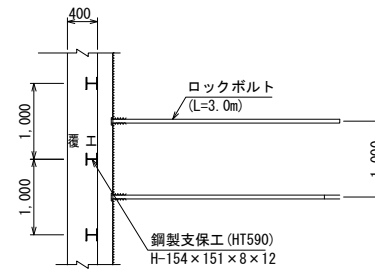
標準断面図(DIV-1)  
S=1/200



支保パターン図(DIV-1)  
S=1/200



1-1 断面図  
S=1/100



数量表

名称	掘削 (m³/m)		一次覆工 (m³/m)		二次覆工 (m³/m)		吹付コンクリート (m³/m)
	設計	支払	設計	支払	設計	支払	
① 全断面掘削	46.566	50.769	-	-	-	-	-
② 覆工	-	-	4.712	8.916	8.671	8.671	-
合計	46.566	50.769	4.712	8.916	8.671	8.671	-

諸元表

ロックボルト			鋼製支保工	一次覆工厚 (cm)	二次覆工厚 (cm)	金網	変形余裕量 (cm)
長さ (m)	周方向 (m)	延長方向 (m)					
3.000	1.147	1.000	H-154x151x8x12	20	40	全周	-

ロックボルト材料表 (1.0m当り)

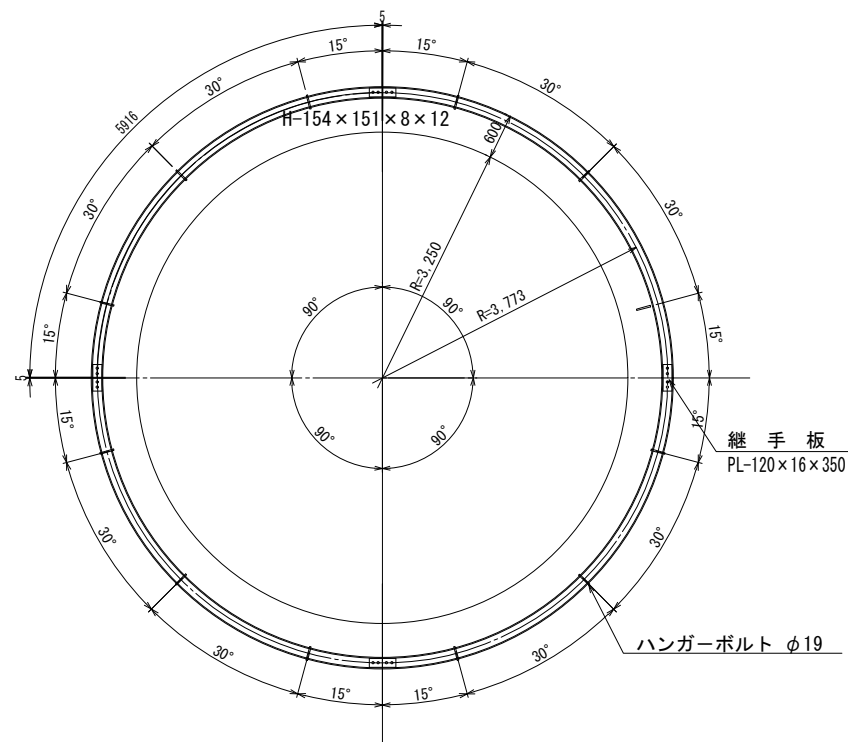
名称	形状寸法	規格	単位	数量	摘要
ロックボルト	L=3000	耐力176.5KN	本	20	-
座金	150x150x9	SS400	枚	20	-
ナット	-	M24	個	20	-

規延深地層研究計画		第 30 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業		西立坑 一般部	
図面名称		標準断面図・支保工パターン図 (DIV-1)	
1枚の内	その1	縮尺	図示
承認	設計	号	作成年月日
整理番号	No.	令和3年9月30日 完工	
日本原子力研究開発機構			

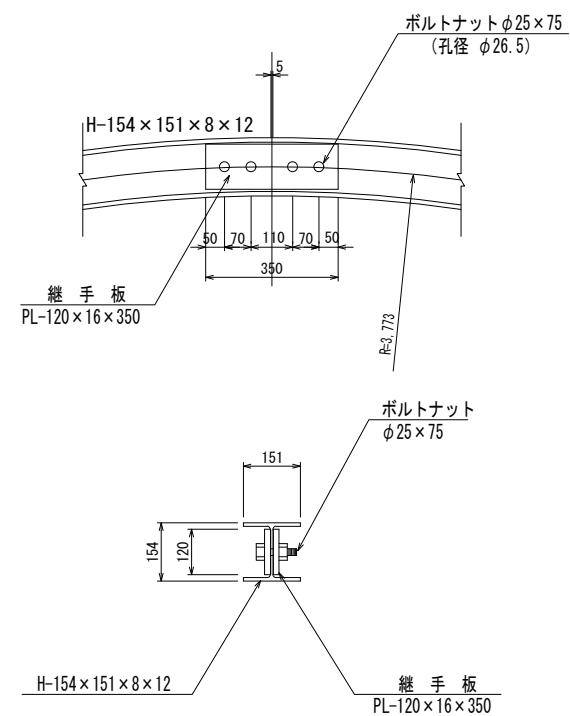
No.30

西立坑 一般部 鋼製支保工図  
(DIV-1)

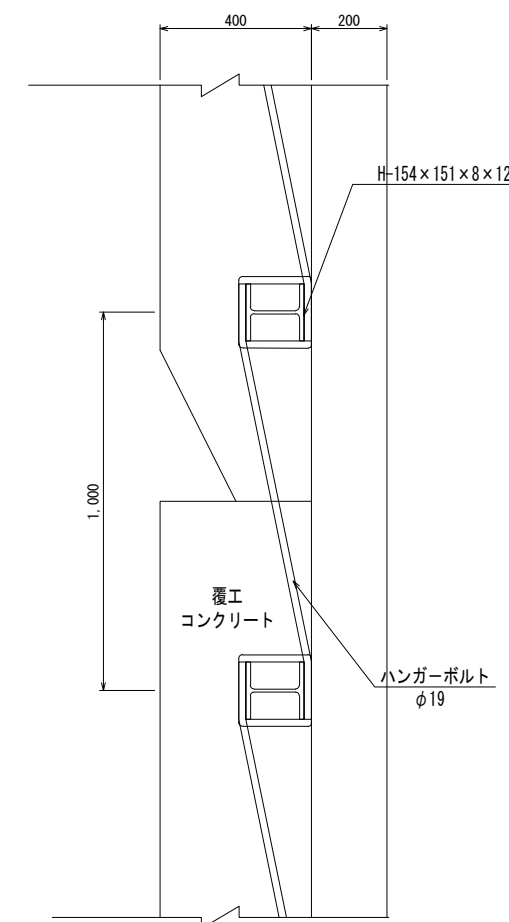
鋼製支保 平面図  
S=1/100



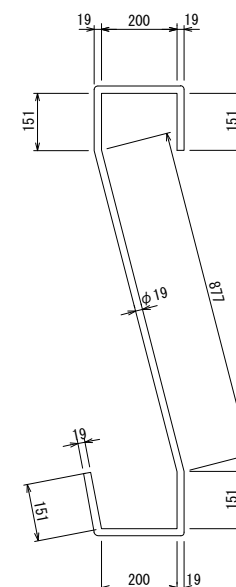
継手板 詳細図  
S=1/20



鋼製支保 建込図  
S=1/20



ハンガーボルト 詳細図  
S=1/20



材料表 (1基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	単位重量	重量	摘要
H型钢	H-154×151×8×12 L=5,916	kg	4	219	876	37.0kg/m HTS90
継手板	PL-120×16×350	kg	8	5.28	42	
ボルトナット	φ25×75	kg	16	0.621	10	
ハンガーボルト	φ19×1,960	kg	12	4.37	52	2.23kg/m
合計				鋼材	980kg	

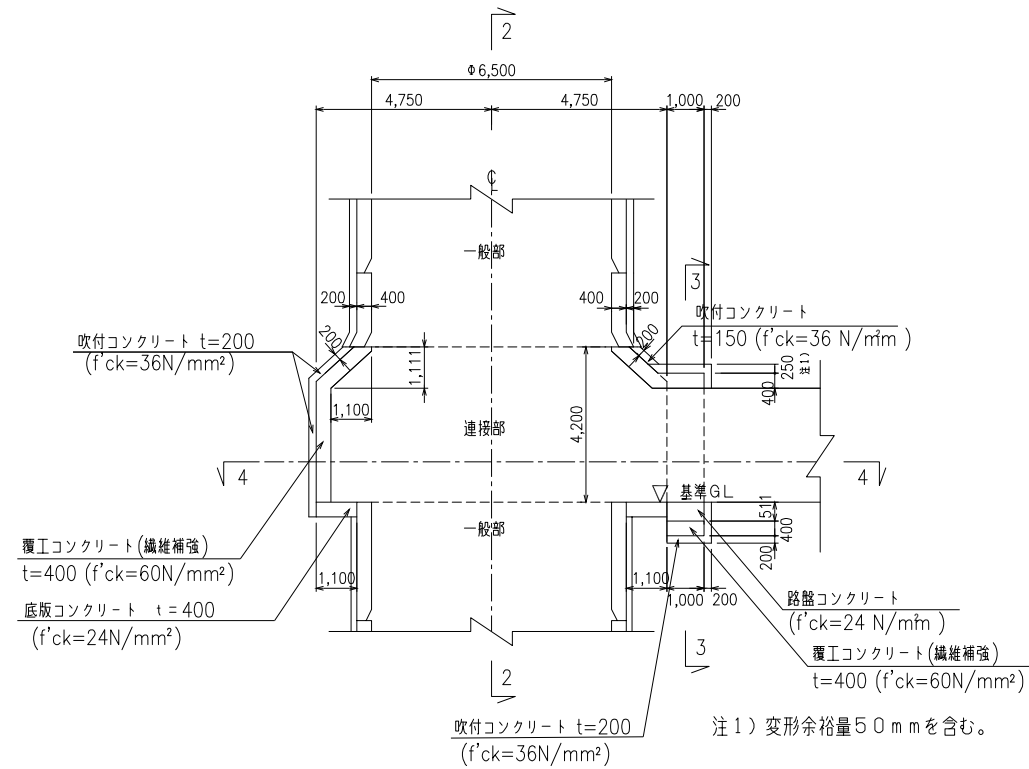
No.31

幌延深地層研究計画 地下研究施設整備(第三期)等事業		第 31 号図	
西立坑 一般部 鋼製支保工図(DIV-1)			
図面名称	1枚の内 その1	縮尺	図示
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

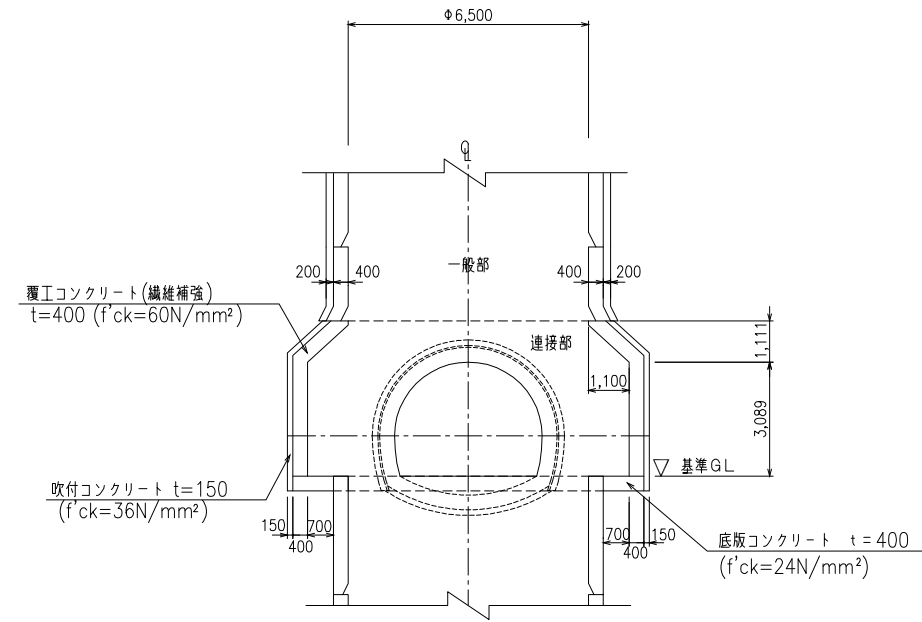


西立坑 接続部 構造図  
(GL-420, -500m)

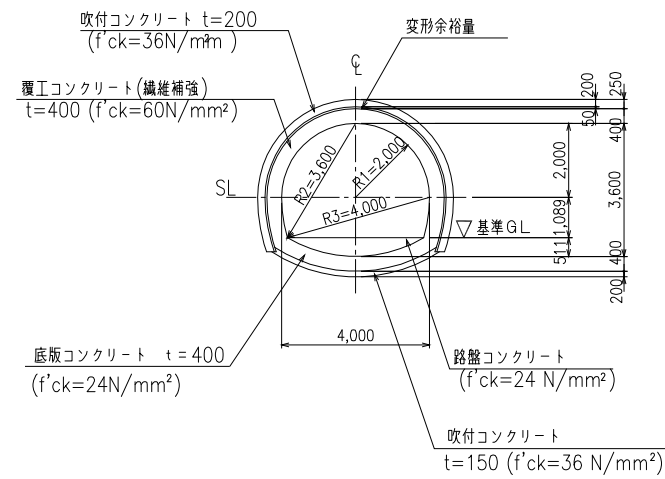
1-1 断面図



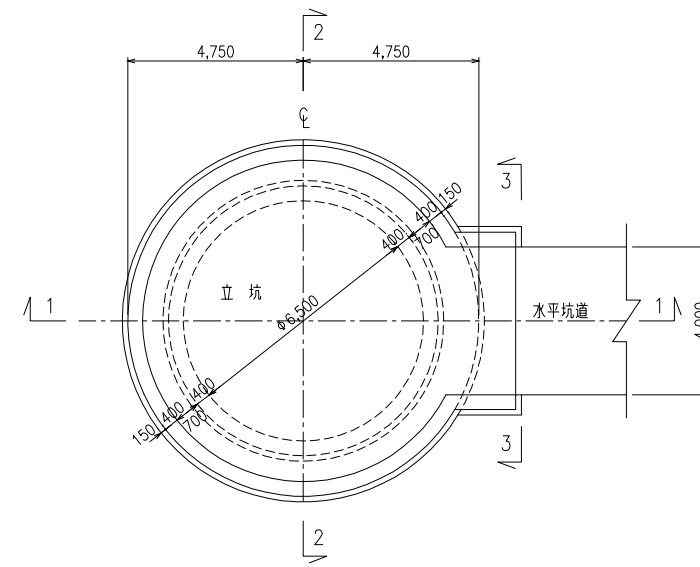
2-2 断面図



3-3 断面図



4-4 平面図

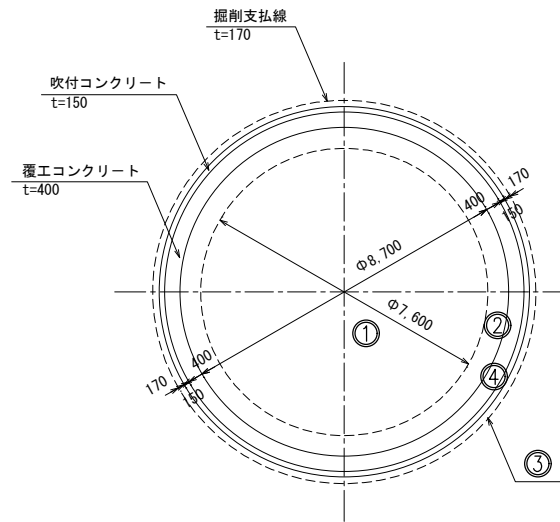


横延深地層研究計画		第 32 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	西立坑 接続部 構造図 (GL-420, -500m)		
1 枚の内	その 1	縮尺	1/200
承	認	設計	写図
作成年月日			
整理番号	No.	令和 3 年 8 月 30 日 竣工	
日本原子力研究開発機構			

No.32

西立坑 接続部 標準断面図  
(DIVa-1)

標準断面図 (DIVa-1)



数量表

名称	掘削 (m <sup>3</sup> /m)		覆工 (m <sup>3</sup> /m)		吹付コンクリート (m <sup>2</sup> /m)	
	設計	支払	設計	支払	設計	支払
① 中央部	46.566	46.566	-	-	-	-
② 周辺部	35.147	40.685	-	-	-	-
③ 吹付コンクリート	-	-	-	-	一次 6.095	一次 9.236
	-	-	-	-	二次 11.435	二次 11.435
④ 覆工コンクリート	-	-	11.435	14.451	-	-
合計	81.713	87.251	11.435	14.451	17.530	20.671

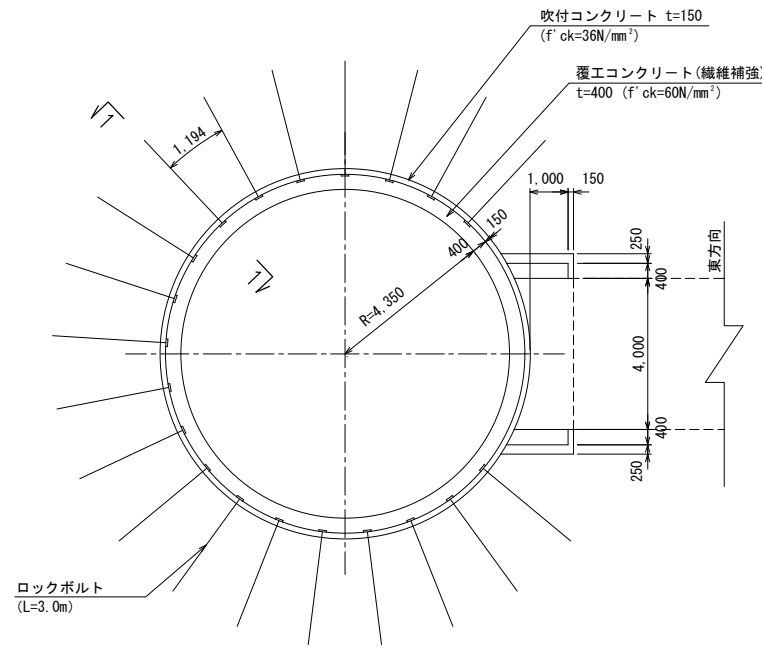
No.33

幌延深地層研究計画		第 33 号図	
地下研究施設整備 (第Ⅲ期) 等事業			
図面名称	西立坑 接続部 標準断面図 (DIVa-1)		
1 枚の内	その 1	縮尺	1/100
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.	令和 3 年 9 月 30 日 完工	
日本原子力研究開発機構			

西立坑 接続部 支保工パターン図

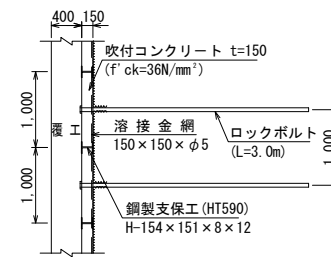
支保パターン図(DIVa-1)

S=1/200



1-1 断面図

S=1/100



諸元表

ロックボルト			鋼製支保工	覆工厚 (cm)	金網	変形余裕量 (cm)
長さ (m)	周方向 (m)	延長方向 (m)				
3.000	1.194	1.000	H-154x151x8x12	40	全周	-

吹付・ロックボルト材料表

(1箇所当り)

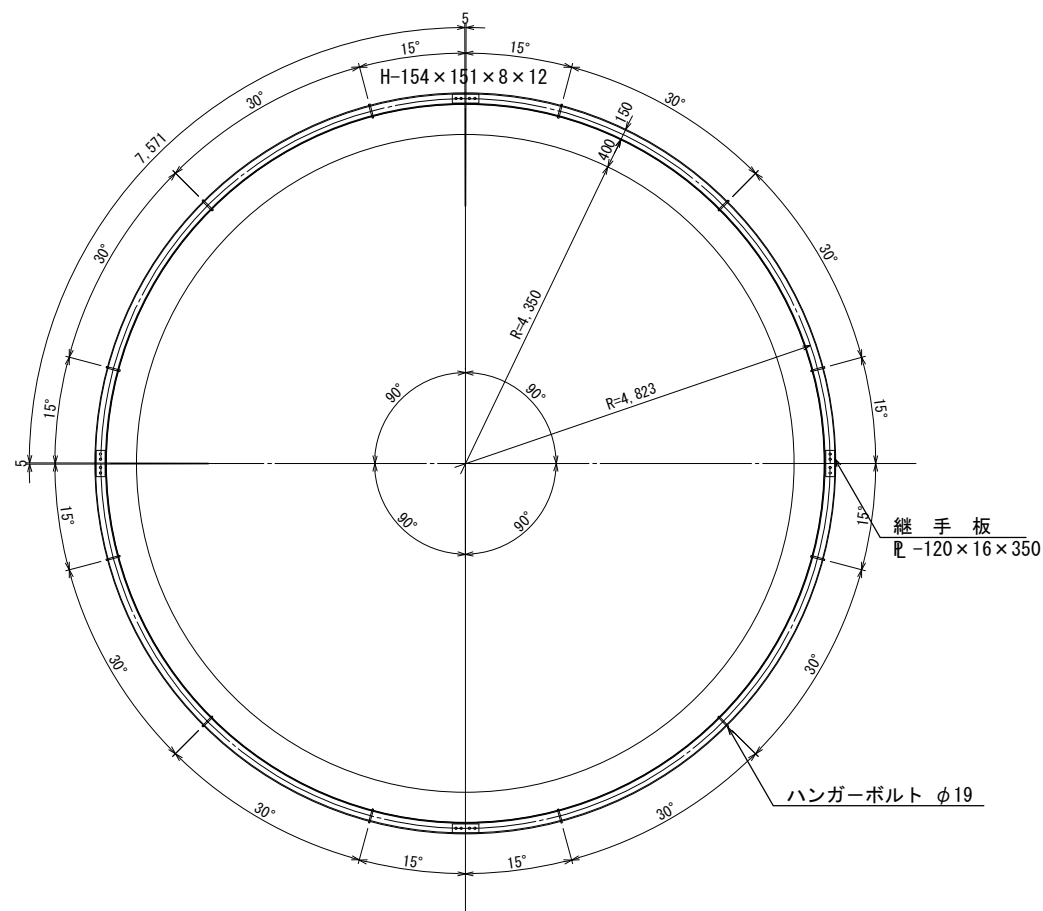
名称	形状寸法	規格	単位	数量	摘要
ロックボルト	L=3000	耐力 176.5KM	本	97	
FRPボルト	L=3000		本	25	
座金	150x150x9	SS400	枚	122	
ナット	-	M24	個	122	
金網	150x150xφ5	JISC 3551	m <sup>2</sup>	149.477	
吹付コンクリート	t=150	36N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	30.788	

幌延深地層研究計画 地下研究施設整備(第三期)等事業		第 90 号図	
図面名称 西立坑 接続部 支保工パターン図 (DIVa-1)		縮尺 図示	
1枚の内	その1	縮尺	図示
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和 年 月 日 完工
日本原子力研究開発機構			

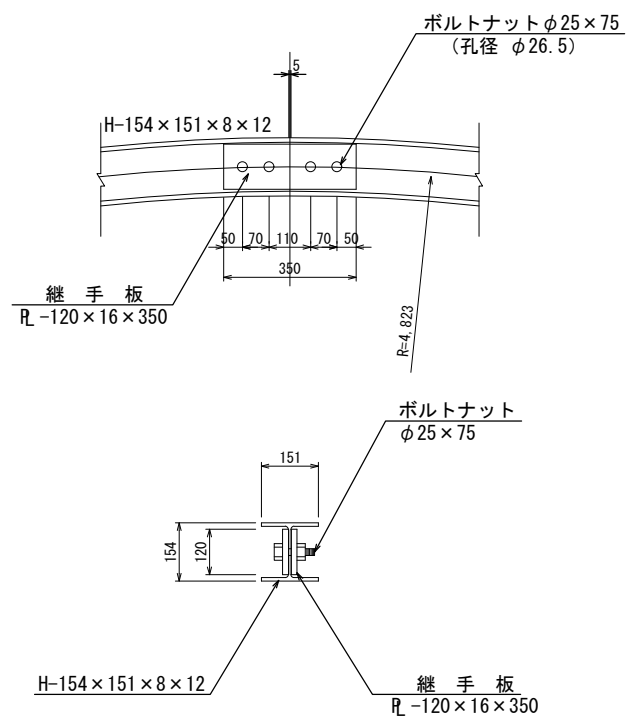
No.34

西立坑 接続部 鋼製支保工図  
(DIV a - I)

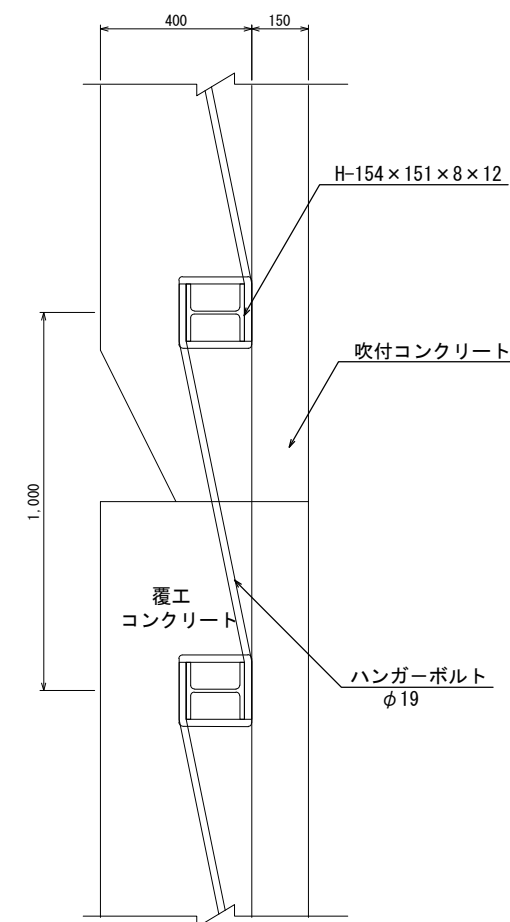
鋼製支保 平面図  
S=1/100



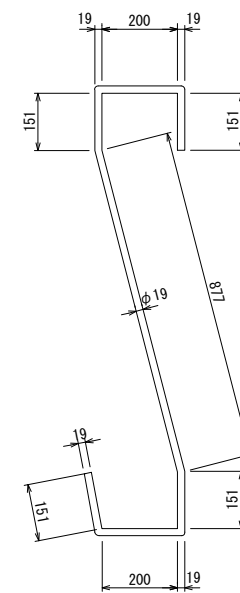
継手板詳細図  
S=1/20



鋼製支保 建込図  
S=1/20



ハンガーボルト詳細図  
S=1/20



材料表 (1基当り)

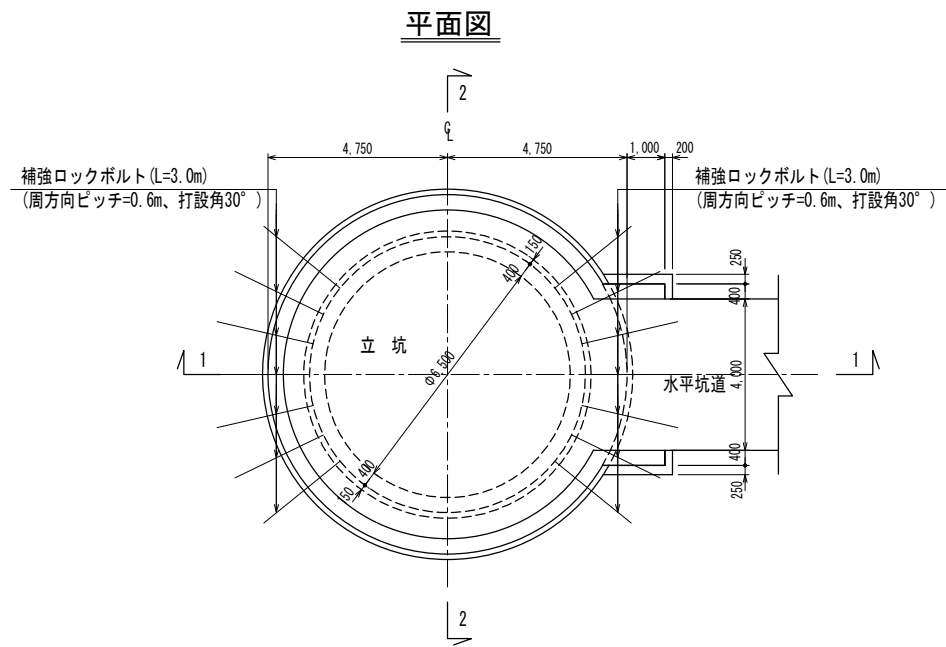
名称	形状寸法	単位	数量	単位重量	重量	換算
H型钢	H-154x151x8x12 L=7,571	kg	4	280	1120	37.0kg/m HT590
継手板	R-120x16x350	kg	8	5.28	42	
ボルトナット	φ25x75	kg	16	0.621	10	
ハンガーボルト	φ19x1,960	kg	12	4.37	52	2.23kg/m
合計				鋼材	1,224kg	

No.35

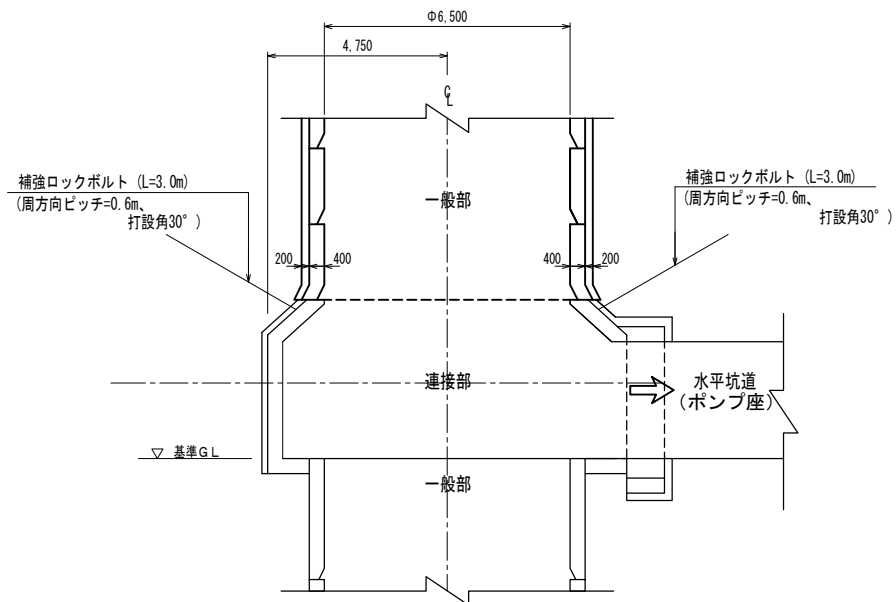
幌延深地層研究計画 地下研究施設整備（第三期）等事業		第 35 号図	
図面名称 西立坑 接続部 鋼製支保工図 (DIV a - I)		縮尺 図示	
1枚の内 その1		作成年月日	
承認	設計	写図	令和3年9月30日 完工
整理番号	No.		
日本原子力研究開発機構			

西立坑 接続部 補強ボルト図・鋼製支保工補強工図  
(GL-420, -500m)

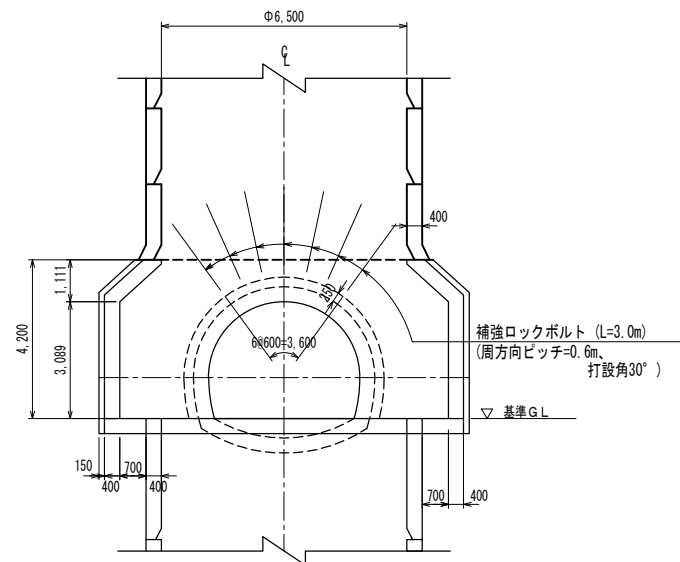
補強ボルト図



1-1 断面図

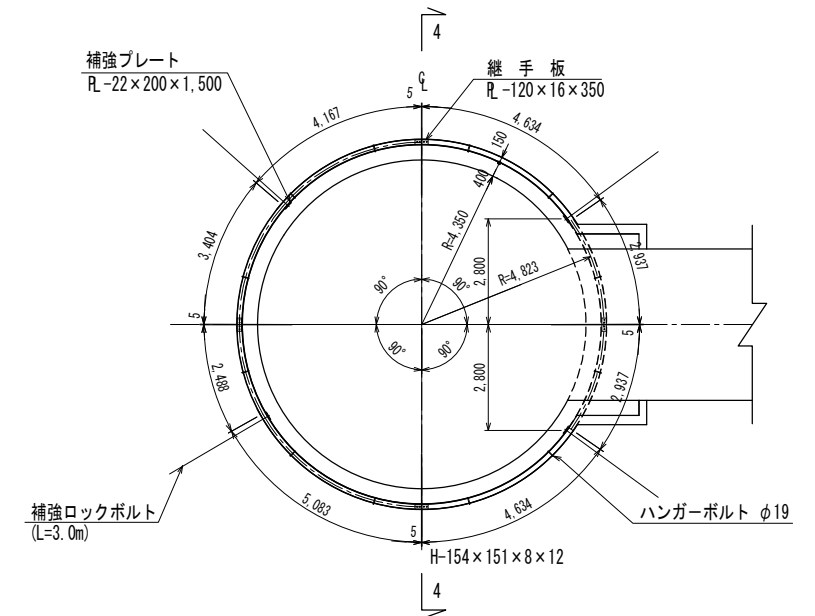


2-2 断面図

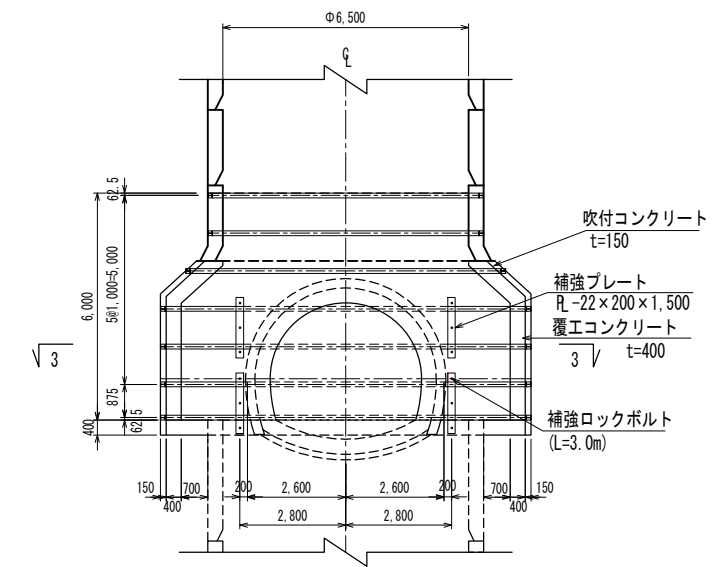


鋼製支保工補強工図

3-3 平面図



4-4 断面図



補強工材料表 (1箇所当たり)

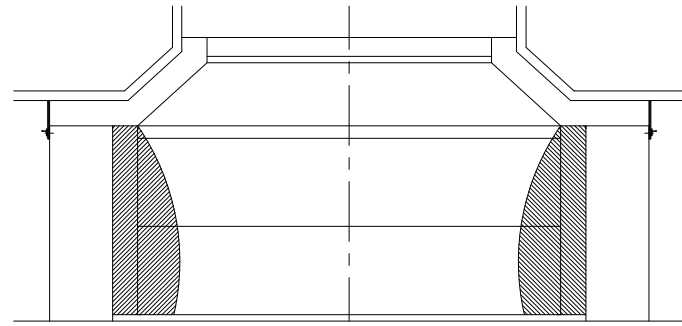
名称	形状寸法	単位	数量	単位重量	重量	概要
補強プレート	R-22×200×1,500	枚	4	51.8	207	34.5 kg/m
ロックボルト	L=3,000	本	7	—	—	176.5KN
座金	150×150×9	枚	7	—	—	SS400
ナット		個	7	—	—	M24

No.36

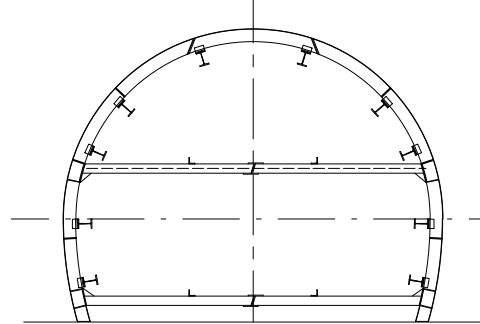
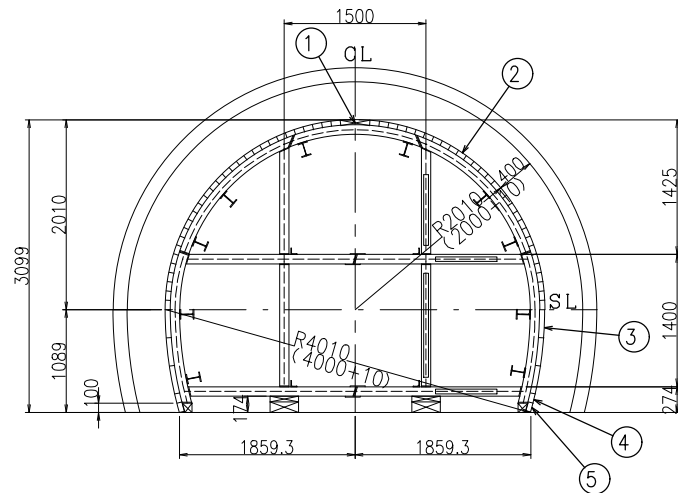
幌延深地層研究計画		第 36 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	西立坑 接続部 補強ボルト図・鋼製支保工補強工図 (GL-420m, -500m)	縮尺	1/200
1枚の内	その1	縮尺	1/200
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

西立坑 連続部 覆工型枠工図

本セメントルに於けるコンクリート打設の設計条件			
コンクリート温度 15°C			
打設速度	1.00 m/Hr	側圧	0.03 N/mm <sup>2</sup>
コンクリート温度 10°C			
打設速度	0.85 m/Hr	側圧	0.03 N/mm <sup>2</sup>

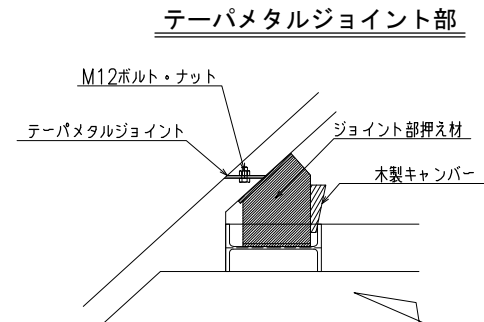


水平坑道断面

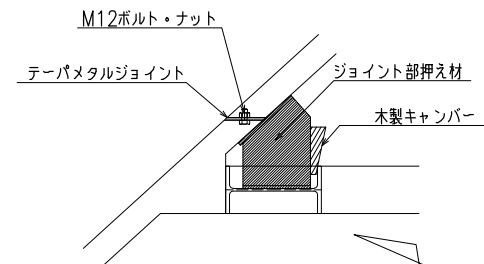


使用部品表

番号	名称	数量	備考
水平坑道型枠 (左右2番分)			
1	天端吹抜フォーム	2x1 枚	L=1000
2	メタルフォーム	2x60 枚	T=1010
3	メタルフォーム	2x6 枚	T=3010
4	特殊フォーム	2x2 枚	L=1000
5	特殊フォーム	2x2 枚	L=1000
6	裏板止め金具	2x1 式	矢板式 Ls=65x65x6
7	ウレタン製ハンチ	2x1 式	
連続掘削部型枠			
7	特殊コーナー付吹抜フォーム	1 組	L=1510 (上下分割) (09-0178断作)
8	吹抜フォーム	2 枚	L=1500
9	特殊コーナー付フォーム	90 組	巾=300 L=1510 (上下分割) (09-0178断作) デミーボルト取付部=228x
10	メタルフォーム	140 枚	T=3015
11	検査窓付フォーム	16 枚	6015 450x450 片寄り型
12	支持ピン		φ50ピン
13	底部ライナー	1 式	巾=200
14	バタ角受け	1 式	巾=150
15	Wφ7/8用タミーボルト	22 本	穴埋め金具付 (09-0178断作) アイナット 8ヶ付
16	鋼製キャンバー	100 ヶ	チェーン無

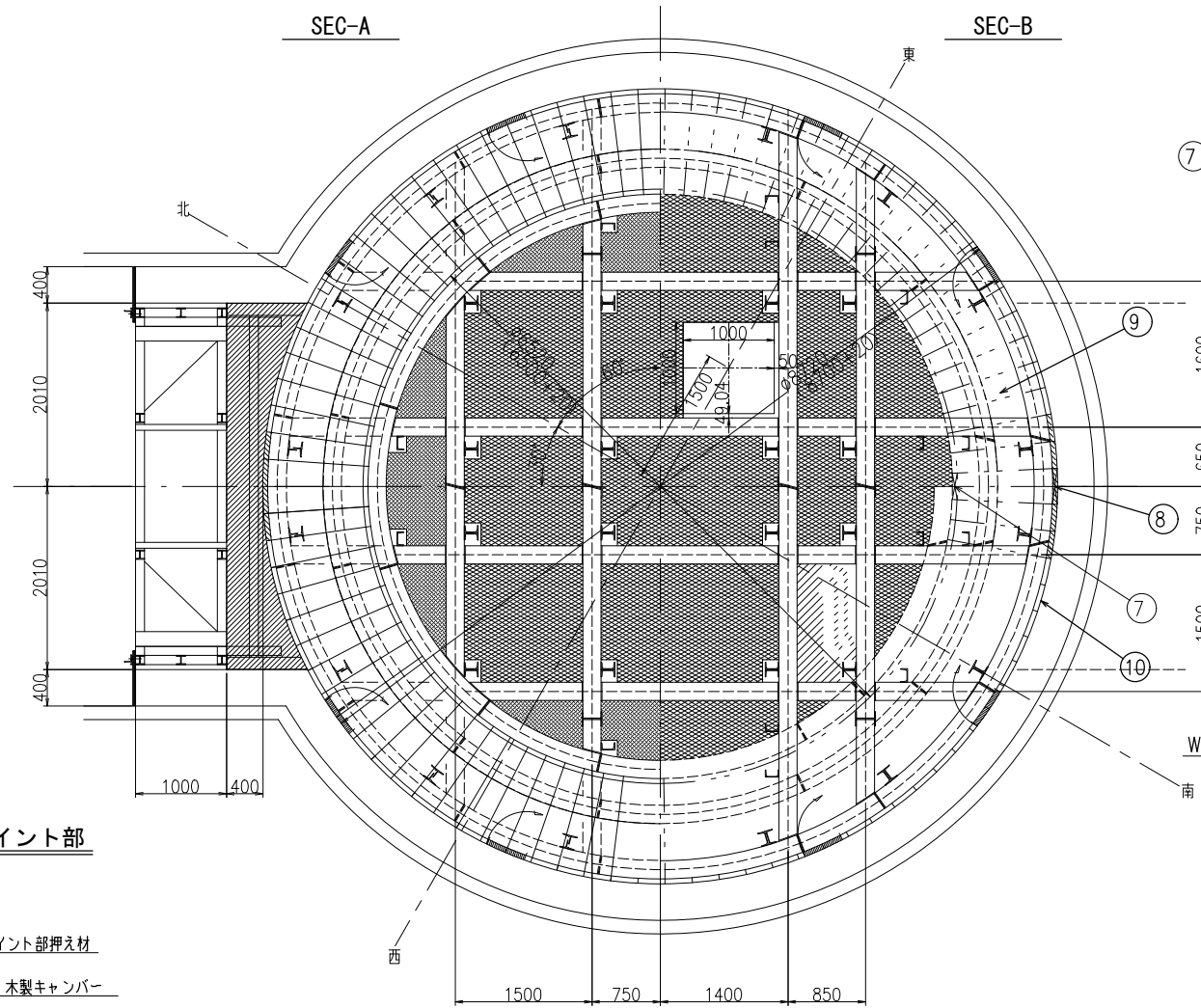


テーパメタルジョイント部

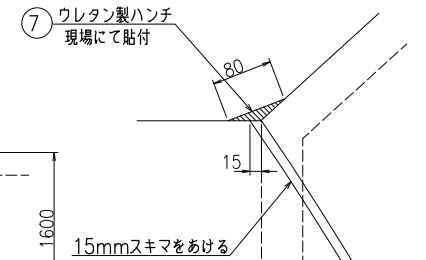


メタル開口部 メタルずれ止め取付

横坑取合部下のインバートコンクリート

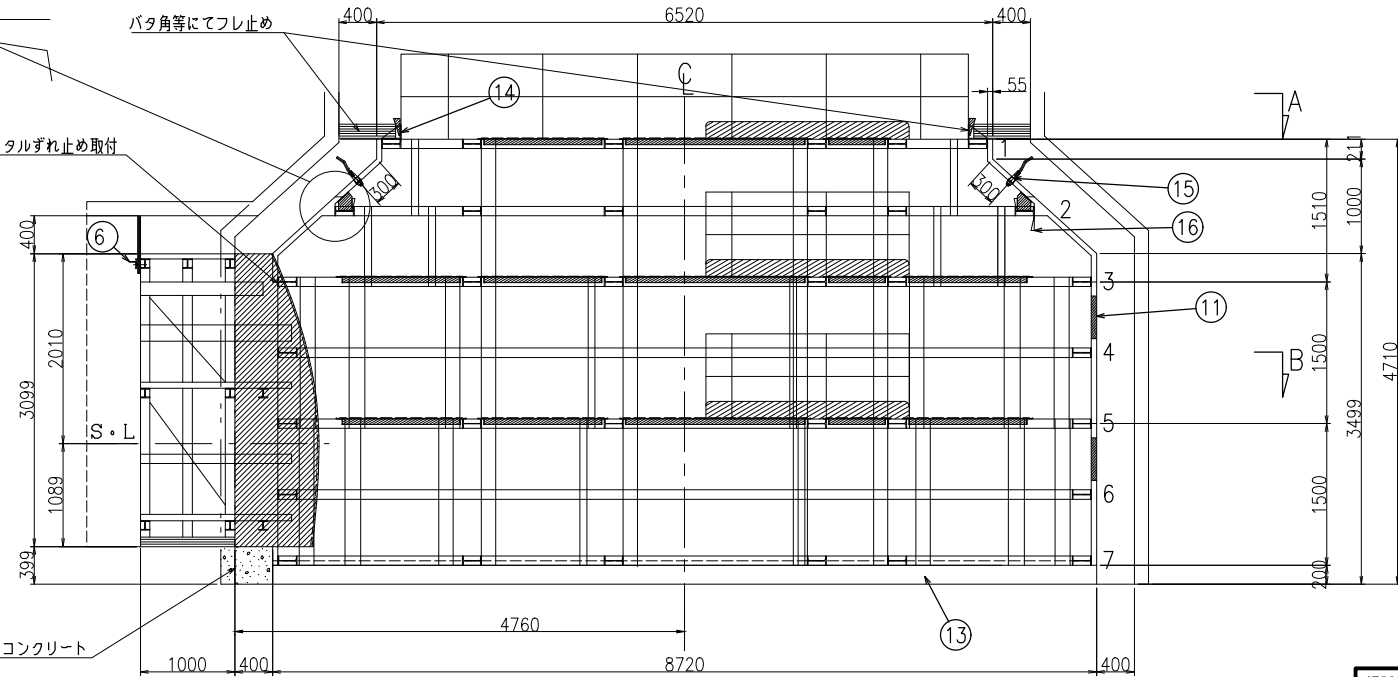
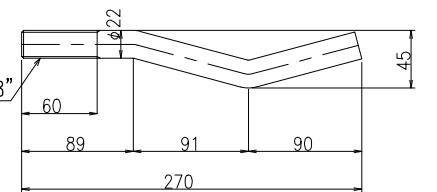


C部詳細 (ハンチ部)



アンカー詳細

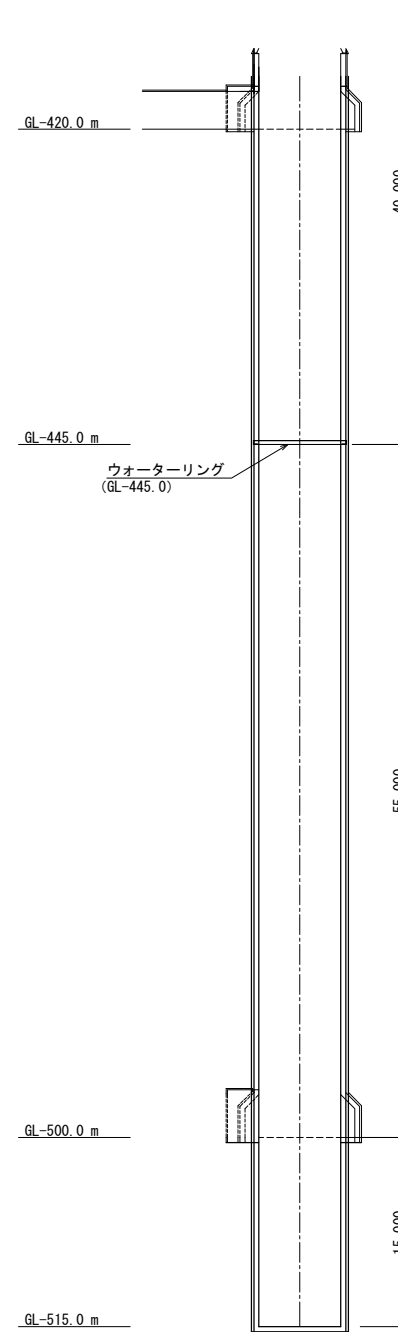
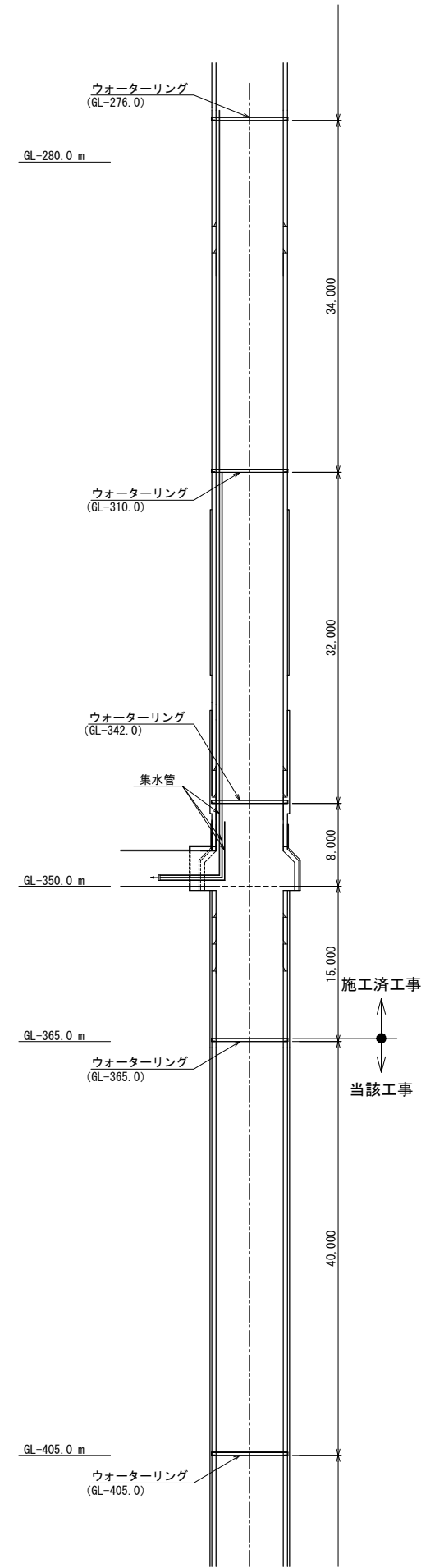
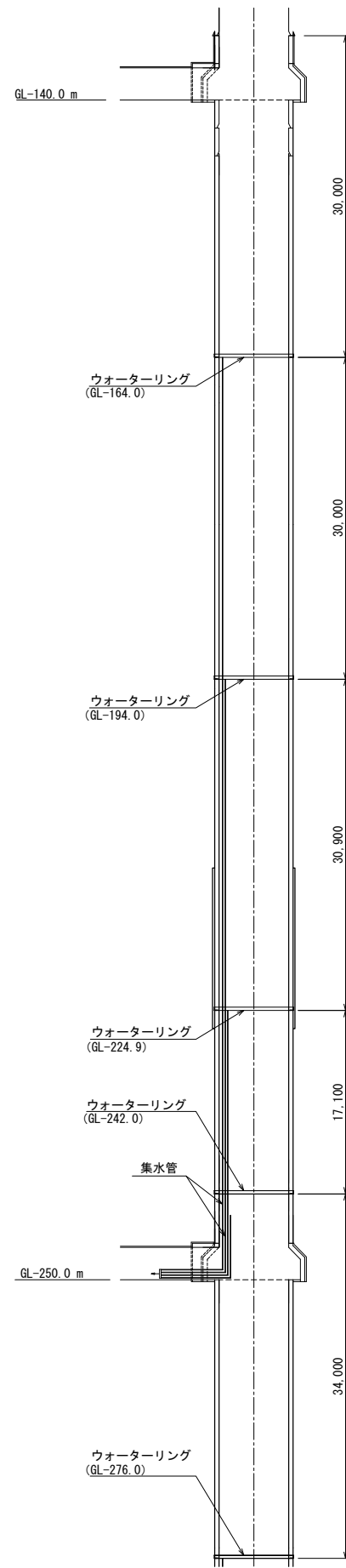
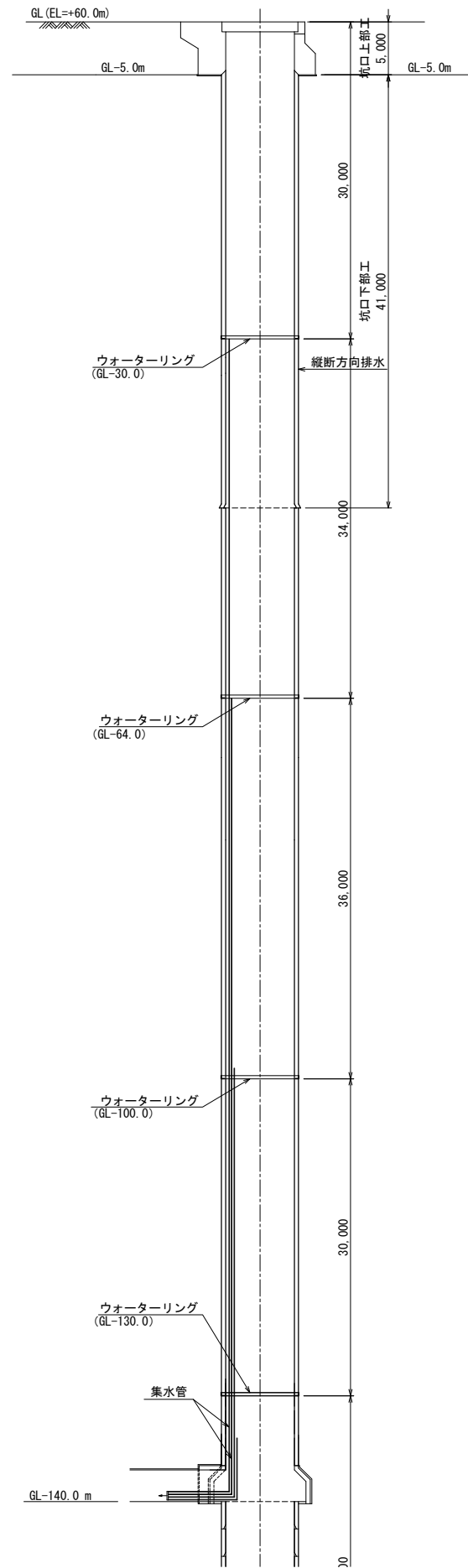
アンカーボルトは現場にて手配下さい



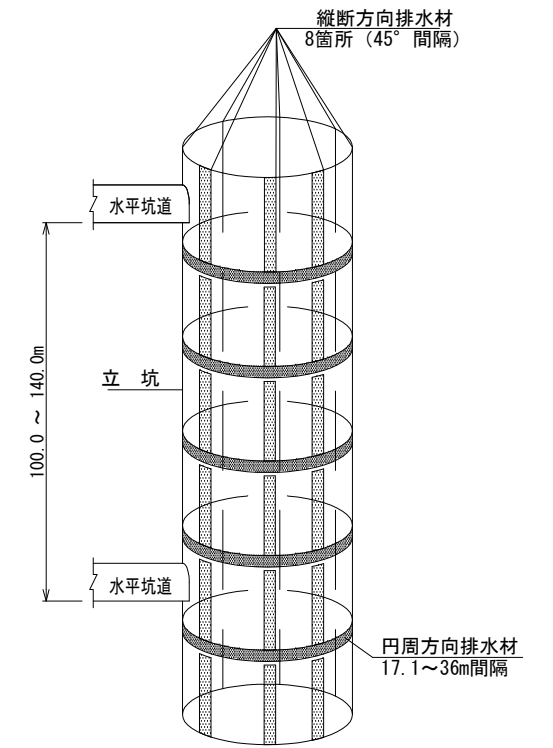
幌延深地層研究計画		第 37 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業		西立坑	
図面名称		連続部 覆工型枠工図	
1 枚の内	その 1	縮尺	1/80
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.	令和 3 年 9 月 30 日 完工	
日本原子力研究開発機構			

No.37

西立坑 裏面排水工全体立面図



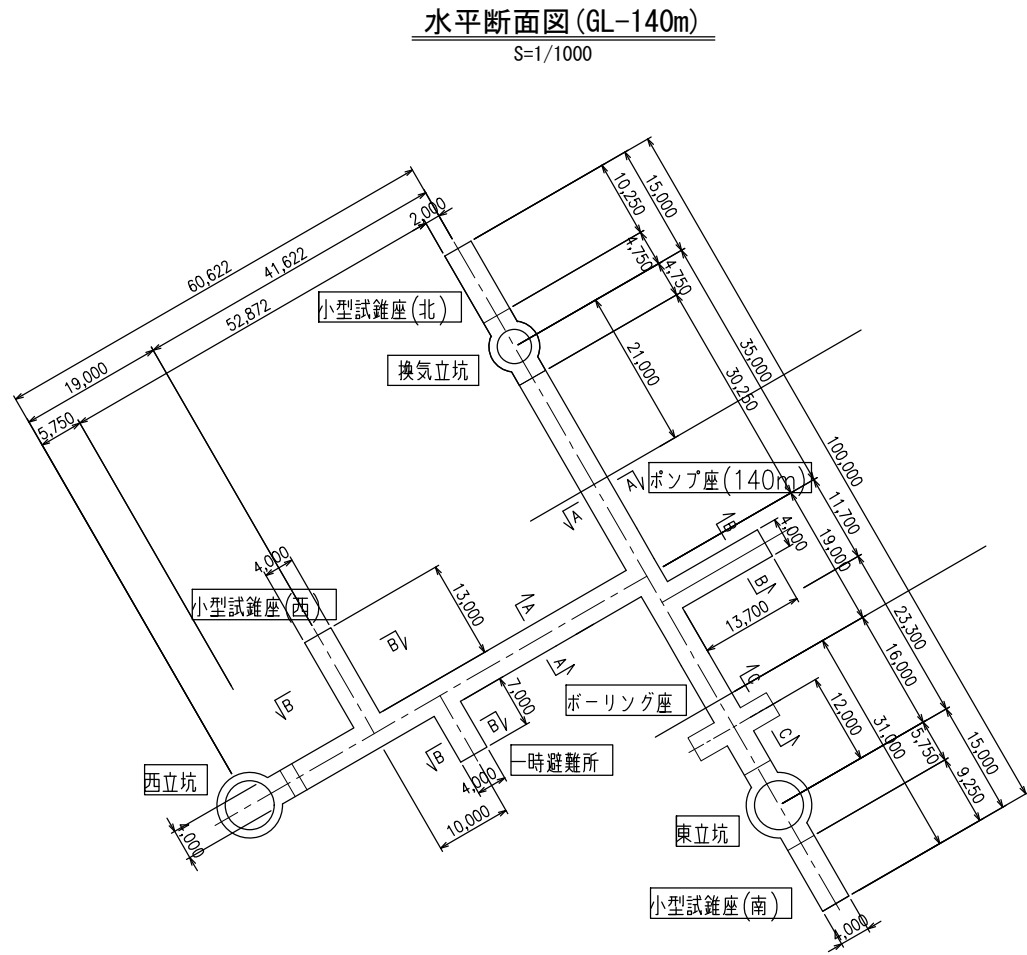
排水材概念図



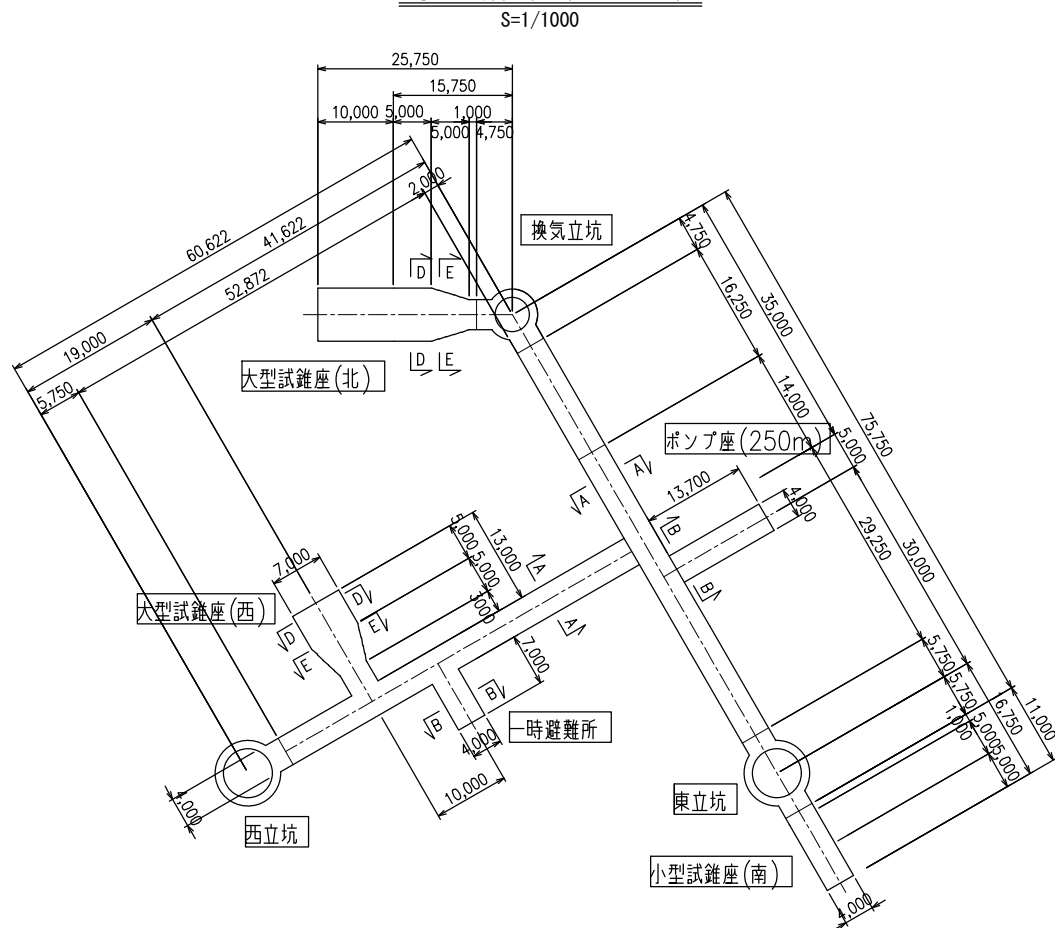
幌延深地層研究計画		第 38 号図	
地下研究施設整備 (第Ⅲ期) 等事業		西立坑	
図面名称		裏面排水工全体立面図	
1 枚の内	その 1	縮尺	1/600
承	認	設	計
承	認	設	計
承	認	設	計
整理番号	No.	作成年月日	令和 3 年 9 月 30 日 完工
日本原子力研究開発機構			

No.38

水平坑道断面図 (GL-140m)

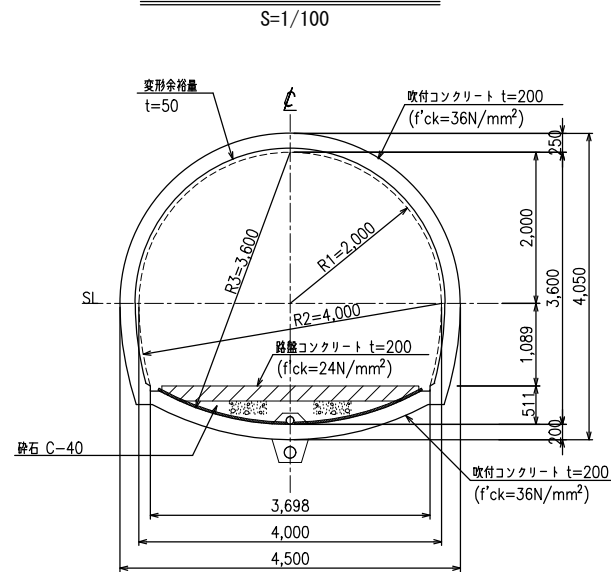


水平断面図 (GL-250m)

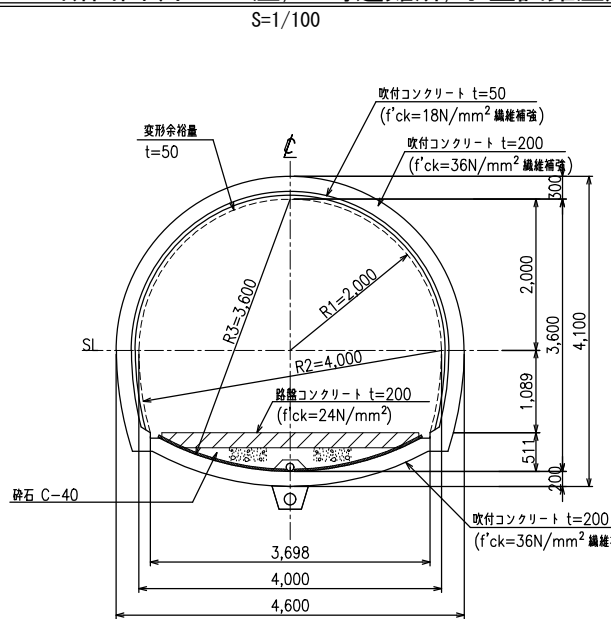


注)水平断面図は、坑道のSLレベルで表記している

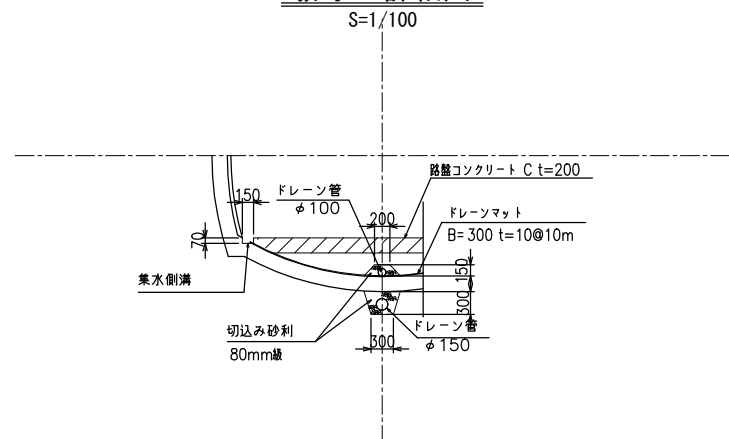
A - A 断面図 (一般部)



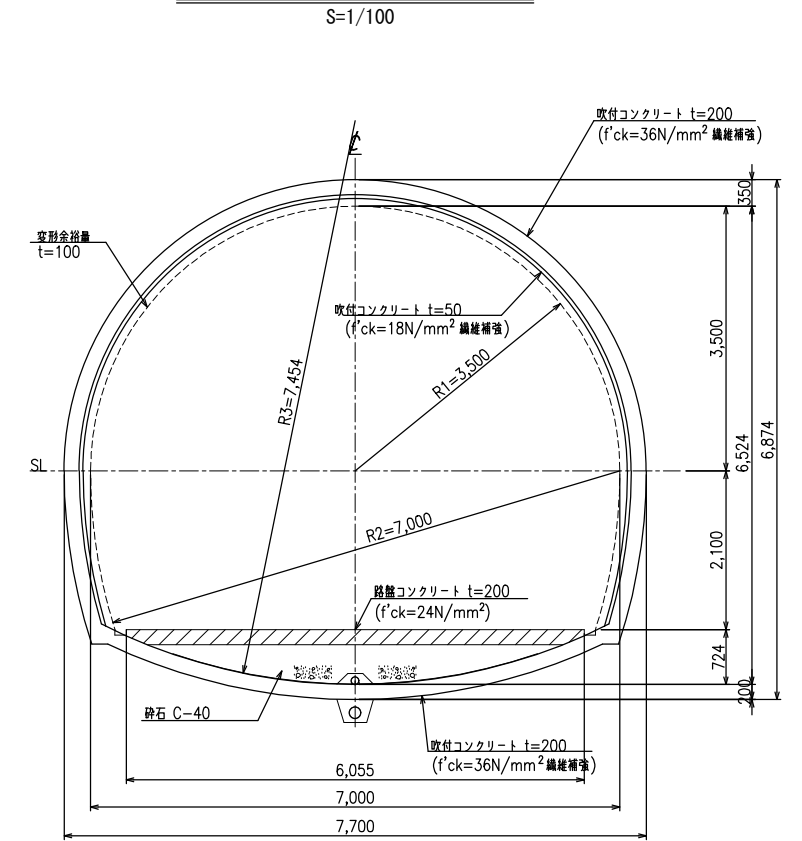
B - B 断面図 (ポンプ座, 一時避難所, 小型試錐座)



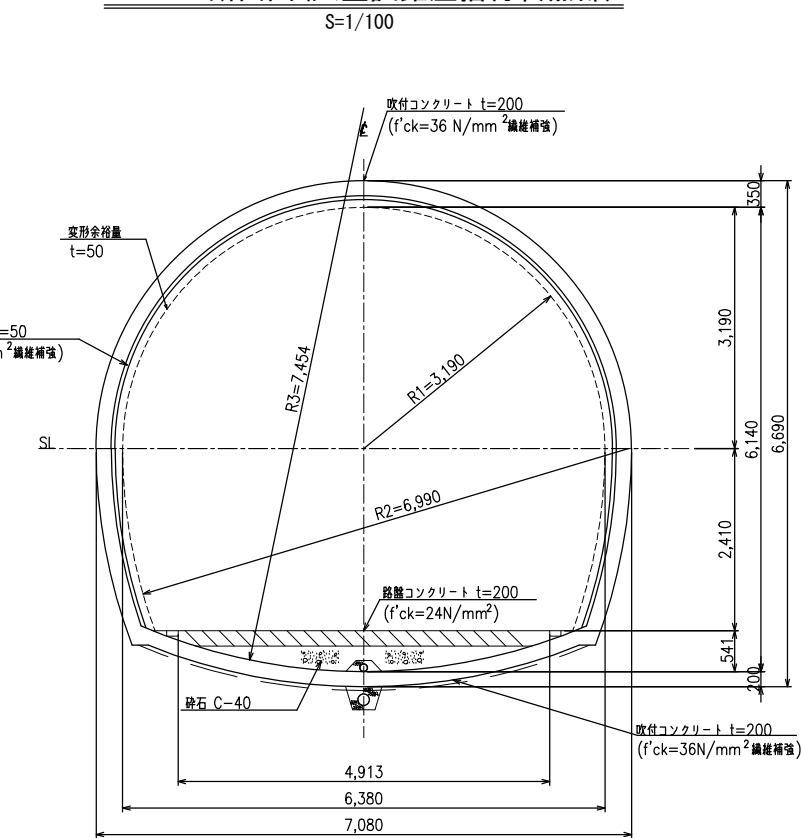
排水工詳細図



D - D 断面図 (大型試錐座)



E - E 断面図 (大型試錐座摺付終点部)



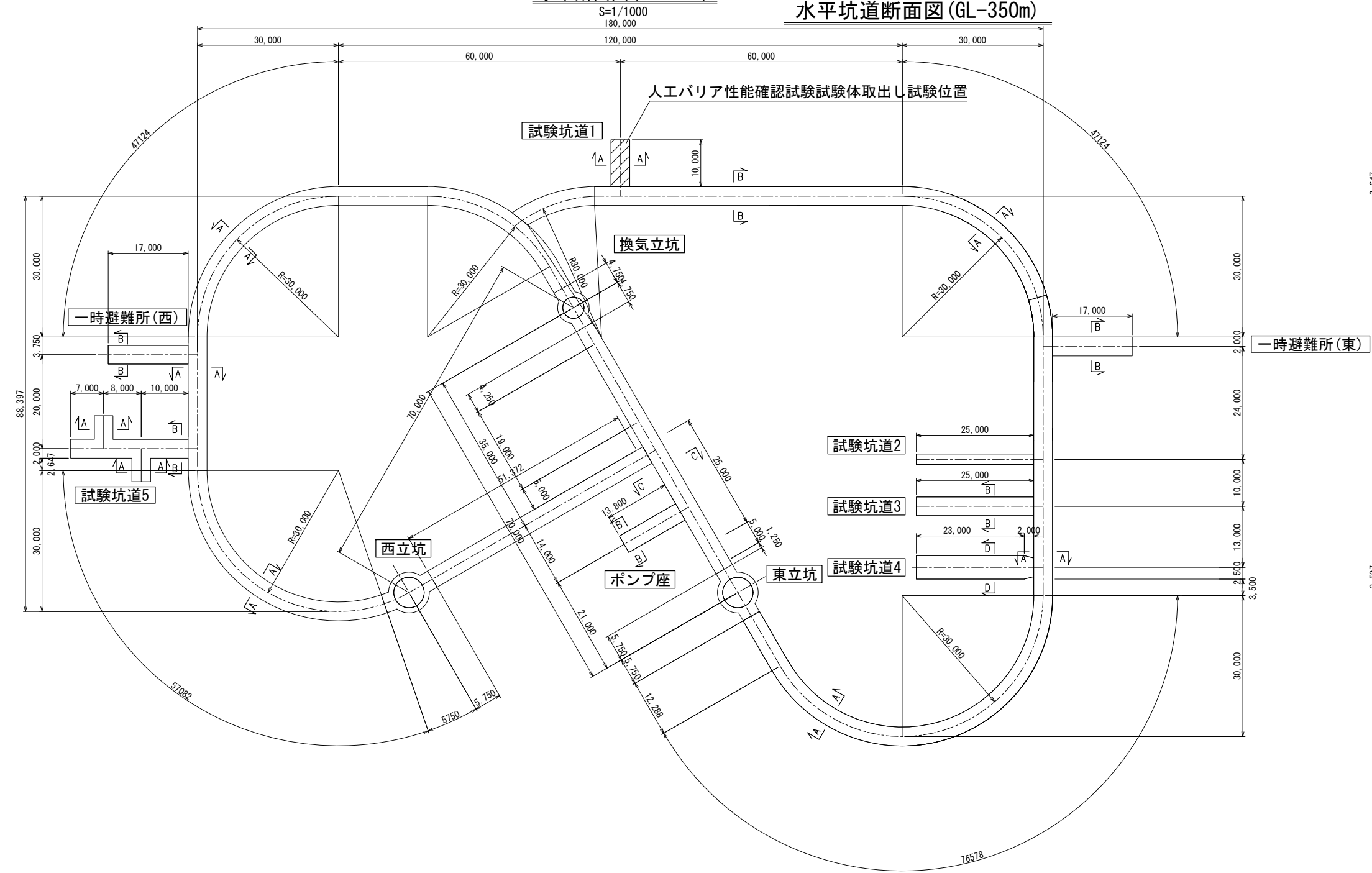
桃延深地層研究計画		第 39 号図	
地下研究施設整備 (第Ⅲ期) 等事業		水平坑道断面図 (GL-140m・250m)	
図面名称	1 枚の内	縮尺	図示
承 認 設 計 写 図	承 認 設 計 写 図	縮尺	図示
整理番号	No.	作成年月日	令和 3 年 9 月 30 日 完工
日本原子力研究開発機構			

No.39

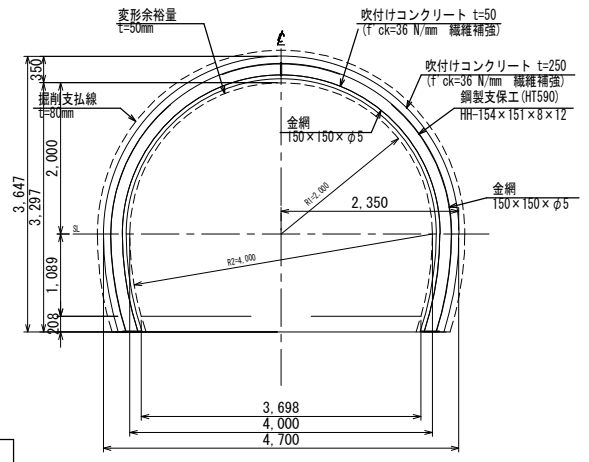


水平断面図 (GL-350m)

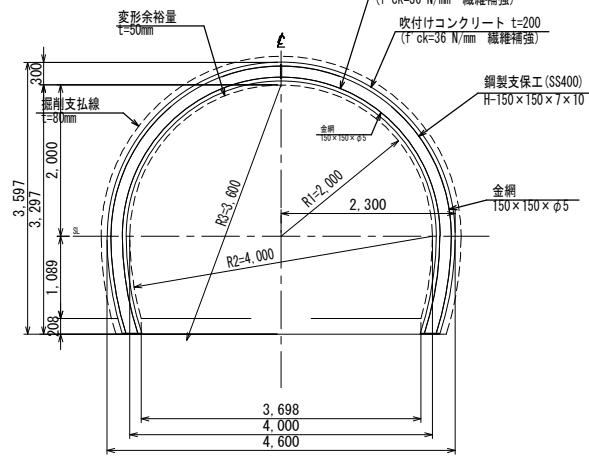
水平坑道断面図 (GL-350m)



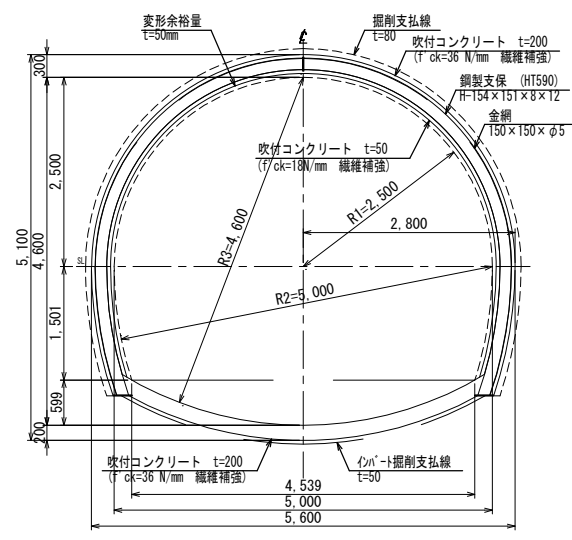
A - A 断面  
S=1/100



B - B 断面  
S=1/100



D - D 断面  
S=1/100



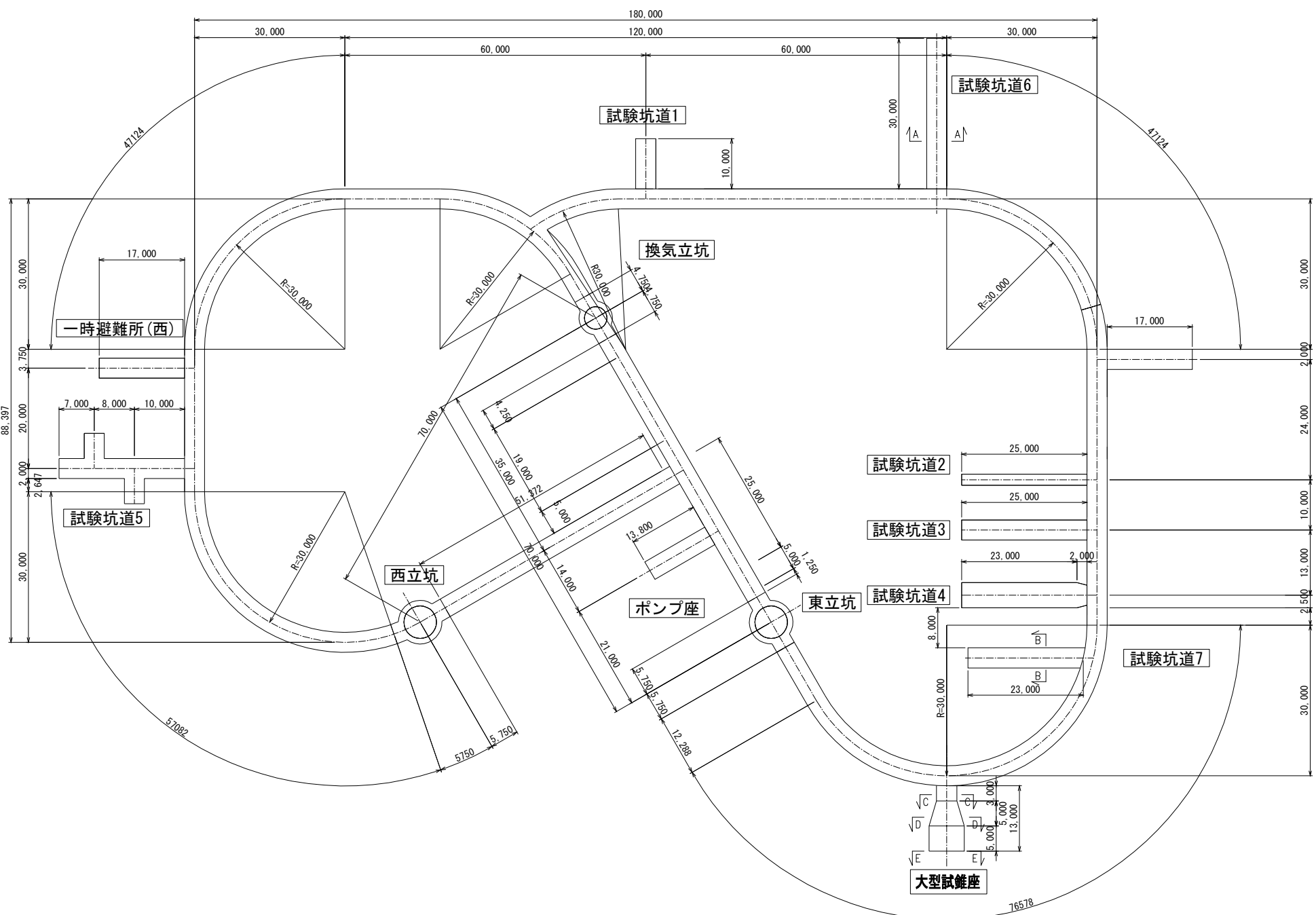
幌延深地層研究計画 地下研究施設整備 (第三期) 等事業		第 40 号図	
図面名称		水平坑道断面図 (GL-350m)	
1 枚の内	その 1	縮尺	図示
承	認	設	計
承	認	写	図
承	認	作	成
承	認	年	月
承	認	日	
整理番号	N o .	令和 3 年 9 月 30 日 完工	
日本原子力研究開発機構			

No.40

水平断面図 (GL-350m)

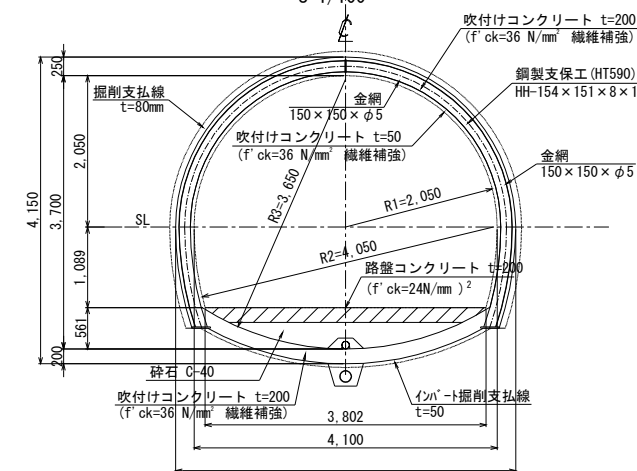
S=1/1000

水平坑道断面図 (GL-350m) (試験坑道6, 7, 試錐座)



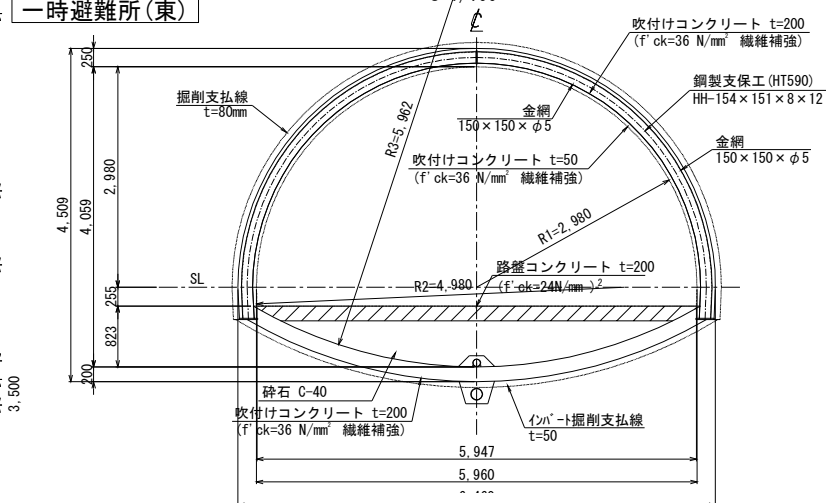
C - C 断面

S=1/100



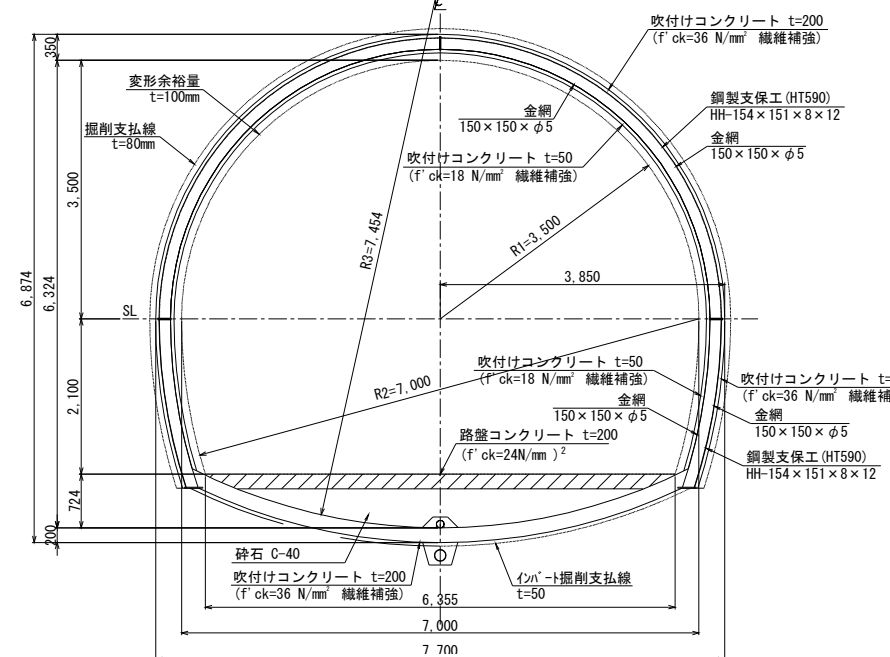
D - D 断面

S=1/100



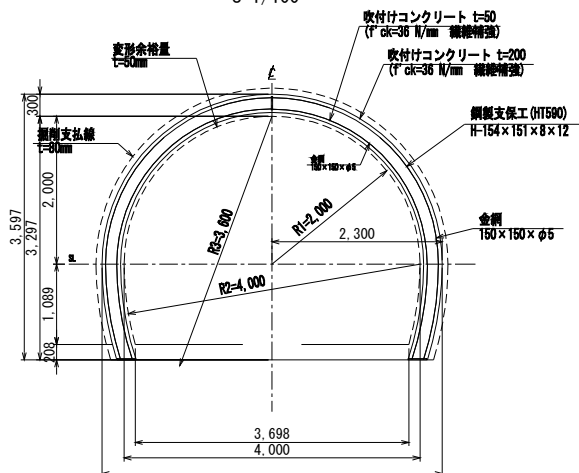
E - E 断面

S=1/100



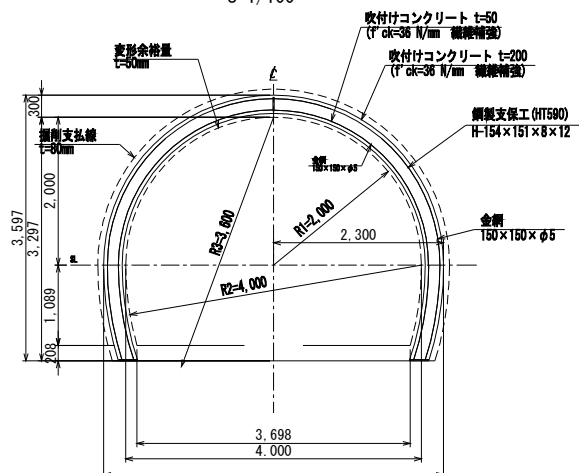
A - A 断面

S=1/100



B - B 断面

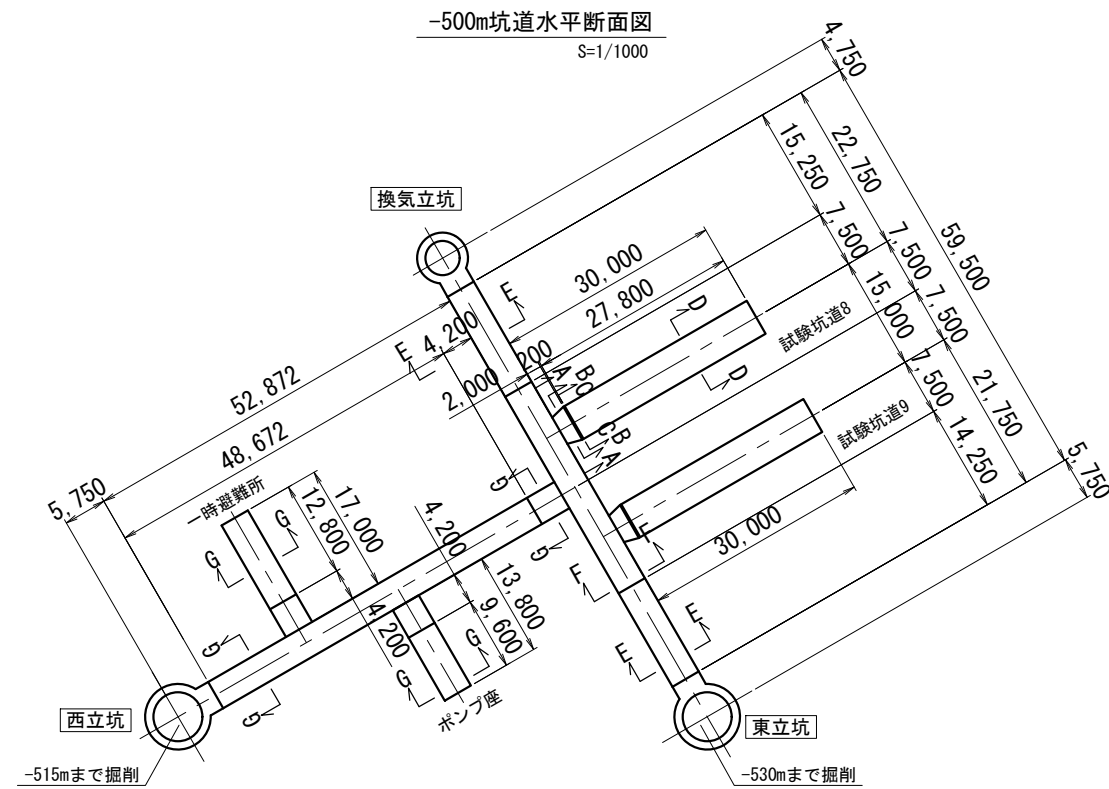
S=1/100



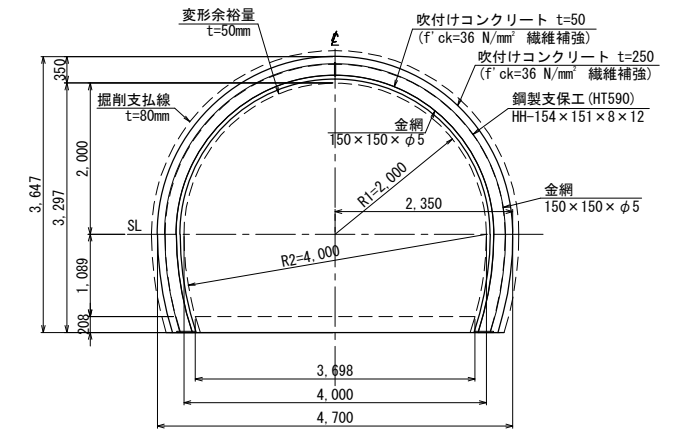
横延深地層研究計画		第 41 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	水平坑道断面図 (GL-350m) (試験坑道6, 7, 試錐座)		
1 枚の内	その 1	縮尺	図示
承	認	設計	写図
整理番号	N o.	作成年月日	
		令和 3 年 4 月 30 日 竣工	
日本原子力研究開発機構			

No.41

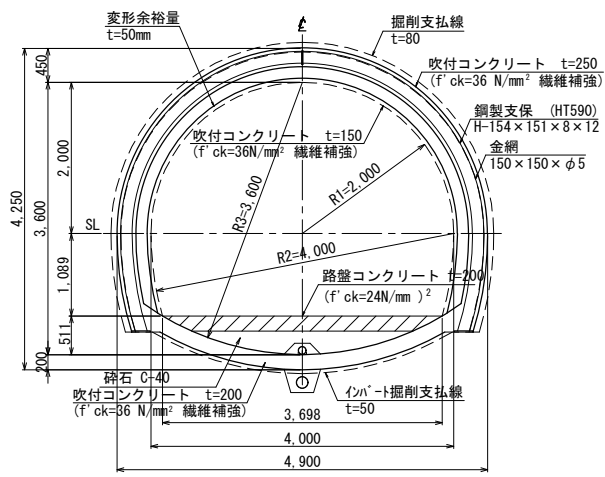
水平坑道標準断面図 (GL-500m)



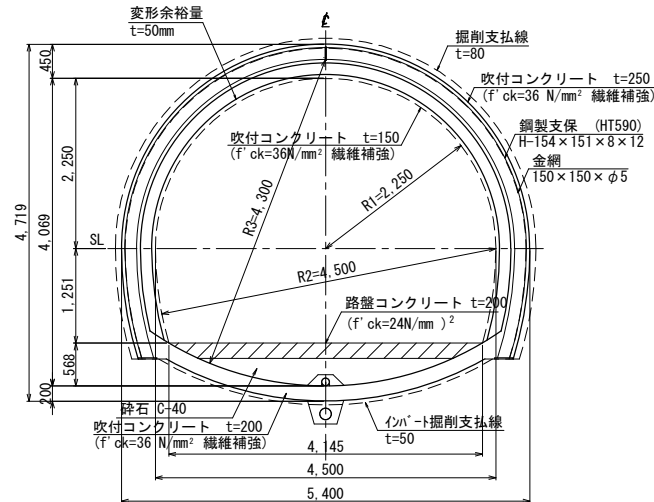
西連絡坑道・一時避難所坑口・ポンプ座坑口 (G-G断面)  
E500-3 S=1/100



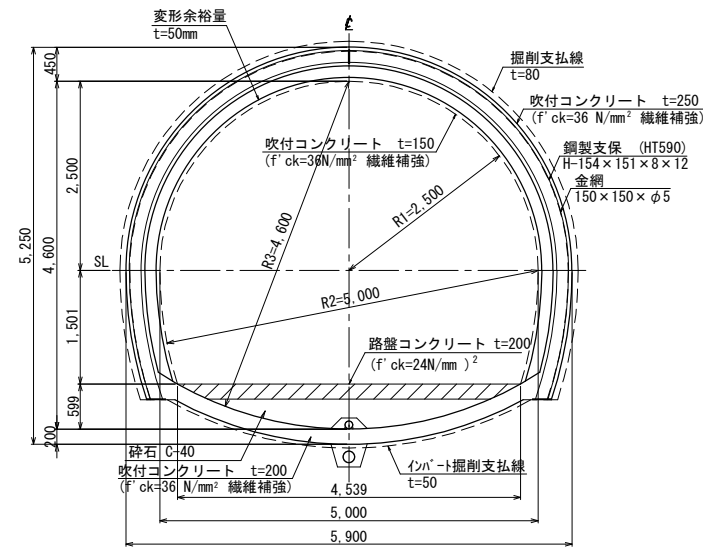
試験坑道8.9 (A-A断面)  
E500-S-1 S=1/100



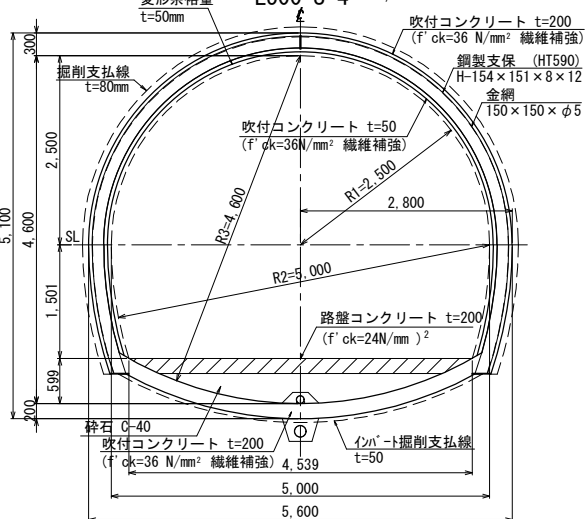
試験坑道8.9 (B-B断面)  
E500-S-2 S=1/100



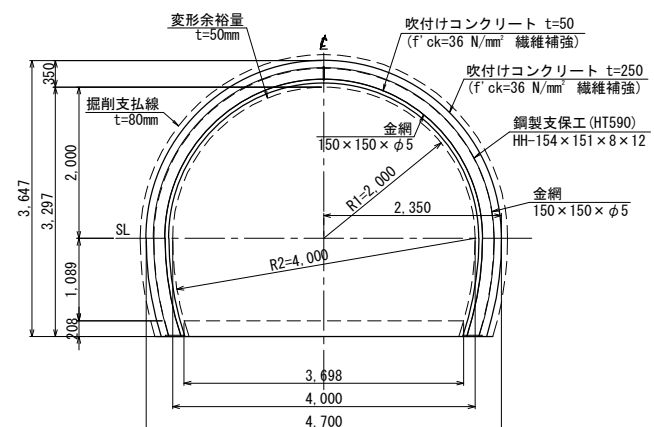
試験坑道8.9 (C-C断面)  
E500-S-3 S=1/100



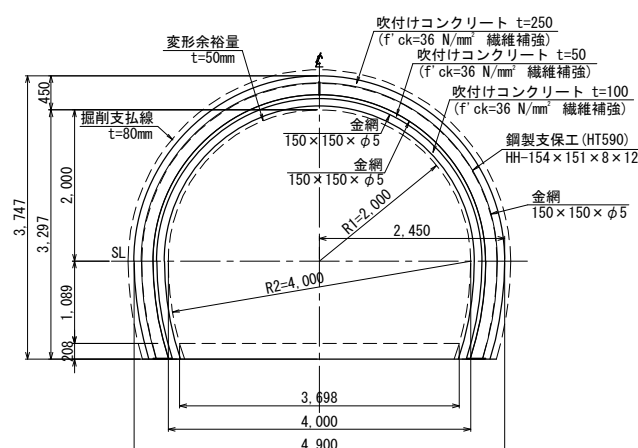
試験坑道8.9 (D-D断面)  
E500-S-4 S=1/100



換気～東連絡坑道 (E-E断面)  
E-500-1 S=1/100



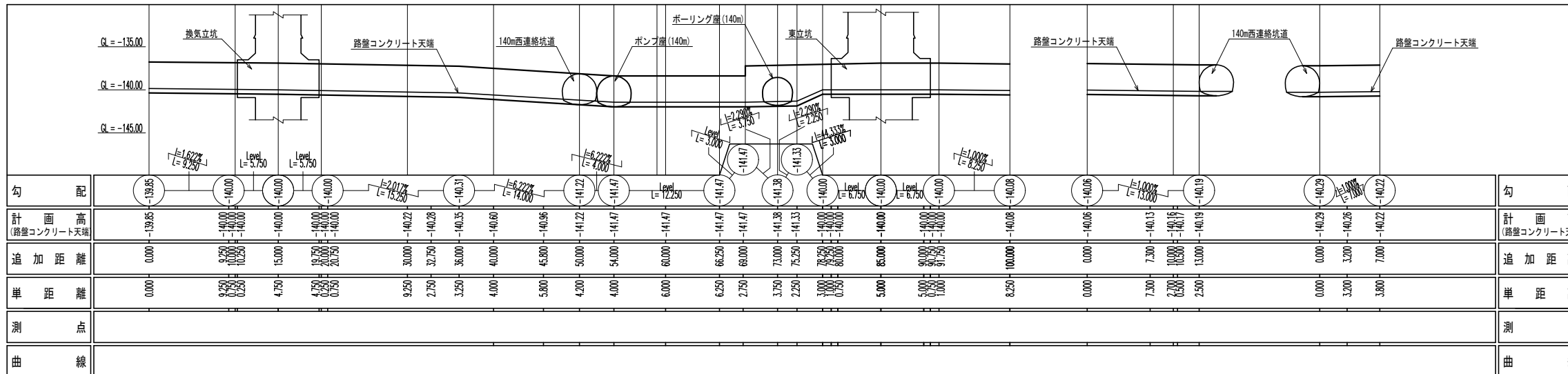
換気～東連絡坑道 (F-F断面)  
E500-2 S=1/100



幌延深地層研究計画		第 42 号図	
地下研究施設整備 (第Ⅲ期) 等事業			
図面名称	水平坑道標準断面図 (GL-500m)		
1枚の内	その1	縮尺	図示
承	認	設計	写図
			作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

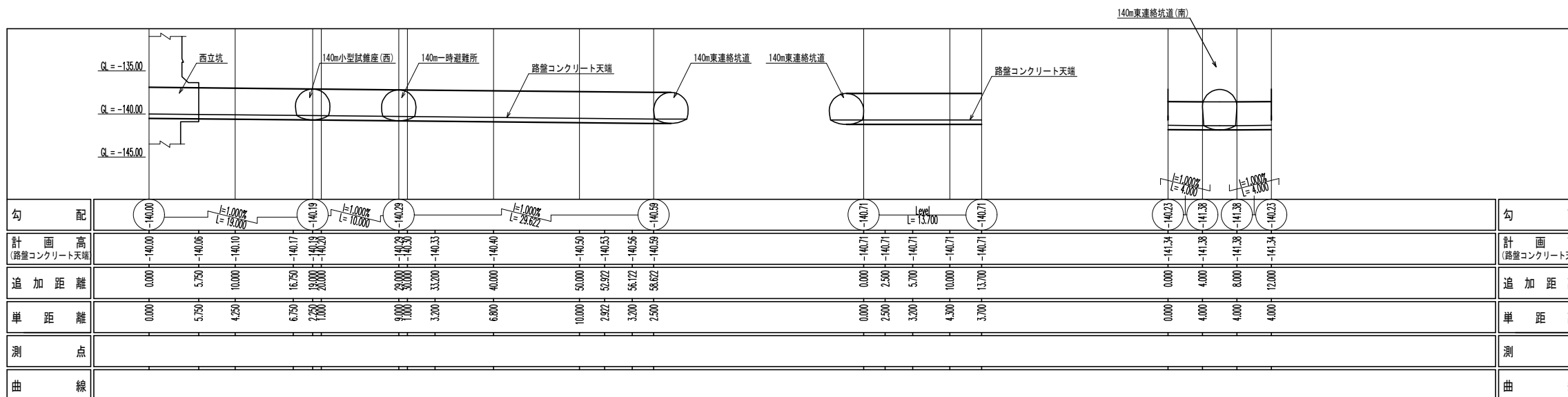
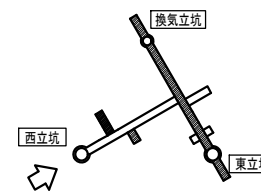
No.42

### 140m坑道縦断図



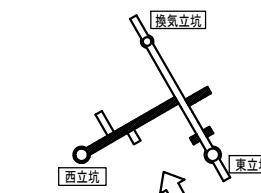
設計支保パターン	E140-4		注1)		E140-4		E140-1		注1)		E140-4		設計支保パターン
	区間長 (m)	10.250	2箇所×1.0m	13.000	13.050	6.250	3.000	1.000	2箇所×1.0m	9.250	区間長 (m)		
1次支保工	吹付コンクリート厚 (cm)	20 (f'ck=36N/mm <sup>2</sup> )	20 (f'ck=36N/mm <sup>2</sup> )	20 (f'ck=36N/mm <sup>2</sup> )	20 (f'ck=36N/mm <sup>2</sup> )	20 (f'ck=36N/mm <sup>2</sup> )	20 (f'ck=36N/mm <sup>2</sup> )	20 (f'ck=36N/mm <sup>2</sup> )	20 (f'ck=36N/mm <sup>2</sup> )	20 (f'ck=36N/mm <sup>2</sup> )	20 (f'ck=36N/mm <sup>2</sup> )	吹付コンクリート厚 (cm)	20 (f'ck=36N/mm <sup>2</sup> )
	鋼製支保工 注2)	H-150×150@1.0	H-150×150@1.0	H-150×150@1.0	H-150×150@1.0	H-150×150@1.0	H-150×150@1.0	H-150×150@1.0	H-150×150@1.0	H-150×150@1.0	H-150×150@1.0	鋼製支保工 注2)	H-150×150@1.0
2次支保工	吹付コンクリート厚 (cm)	5 (f'ck=18N/mm <sup>2</sup> )	5 (f'ck=18N/mm <sup>2</sup> )	5 (f'ck=18N/mm <sup>2</sup> )	5 (f'ck=18N/mm <sup>2</sup> )	5 (f'ck=18N/mm <sup>2</sup> )	5 (f'ck=18N/mm <sup>2</sup> )	5 (f'ck=18N/mm <sup>2</sup> )	5 (f'ck=18N/mm <sup>2</sup> )	5 (f'ck=18N/mm <sup>2</sup> )	5 (f'ck=18N/mm <sup>2</sup> )	吹付コンクリート厚 (cm)	5 (f'ck=18N/mm <sup>2</sup> )
	鋼製支保工 注2)	-	鋼工コンクリート 厚さ 40cm	-	-	-	-	-	鋼工コンクリート 厚さ 40cm	-	-	鋼製支保工 注2)	-
坑道名称													
140m小型試験産(北)		換気立坑		140m東連絡坑道(北)		140m東連絡坑道(南)		東立坑		140m小型試験産(南)		坑道名称	
吹付けコンクリート補強区間 L=10,250		-		L=15,000		L=10,250		-		L=9,250		吹付けコンクリート補強区間	

KEY PLAN



設計支保パターン	E140-8		E140-8		設計支保パターン
	区間長 (m)	4.000	4.000	区間長 (m)	
1次支保工	吹付コンクリート厚 (cm)	20 (f'ck=36N/mm <sup>2</sup> )	20 (f'ck=36N/mm <sup>2</sup> )	吹付コンクリート厚 (cm)	20 (f'ck=36N/mm <sup>2</sup> )
	鋼製支保工 注2)	H-150×150@1.0	H-150×150@1.0	鋼製支保工 注2)	H-150×150@1.0
2次支保工	吹付コンクリート厚 (cm)	5 (f'ck=18N/mm <sup>2</sup> )	5 (f'ck=18N/mm <sup>2</sup> )	吹付コンクリート厚 (cm)	5 (f'ck=18N/mm <sup>2</sup> )
	鋼製支保工 注2)	-	-	鋼製支保工 注2)	-
坑道名称					
ボリング産(西) L=4,000		ボリング産(東) L=4,000		坑道名称	
吹付けコンクリート補強区間		吹付けコンクリート補強区間		吹付けコンクリート補強区間	

KEY PLAN

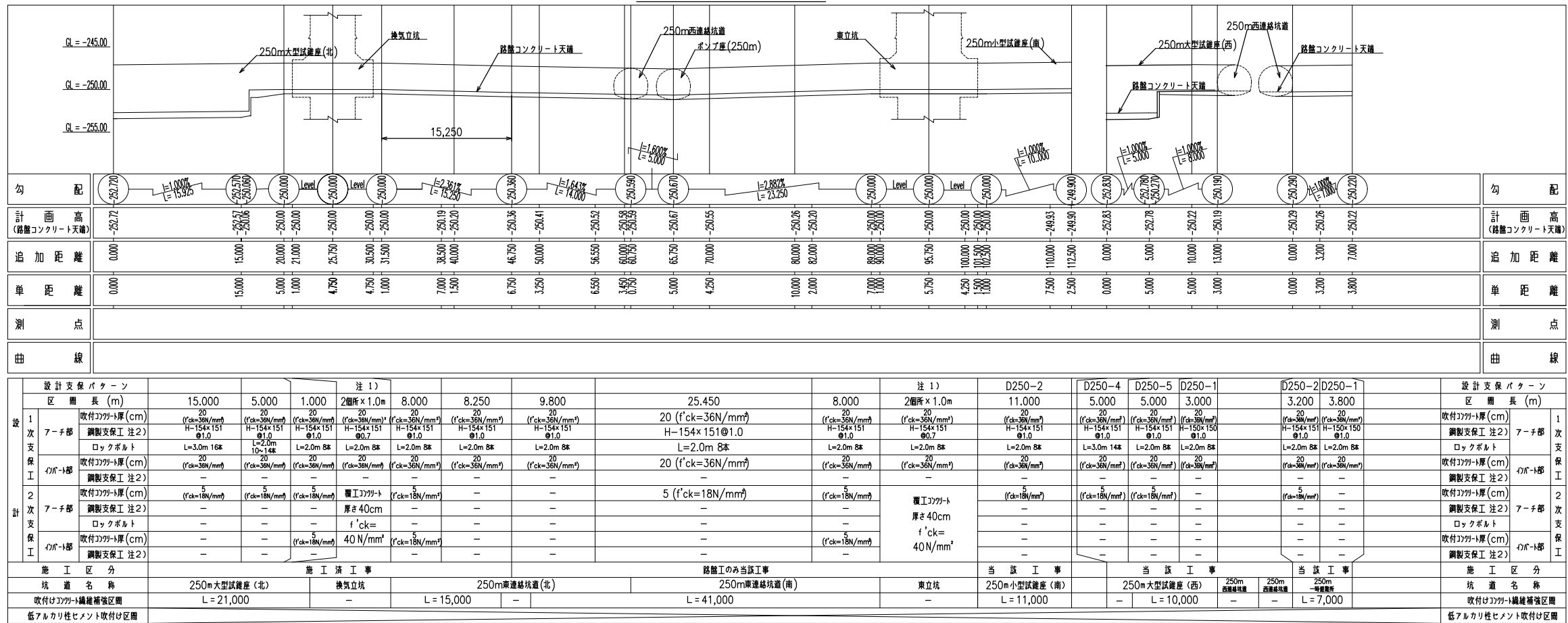
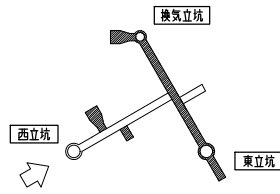


注1) 立坑連接部の内、水平坑道との取合い部1m区間を示す  
 注2) 鋼製支保工H-154x151はHT590を使用し、それ以外はSS400を使用する。

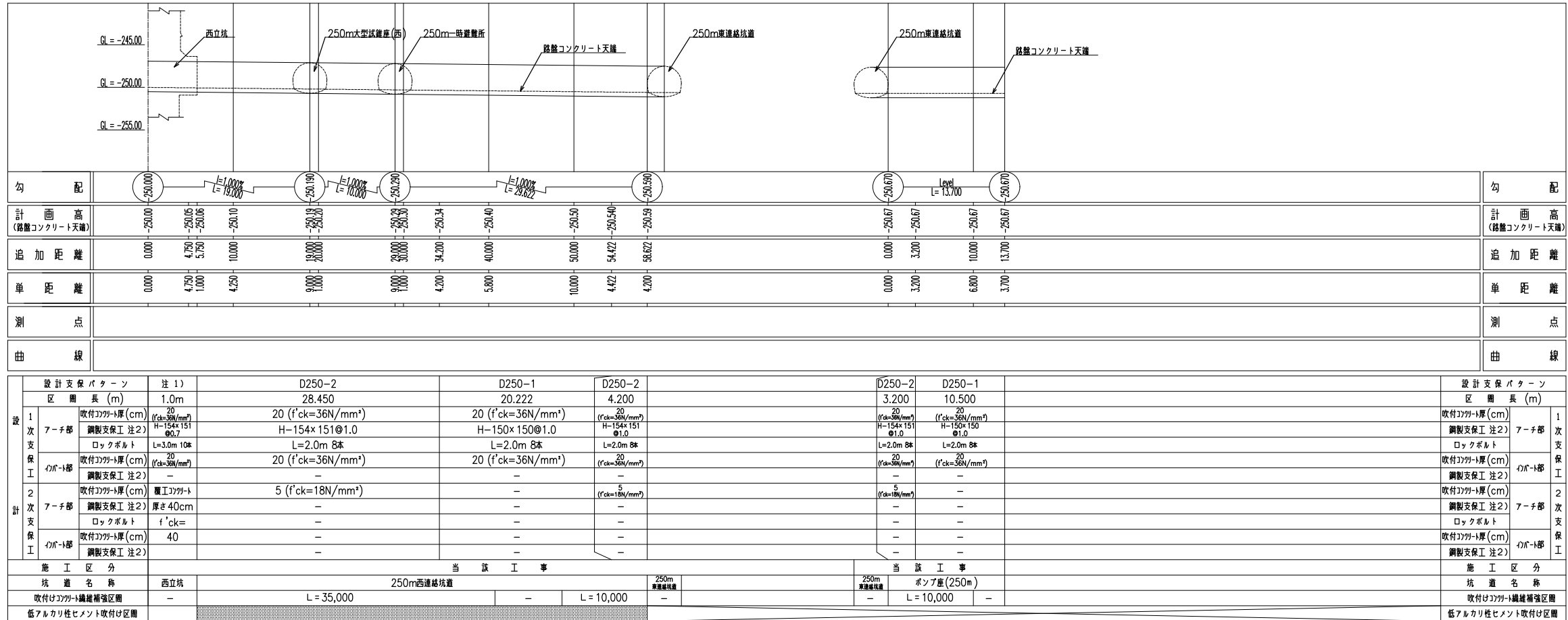
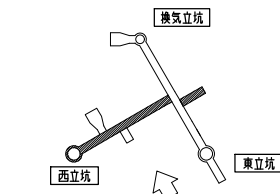
No.43

250m坑道縦断図

KEY PLAN



KEY PLAN

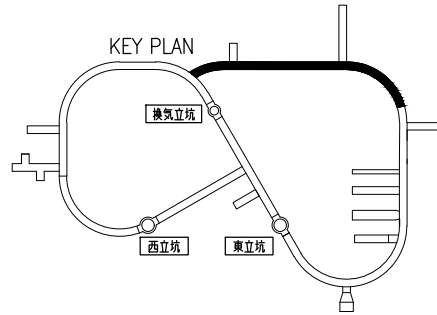


注1) 立坑連絡部の内、水平坑道との取合い部1m区間を示す  
 注2) 鋼製支保工H-154x151はHT590を使用し、それ以外はSS400を使用する。

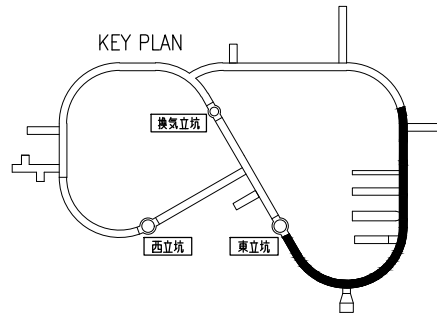
No.44

横延深地層研究計画  
 地下研究施設整備(第三期)等事業 第44号図  
 図面名称 250m坑道縦断図  
 1枚の内 1/600  
 承認 設計 写図 作成年月日  
 整理番号 No. 令和3年9月30日 完工  
 日本原子力研究開発機構

350m坑道縦断面図(1)



勾配	-															勾配								
計画高 (路盤コンクリート天端)	-346.86	-346.81	-346.74	-346.69	-346.62	-346.54	-346.50	-346.47	-346.38	-346.26	-346.25	-346.13	-346.02	-346.01	-346.88	-346.77	-346.64	-346.52	-346.41	計画高 (路盤コンクリート天端)				
追加距離	0.000	4.200	10.000	14.365	20.000	26.765	30.000	32.211	40.000	49.211	50.000	60.000	69.211	70.000	80.000	90.000	100.000	110.000	119.085	追加距離				
単距離	0.000	4.200	5.800	4.365	5.635	6.200	3.215	2.211	7.789	9.211	0.789	10.000	9.211	0.789	10.000	9.415	10.000	10.000	9.085	単距離				
測点																								
曲線	R=30,000, IA=39°18' 52", LC=20,585										R=30,000, IA=73°43' 14", LC=38,600													
設計支保パターン	E350-3-B2	E350-2(1.2)	E350-3-M2	E350-2(1.2)	E350-2改	E350-2(1.2)RBSW	E350-2(1.2)	E350-1(1.2)													E350-1(1.2)	設計支保パターン		
区間長 (m)	4.200	10.185	12.400	5.426	17.000	20.000	11.374	38.600													38.600	区間長 (m)		
1次支保工	吹付け厚 (cm) 20 (f'ck=36N/mm) H-150x150@1.0 ロックボルト L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 20 (f'ck=36N/mm) H-150x150@1.2 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 20 (f'ck=36N/mm) H-150x150@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 20 (f'ck=36N/mm) H-150x150@1.2 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 20 (f'ck=36N/mm) H-150x150@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 20 (f'ck=36N/mm) H-150x150@1.2 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 20 (f'ck=36N/mm) H-150x150@1.2 L=2.0m 2本 (鋼管挿入型)	吹付け厚 (cm) 20 (f'ck=36N/mm) H-150x150@1.2 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.2 L=2.0m 8本													吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.2 L=2.0m 8本	1次支保工	
2次支保工	吹付け厚 (cm) 5 (f'ck=36N/mm)	-	吹付け厚 (cm) 5 (f'ck=36N/mm)	-	-	-	-	-	インポートコンクリート 45 (f'ck=60N/mm)													-	吹付け厚 (cm) 5 (f'ck=36N/mm)	2次支保工
施工区分	当該工事															施工区分								
坑道名称	350m周回坑道(東)															坑道名称								
吹付けコンクリート補強区間	L=32,585															吹付けコンクリート補強区間								
低アルカリ性セメント吹付け区間																低アルカリ性セメント吹付け区間								



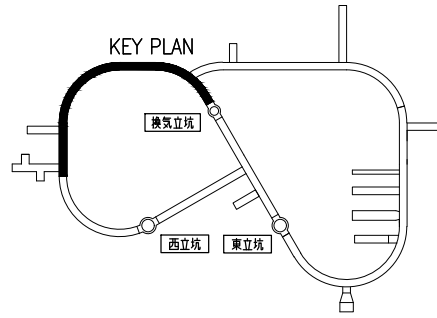
勾配	-																				勾配																			
計画高 (路盤コンクリート天端)	-350.00	-350.00	-350.00	-349.88	-349.86	-349.76	-349.66	-349.55	-349.55	-349.45	-349.34	-349.24	-349.25	-349.14	-349.07	-349.07	-349.04	-349.01	-348.93	-348.87	-348.83	-348.77	-348.75	-348.72	-348.70	-348.67	-348.62	-348.62	-348.60	-348.58	-348.53	-348.53	-348.44	-348.44	計画高 (路盤コンクリート天端)					
追加距離	0.000	4.750	5.500	6.750	10.000	18.038	20.000	30.000	40.000	49.454	50.000	60.000	70.000	80.000	80.674	90.000	98.378	98.576	100.000	102.579	110.000	115.579	120.000	125.579	127.078	130.000	132.078	134.776	140.000	142.078	143.378	145.579	146.000	151.579	155.776	160.000	161.002	追加距離		
単距離	0.000	4.750	1.000	1.250	2.250	8.038	1.962	10.000	10.000	9.454	0.546	10.000	10.000	10.000	0.674	9.126	6.378	0.200	3.422	2.579	7.421	5.579	4.421	5.579	1.499	2.078	2.078	2.700	5.222	2.078	1.300	6.200	0.422	1.578	4.200	4.222	0.102	単距離		
測点																					測点																			
曲線	R=30,000, IA=150°, LC=78,540										R=30,000, IA=16°16' 46", LC=8,524																													
設計支保パターン	注1)	E350-1改	E350-1(1.2)	E350-2(1.5)	E350-1(1.2)	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	E350-3-M1	設計支保パターン		
区間長 (m)	2.000	2.000	41.704	31.420	15.504	30.700	5.000	2.700	7.300	1.300	12.400	4.324	2.700	7.300	1.300	12.400	4.324	2.700	7.300	1.300	12.400	4.324	2.700	7.300	1.300	12.400	4.324	2.700	7.300	1.300	12.400	4.324	2.700	7.300	1.300	12.400	4.324	2.700	7.300	区間長 (m)
1次支保工	吹付け厚 (cm) 20 (f'ck=36N/mm) H-150x150@1.0 ロックボルト L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 20 (f'ck=36N/mm) H-150x150@1.0 ロックボルト L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.2 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 20 (f'ck=36N/mm) H-150x150@1.5 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.2 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	吹付け厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm) H-154x151@1.0 L=2.0m 8本	1次支保工			
2次支保工	-	-	-	-	-	インポートコンクリート 45 (f'ck=60N/mm)	-	-	-	-	25 (f'ck=36N/mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2次支保工
施工区分	当該工事															施工区分																								
坑道名称	350m周回坑道(東)															坑道名称																								
吹付けコンクリート補強区間	L=14,000															吹付けコンクリート補強区間																								
低アルカリ性セメント吹付け区間																低アルカリ性セメント吹付け区間																								

注1) 鋼製支保工H-154x151はHT590を使用し、それ以外はSS400を使用する。

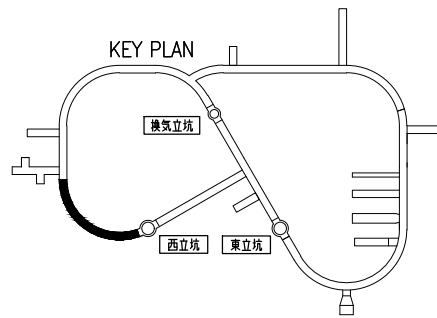
No.45

横延深地層研究計画		第 45 号図
地下研究施設整備 (第三期) 等事業		
図面名称	350m坑道縦断面図 (1)	
5枚の内	その 1	縮尺 1/600
承認	設計	写図
作成年月日		
整理番号	No.	令和 3 年 9 月 30 日 完工
日本原子力研究開発機構		

### 350m坑道縦断面図 (2)



勾配	$R=30,000, \text{IA}=90^\circ, \text{LC}=47.124$																														
計画高 (路盤コンクリート天端)	-346.63	-348.08	-348.74	-348.82	-348.84	-348.89	-348.95	-348.95	-349.05	-349.09	-349.15	-349.24	-349.26	-349.36	-349.42	-349.47	-349.51	-349.57	-349.62	-349.68	-349.78	-349.79	-349.86	-349.89	-349.95	-349.96	-350.00	-350.00	-350.00	-350.00	-350.00
追加距離	0.00	4.647	10.000	18.447	20.000	24.647	28.397	30.000	40.000	44.105	50.000	57.920	60.000	70.000	75.521	80.000	83.920	90.000	94.485	100.000	108.899	117.079	120.000	123.779	125.901	125.901	130.000	132.779	132.779	136.012	
単距離	0.00	4.647	5.353	7.600	1.553	4.647	3.750	1.603	9.151	4.105	5.895	7.920	2.000	10.000	5.521	4.479	3.920	6.000	4.485	5.515	10.000	8.200	2.921	3.279	2.621	4.099	2.779	3.228	3.750		
測点																															
曲線	$R=30,000, \text{IA}=90^\circ, \text{LC}=47.124$												$R=30,000, \text{IA}=60^\circ, \text{LC}=31.416$																		
設計	設計支保パターン	E350-3-M1	E350-1改	E350-3-M1	E350-1改	E350-3-M1	E350-1改	E350-1RBSW	E350-2RBSW	E350-2 (1.5)	E350-2改	E350-1改	E350-3-M1	E350-1改	注1)	設計支保パターン															
	区間長 (m)	10.847	7.600	12.400	13.258	13.815	26.000	10.565	16.394	12.400	7.983	1個所×1.0m	区間長 (m)																		
	吹付コック厚 (cm)	25 (f'ck=36N/mm)	25 (f'ck=36N/mm)	25 (f'ck=36N/mm)	25 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	25 (f'ck=36N/mm)	25 (f'ck=36N/mm)	25 (f'ck=36N/mm)	25 (f'ck=36N/mm)	吹付コック厚 (cm)	1次支保工																
	鋼製支保工注1)	H-154×151@1.0	H-154×151@1.0	H-154×151@1.0	H-154×151@1.0	H-150×150@1.0	H-150×150@1.0	H-150×150@1.0	H-150×150@1.0	H-154×151@1.0	H-154×151@1.0	H-154×151@1.0	H-154×151@1.0	鋼製支保工注1)	1次支保工																
	ロックボルト	L=2.0m 8本	L=2.0m 8本	L=2.0m 8本	L=2.0m 2本 (鋼管挿入型)	L=2.0m 2本 (鋼管挿入型)	L=2.0m 8本	L=2.0m 8本	L=2.0m 8本	L=2.0m 8本	L=2.0m 8本	L=2.0m 8本	L=2.0m 8本	ロックボルト	1次支保工																
計	吹付コック厚 (cm)	5 (f'ck=36N/mm)	5 (f'ck=36N/mm)	5 (f'ck=36N/mm)	5 (f'ck=36N/mm)	5 (f'ck=36N/mm)	5 (f'ck=36N/mm)	5 (f'ck=36N/mm)	5 (f'ck=36N/mm)	5 (f'ck=36N/mm)	5 (f'ck=36N/mm)	5 (f'ck=36N/mm)	吹付コック厚 (cm)	2次支保工																	
	鋼製支保工注1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	鋼製支保工注1)	2次支保工																	
	ロックボルト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ロックボルト	2次支保工																	
	吹付コック厚 (cm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	吹付コック厚 (cm)	1次支保工																	
	鋼製支保工注1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	鋼製支保工注1)	1次支保工																	
施工区分	当該工事												換気立坑																		
坑道名称	350m掘削坑道 (西)												換気立坑																		
吹付コック厚補強区間	L = 36,647												L = 26,183																		
低アルカリ性セメント吹付け区間	-												低アルカリ性セメント吹付け区間																		



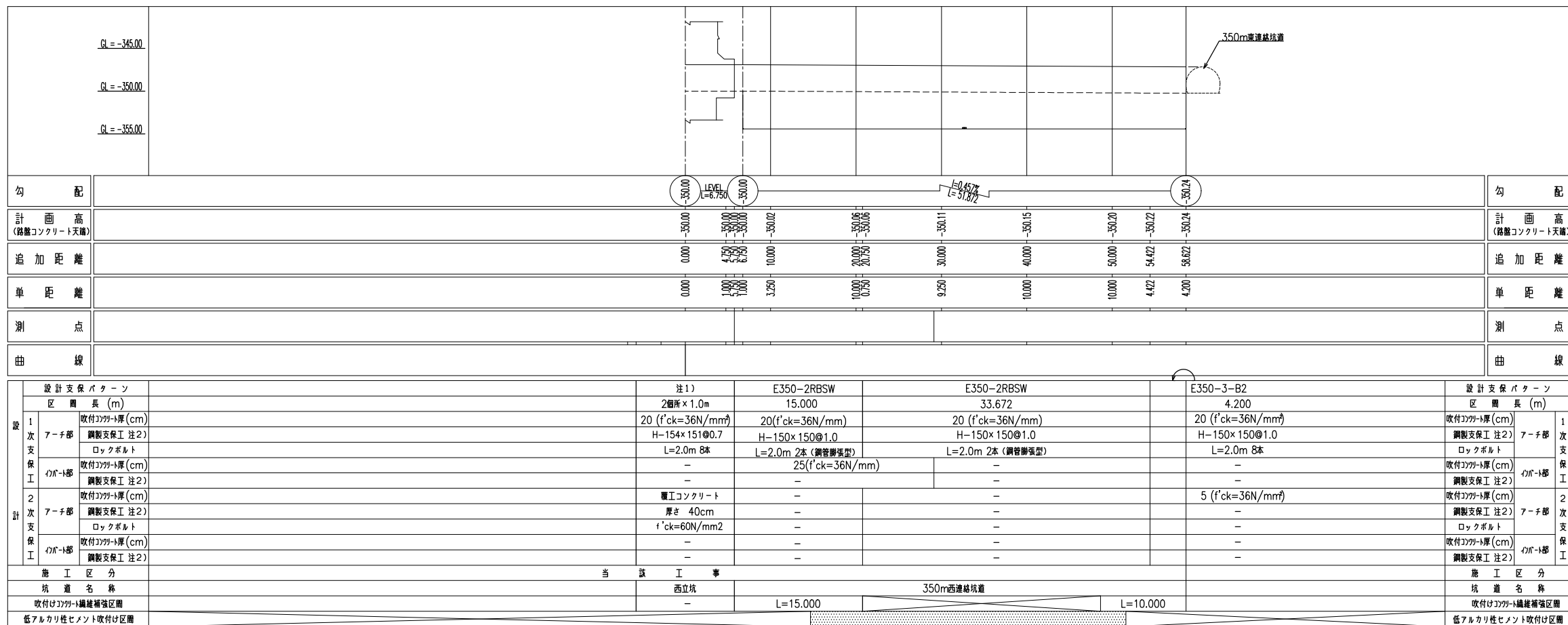
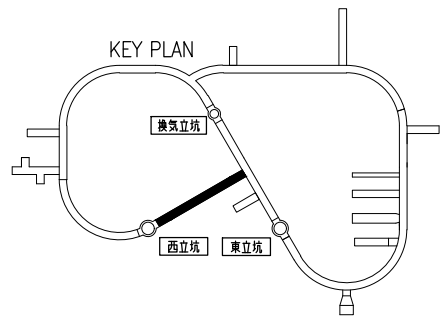
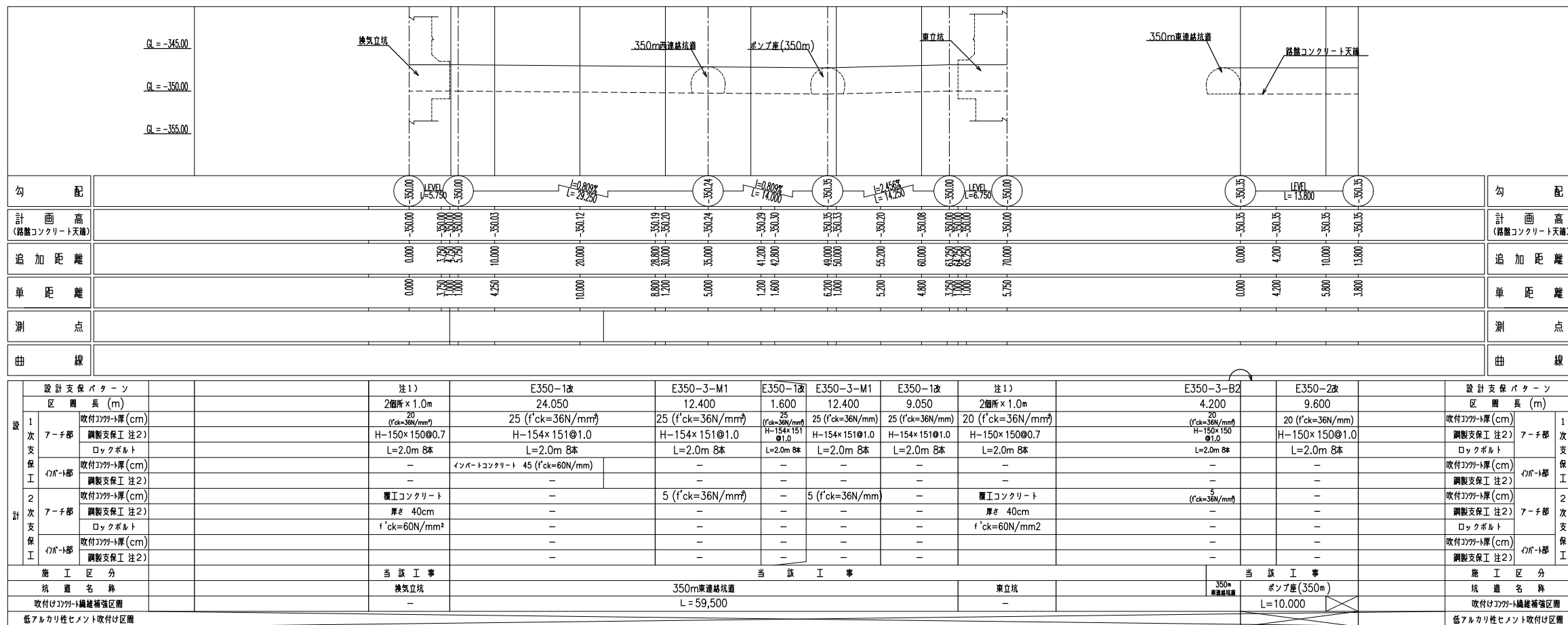
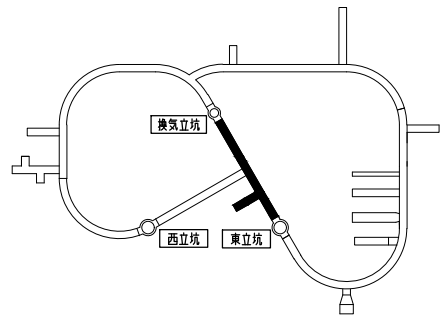
$R=30,000, \text{IA}=120^\circ, \text{LC}=62.832$												
勾配	$R=30,000, \text{IA}=120^\circ, \text{LC}=62.832$											
計画高 (路盤コンクリート天端)	-346.63	-348.07	-348.12	-348.36	-348.61	-348.78	-348.85	-348.89	-349.00	-349.00	-350.00	
追加距離	0.00	1.553	10.000	18.882	20.000	30.000	40.000	47.124	50.000	55.887	62.832	
単距離	0.00	1.553	8.447	8.882	1.918	10.000	10.000	7.124	2.816	5.887	4.750	
測点												
曲線	$R=30,000, \text{IA}=120^\circ, \text{LC}=62.832$											
設計	設計支保パターン	E350-3-M1	E350-1改	E350-1 (1.2) RBSW	E350-1 (1.2) RBSW	E350-2改	設計支保パターン					
	区間長 (m)	1.553	16.529	29.042	7.958	2.000	区間長 (m)					
	吹付コック厚 (cm)	25 (f'ck=36N/mm)	25 (f'ck=36N/mm)	25 (f'ck=36N/mm)	25 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	吹付コック厚 (cm)					
	鋼製支保工注2)	H-154×151@1.0	H-154×151@1.0	H-154×151@1.2	H-154×151@1.2	H-150×150@1.0	鋼製支保工注2)					
	ロックボルト	L=2.0m 8本	L=2.0m 8本	L=2.0m 2本 (鋼管挿入型)	=2.0m 2本 (鋼管挿入型)	L=2.0m 8本	ロックボルト					
計	吹付コック厚 (cm)	25 (f'ck=36N/mm)	25 (f'ck=36N/mm)	25 (f'ck=36N/mm)	25 (f'ck=36N/mm)	25 (f'ck=36N/mm)	吹付コック厚 (cm)					
	鋼製支保工注2)	-	-	-	-	-	鋼製支保工注2)					
	ロックボルト	-	-	-	-	-	ロックボルト					
	吹付コック厚 (cm)	5 (f'ck=36N/mm)	5 (f'ck=36N/mm)	5 (f'ck=36N/mm)	5 (f'ck=36N/mm)	5 (f'ck=36N/mm)	吹付コック厚 (cm)					
	鋼製支保工注2)	-	-	-	-	-	鋼製支保工注2)					
施工区分	当該工事						換気立坑					
坑道名称	350m掘削坑道 (西)						換気立坑					
吹付コック厚補強区間	L = 7,353						L = 15,000					
低アルカリ性セメント吹付け区間	-						低アルカリ性セメント吹付け区間					

注1) 鋼製支保工H-154×151はHT590を使用し、それ以外はSS400を使用する。

# No.46

幌延深地層研究計画 地下研究施設整備 (第三期) 等事業		第 46 号図
図面名称	350m坑道縦断面図 (2)	
5枚の内	その2	縮尺 1/600
承認	設計	写図
作成年月日		
整理番号	No.	令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構		

### 350m坑道縦断面図 (3)

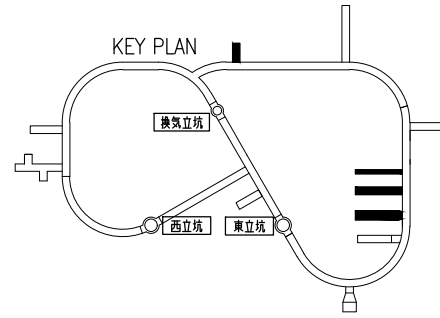


注1) 立坑連絡部の内、水平坑道との取合い部1m区間を示す  
 注2) 鋼製支保工H-154x151はHT590を使用し、それ以外はSS400を使用する。

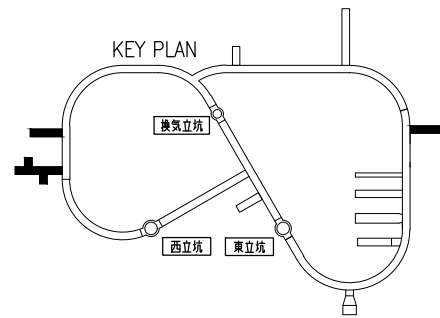
# No.47



### 350m坑道縦断面図 (4)



		350m東側回坑道北 路盤コンクリート天端 350m東側回坑道 路盤コンクリート天端 350m東側回坑道 路盤コンクリート天端 350m東側回坑道 路盤コンクリート天端										
勾配												
計画高 (路盤コンクリート天端)	-348.61, -349.51, -349.57, -349.51	-348.77, -349.67, -349.96, -349.96, -349.96, -349.96	-348.87, -349.07, -349.07, -349.07, -349.07, -349.07	-349.01, -349.02, -349.01, -349.01, -349.01, -349.01								
追加距離	0.00, 4.20, 10.00	0.00, 4.20, 6.00, 10.00, 20.00, 25.00	0.00, 4.20, 10.00, 10.50, 20.00, 25.00	0.00, 2.00, 2.00, 2.50, 6.00, 10.00, 20.00, 25.00								
単距離	0.00, 4.20, 5.80	0.00, 4.20, 1.80, 4.00, 10.00, 5.00	0.00, 4.20, 0.50, 5.50, 9.50, 5.00	0.00, 2.00, 0.20, 0.30, 5.80, 1.80, 10.00, 5.00								
測点												
曲線												
設計支保パターン	E350-3-B1	E350-1改	E350-3-B2	E350-9	E350-3-B2	E350-2(1.5)	E350-2(1.5) RBN	E350-8	E350-7	E350-6(1.5)	E350-6(1.5) RBN	設計支保パターン
区間長 (m)	4.200	5.800	4.200	20.800	4.200	6.300	14.500	2.000	0.200	6.800	16.000	区間長 (m)
1次支保工	吹付コックラ厚 (cm) 25 (f'ck=36N/mm)	25 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	15 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	吹付コックラ厚 (cm)
2次支保工	吹付コックラ厚 (cm) 5 (f'ck=36N/mm)	-	5 (f'ck=36N/mm)	-	5 (f'ck=36N/mm)	-	-	5 (f'ck=36N/mm)	5 (f'ck=36N/mm)	-	-	吹付コックラ厚 (cm)
施工区分	当該工事		当該工事		当該工事		当該工事		当該工事		施工区分	
坑道名称	350m東側回坑道 (東) 試験坑道1		350m東側回坑道 (東) 試験坑道2		350m東側回坑道 (東) 試験坑道3		350m東側回坑道 (東) 試験坑道4		350m東側回坑道 (東) 試験坑道4		坑道名称	
吹付けコックラ補強区間	L=10,000		L=10,000		L=10,000		L=10,000		L=10,000		吹付けコックラ補強区間	
低アルカリ性セメント吹付け区間											低アルカリ性セメント吹付け区間	



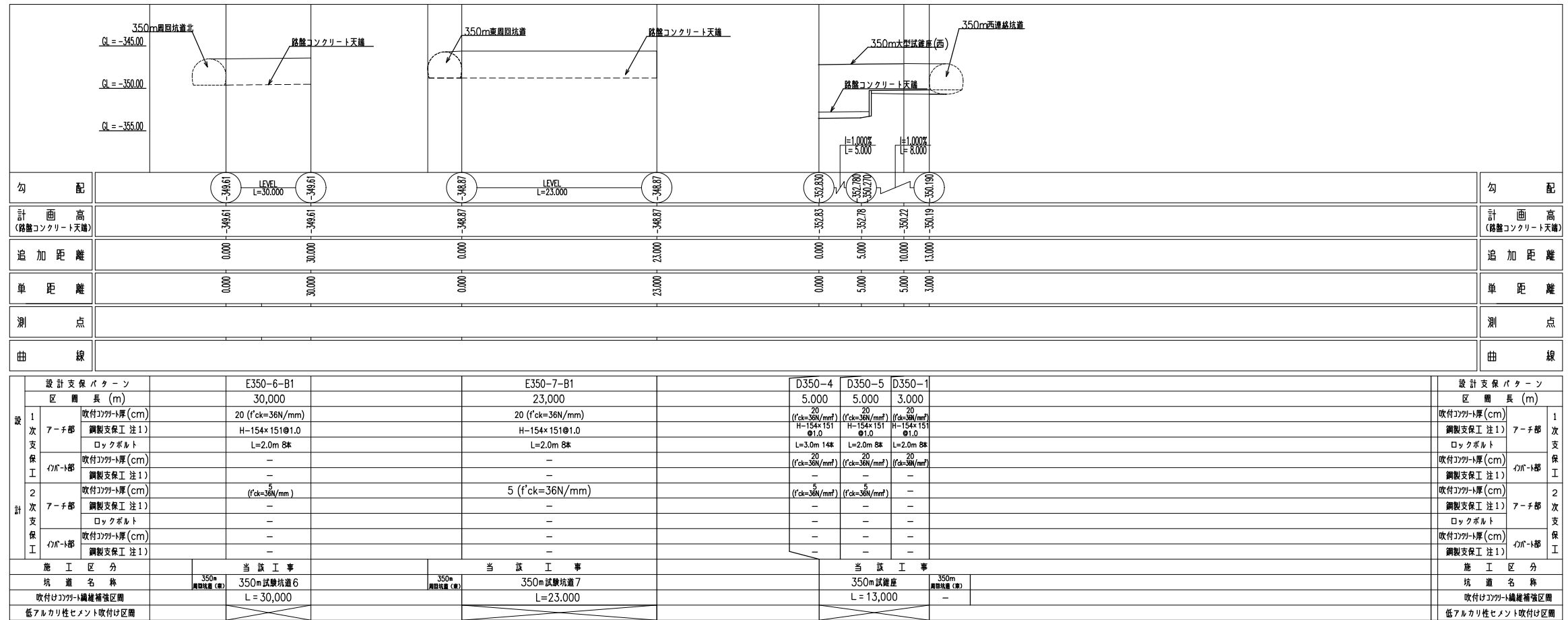
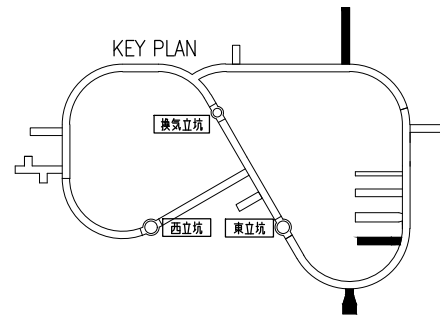
		350m西側回坑道 路盤コンクリート天端 試験坑道5 路盤コンクリート天端 試験坑道5 路盤コンクリート天端 350m西側回坑道 路盤コンクリート天端 350m東側回坑道 路盤コンクリート天端										
勾配												
計画高 (路盤コンクリート天端)	-348.68, -348.58, -348.50, -348.48, -348.46, -348.43, -348.43	-348.58, -348.53, -348.50, -348.45	-348.58, -348.53, -348.50, -348.45	-348.88, -348.85, -348.80, -348.79, -348.75, -348.72	-348.52, -348.52, -348.48, -348.42, -348.38, -348.35							
追加距離	0.00, 10.00, 18.00, 20.00, 21.00, 25.00	0.00, 5.00	0.00, 5.00	0.00, 4.20, 9.10, 10.00, 14.10, 17.00	0.00, 4.20, 10.00, 13.50, 17.00							
単距離	0.00, 5.80, 8.00, 2.00, 2.00, 3.00	0.00, 5.00	0.00, 5.00	0.00, 4.20, 4.90, 0.90, 4.10, 2.90	0.00, 4.20, 5.80, 3.50, 3.50							
測点												
曲線												
設計支保パターン	E350-3-B2	E350-3-B2RBN	E350-3-B1	E350-3-B1	E350-3-B2	E350-2(1.5) RBN	E350-2(1.5) RBN	E350-3-B2	E350-2(1.5)	E350-2(1.5)	設計支保パターン	
区間長 (m)	22.000	3.000	5.000	5.000	4.200	4.900	5.000	2.900	4.200	9.300	3.500	区間長 (m)
1次支保工	吹付コックラ厚 (cm) 20 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	25 (f'ck=36N/mm)	25 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	20 (f'ck=36N/mm)	吹付コックラ厚 (cm)
2次支保工	吹付コックラ厚 (cm) 5 (f'ck=36N/mm)	5 (f'ck=36N/mm)	5 (f'ck=36N/mm)	5 (f'ck=36N/mm)	5 (f'ck=36N/mm)	-	-	-	-	-	-	吹付コックラ厚 (cm)
施工区分	当該工事		当該工事	当該工事	当該工事		当該工事		当該工事		施工区分	
坑道名称	350m東側回坑道 (東) 試験坑道5		350m東側回坑道 (東) 試験坑道5	350m東側回坑道 (東) 試験坑道5	350m東側回坑道 (東) 試験坑道5		350m東側回坑道 (東) 試験坑道5		350m東側回坑道 (東) 試験坑道5		坑道名称	
吹付けコックラ補強区間	L=25,000		L=5,000	L=5,000	L=10,000		L=10,000		L=10,000		吹付けコックラ補強区間	
低アルカリ性セメント吹付け区間											低アルカリ性セメント吹付け区間	

注1) 鋼製支保工H-154x151はHT590を使用し、それ以外はSS400を使用する。

# No.48

幌延深地層研究計画 地下研究施設整備 (第三期) 等事業		第 48 号図
図面名称	350m坑道縦断面図 (4)	
5枚の内	その 4	縮尺 1/600
承認	設計	写図
作成年月日		
整理番号	No.	令和 3 年 9 月 30 日 完工
日本原子力研究開発機構		

### 350m坑道縦断図（5）



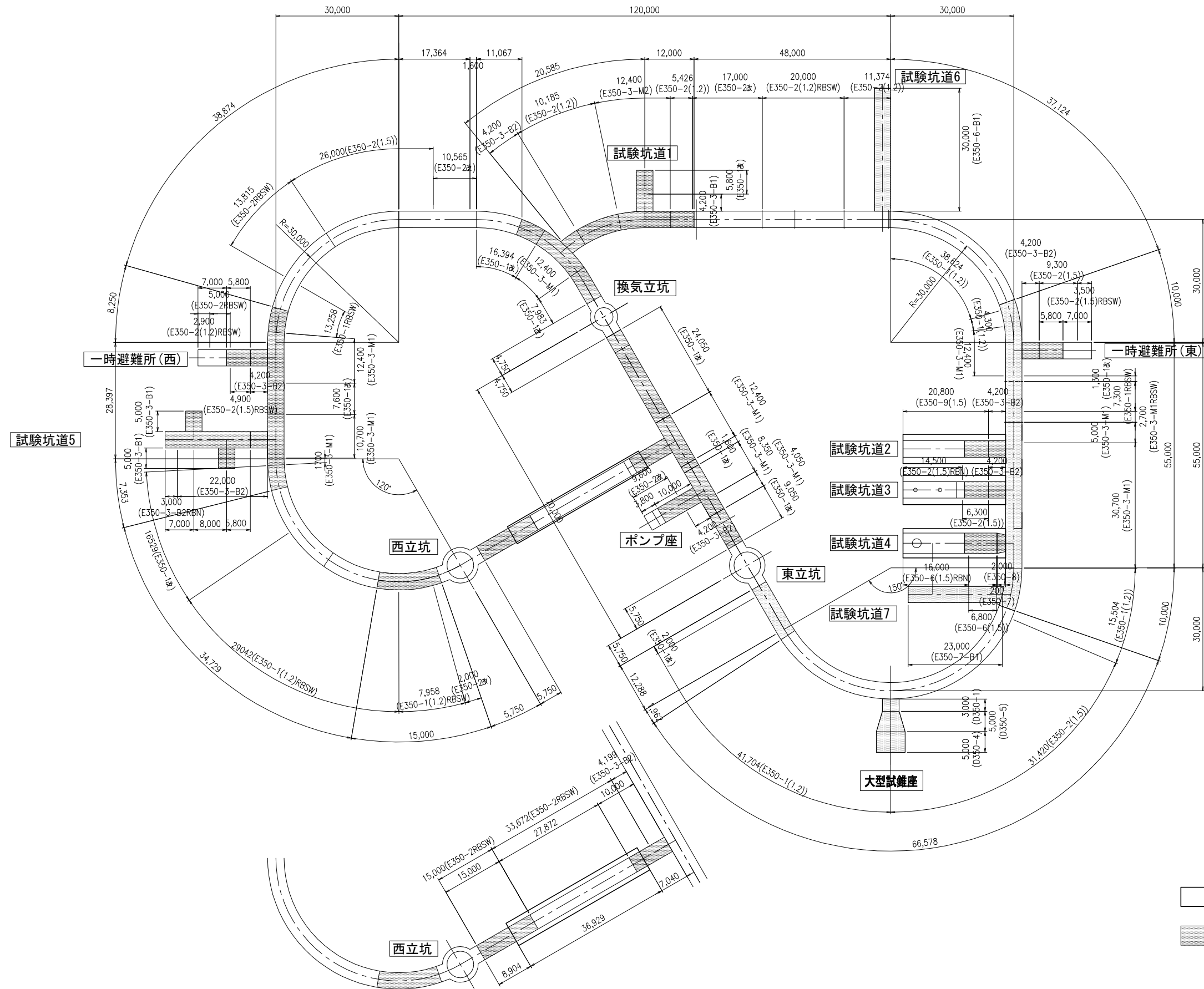
注1) 鋼製支保工 H-154x151は HT590を使用し、それ以外は SS400を使用する。

# No.49

幌延深地層研究計画		第 49 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	350m坑道縦断図 (5)		
5枚の内	その5	縮尺	1/600
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

# 350m坑道支保工割付図

## 水平坑道 (GL-350m)



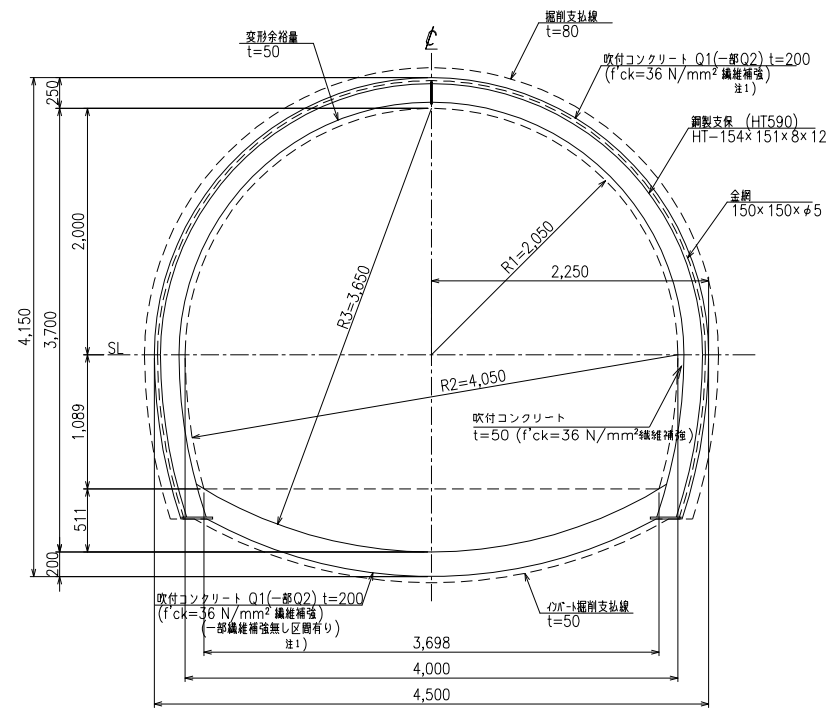
- 低アルカリ性セメント吹付け範囲
- 吹付けコンクリートの繊維補強の範囲

横延深地層研究計画		第 50 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称		350m坑道支保工割付図	
1 枚の内	その 1	縮尺	1/1000
承	認	設計	写 図
整理番号		No.	
		平成 3 年 1 月 30 日 竣工	
日本原子力研究開発機構			

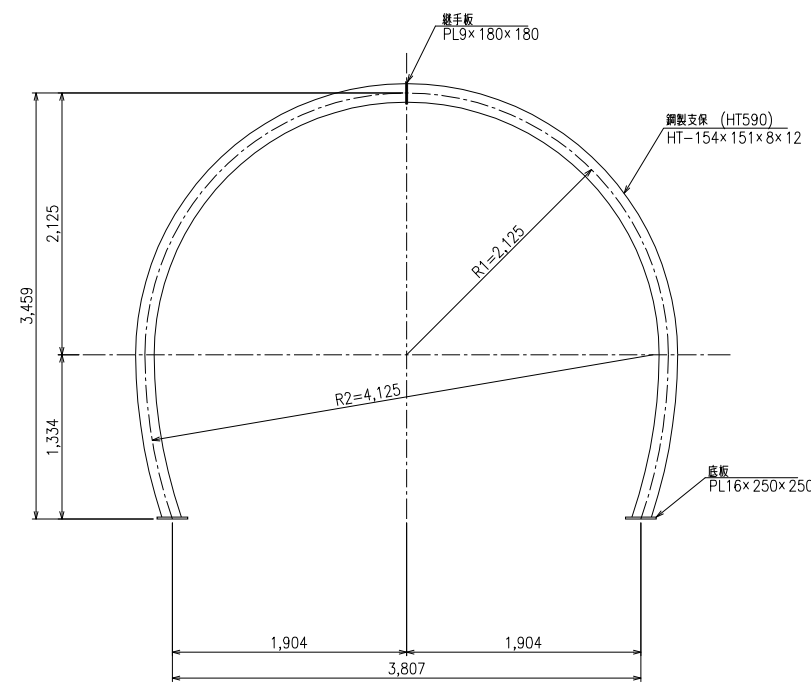
# No.50

定規図 (D350-1)

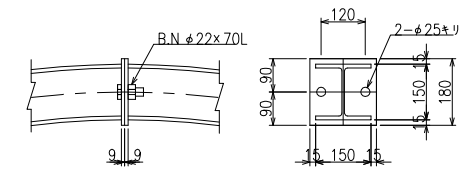
標準断面図  
S=1/60



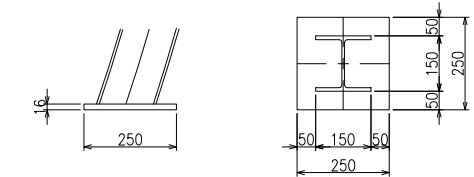
鋼製支保工図  
S=1/60



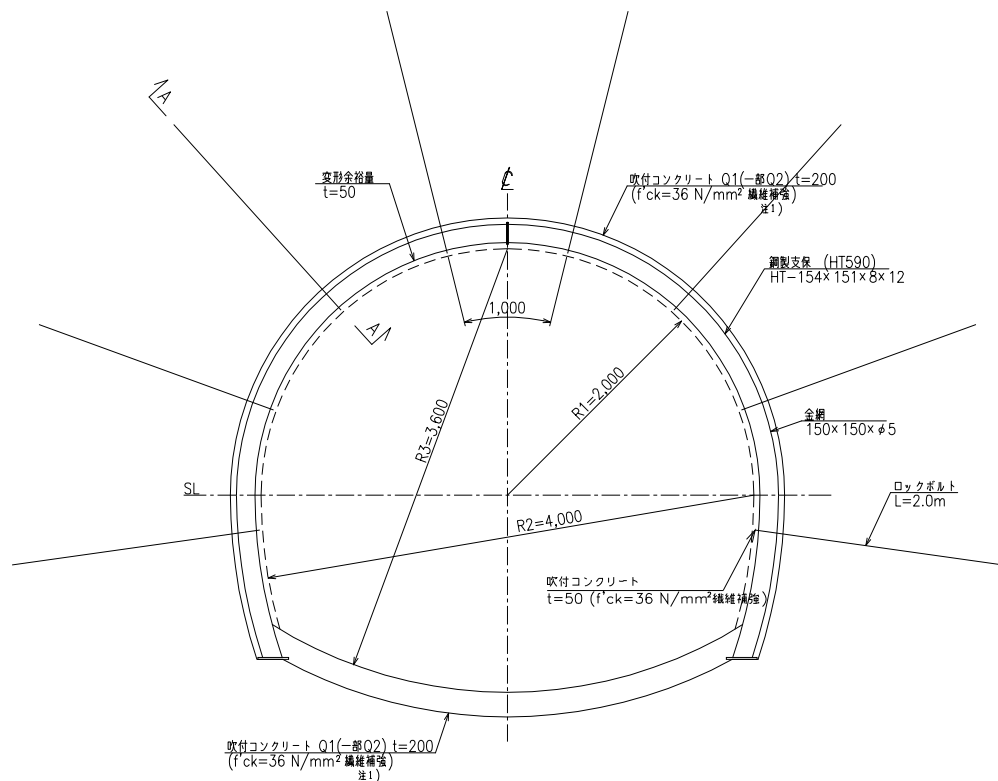
継手板詳細図  
S=1/20



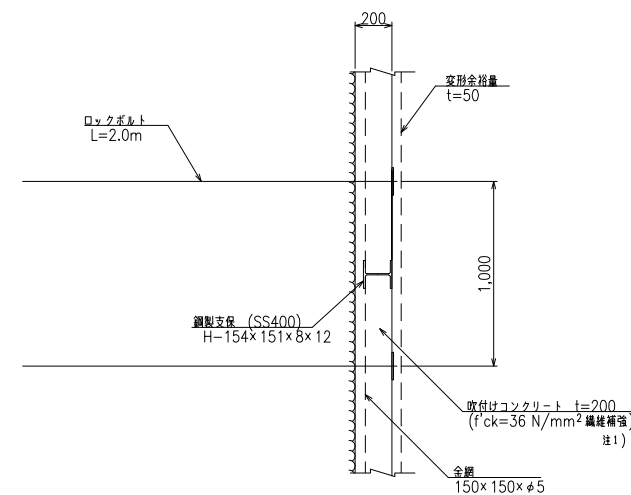
底板詳細図  
S=1/20



支保パターン図  
S=1/60



A-A 断面図  
S=1/40



諸元表

ロックボルト		鋼製支保		吹付厚 (cm)		金網	変形余裕量 (cm)
長さ (m)	周方向 (m)	延長方向 (m)	アーチ	インバート	アーチ		
2.0	1.0	1.0	H-154x151	-	1次	2次	アーチ
					20	5	5

数量表

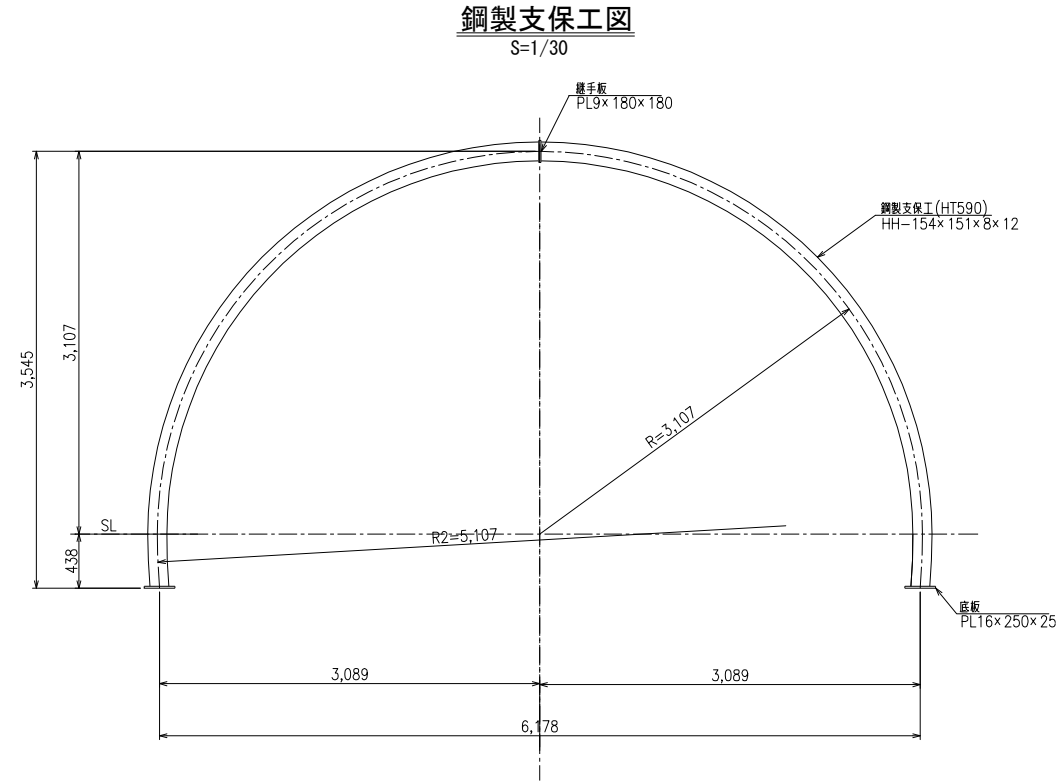
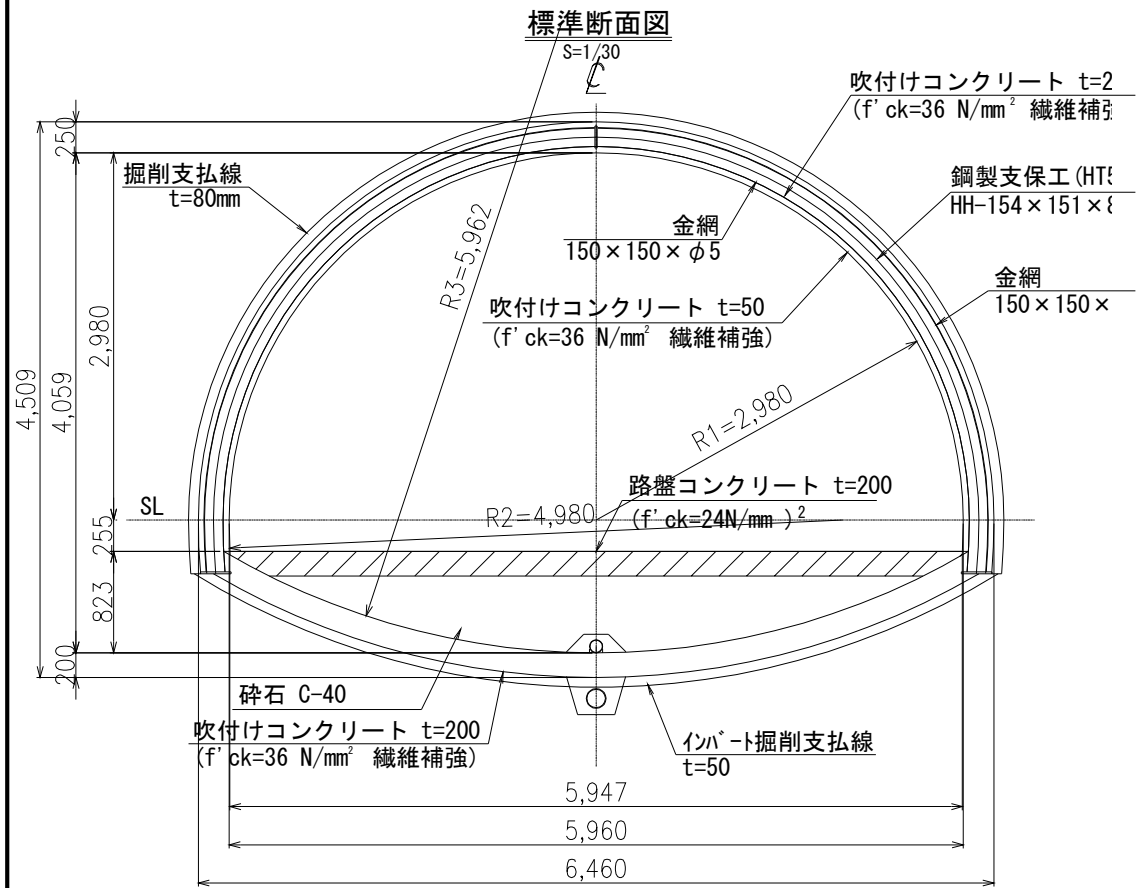
名称	形状寸法	規格	単位	数量	備要
掘削断面積 (設計)			m <sup>2</sup>	15.6	
掘削断面積 (支保)			m <sup>2</sup>	16.6	
ロックボルト	L=2,000	新力 117.7kN	本	8	
金	150x150x9	SS400	枚	8	
ナット		M24	個	8	
吹付コンクリート (1次)	t=200	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	13.5	
吹付コンクリート (2次)	t=50	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	8.7	

注1) 一部繊維補強無し区間あり。  
繊維補強の範囲については、50号図を参照すること。

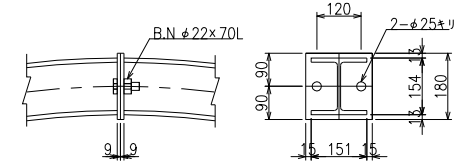
横延深地層研究計画 地下研究施設整備 (第三期) 等事業		第 51 号図	
図面名称		定規図 (D350-1)	
1 枚の内	その 1	縮尺	図示
承	認	設計	写図
整理番号		No.	作成年月日
			令和 3 年 10 月 30 日 竣工
日本原子力研究開発機構			

No.51

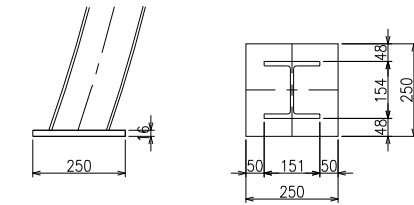
定規図 (D350-5)



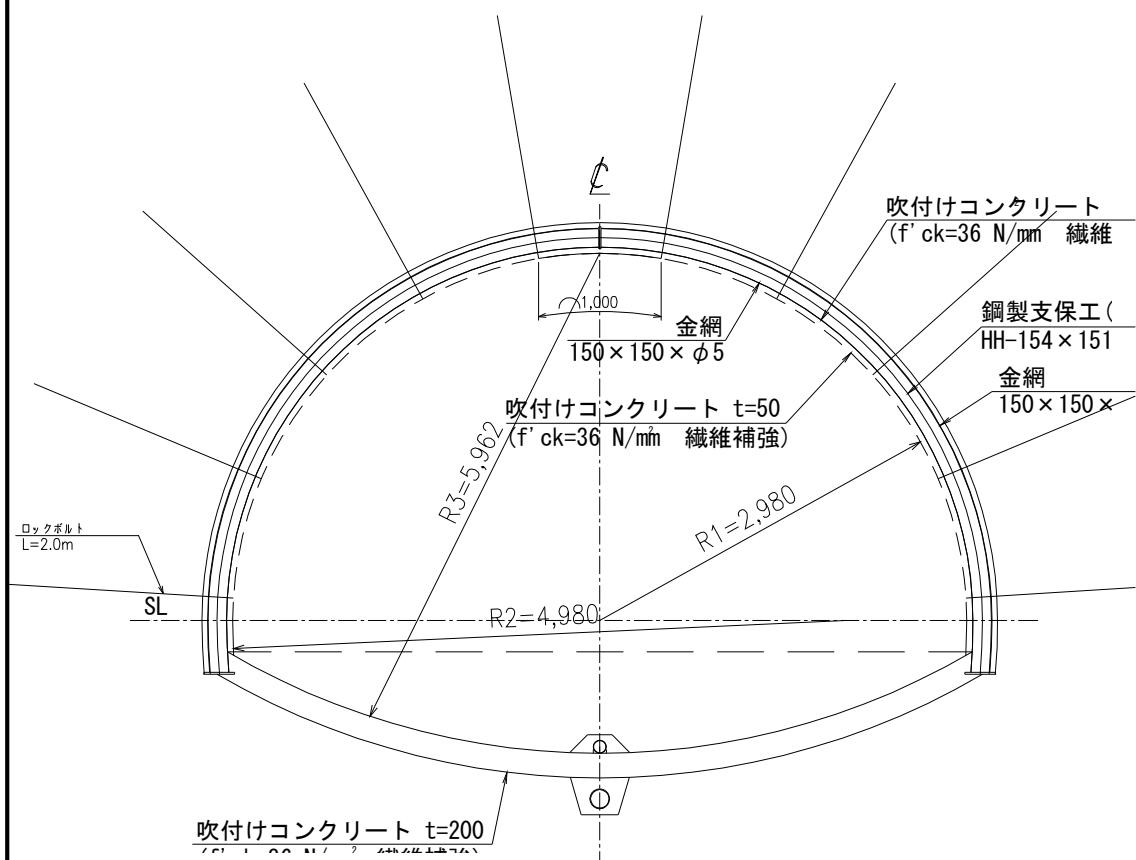
継手板詳細図  
S=1/10



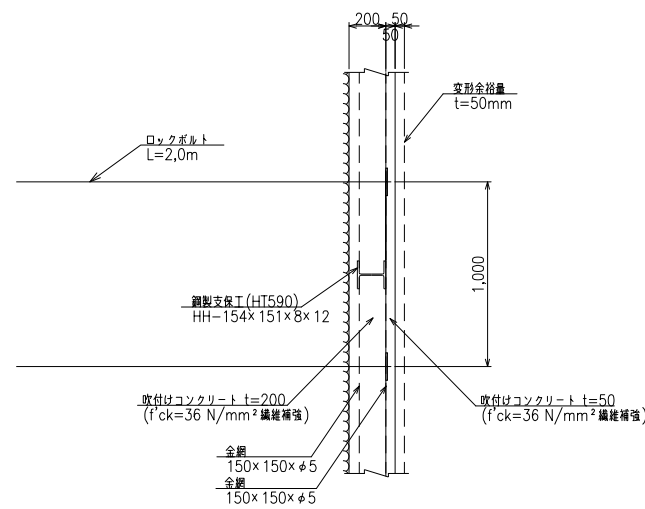
底板詳細図  
S=1/10



支保パターン図  
S=1/30



A-A 断面図  
S=1/20



諸元表

ロックボルト			鋼製支保工		吹付け厚 (cm)				金網		変形余裕量 (cm)
長さ (m)	周方向 (m)	延長方向 (m)	アーチ	インバート	アーチ		インバート		1次	2次	アーチ
2.0	1.0	1.0	HH-154x151	-	20	5	20	-	1次	2次	5

数量表 (1m当り)

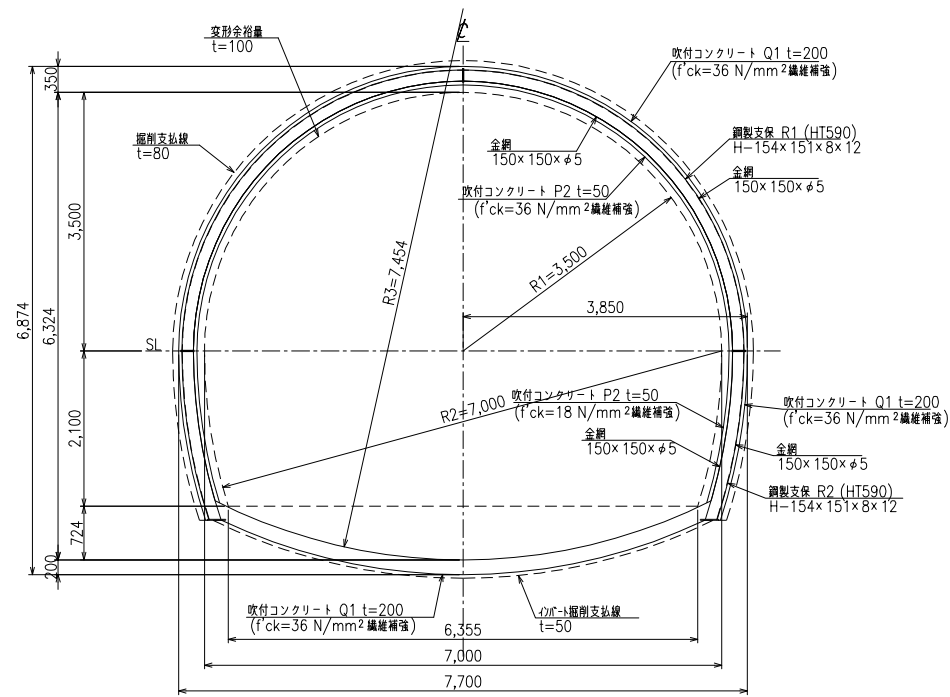
名称	形状寸法	規格	単位	数量	概要
掘削断面積 (設計)			m <sup>2</sup>	22.7	
掘削断面積 (支保)			m <sup>2</sup>	23.9	
ロックボルト	L=2,000	耐力 117.7kN	本	10	
鋼	150x150x9	SS400	枚	8	
ナット		M24	個	8	
吹付けコンクリート (1次)	t=200	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	16.9	
吹付けコンクリート (2次)	t=50	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	9.9	

横延深地層研究計画 地下研究施設整備 (第三期) 等事業		第 52 号図	
図面名称		定規図 (D350-2)	
1 枚の内	その 1	縮尺	図示
承	認	設計	写図
整理番号		No.	令和 3 年 10 月 30 日 竣工
日本原子力研究開発機構			

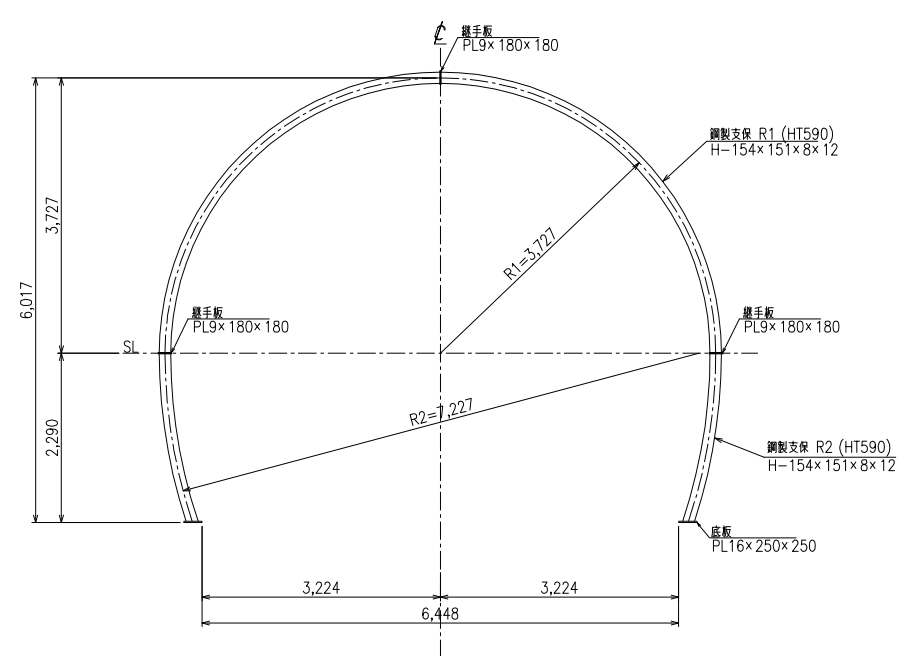
No.52

定規図 (D350-4)

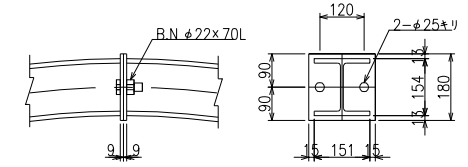
標準断面図  
S=1/100



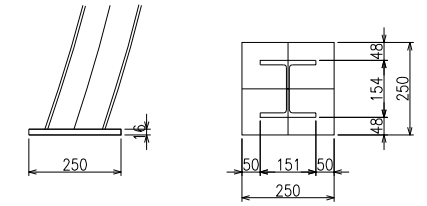
鋼製支保工図  
S=1/100



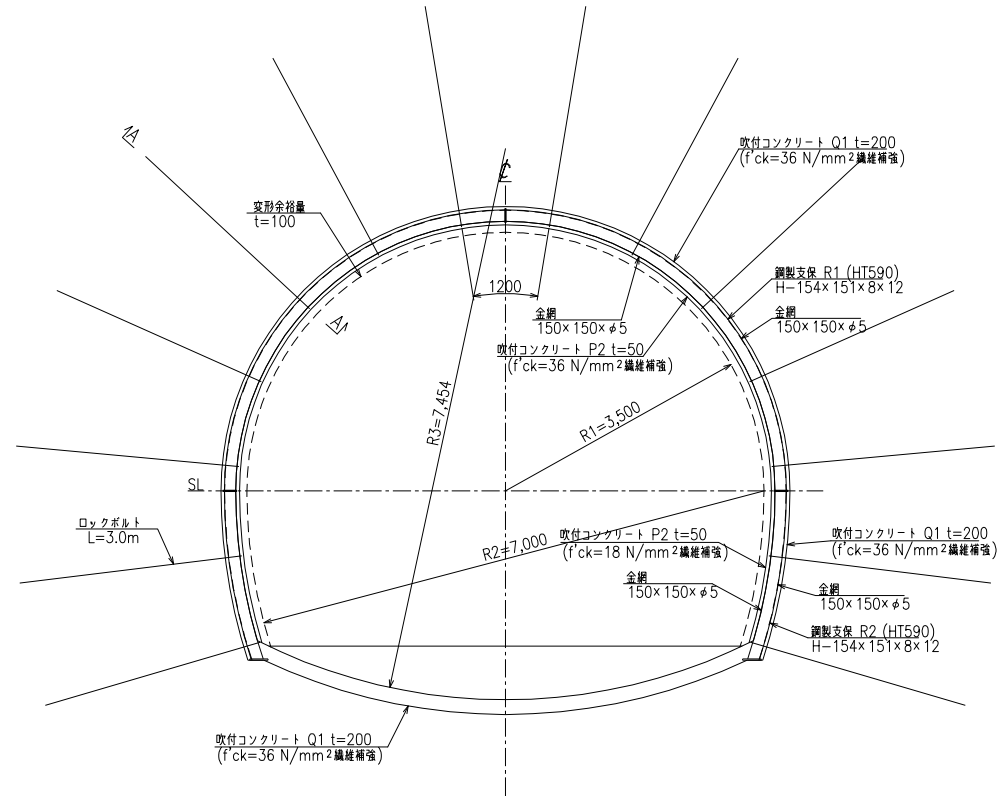
継手板詳細図  
S=1/20



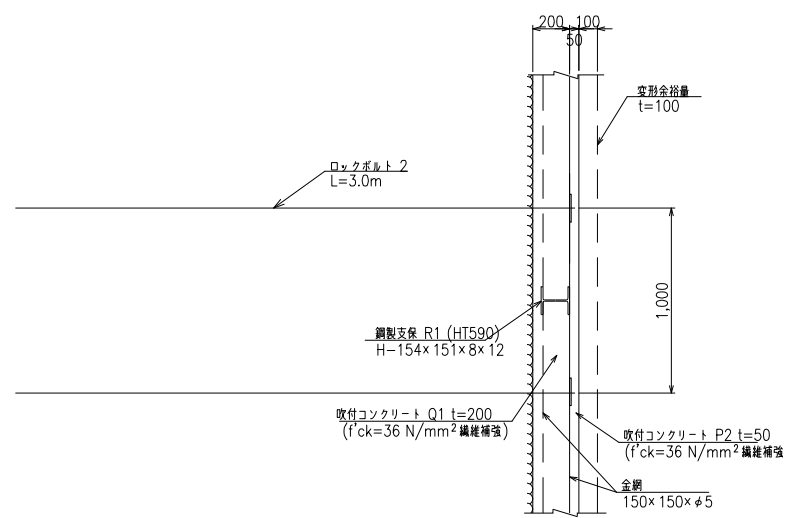
底板詳細図  
S=1/20



支保パターン図  
S=1/100



A-A 断面図  
S=1/40



諸元表

ロックボルト			鋼製支保		吹付厚 (cm)				金網		変形余裕 (cm)
長さ (m)	周方向 (m)	延長方向 (m)	アーチ	インバート	1次	2次	1次	2次	1次	2次	アーチ
3.0	1.2	1.0	H-154x151	-	20	5	20	-	7-f	7-f	10

数量表 (1m当り)

名称	形状寸法	規格	単位	数量	備考
掘削断面積 (設計)			m <sup>2</sup>	43.6	
掘削断面積 (支保)			m <sup>2</sup>	45.3	
ロックボルト	L=3,000	耐力 176.5kN	本	10	
座金	150x150x9	SS400	枚	10	
ナット		M24	個	10	
吹付コンクリート	t=200	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	23.1	
吹付コンクリート	t=50	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	15.5	

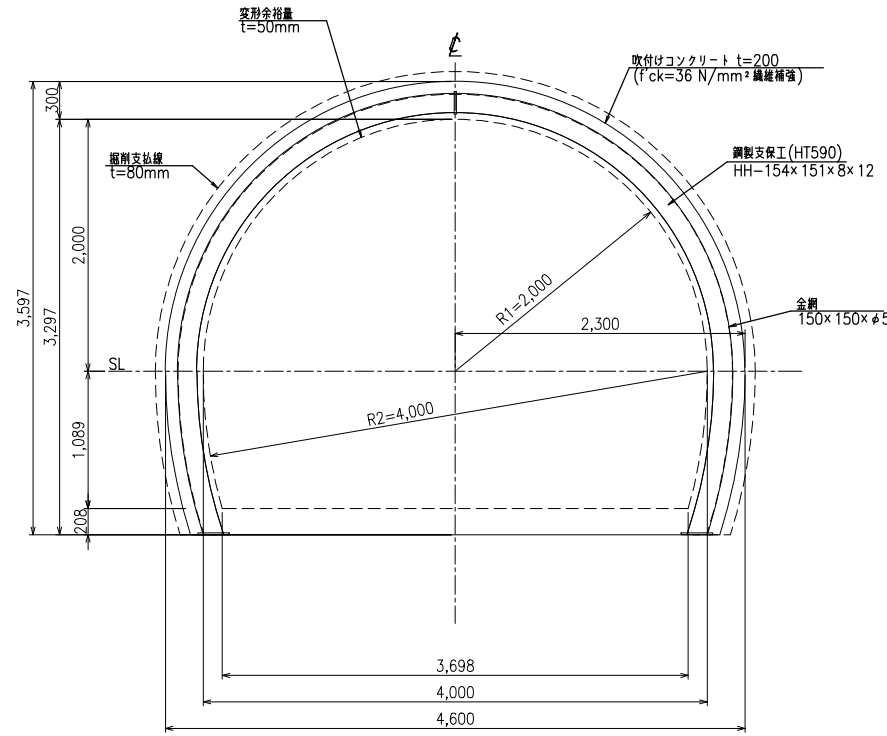
横延深地層研究計画 地下研究施設整備 (第三期) 等事業		第 53 号図	
図面名称		定規図 (D350-4)	
1 枚の内	その 1	縮尺	図示
承	認	設計	写 回
整理番号	No.	令和 3 年 10 月 30 日 竣工	
日本原子力研究開発機構			

No.53

定規図 (E350-6-B1, E350-7-B1)

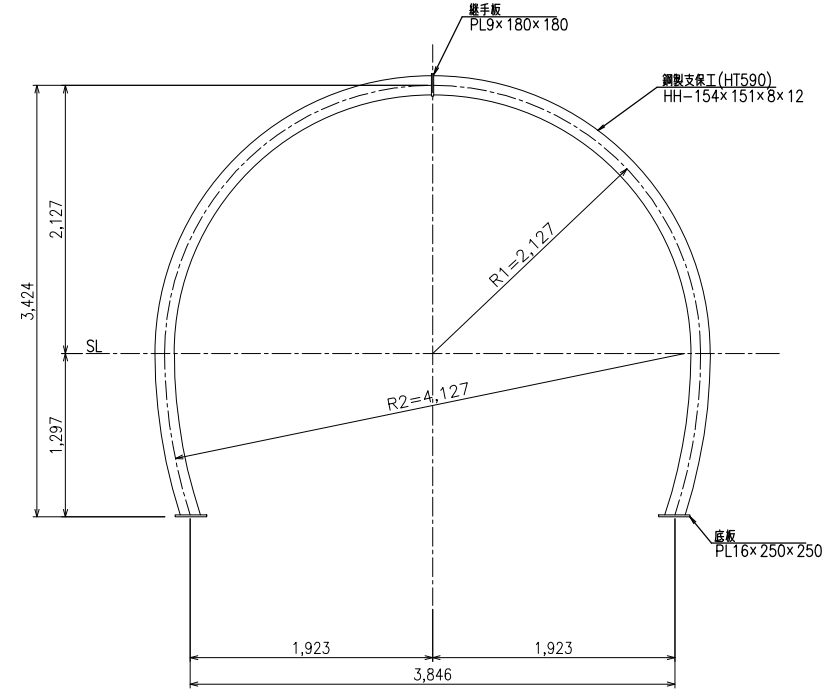
標準断面図

S=1/60



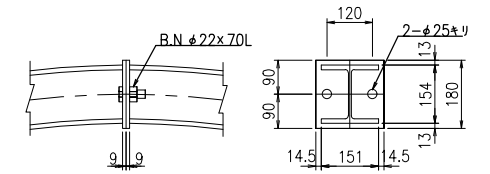
鋼製支保工図

S=1/60



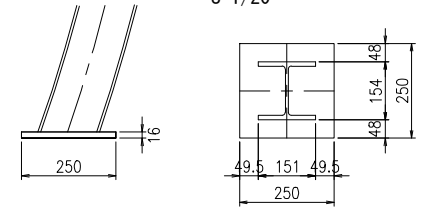
継手板詳細図

S=1/20



底板詳細図

S=1/20



諸元表

ロックボルト		鋼製支保工		吹付け厚 (cm)				変形余裕量 (cm)	
長さ (m)	周方向 (m)	延長方向 (m)	アーチ	インバート	アーチ 1次	インバート 1次	アーチ 2次	インバート 2次	アーチ
2.0	1.0	1.0	HH-154x151	-	25	5	-	-	7-子

数量表

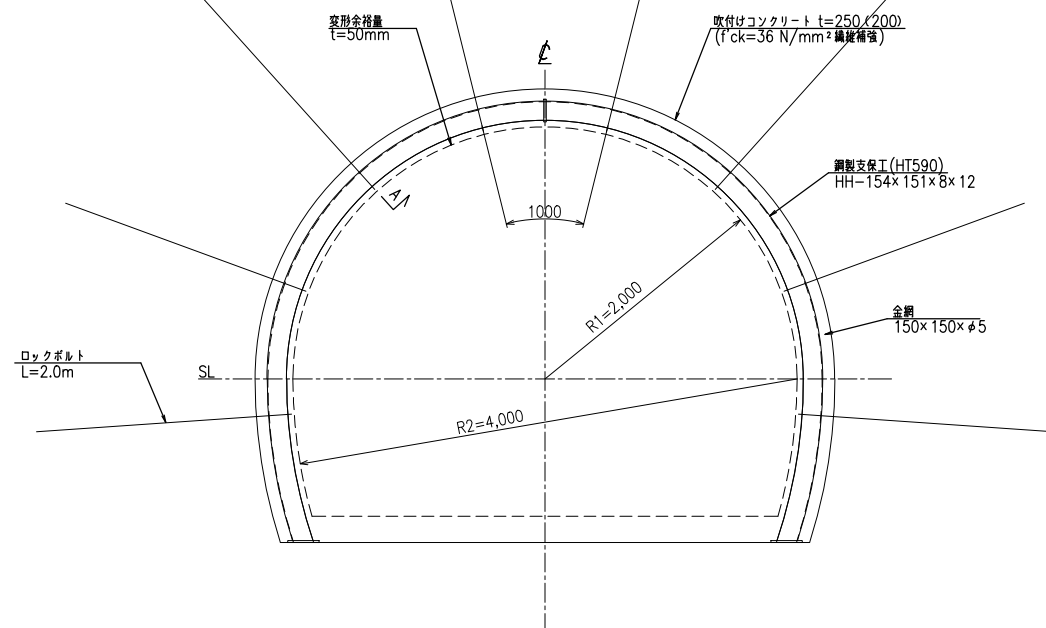
(1m当り)

名称	形状寸法	規格	単位	数量	摘要
標準断面 (設計)			m <sup>2</sup>	14.1	
標準断面 (支保)			m <sup>2</sup>	14.9	
ロックボルト	L=2,000	耐力 117.7kN	本	8	
産金	150x150x9	SS400	枚	8	
ナット		M24	個	8	
吹付けコンクリート (1次)	t=200	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	9.2	
吹付けコンクリート (2次)	t=50	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	9.1	

支保パターン図

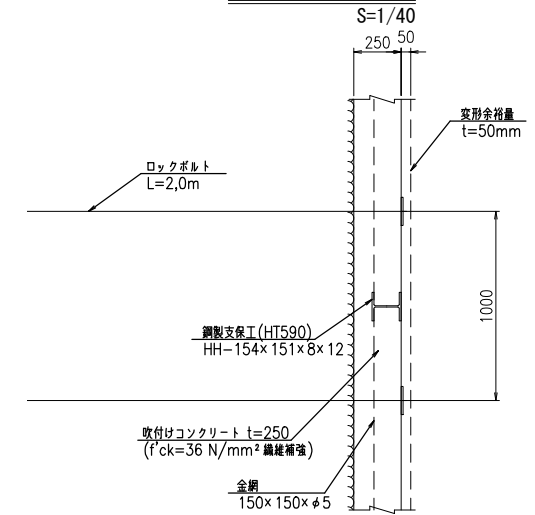
S=1/60

( E350-6-B1, E350-7-B1 )



A-A 断面図

S=1/40



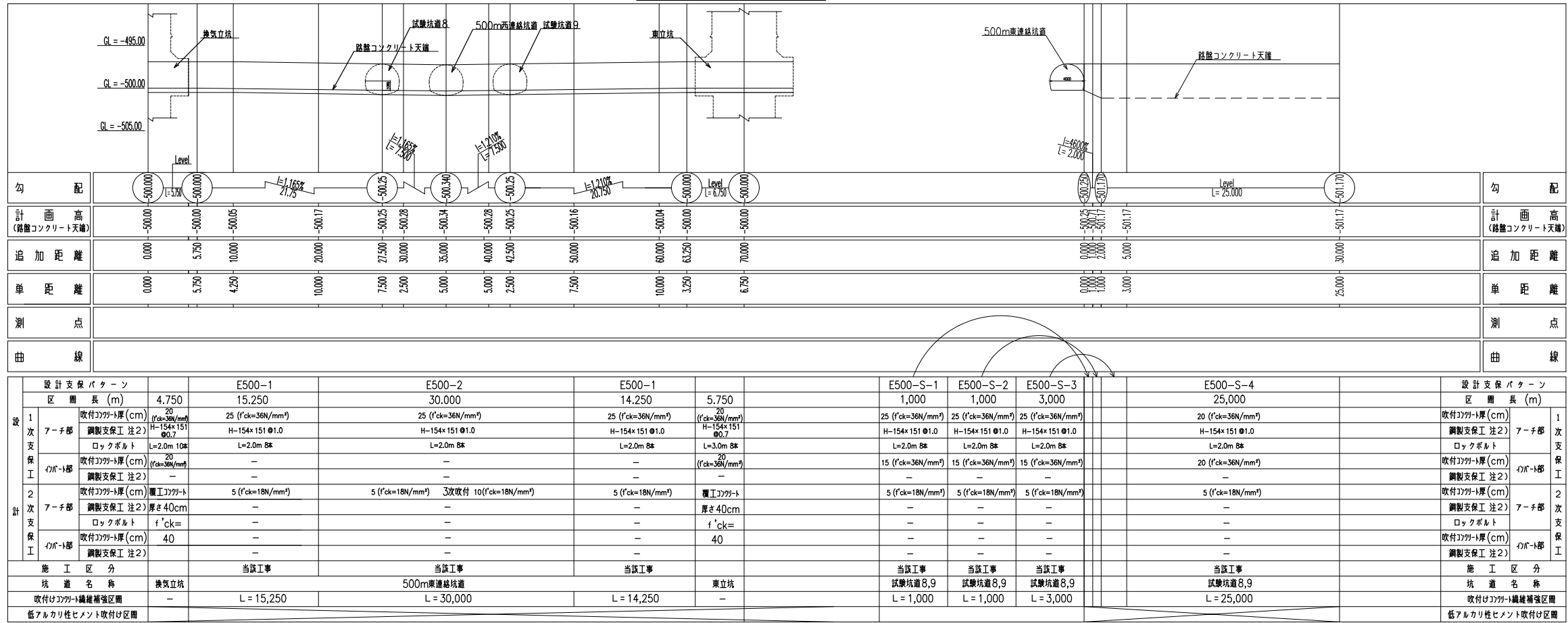
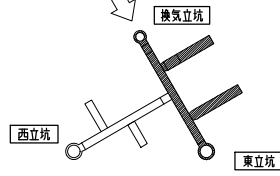
※掘進長は地山状況・A計測結果に応じて1.0mまたは1.2mで施工

幌延深地層研究計画		第 54 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	定規図 (E350-6-B1, E350-7-B1)		
1枚の内	その1	縮尺	図示
承	認	設計	写図
			作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

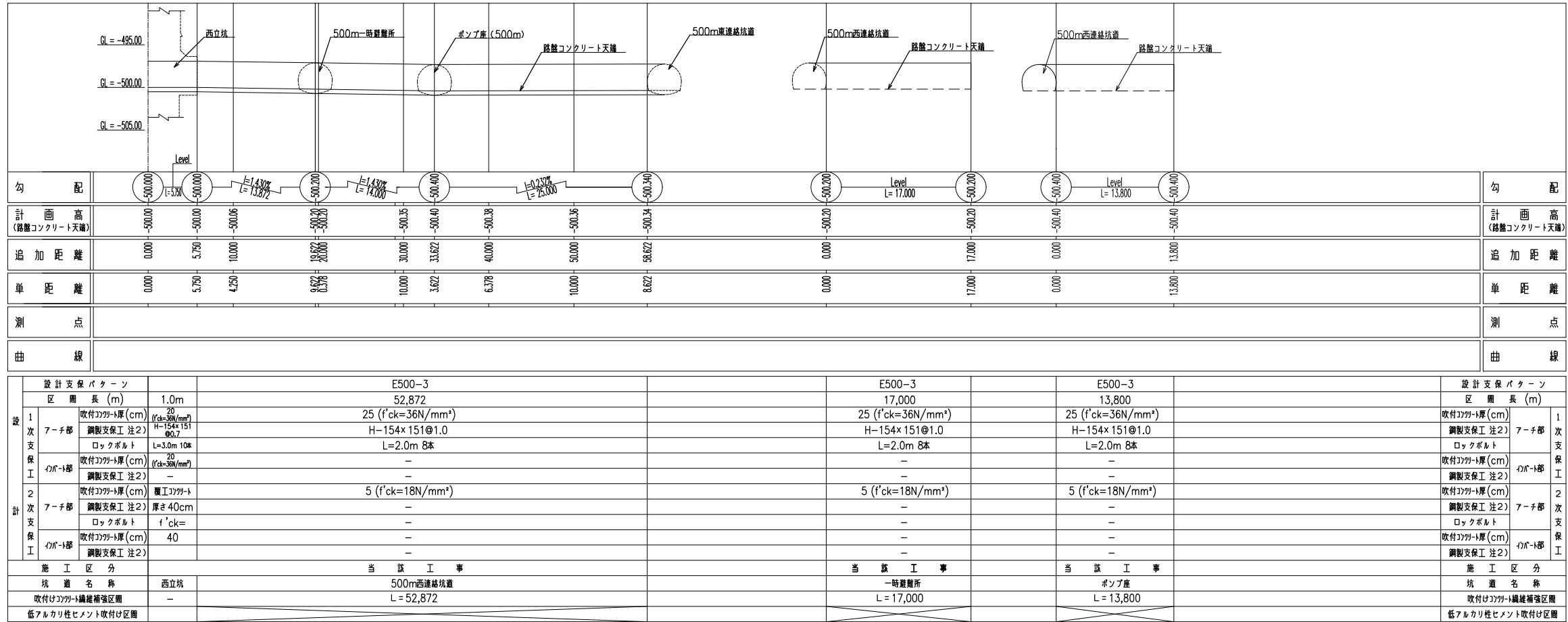
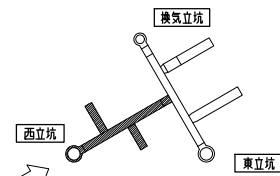
No.54

-500m坑道縦断図

KEY PLAN



KEY PLAN



注1) 立坑連絡部の内、水平坑道との取合い部1m区間を示す  
 注2) 鋼製支保工H-154x151はHT590を使用し、それ以外はSS400を使用する。

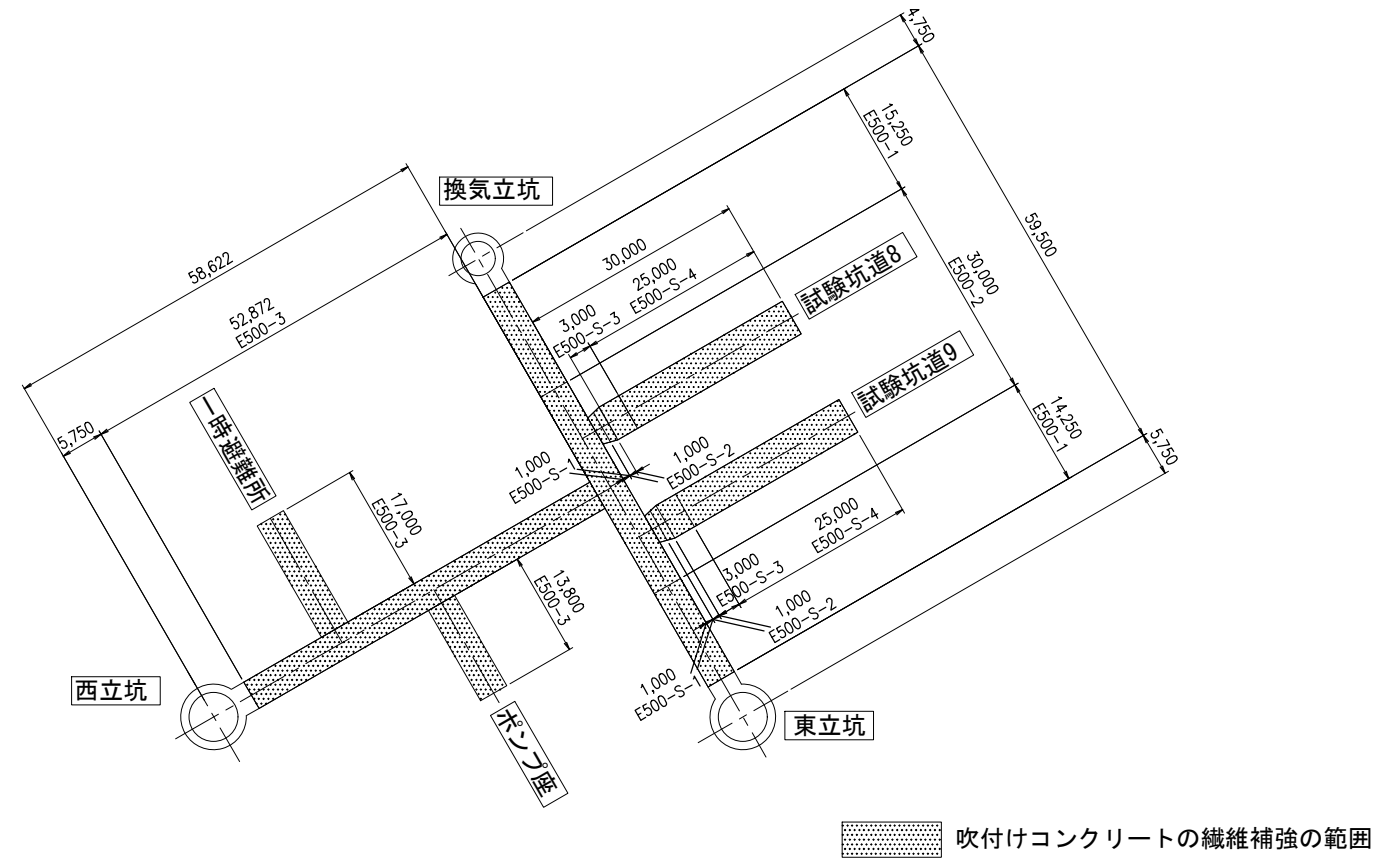
No.55

横延深地層研究計画		第 55 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	500m坑道縦断図		
1枚の内	その1	縮尺	1/600
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.	令和3年9月30日 完工	
日本原子力研究開発機構			



500m坑道支保工割付図

水平坑道 (GL-500m)



吹付けコンクリートの繊維補強の範囲

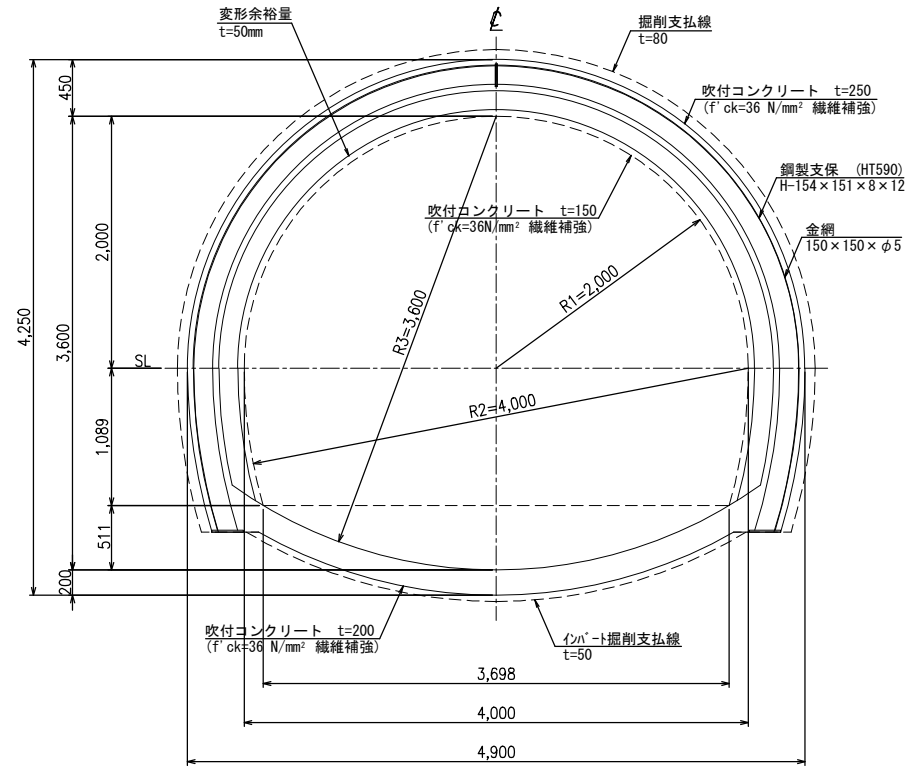
幌延深地層研究計画		第 56 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	500m坑道支保工割付図		
1 枚の内	その 1	縮 尺	1/500
承 認	設 計	写 図	作成年月日
整理番号	No.	令和 3 年 9 月 30 日 完工	
日本原子力研究開発機構			

No.56

定規図 (E500-S-1)

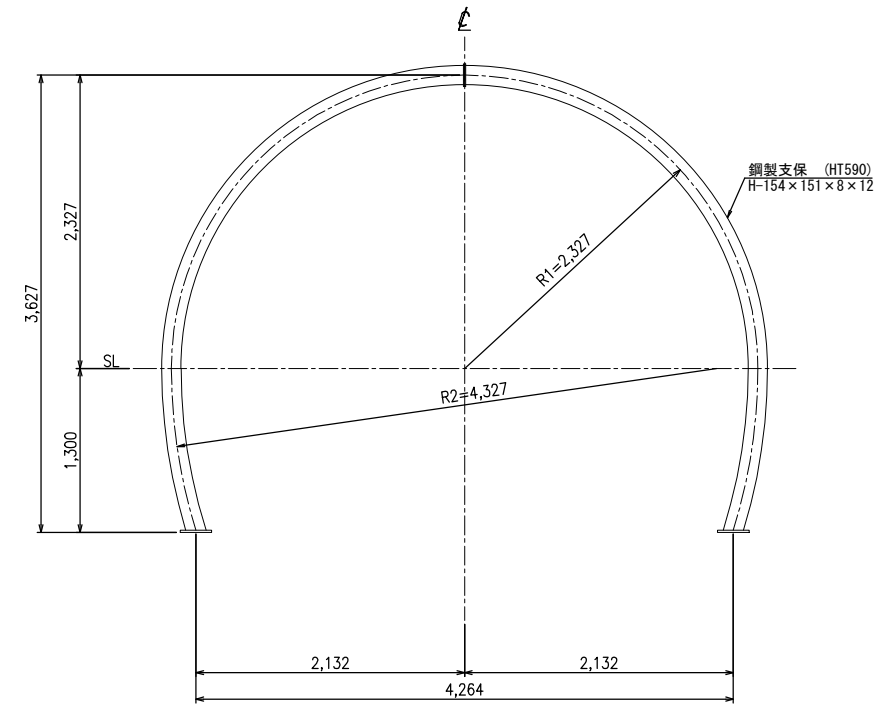
標準断面図

S=1/60



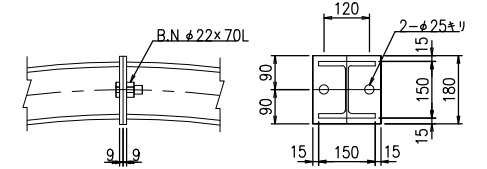
鋼製支保工図

S=1/60



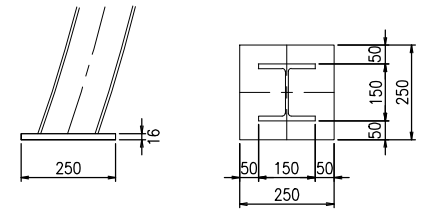
継手板詳細図

S=1/20



底板詳細図

S=1/20



諸元表

ロックボルト		鋼製支保工		吹付け厚 (cm)				実形余裕量 (cm)	
長さ (m)	周方向 (m)	延長方向 (m)	アーチ	インバート	1次	2次	1次	2次	アーチ
2.0	1.0	1.0	HH-154x151	-	25	15	20	-	7-#7

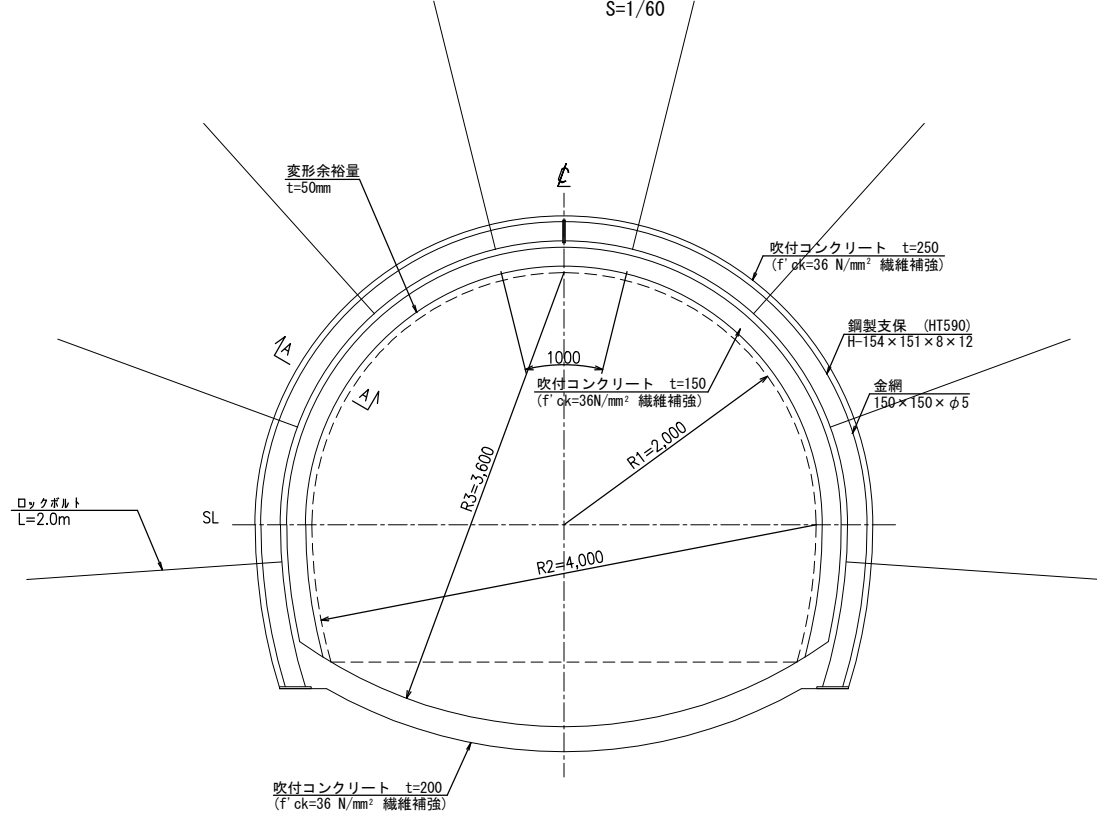
数量表

(1m当り)

名称	形状寸法	規格	単位	数量	備考
掘削断面積 (設計)			m <sup>2</sup>	16.9	
掘削断面積 (支保)			m <sup>2</sup>	17.9	
ロックボルト	L=2,000	耐力 117.7kN	本	8	
座金	150x150x9	SS400	枚	8	
ネット		M24	個	8	
吹付けコンクリート	t=250	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	9.6	
吹付けコンクリート	t=150	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	8.6	
吹付けコンクリート	t=200	36 N/mm <sup>2</sup>	m	4.5	インバート

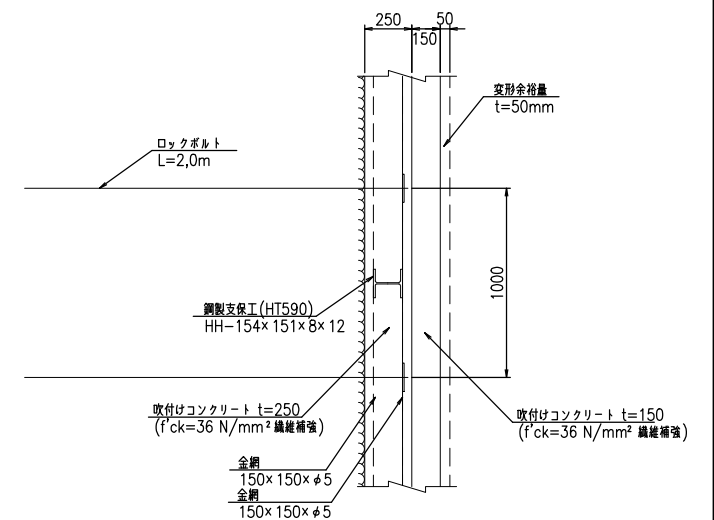
支保パターン図

S=1/60



A-A 断面図

S=1/40



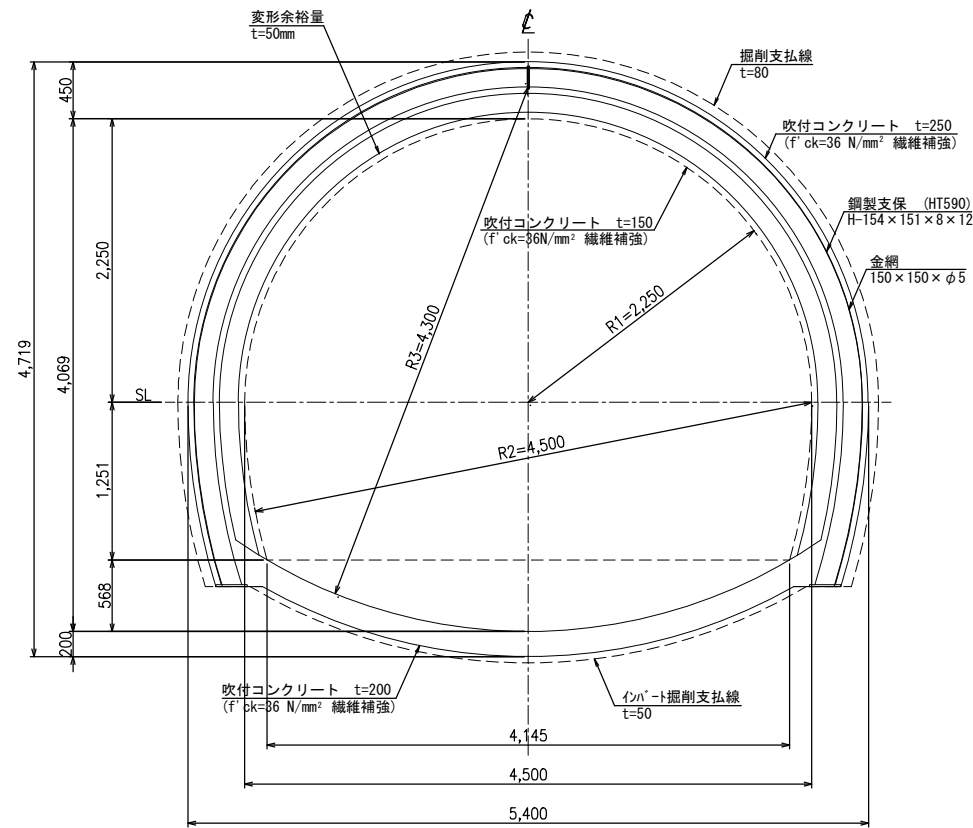
幌延深地層研究計画		第 57 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	定規図 (E500-S-1)		
1 枚の内	その 1	縮尺	図示
承	認	設計	写図
			作成年月日
整理番号	No.		令和 3 年 9 月 30 日 完工
日本原子力研究開発機構			

No.57

定規図 (E500-S-2)

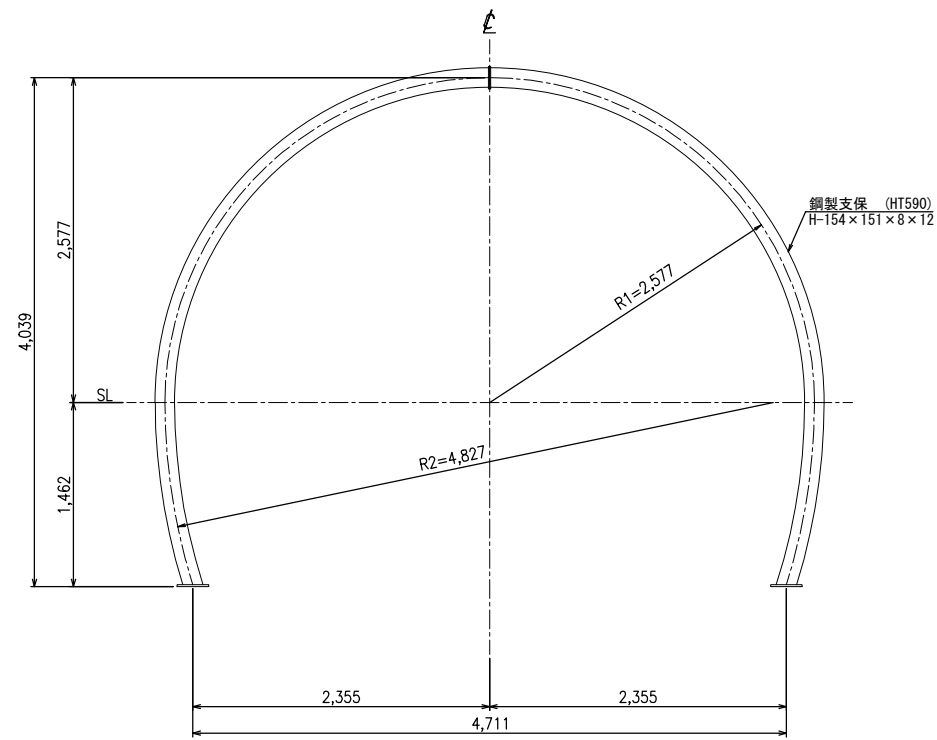
標準断面図

S=1/60



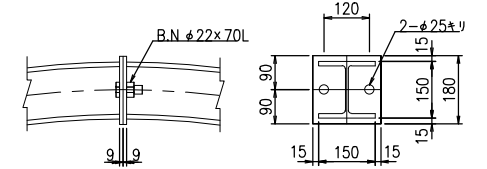
鋼製支保工図

S=1/60



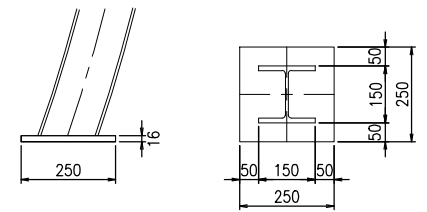
継手板詳細図

S=1/20



底板詳細図

S=1/20



諸元表

ロックボルト		鋼製支保工		吹付け厚 (cm)				実形余裕量 (cm)
長さ (m)	周方向 (m)	延長方向 (m)	アーチ	インバート	アーチ 1次	アーチ 2次	インバート 1次	インバート 2次
2.0	1.0	1.0	HH-154x151	-	25	15	20	-

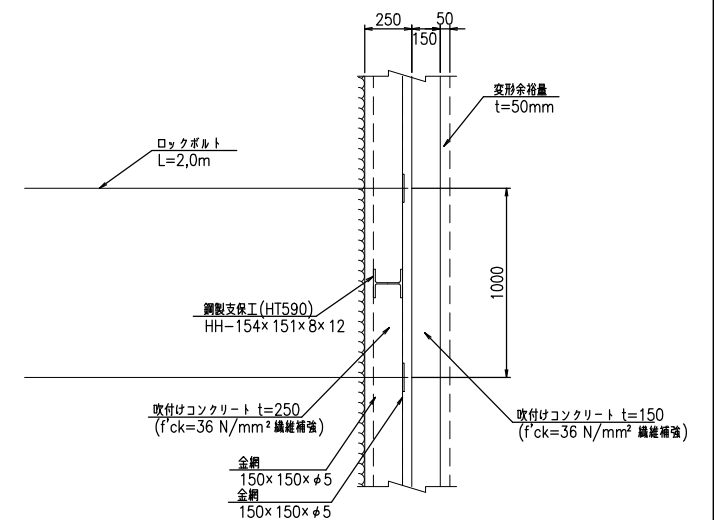
数量表

(1m当り)

名称	形状寸法	規格	単位	数量	備考
掘削断面積 (設計)			m <sup>2</sup>	20.7	
掘削断面積 (支保)			m <sup>2</sup>	21.9	
ロックボルト	L=2,000	耐力 117.7kN	本	8	
座金	150x150x9	SS400	枚	8	
ネット		M24	個	8	
吹付けコンクリート	t=250	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	11.1	
吹付けコンクリート	t=150	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	9.6	
吹付けコンクリート	t=200	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	4.9	インバート

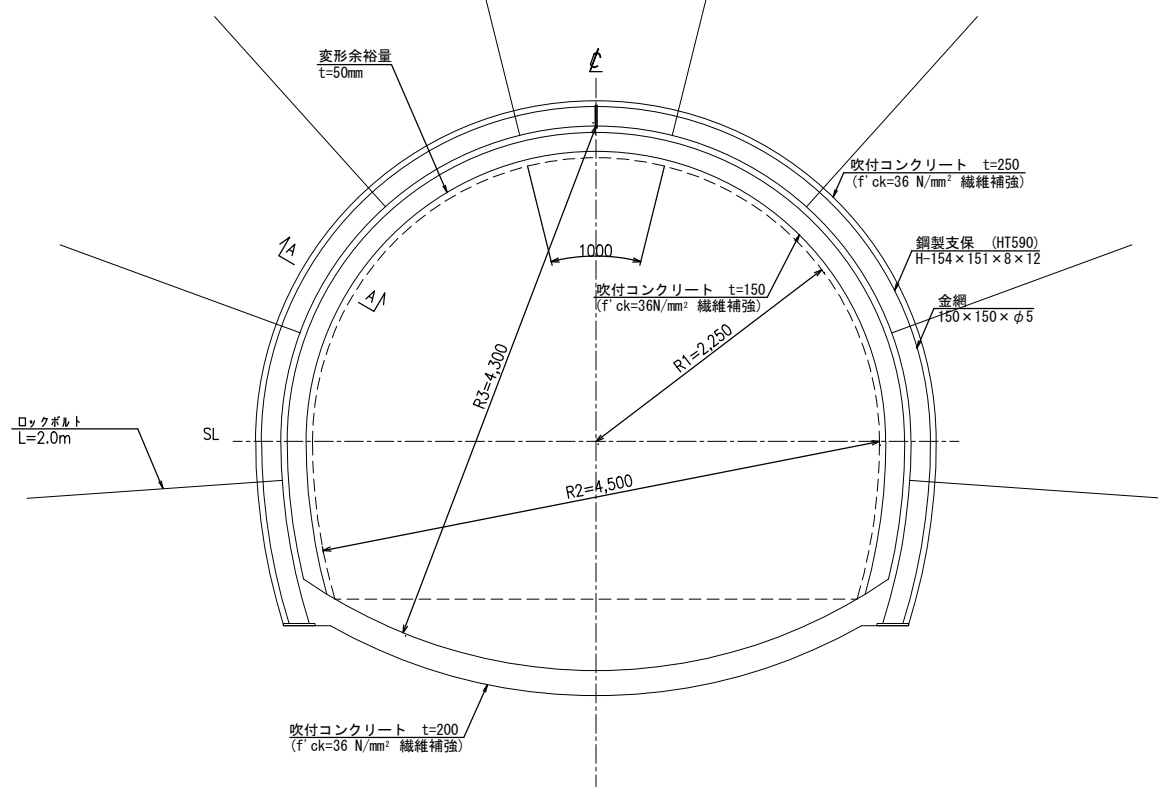
A-A 断面図

S=1/40



支保パターン図

S=1/60



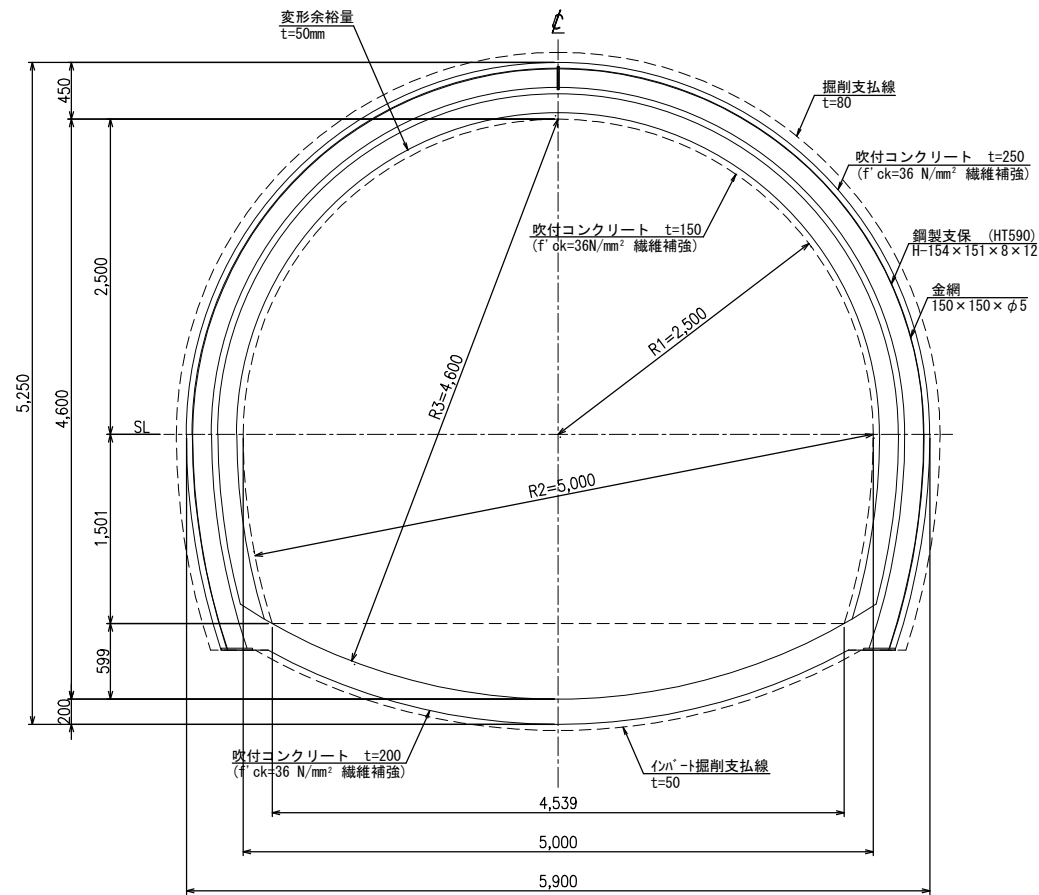
幌延深地層研究計画		第 58 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	定規図 (E500-S-2)		
1 枚の内	その 1	縮尺	図示
承	認	設計	写図
			作成年月日
整理番号	No.		令和 3 年 9 月 30 日 完工
日本原子力研究開発機構			

No.58

定規図 (E500-S-3)

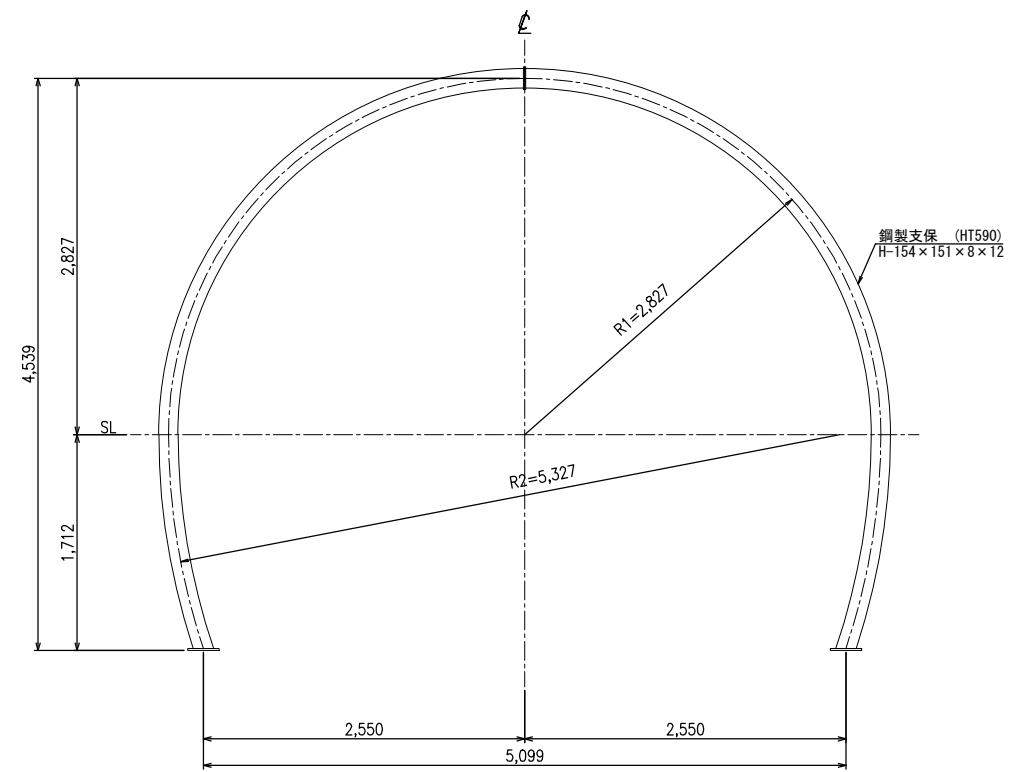
標準断面図

S=1/60



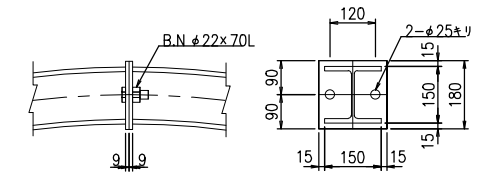
鋼製支保工図

S=1/60



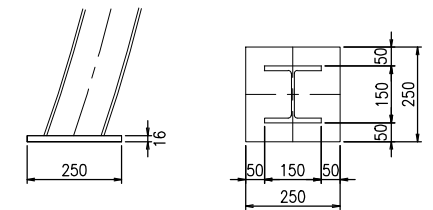
継手板詳細図

S=1/20



底板詳細図

S=1/20



諸元表

長さ (m)	周方向 (m)	延長方向 (m)	鋼製支保工		吹付け厚 (cm)				実形余裕量 (cm)	
			アーチ	インバート	アーチ 1次	アーチ 2次	インバート 1次	インバート 2次		
2.0	1.0	1.0	HH-154x151	-	25	15	20	-	7-φ7	5

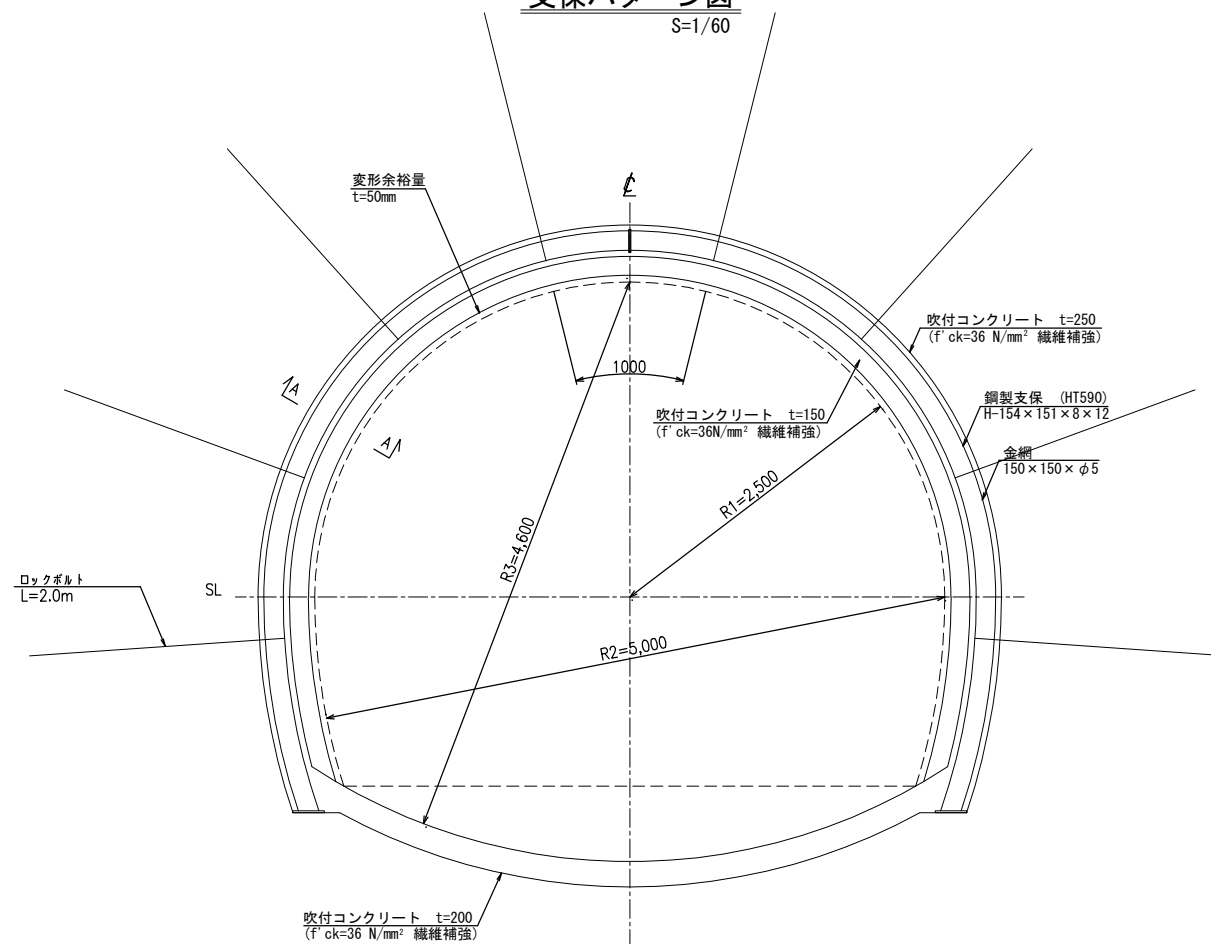
数量表

(1m当り)

名称	形状寸法	規格	単位	数量	備考
掘削断面積 (設計)			m <sup>2</sup>	25.3	
掘削断面積 (支保)			m <sup>2</sup>	26.6	
ロックボルト	L=2,000	耐力 117.7kN	本	8	
座金	150x150x9	SS400	枚	8	
ナット		M24	個	8	
吹付けコンクリート	t=250	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	12.0	
吹付けコンクリート	t=150	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	11.0	
吹付けコンクリート	t=200	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	5.3	インバート

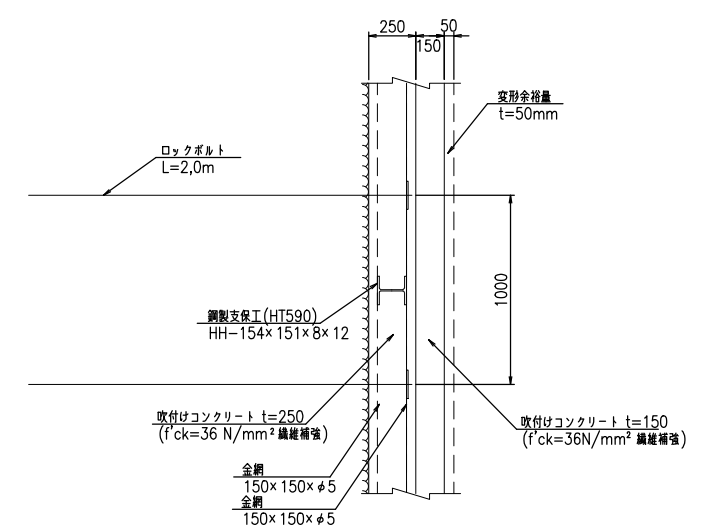
支保パターン図

S=1/60



A-A 断面図

S=1/40



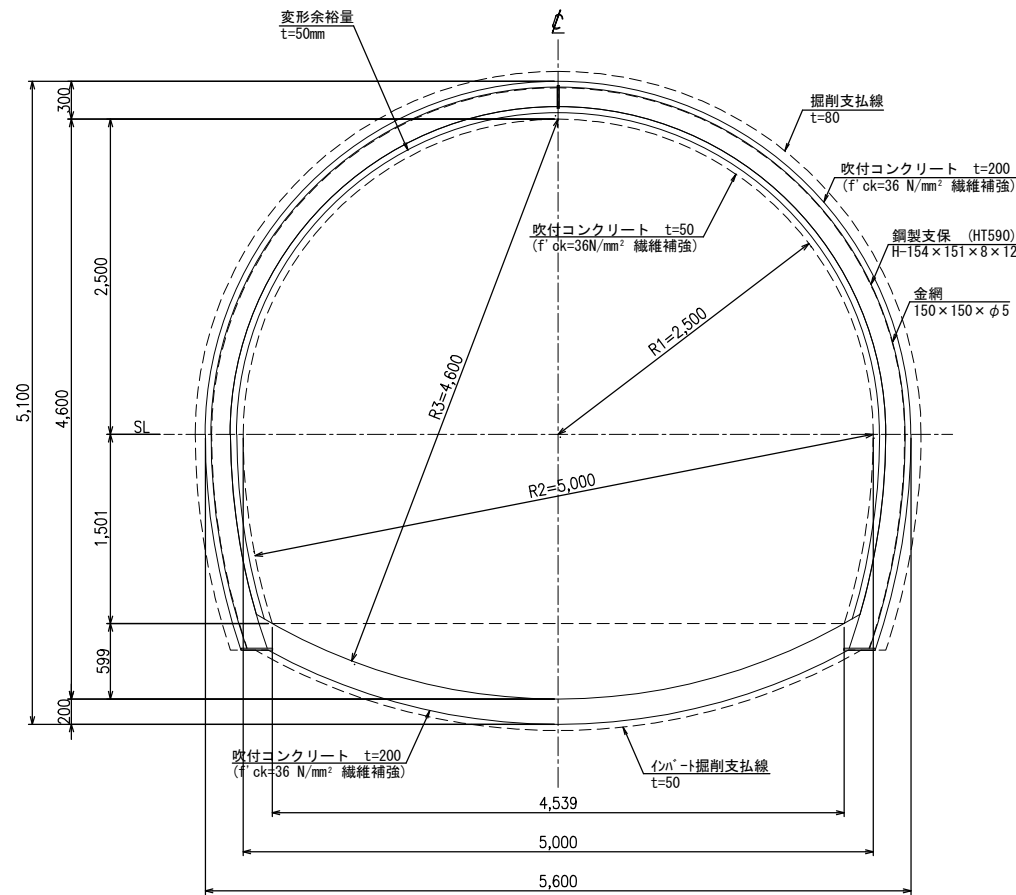
幌延深地層研究計画		第 59 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	定規図 (E500-S-3)		
1 枚の内	その 1	縮尺	図示
承	認	設計	写図
			作成年月日
整理番号	No.		令和 3 年 9 月 30 日 完工
日本原子力研究開発機構			

No.59

定規図 (E500-S-4)

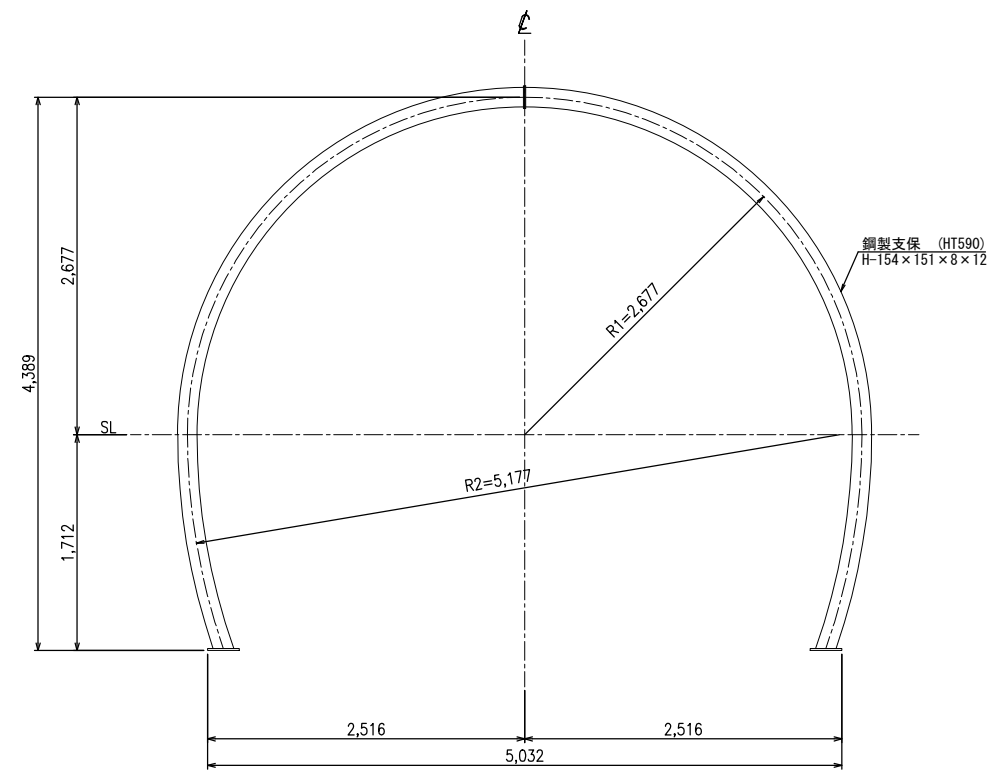
標準断面図

S=1/60



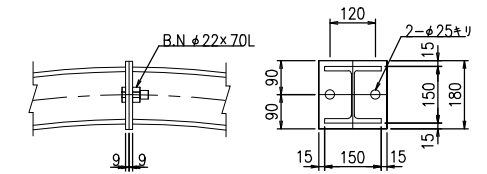
鋼製支保工図

S=1/60



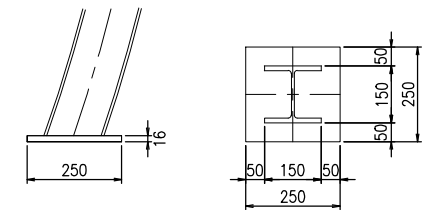
継手板詳細図

S=1/20



底板詳細図

S=1/20



諸元表

長さ (m)	周方向 (m)	延長方向 (m)	鋼製支保工		吹付け厚 (cm)				実形余裕量 (cm)	
			アーチ	インバート	アーチ 1次	アーチ 2次	インバート 1次	インバート 2次		
2.0	1.0	1.0	HH-154x151	-	20	5	20	-	7-7	5

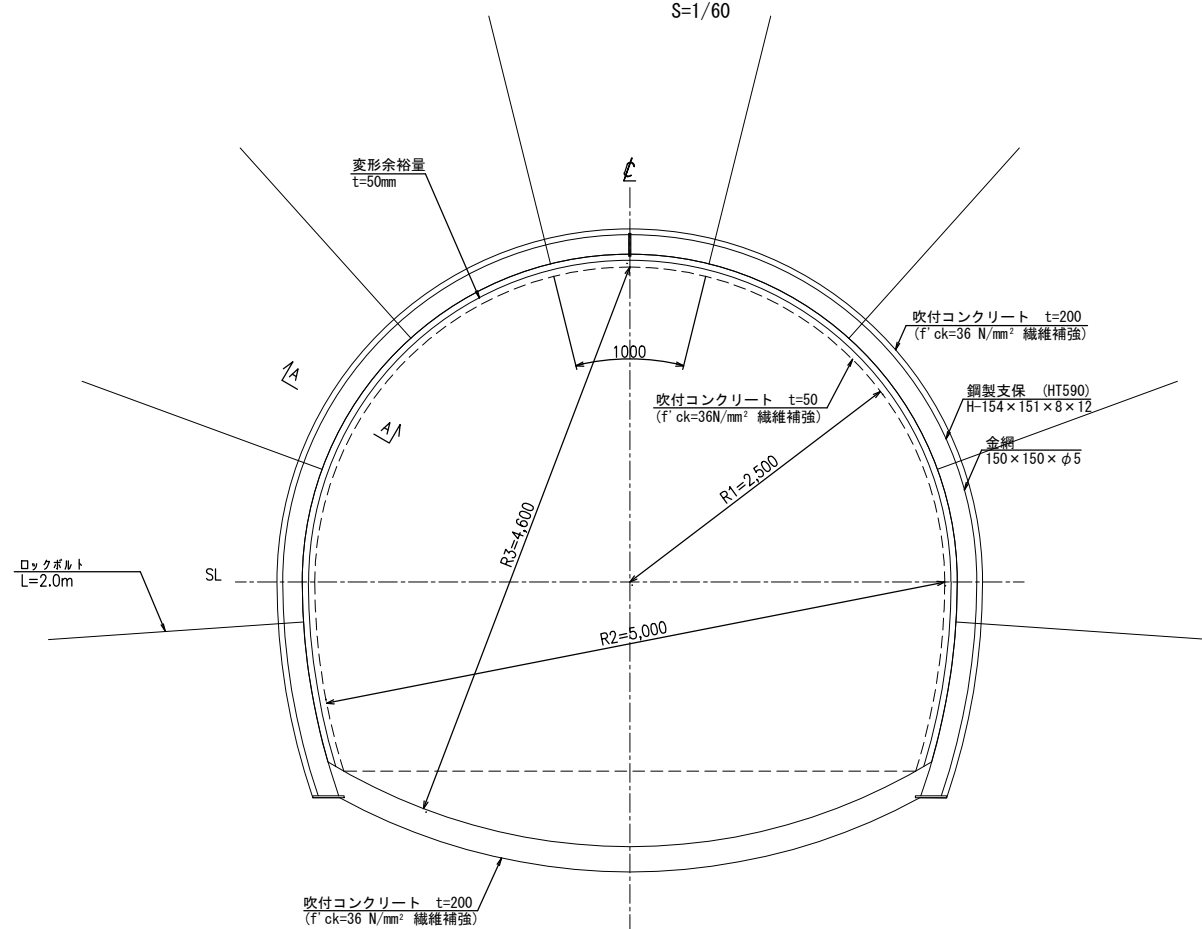
数量表

(1m当り)

名称	形状寸法	規格	単位	数量	備考
掘削断面積 (設計)			m <sup>2</sup>	23.4	
掘削断面積 (支保)			m <sup>2</sup>	24.6	
ロックボルト	L=2,000	耐力 117.7kN	本	8	
座金	150x150x9	SS400	枚	8	
ナット		M24	個	8	
吹付けコンクリート	t=200	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	12.0	
吹付けコンクリート	t=50	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	11.0	
吹付けコンクリート	t=200	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	5.0	インバート

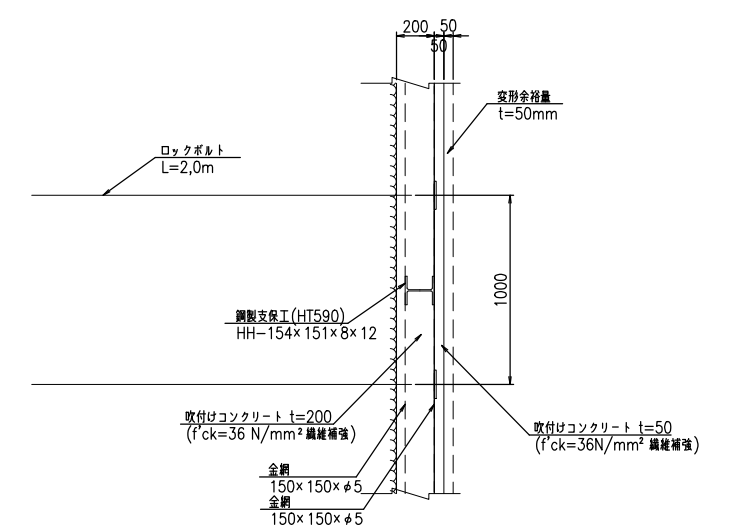
支保パターン図

S=1/60



A-A 断面図

S=1/40



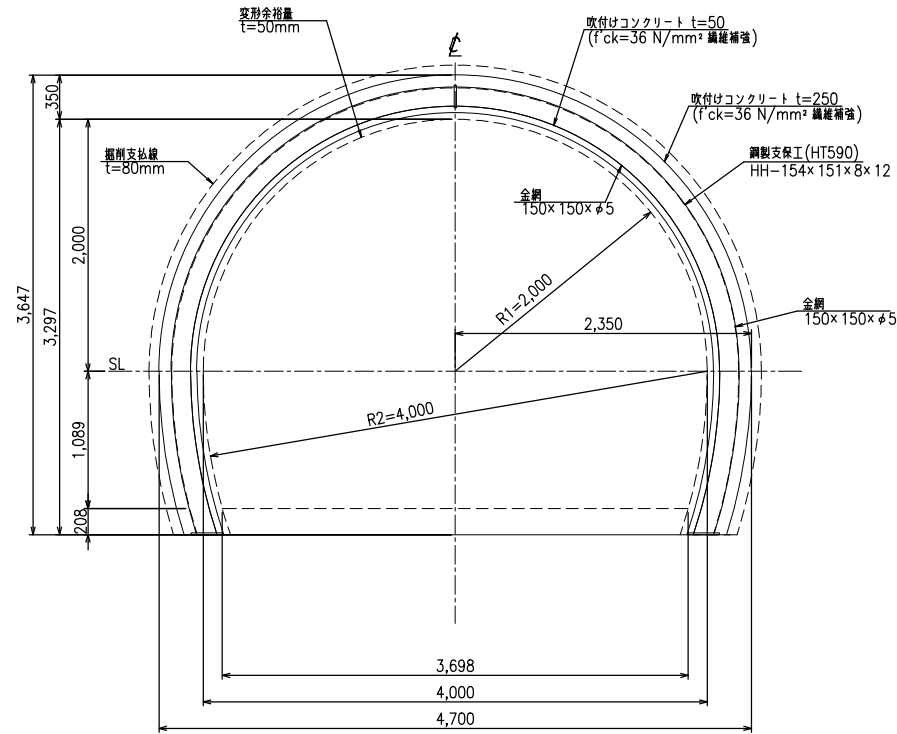
幌延深地層研究計画		第 60 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	定規図 (E500-S-4)		
1 枚の内	その 1	縮尺	図示
承	認	設計	写 図
			作成年月日
整理番号	No.		令和 3 年 9 月 30 日 完工
日本原子力研究開発機構			

No.60

# 定規図 (E500-1)

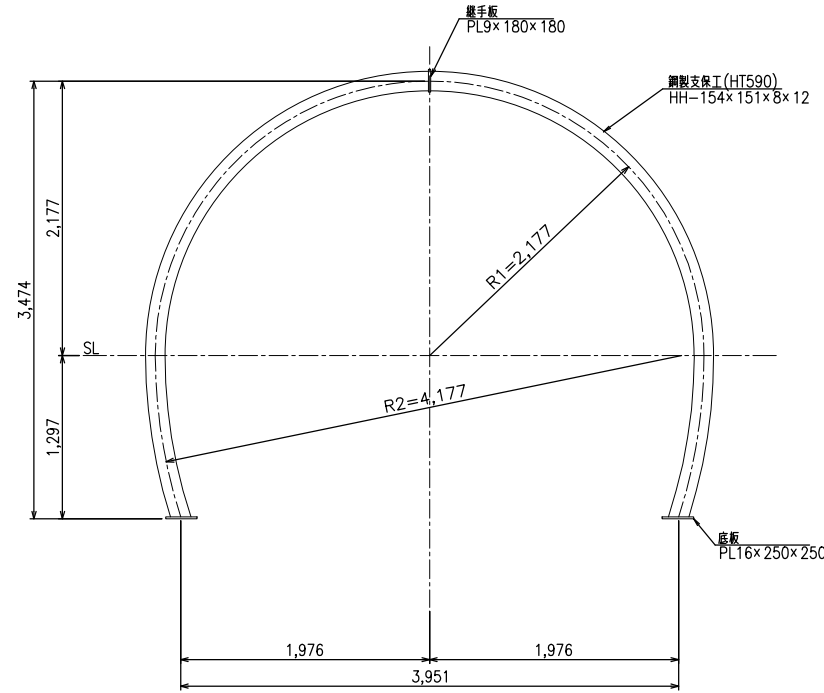
## 標準断面図

S=1/60



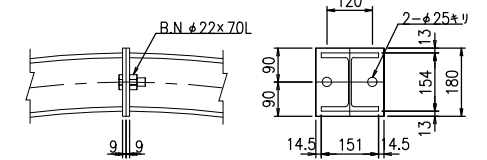
## 鋼製支保工図

S=1/60



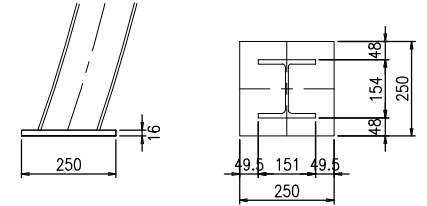
## 継手板詳細図

S=1/20



## 底板詳細図

S=1/20



## 諸元表

ロックボルト		鋼製支保工		吹付け厚 (cm)				変形余裕量 (cm)	
長さ (m)	周方向 (m)	延長方向 (m)	アーチ	インバート	アーチ 1次	アーチ 2次	インバート 1次	インバート 2次	アーチ
2.0	1.0	1.0	HH-154x151	-	25	5	-	-	7-φ 7-φ

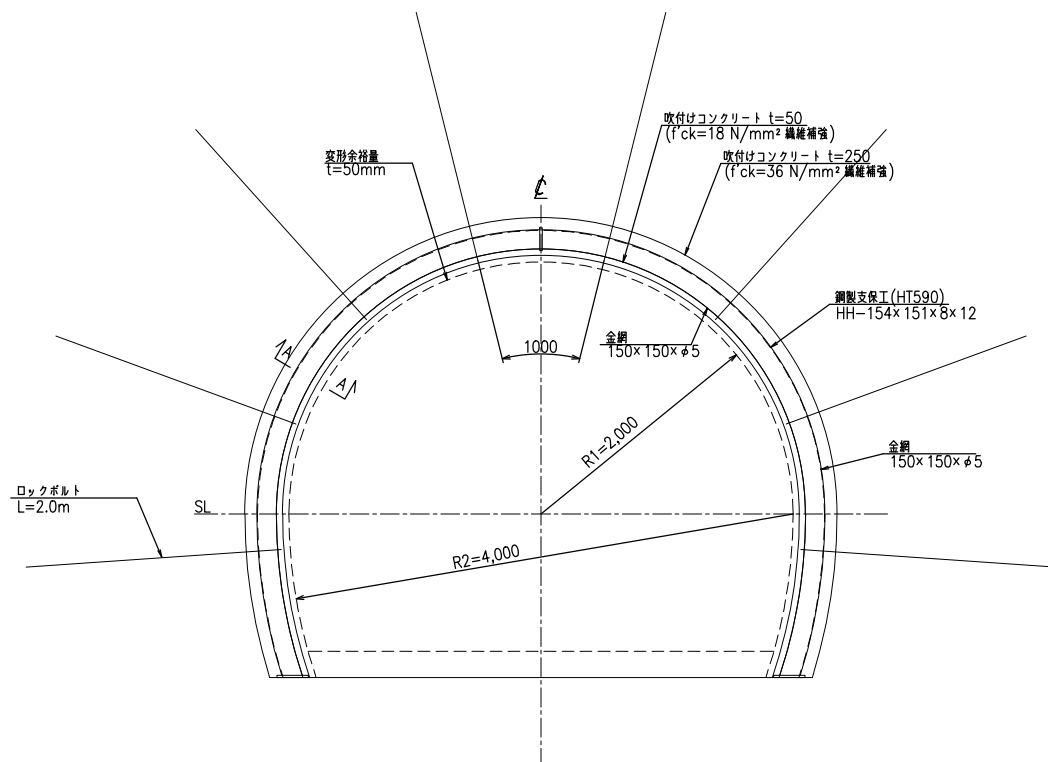
## 数量表

(1m当り)

名称	形状寸法	規格	単位	数量	備考
標準断面積 (設計)			m <sup>2</sup>	14.6	
標準断面積 (支保)			m <sup>2</sup>	15.4	
ロックボルト	L=2,000	耐力 117.7kN	本	8	
産金	150x150x9	SS400	枚	8	
ナット		M24	個	8	
吹付けコンクリート	t=250	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	9.2	
吹付けコンクリート	t=50	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	9.1	

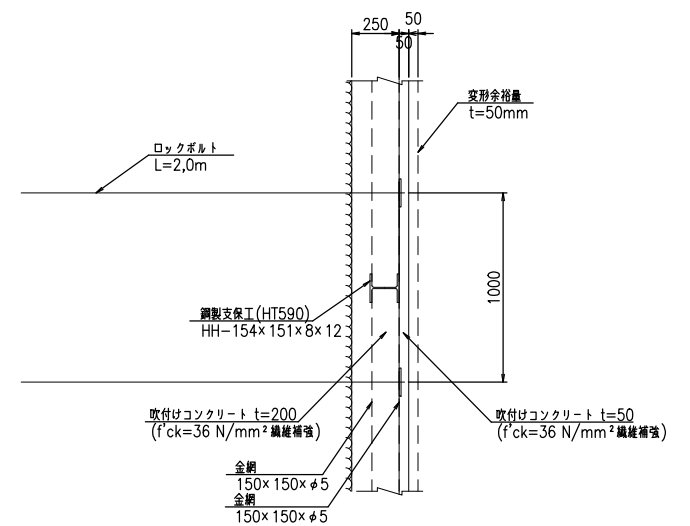
## 支保パターン図

S=1/60



## A-A 断面図

S=1/40

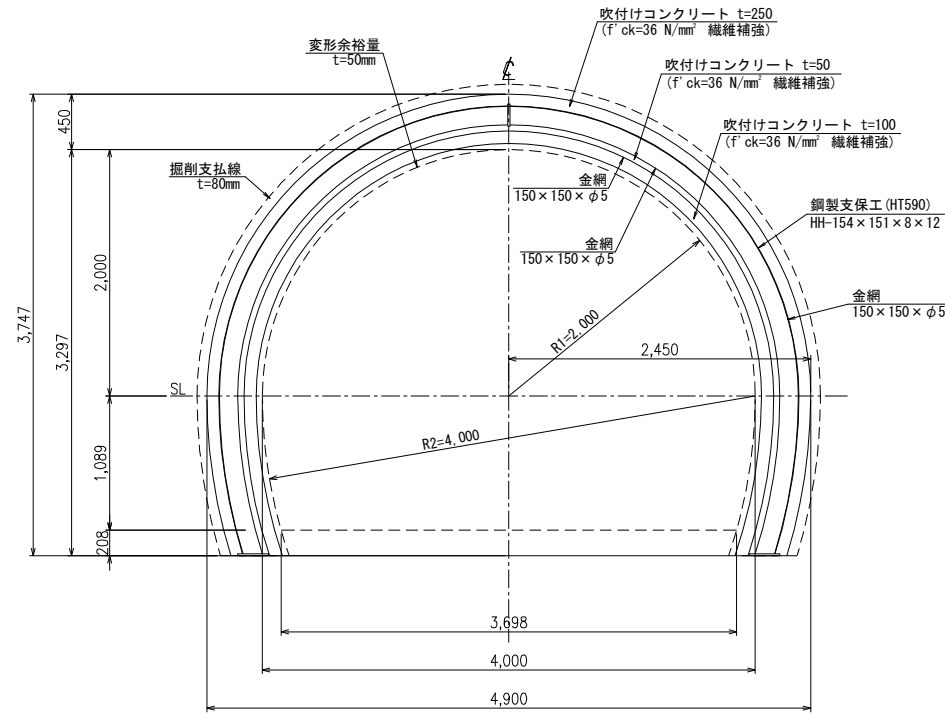


幌延深地層研究計画		第 61 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	定規図 (E500-1)		
1 枚の内	その 1	縮尺	図示
承	認	設計	写図
			作成年月日
整理番号	No.		令和 3 年 9 月 30 日 完工
日本原子力研究開発機構			

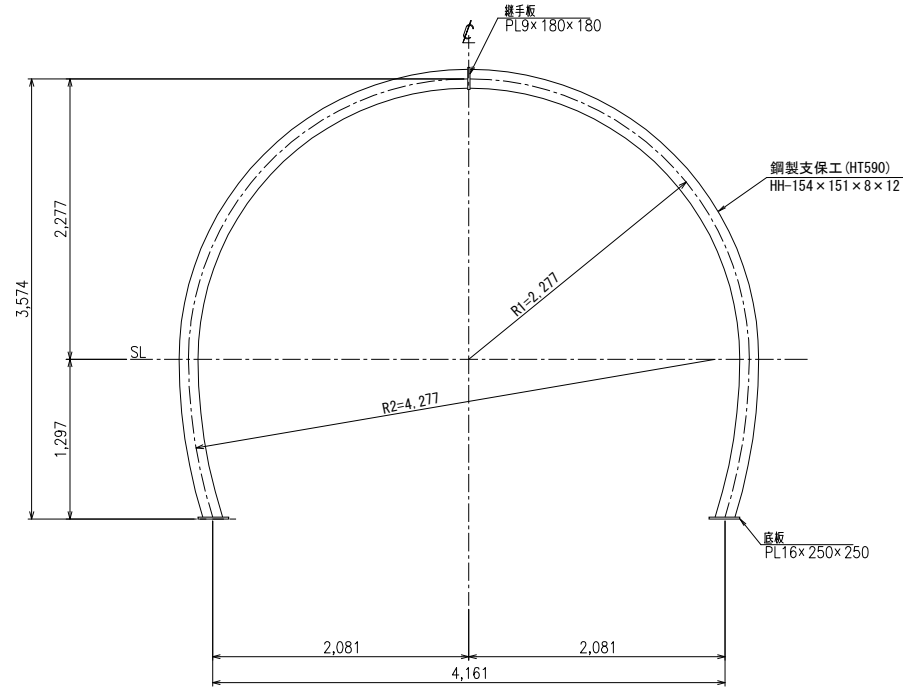
# No.61

定規図 (E500-2)

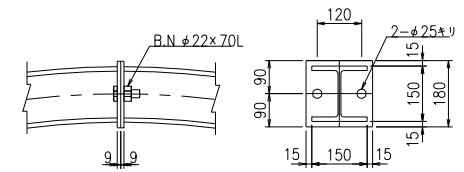
標準断面図  
S=1/60



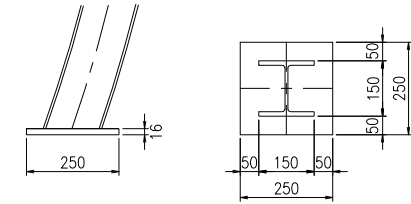
鋼製支保工図  
S=1/60



継手板詳細図  
S=1/20



底板詳細図  
S=1/20



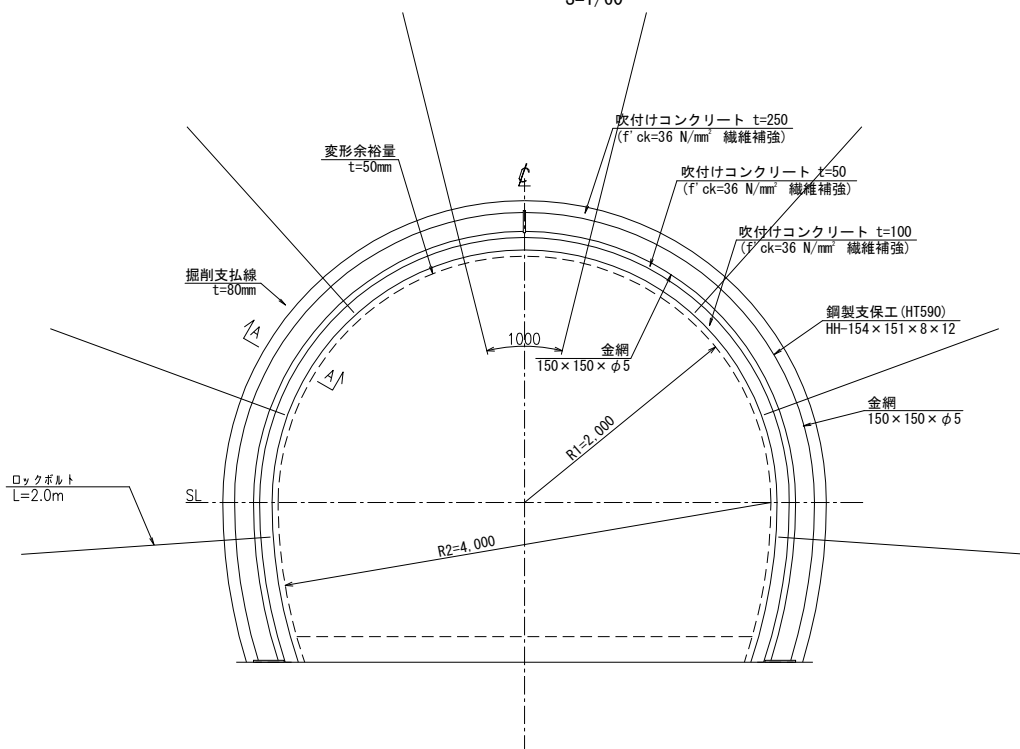
諸元表

長さ (m)	周方向 (m)	延長方向 (m)	鋼製支保工		吹付け厚 (cm)				金網		変形余裕量 (cm)	
			アーチ	インバート	アーチ 1次	アーチ 2次	インバート 1次	インバート 2次	アーチ	アーチ		
2.0	1.0	1.0	HH-154x151	-	25	5	10	-	-	7-φ	7-φ	5

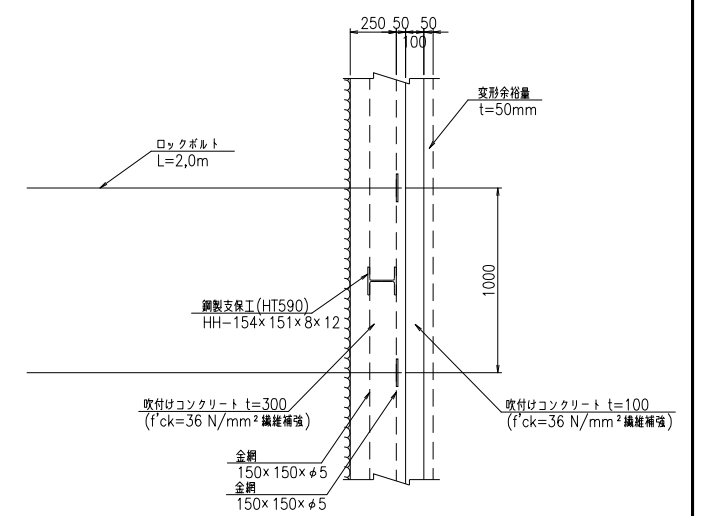
数量表 (1m当り)

名称	形状寸法	規格	単位	数量	備考
掘削断面積 (設計)			m <sup>2</sup>	15.6	
掘削断面積 (支保)			m <sup>2</sup>	16.5	
ロックボルト	L=2,000	耐力 117.7kN	本	8	
座金	150x150x9	SS400	枚	8	
ナット		M24	個	8	
吹付けコンクリート	t=250	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	9.5	
吹付けコンクリート	t=100	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	9.1	

支保パターン図  
S=1/60



A-A 断面図  
S=1/40



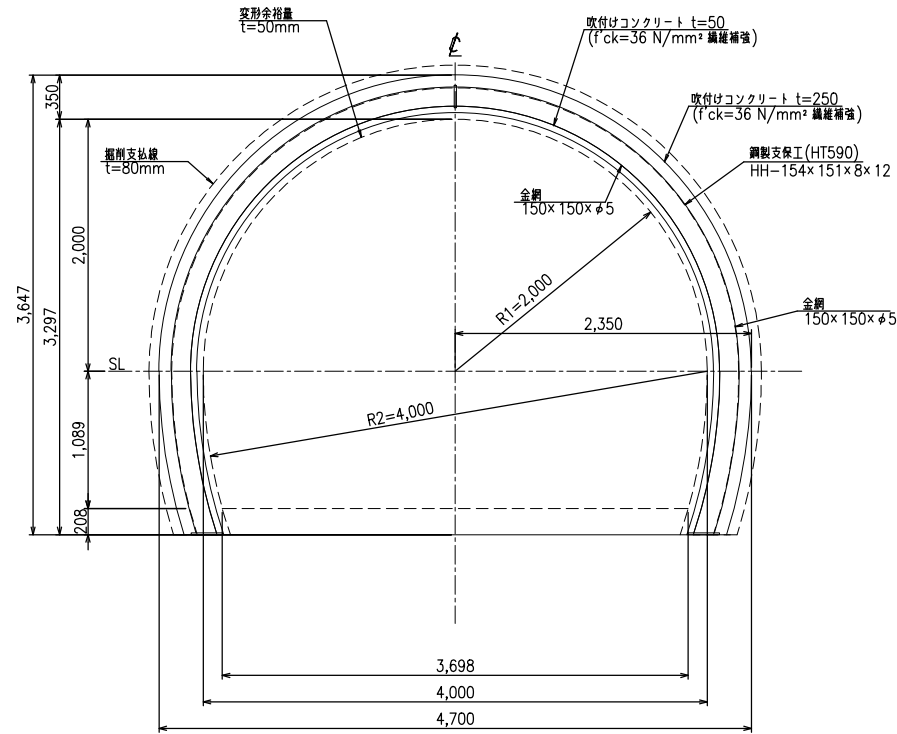
横延深地層研究計画		第 62 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	定規図 (E500-2)		
1 枚の内	その 1	縮尺	図示
承	認	設計	写図
整理番号	No.	令和 3 年 4 月 30 日 竣工	
日本原子力研究開発機構			

No.62

定規図 (E500-3)

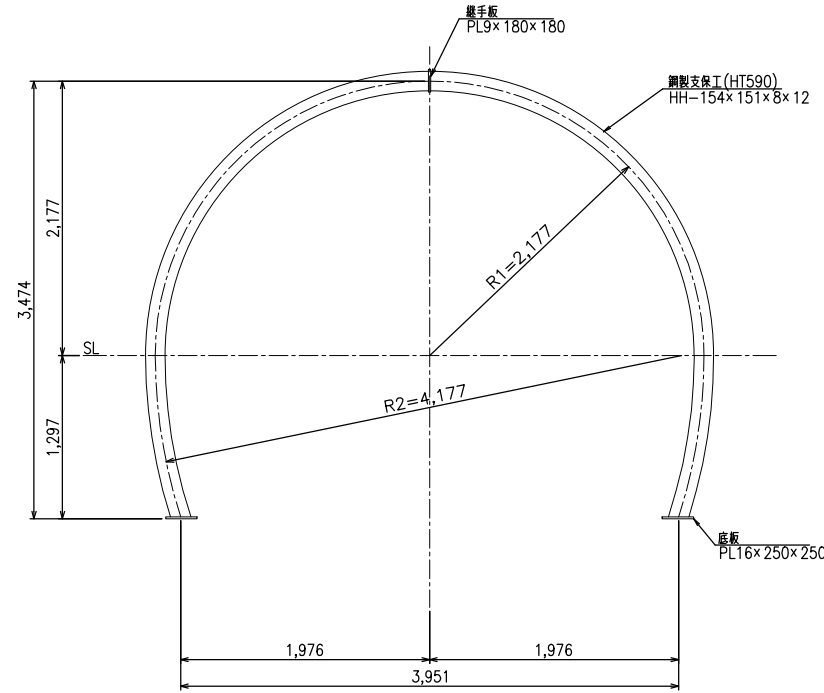
標準断面図

S=1/60



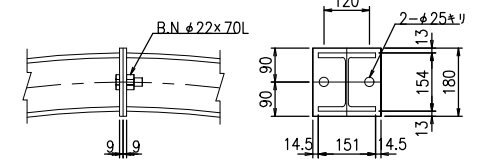
鋼製支保工図

S=1/60



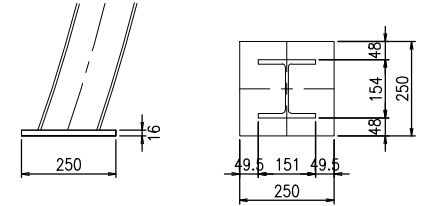
継手板詳細図

S=1/20



底板詳細図

S=1/20



諸元表

ロックボルト		鋼製支保工		吹付け厚 (cm)				変形余裕量 (cm)	
長さ (m)	周方向 (m)	延長方向 (m)	アーチ	インバート	アーチ 1次	アーチ 2次	インバート 1次	インバート 2次	アーチ
2.0	1.0	1.0	HH-154x151	-	25	5	-	-	7-φ 7-φ

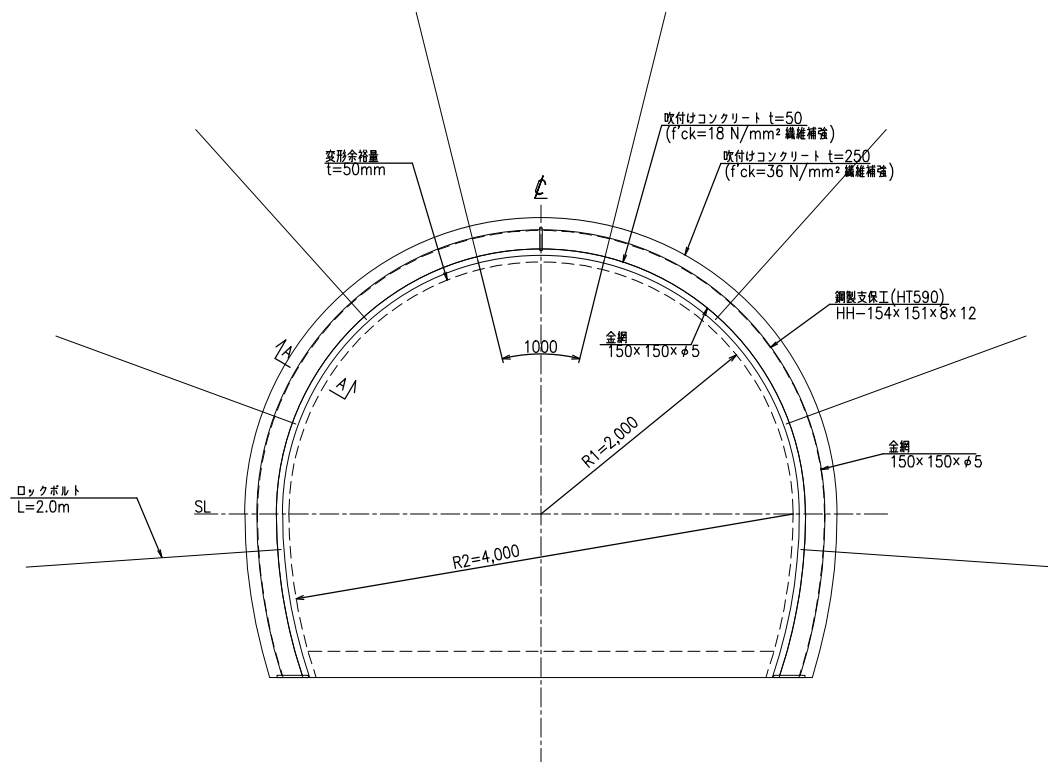
数量表

(1m当り)

名称	形状寸法	規格	単位	数量	備考
掘削断面積 (設計)			m <sup>2</sup>	14.6	
掘削断面積 (支保)			m <sup>2</sup>	15.4	
ロックボルト	L=2,000	耐力 117.7kN	本	8	
産金	150x150x9	SS400	枚	8	
ネット		M24	個	8	
吹付けコンクリート	t=250	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	9.2	
吹付けコンクリート	t=50	36 N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	9.1	

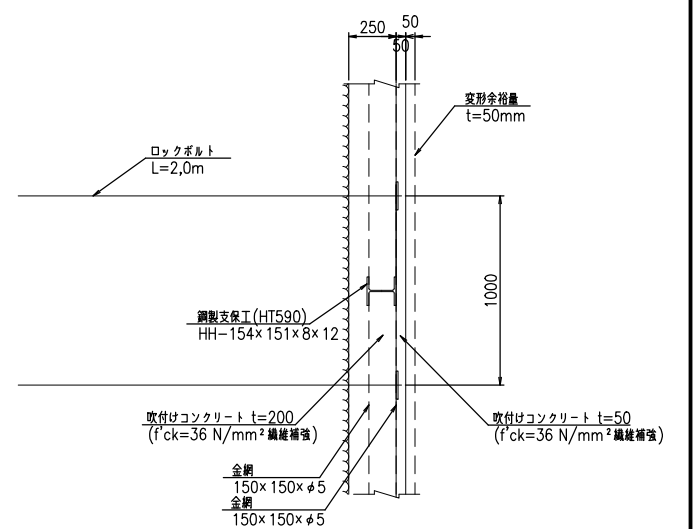
支保パターン図

S=1/60



A-A 断面図

S=1/40



幌延深地層研究計画		第 63 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	定規図 (E500-3)		
1 枚の内	その 1	縮尺	図示
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.	令和 3 年 9 月 30 日 完工	
日本原子力研究開発機構			

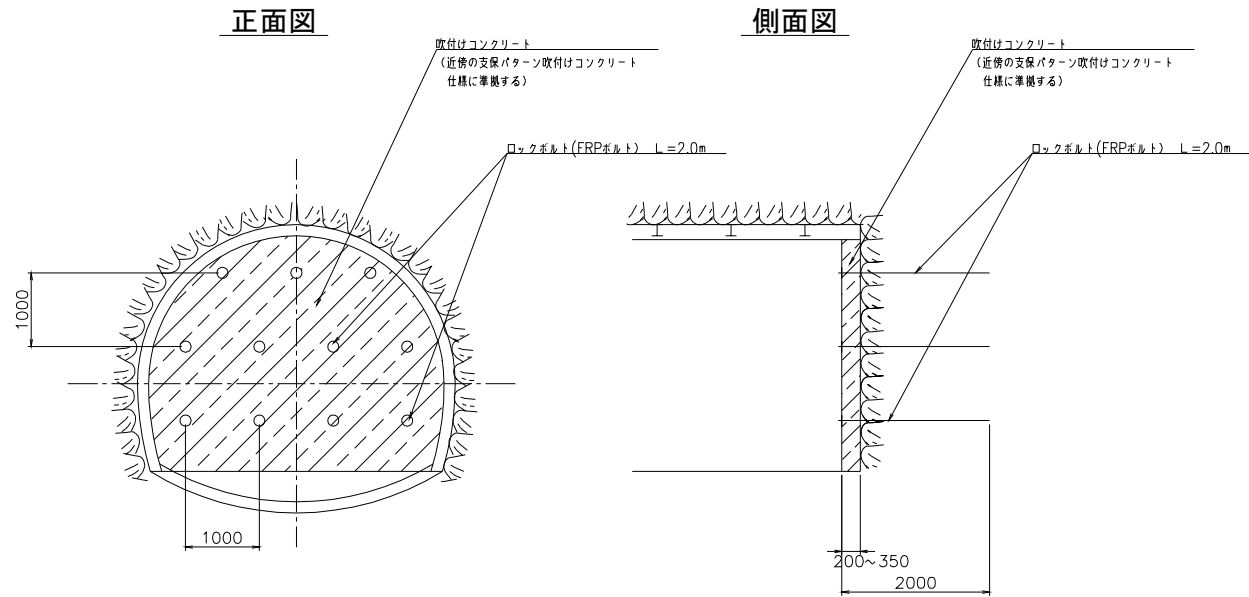
No.63



水平坑道 妻部断面図

水平坑道 妻部補強

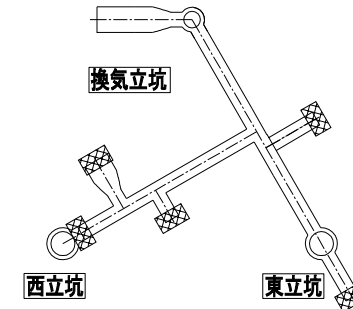
S=1/100



妻部補強 箇所図

S=1/2000

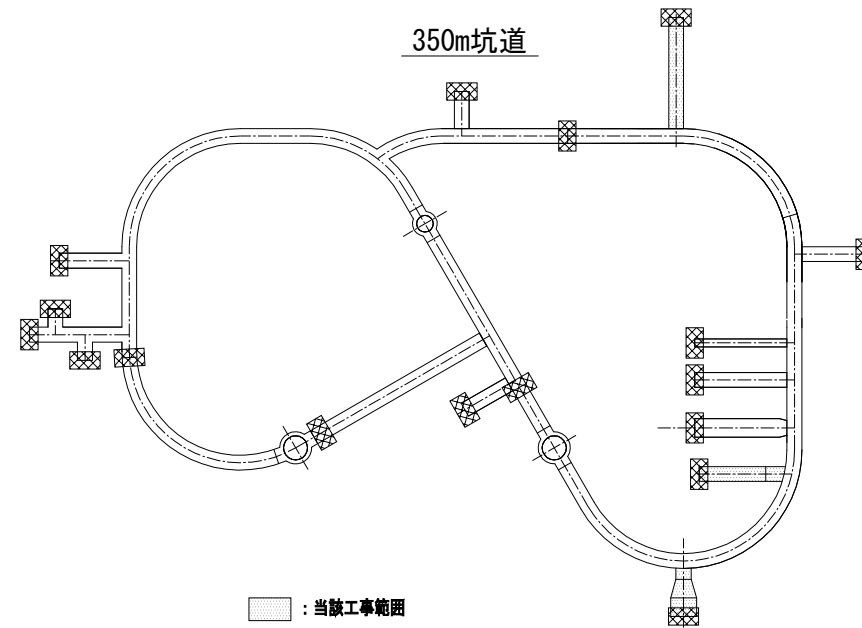
250m坑道



妻部補強 箇所図

S=1/2000

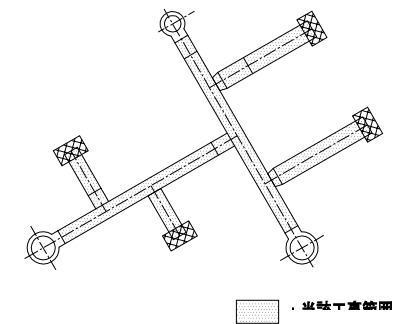
350m坑道



妻部補強 箇所図

S=1/2000

500m坑道

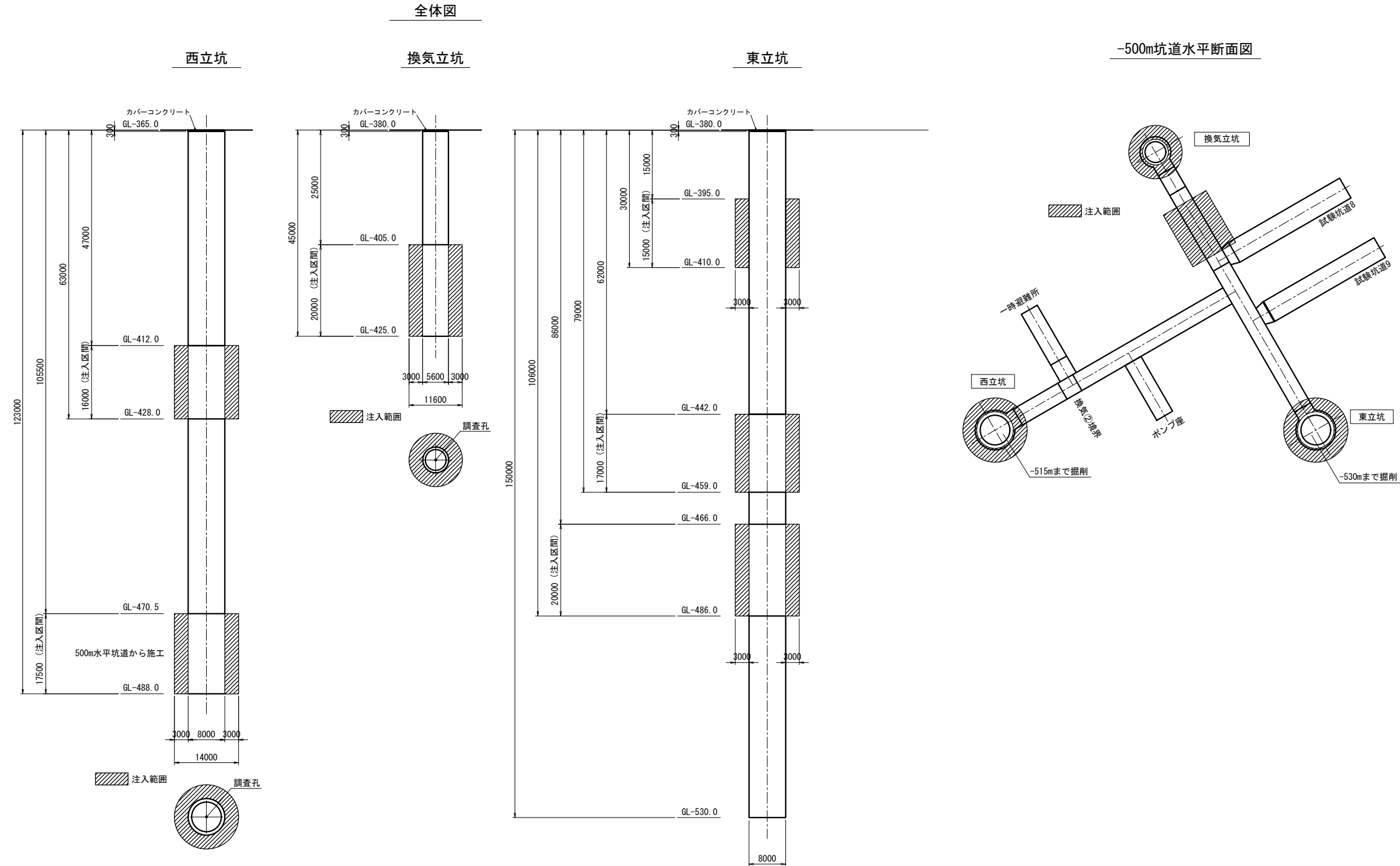


当該工事範囲

横延深地層研究計画		第 64 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	水平坑道 妻部断面図		
1 枚の内	その 1	縮尺	図示
承	認	設計	写図
			作成年月日
			令和 3 年 8 月 30 日 竣工
整理番号	No.		
日本原子力研究開発機構			

No.64

グラウト計画図

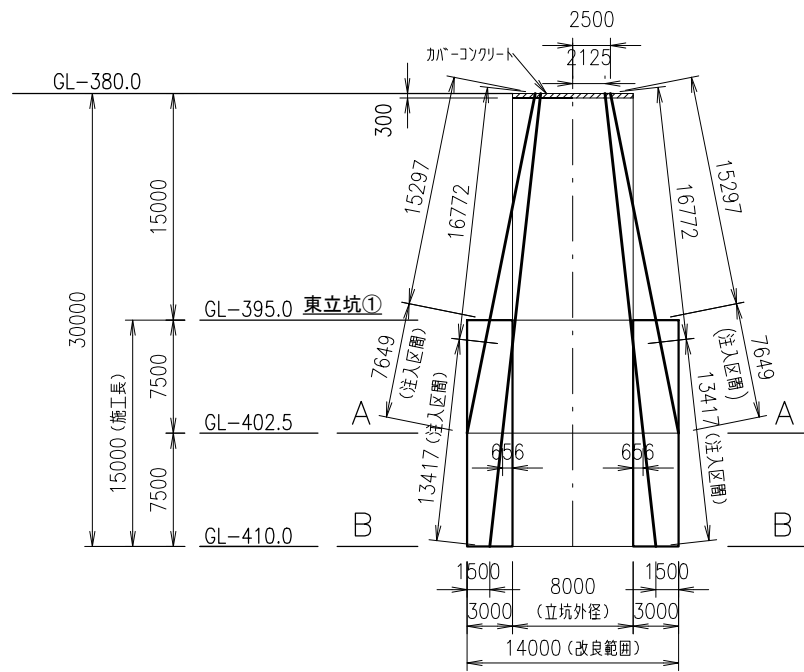


幌延深地層研究計画		第 65 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	グラウト計画図		
1 枚の内	その 1	縮 尺	1/1000
承 認	設 計	写 真	作成年月日
整理番号	No.		令和 3 年 9 月 30 日 完工
日本原子力研究開発機構			

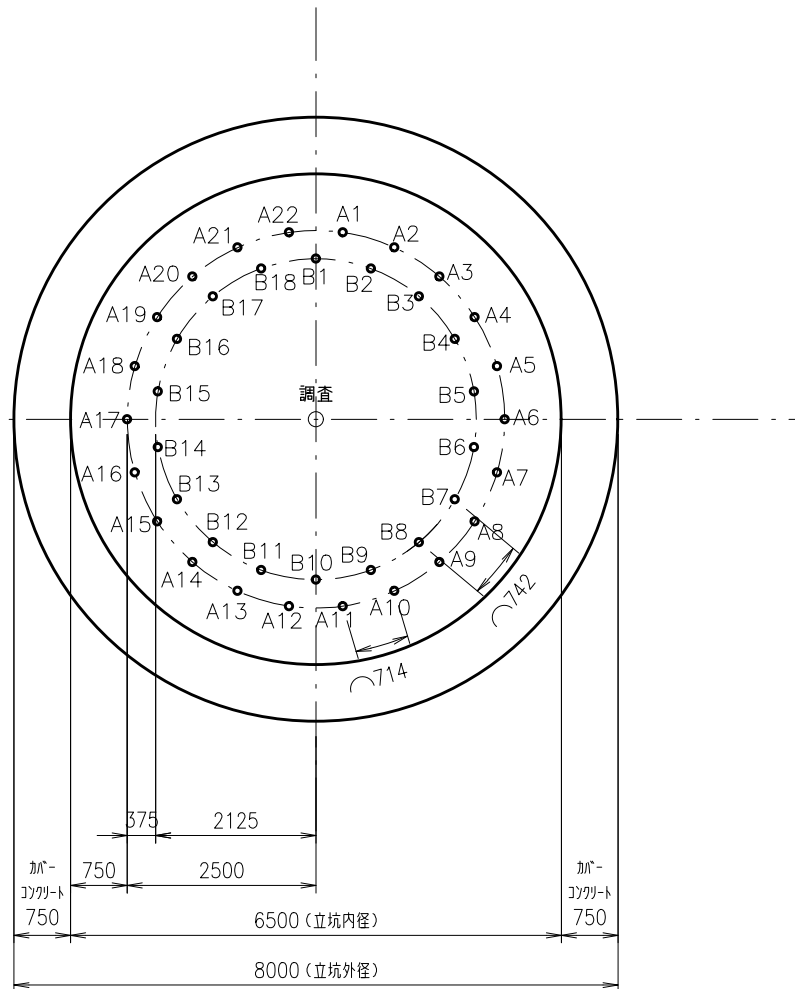
No.65

グラウト工図 東立坑 (GL-395~-410)

断面図 S=1/500



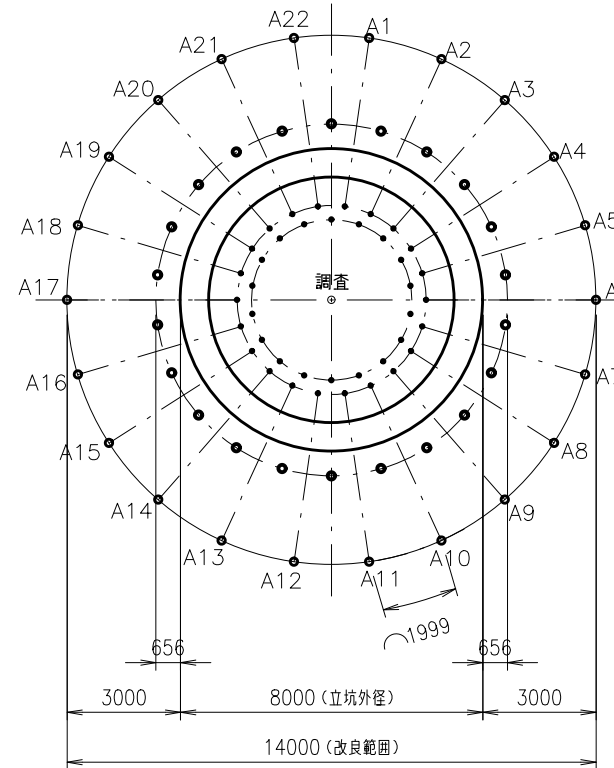
立坑配置平面図 S=1/100



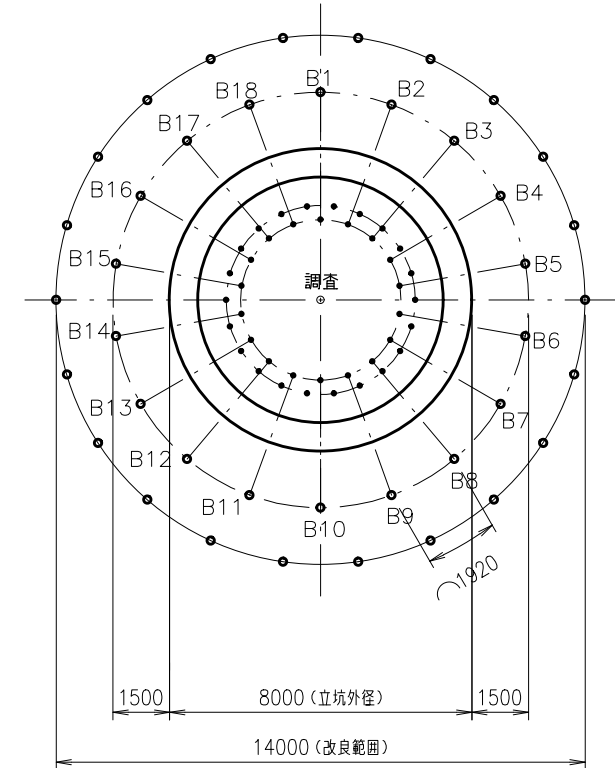
Aタイプ 22孔×1パターン = 22孔

Bタイプ 18孔×1パターン = 18孔

A-A平面図 S=1/200



B-B平面図 S=1/200



アロク	施工No	改良範囲 (m)	掘削径 (m)	施工長 (m)	孔数 (孔)	削孔延長 (m)	注入区間 (m)	延べ注入量 (kg)
東立坑	①	14.00	8.00	15.00	40	1,077.2	432.86	86,572

視延深地層研究計画		第 66 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	グラウト工図 東立坑 (GL-395~-410)		
1枚の内	その1	縮尺	図示
承	認	設計	写図
			作成年月日
			令和3年9月30日 完工
整理番号	No.		
日本原子力研究開発機構			

No.66

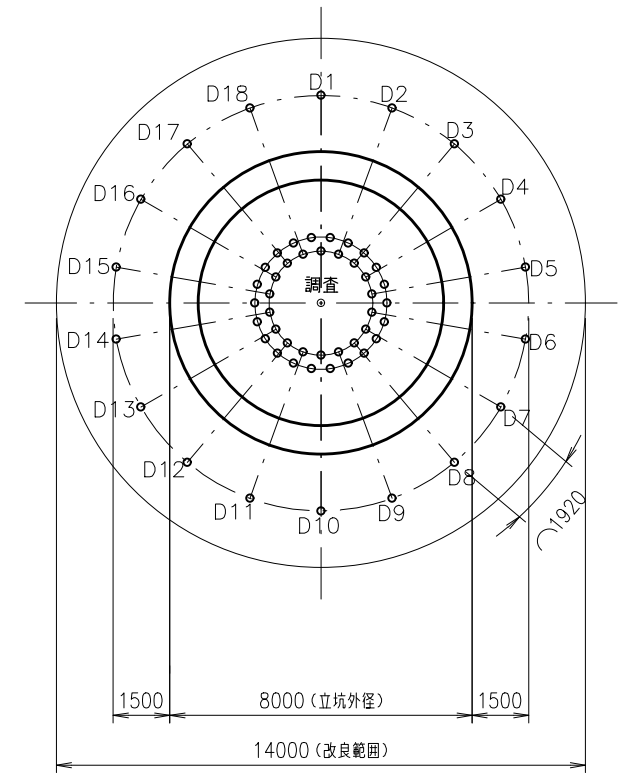
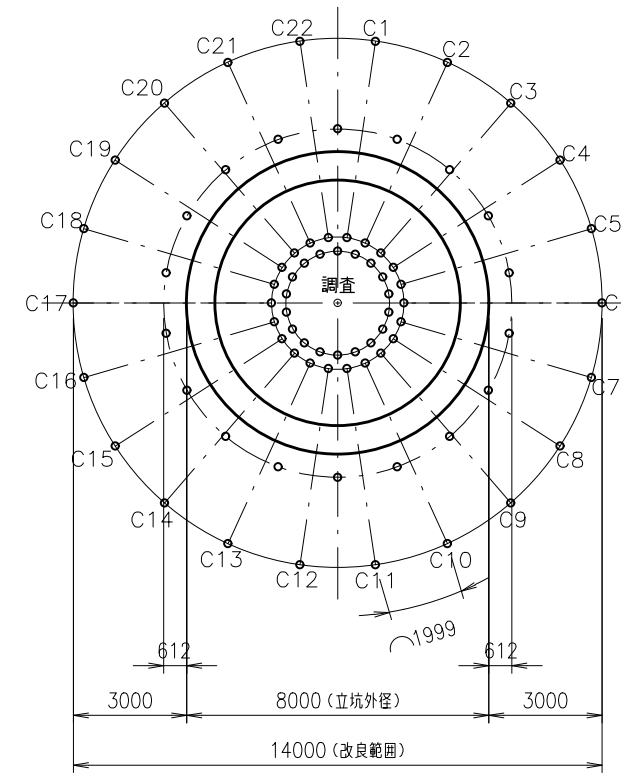
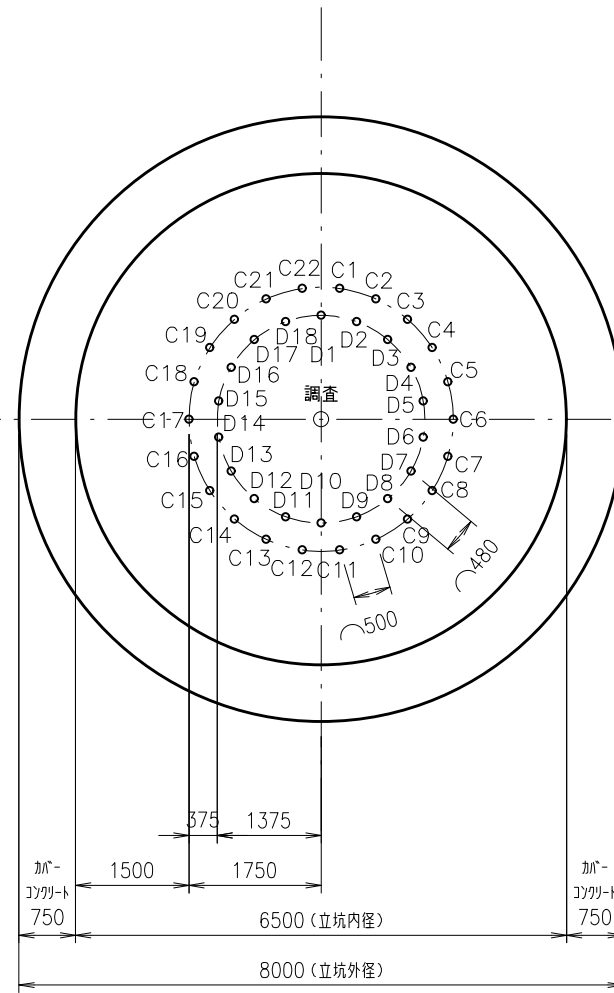
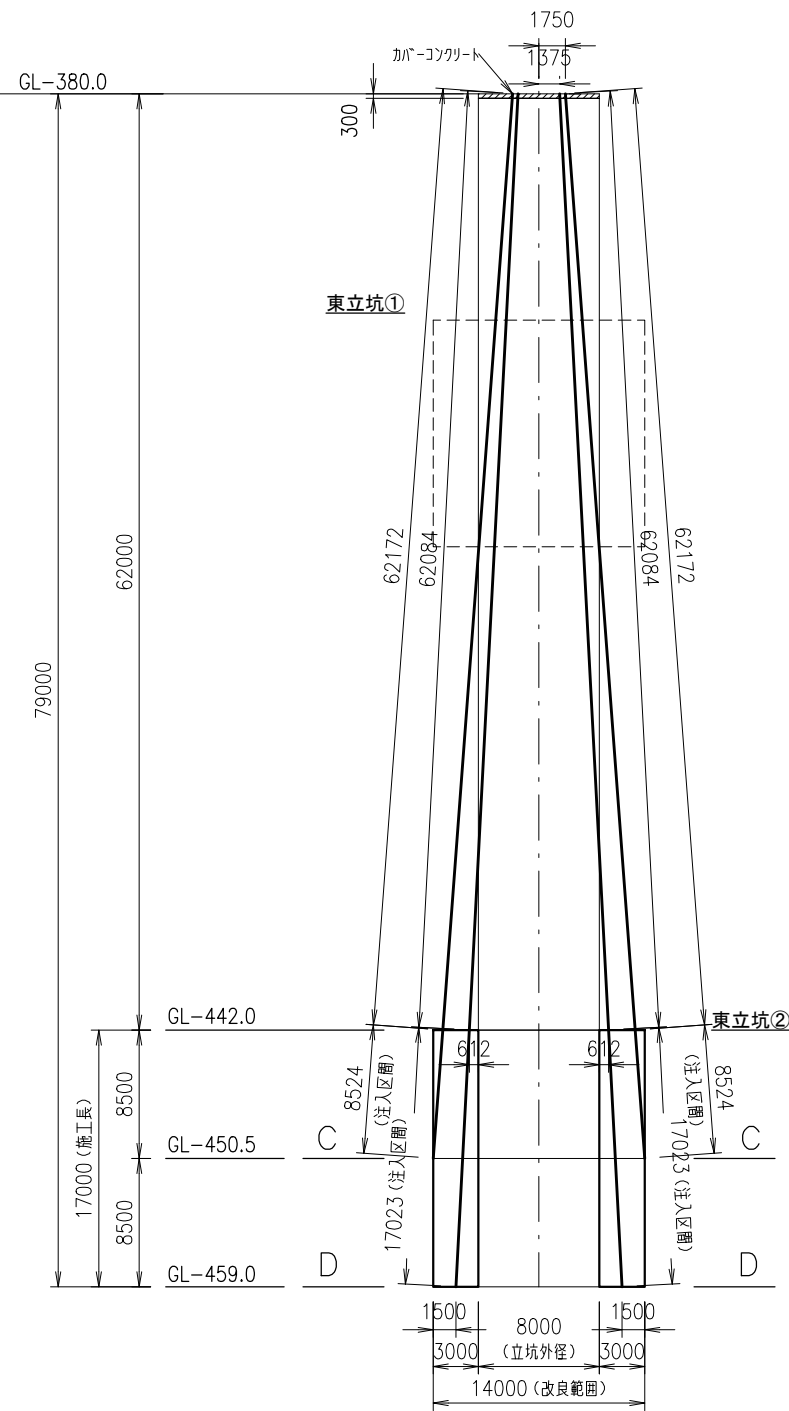
# グラウト工図 東立坑 (GL-442~459)

断面図 S=1/500

立坑配置平面図 S=1/100

C-C平面図 S=1/200

D-D平面図 S=1/200



Cタイプ 22孔 × 1パターン = 22孔  
Dタイプ 18孔 × 1パターン = 18孔

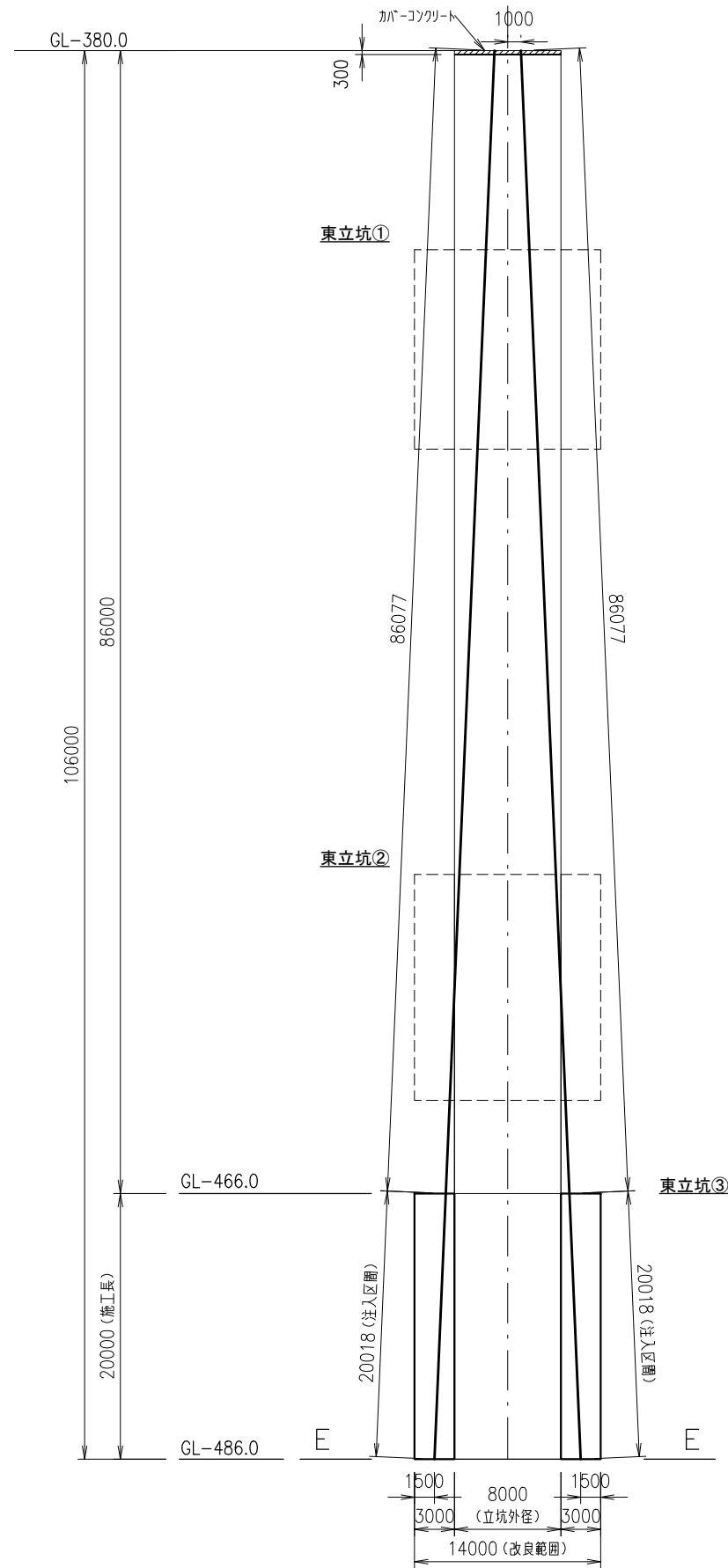
アロウ	施工No	改良範囲 (m)	掘削径 (m)	施工長 (m)	孔数 (孔)	削孔延長 (m)	注入区間 (m)	延べ注入量 (kg)
東立坑	②	14.00	8.00	17.00	40	2,979.2	493.94	98,788

No.67

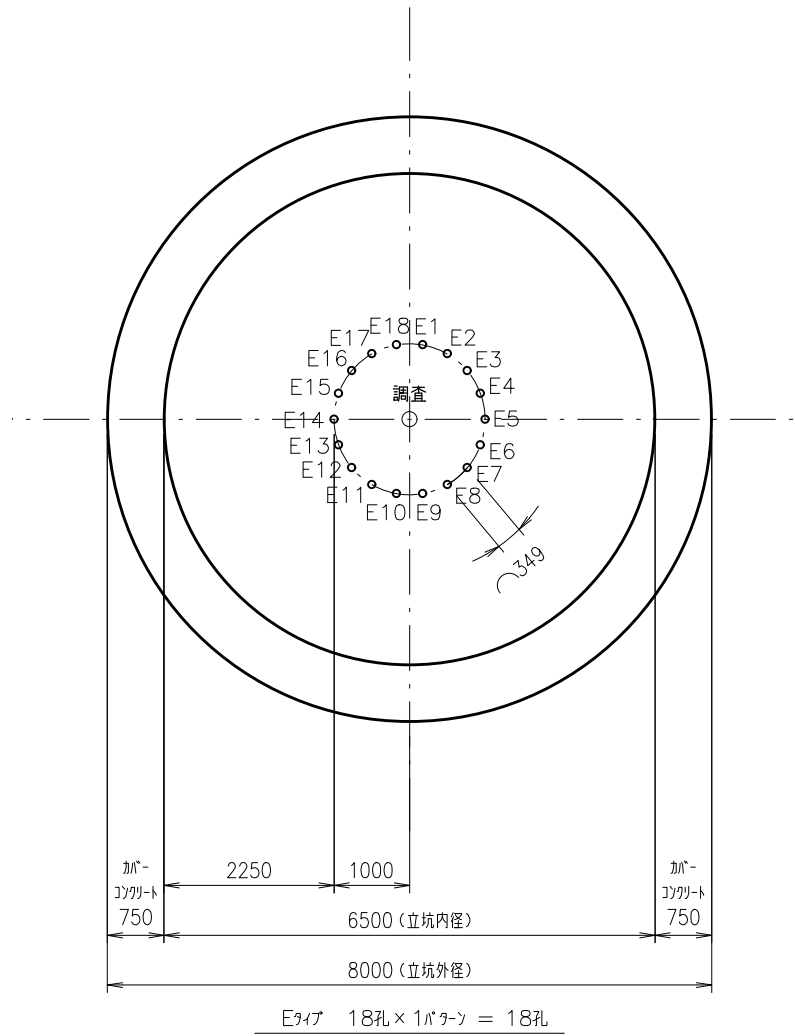
横延深地層研究計画		第 67 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	グラウト工図 東立坑 (GL-442~459)		
1枚の内	その1	縮尺	図示
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

# グラウト工図 東立坑 (GL-466~486)

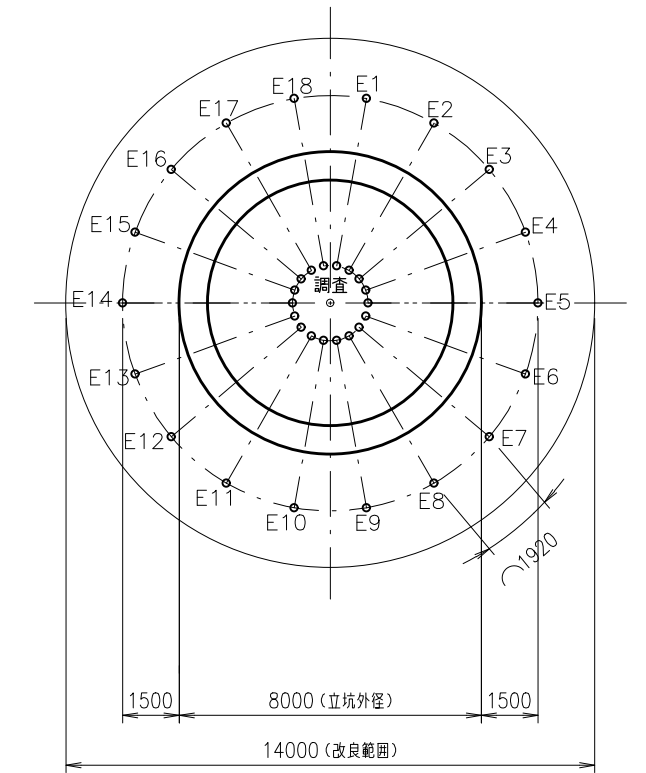
断面図 S=1/500



立坑配置平面図 S=1/100



E-E平面図 S=1/200



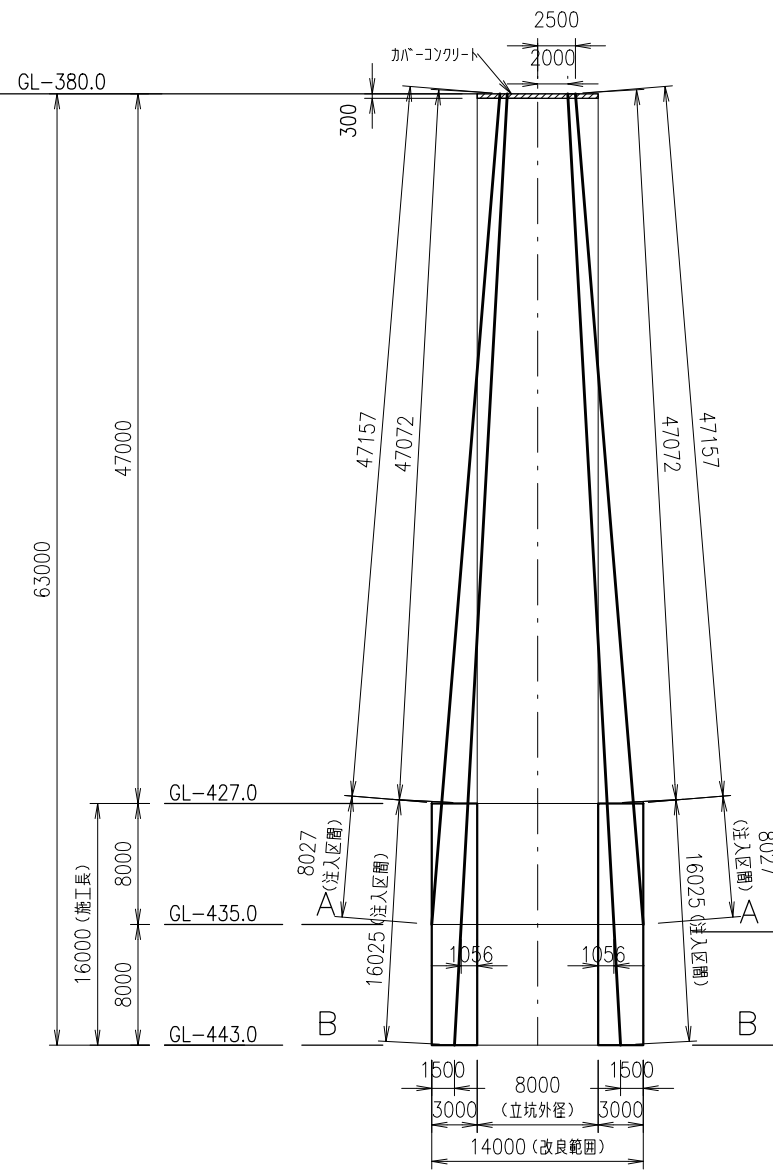
アロウ	施工No	改良範囲 (m)	掘削径 (m)	施工長 (m)	孔数 (孔)	削孔延長 (m)	注入区間 (m)	延べ注入量 (kg)
東立坑	③	14.00	8.00	20.00	18	1,909.7	360.32	72,064

概延深地層研究計画		第 68 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	グラウト工図 東立坑 (GL-466~486)	縮尺	図示
1枚の内	その1	縮尺	図示
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

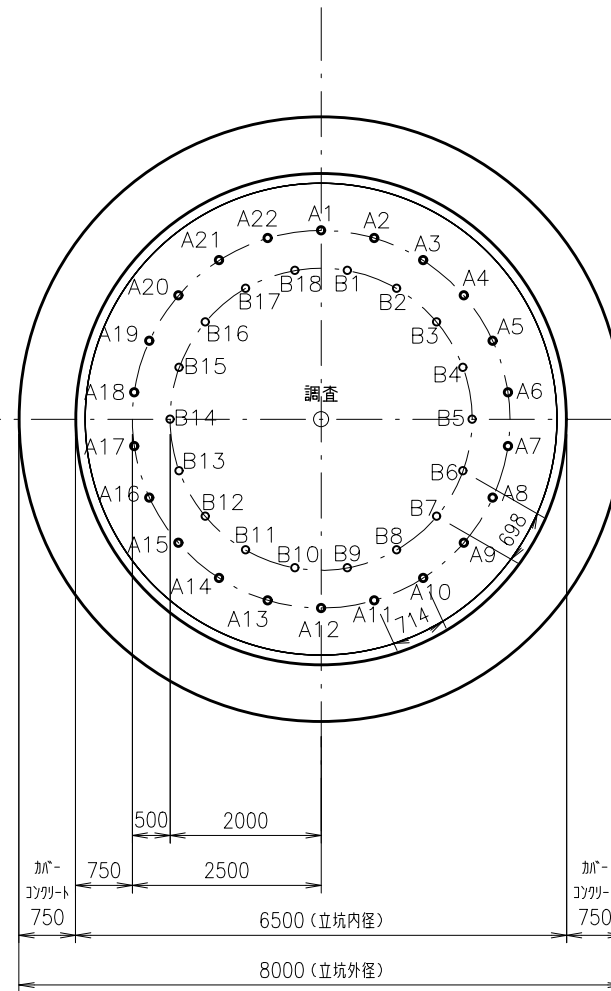
No.68

# グラウト工図 西立坑 (GL-427~443)

断面図 S=1/500

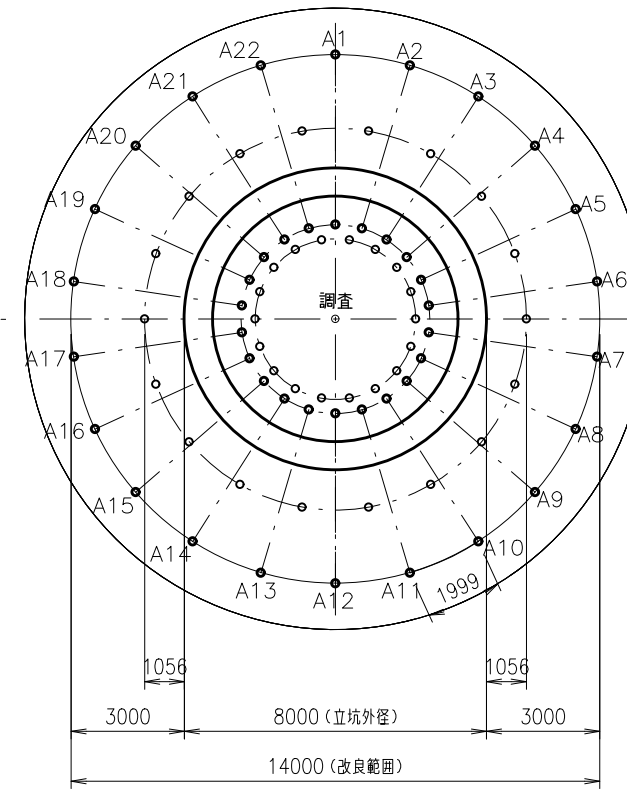


立坑配置平面図 S=1/100

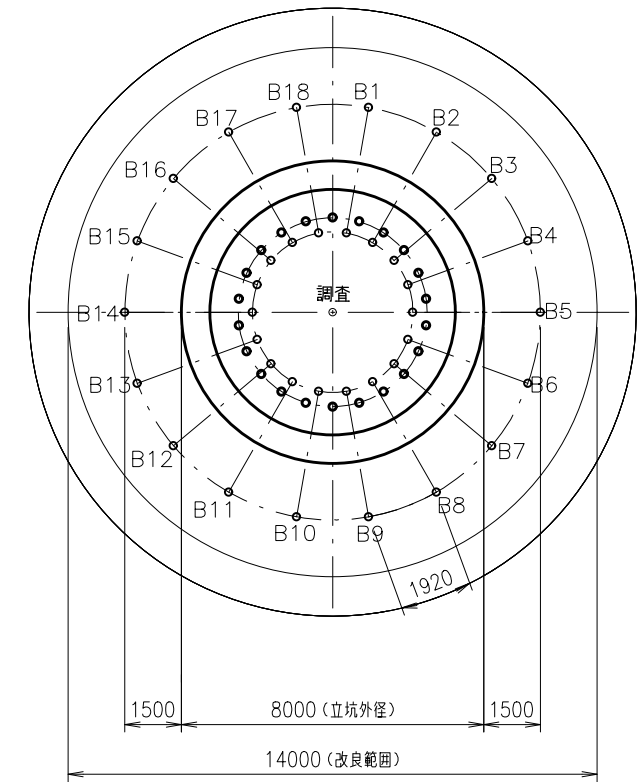


Aタイプ 22孔×1パターン = 22孔  
Bタイプ 18孔×1パターン = 18孔

A-A平面図 S=1/200



B-B平面図 S=1/200



アロク	施工No	改良範囲 (m)	掘削径 (m)	施工長 (m)	孔数 (孔)	削孔延長 (m)	注入区間 (m)	延べ注入量 (kg)
西立坑	①	14.00	8.00	16.00	40	2,349.8	465.0	93,000

幌延深地層研究計画		第 69 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	グラウト工図 西立坑 (GL-427~443)	縮尺	図示
1枚の内	その1	縮尺	図示
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

No.69

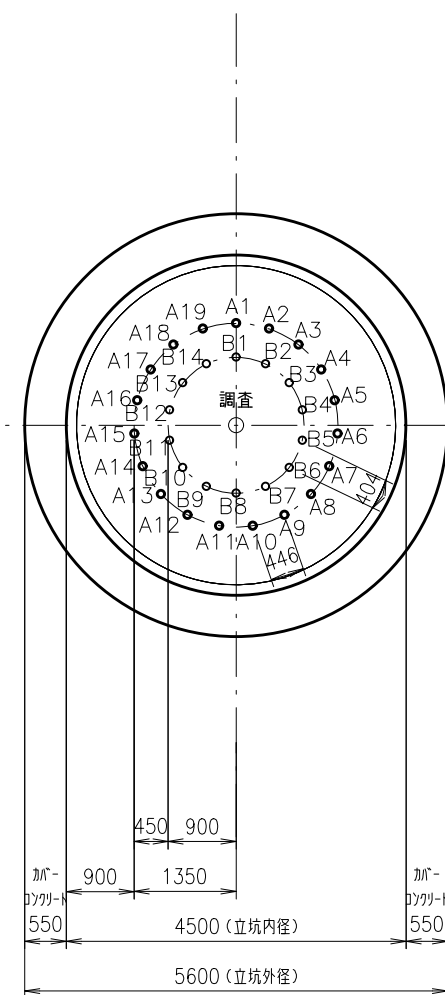
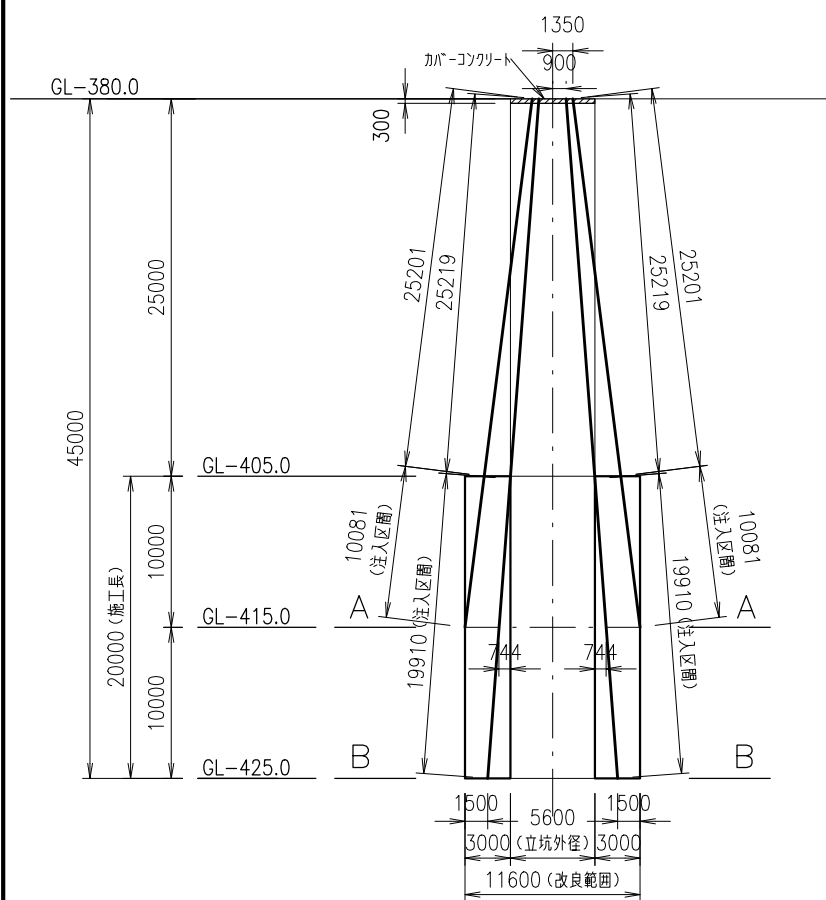
# グラウト工図 換気立坑 (GL-405~425)

断面図 S=1/500

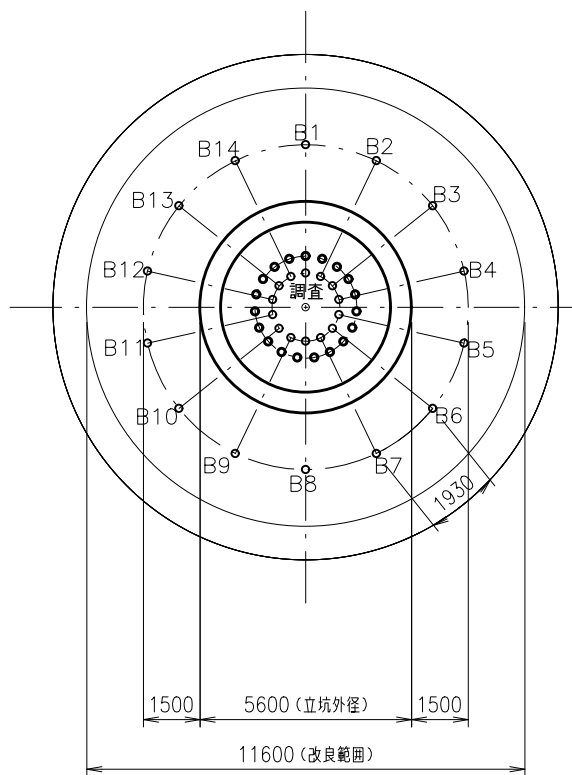
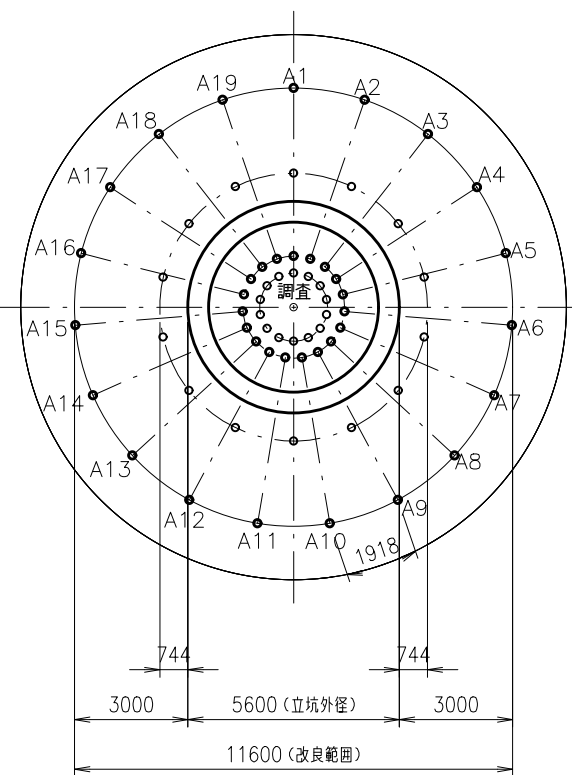
立坑配置平面図 S=1/100

A-A平面図 S=1/200

B-B平面図 S=1/200



Aタイプ 19孔×1パターン = 19孔  
Bタイプ 14孔×1パターン = 14孔

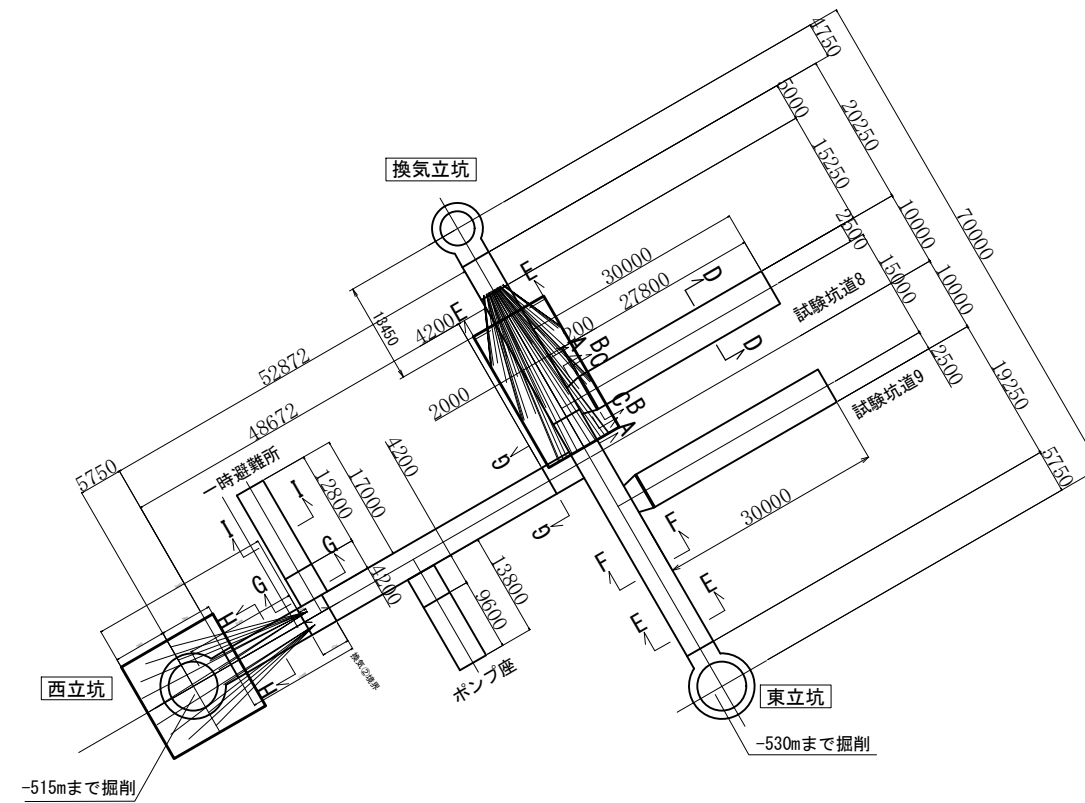


アロウ	施工No	改良範囲 (m)	掘削径 (m)	施延長 (m)	孔数 (孔)	削孔延長 (m)	注入区画 (m)	延べ注入量 (kg)
換気立坑	①	11.60	5.60	20.00	33	1,302.2	470.3	94,060

観延深地層研究計画		第 70 号図
地下研究施設整備 (第三期) 等事業		
図面名称	グラウト工図 換気立坑 (GL-405~425)	
1枚の内	その1	縮尺 図示
承認	設計	写図 作成年月日
整理番号	No.	令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構		

No.70

水平坑道 グラウト平面図

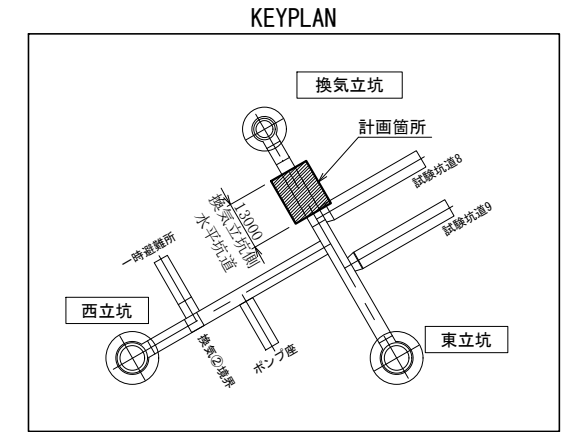
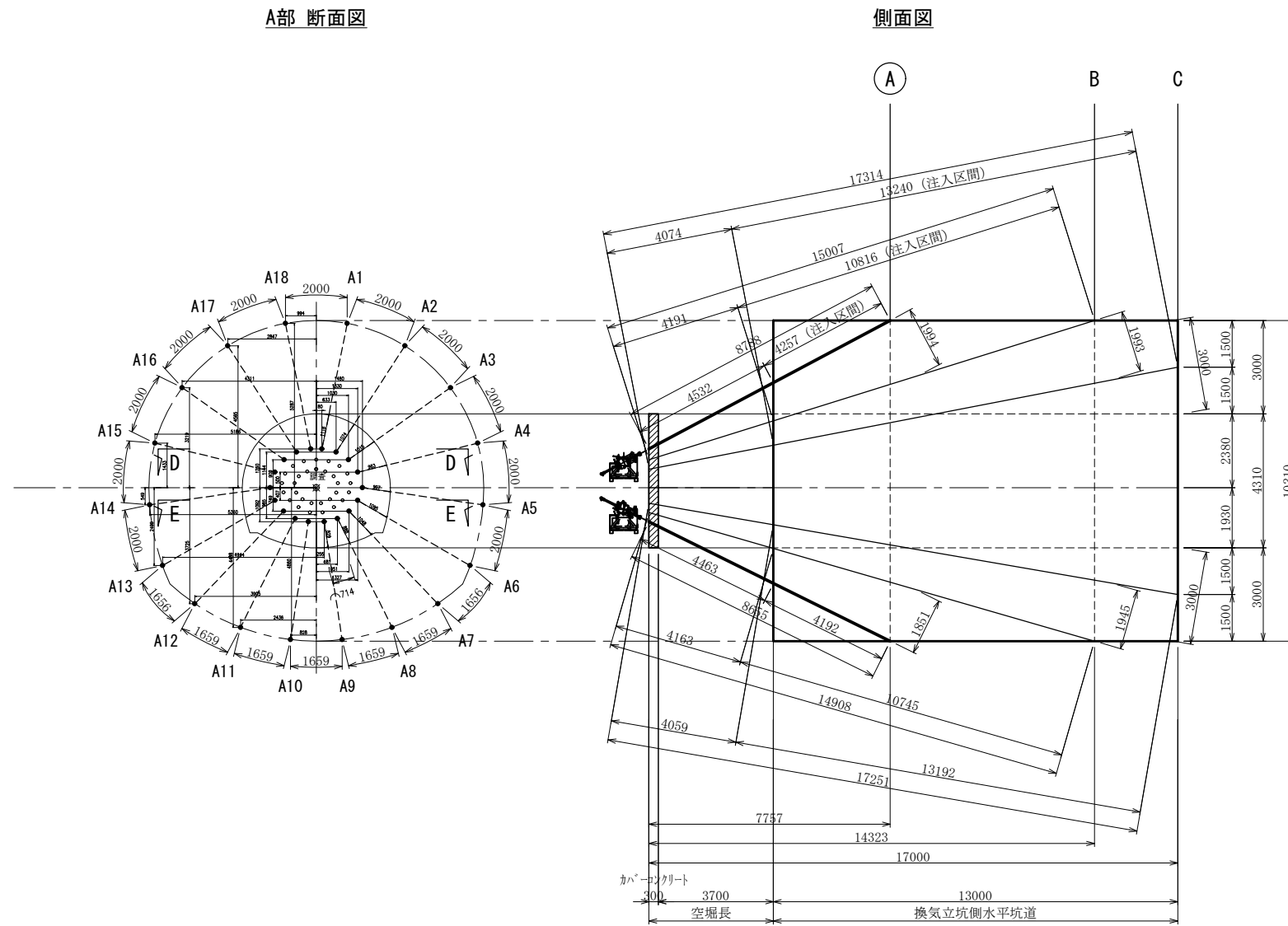


幌延深地層研究計画 地下研究施設整備（第三期）等事業		第 71 号図	
図面名称	水平坑道 グラウト平面図		
1 枚の内	その 1	縮 尺	1/1000
承 認 設 計 写 図	作成年月日		
整理番号	No.	令和 3 年 9 月 30 日 完工	
日本原子力研究開発機構			

No.71



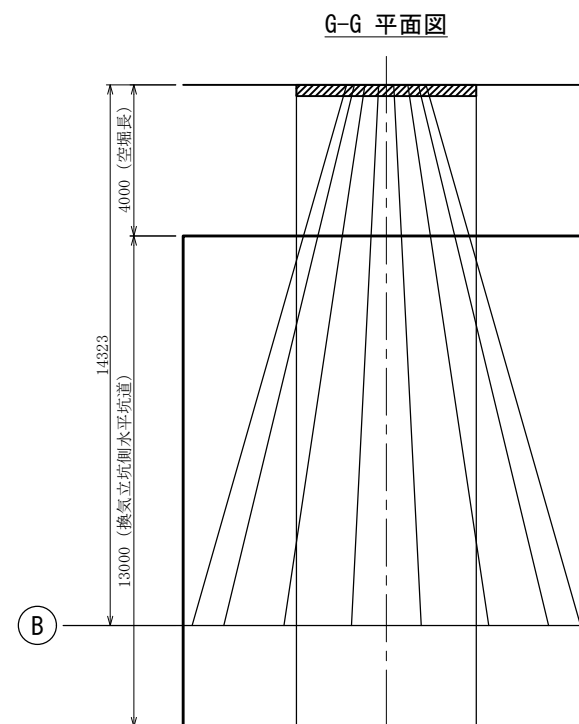
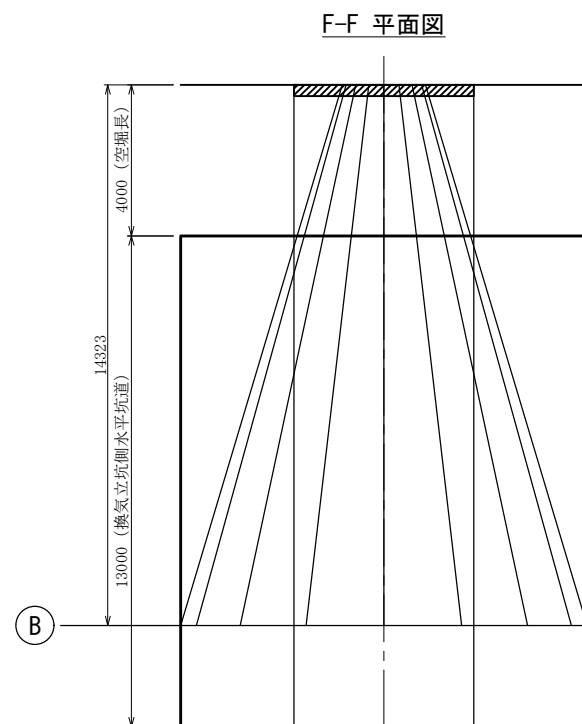
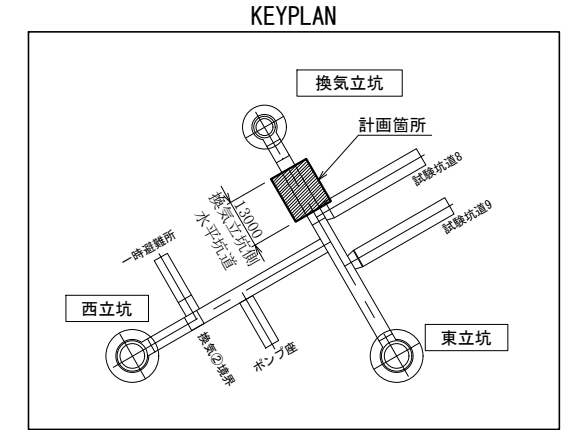
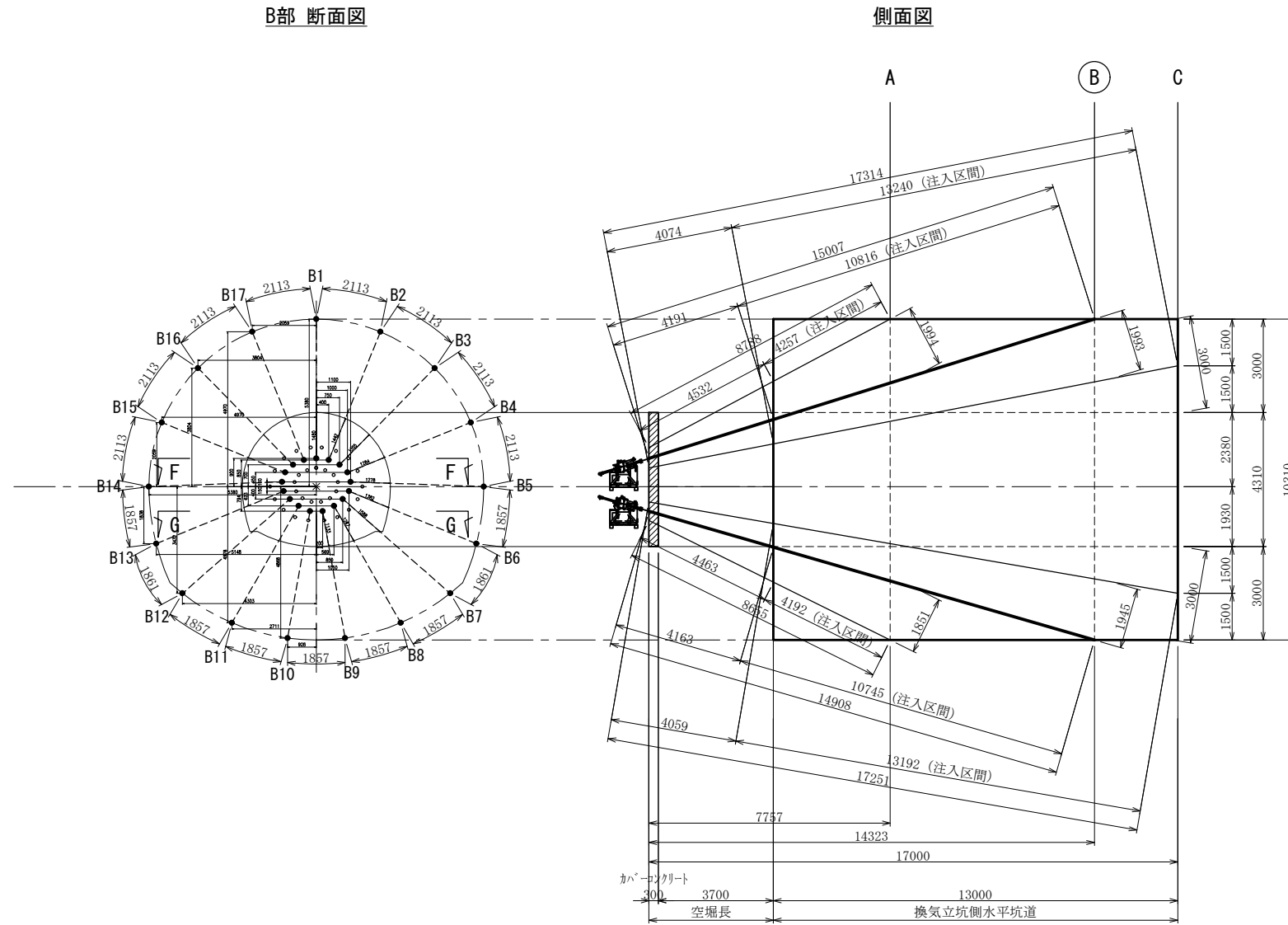
グラウト工図 (500m水平坑道) 換気立坑側 計画図1



幌延深地層研究計画		第 72 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	グラウト工図 (500m水平坑道) 換気立坑側 計画図1	縮尺	1/200
1枚の内	その1	縮尺	1/200
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

No.72

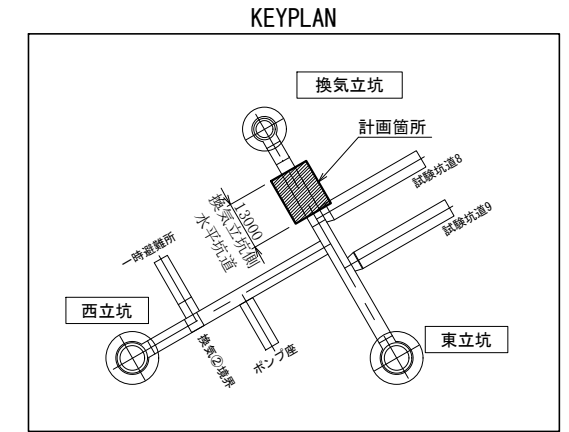
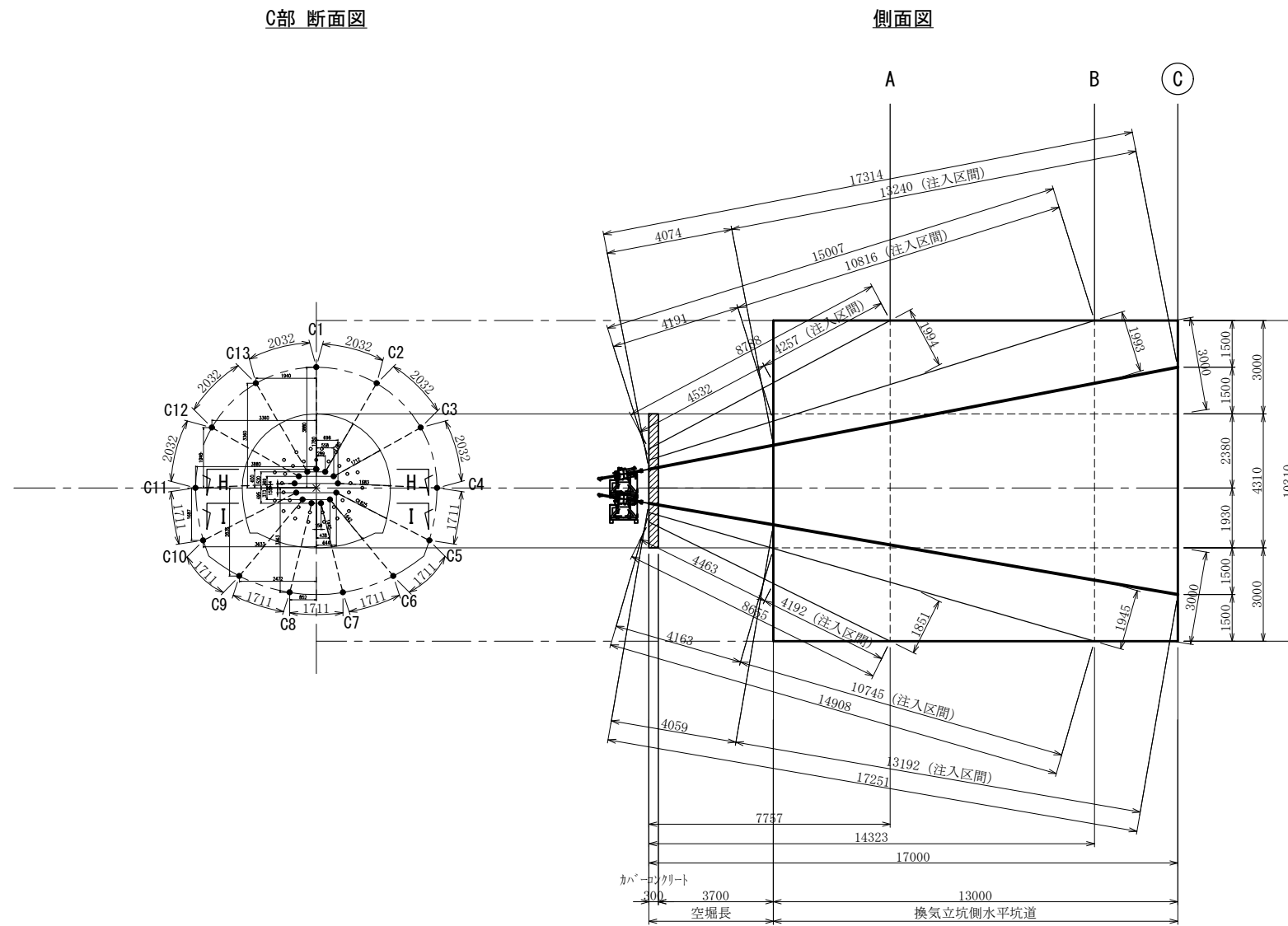
# グラウト工図 (500m水平坑道) 換気立坑側 計画図2



幌延深地層研究計画		第 73 号図
地下研究施設整備 (第三期) 等事業		
図面名称	グラウト工図 (500m水平坑道) 換気立坑側 計画図2	
1枚の内	その 1	縮尺 1/200
承認	設計	写図
作成年月日		
整理番号	No.	令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構		

No.73

グラウト工図 (500m水平坑道) 換気立坑側 計画図3

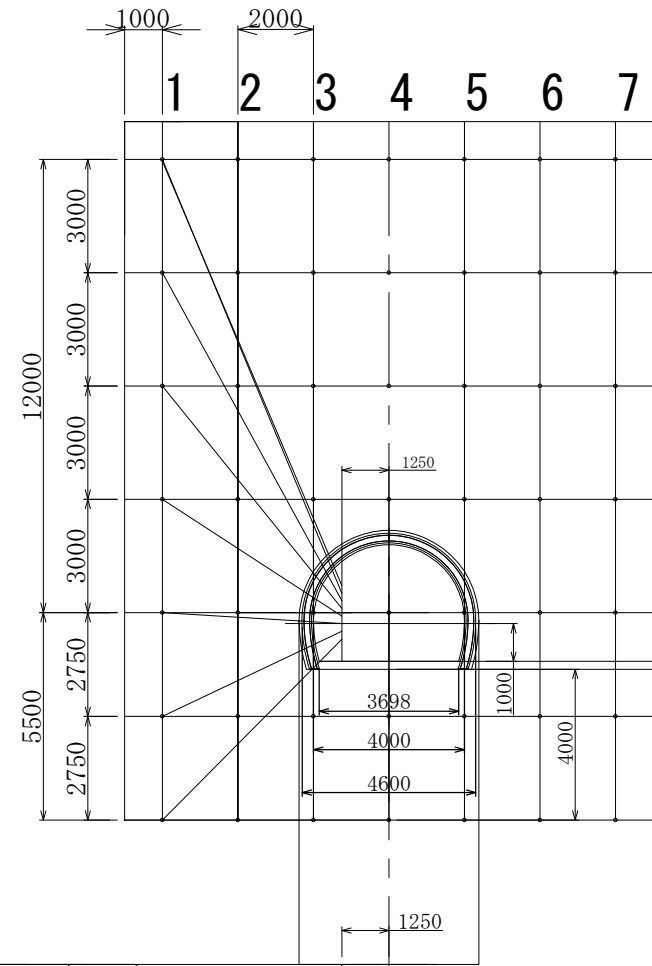


幌延深地層研究計画		第 74 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	グラウト工図 (500m水平坑道) 換気立坑側 計画図3	縮尺	1/200
1枚の内	その1	縮尺	1/200
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

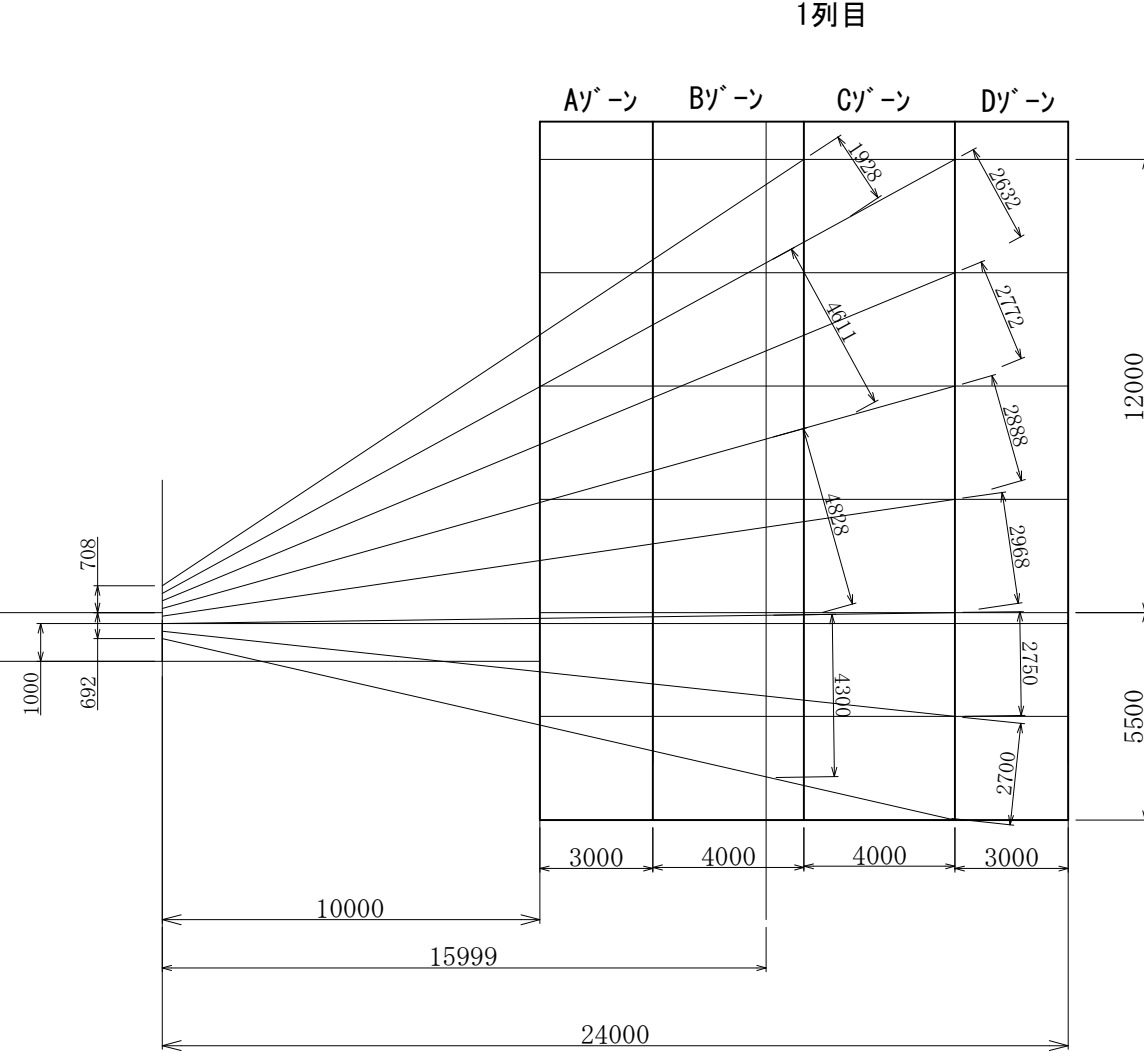
No.74

グラウト工図 (500m水平坑道) 西立坑側 計画図1

正面図



側面図

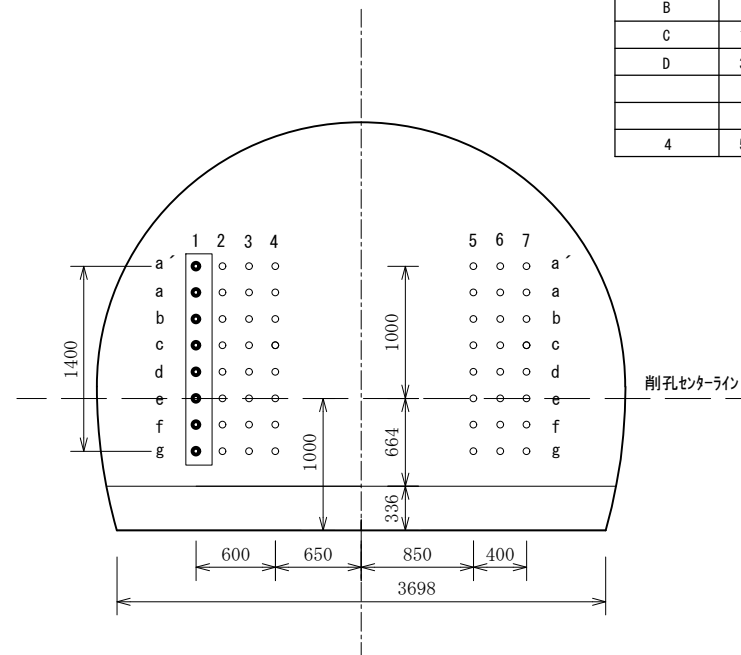
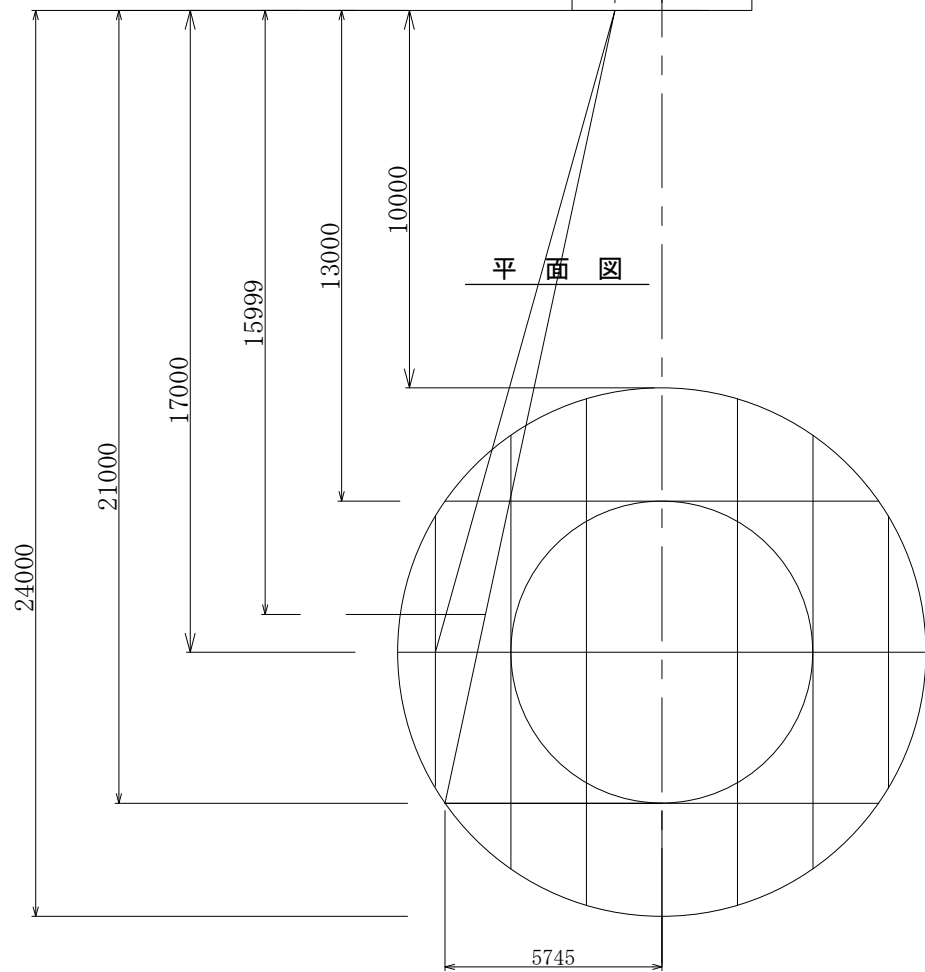


孔口配置断面図

数量表

ゾーン	孔数	削孔長				非注入区間		注入区間	
		Rm/孔	Lm/孔	平均m/孔	m	平均m/孔	m/孔	m	
A	3	15.60	16.10	15.93	47.80	(10.93)	(5.00)	15.00	
B	4	20.60	21.00	20.83	83.30	(15.83)	(5.00)	20.00	
C	14	21.50	24.40	22.39	313.50	(14.54)	(5.00)	110.00	
D	35	23.00	26.70	24.31	852.10	(16.49)	(5.00)	275.00	
4	56				1296.70			420.00	

平面図



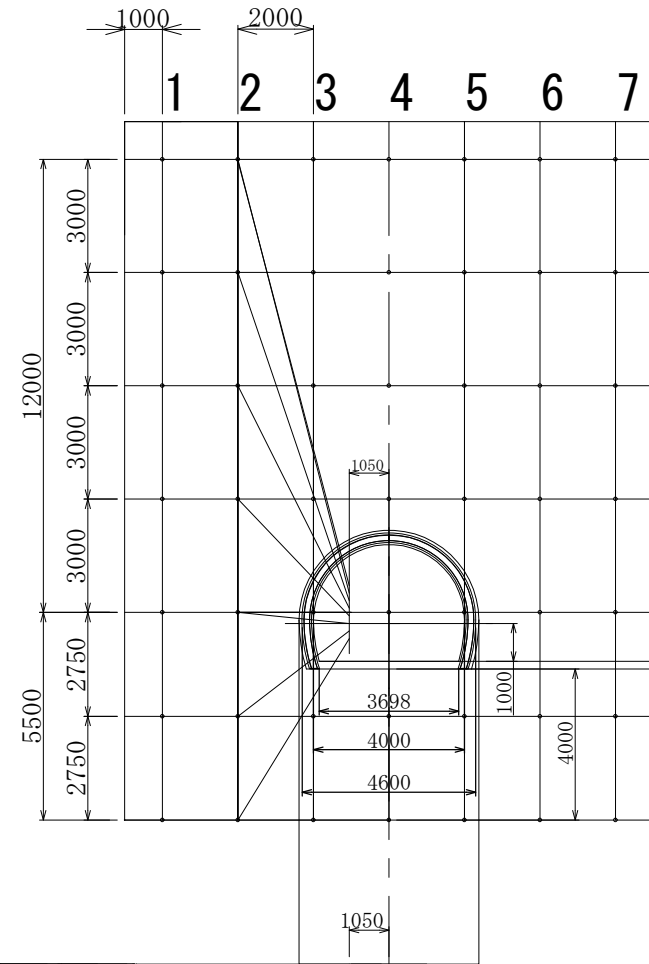
- 凡例
- 3-a'~5-a' (Aゾーン)
  - 1-a'・2-a'・5-a'・6-a' (Bゾーン)
  - 1-a~i・7-a~j (Cゾーン)
  - 2-a~j ~ 6-a~j (Dゾーン)

視延深地層研究計画		第 75 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	グラウト工図 (500m水平坑道) 西立坑側 計画図1	縮尺	1/200
1枚の内	その 1	縮尺	1/200
承	認 設 計 写 図	作成年月日	
整理番号	No.	令和3年9月30日 完工	
日本原子力研究開発機構			

No.75

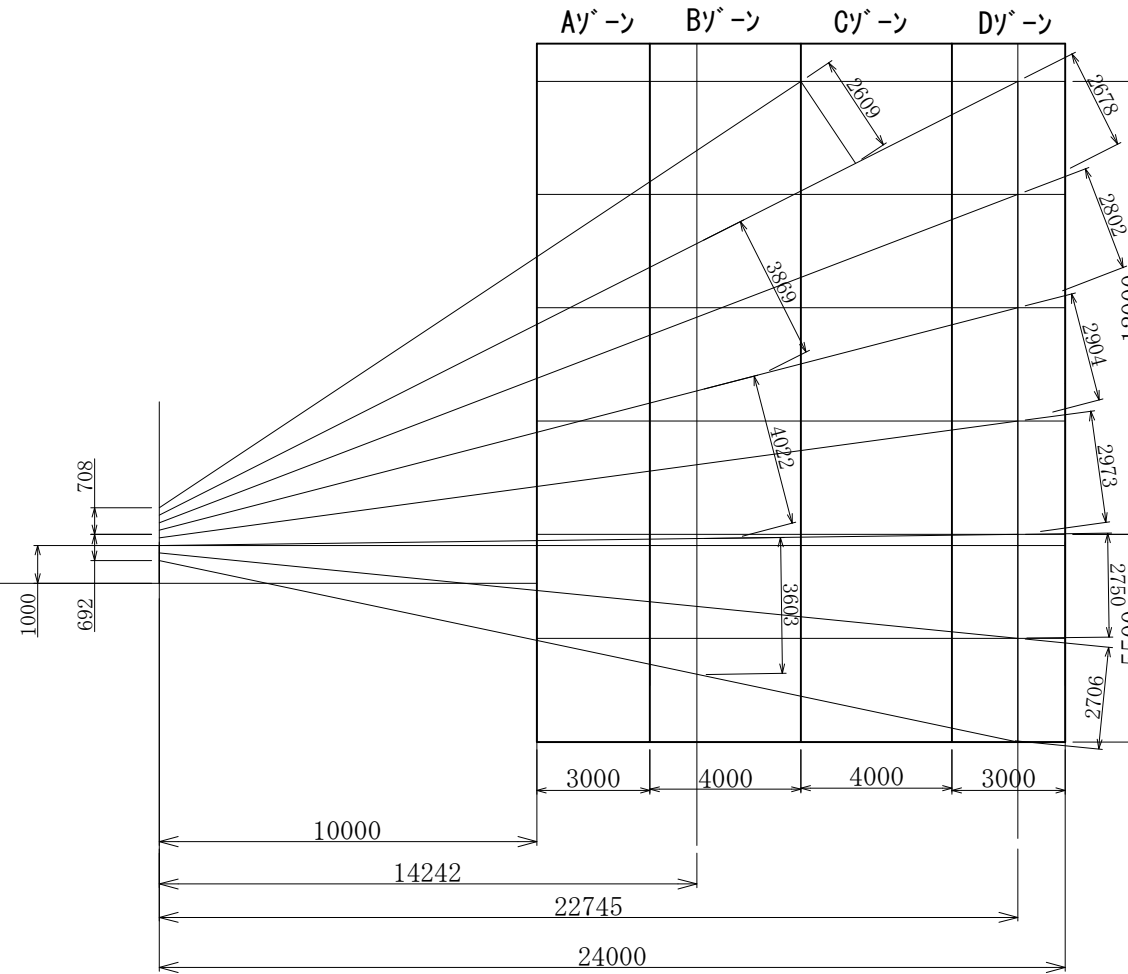
グラウト工図 (500m水平坑道) 西立坑側 計画図2

正面図



側面図

2列目

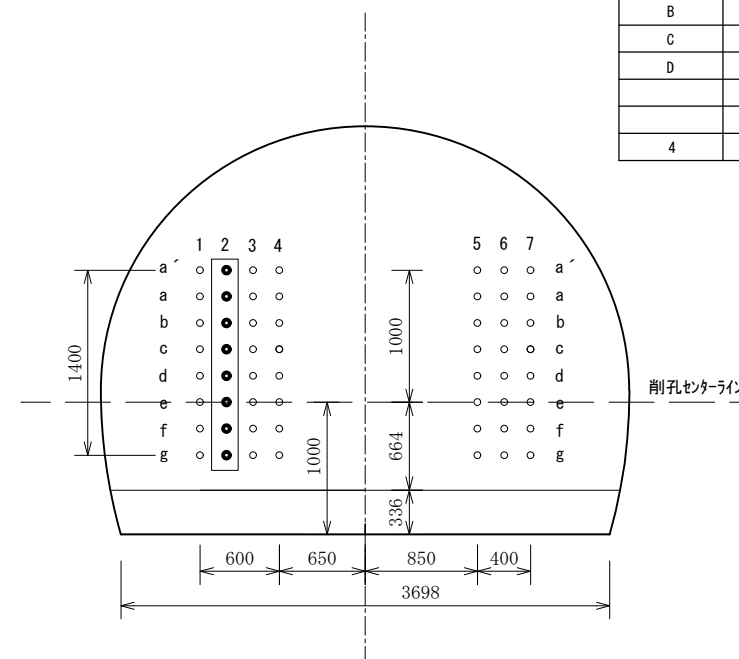
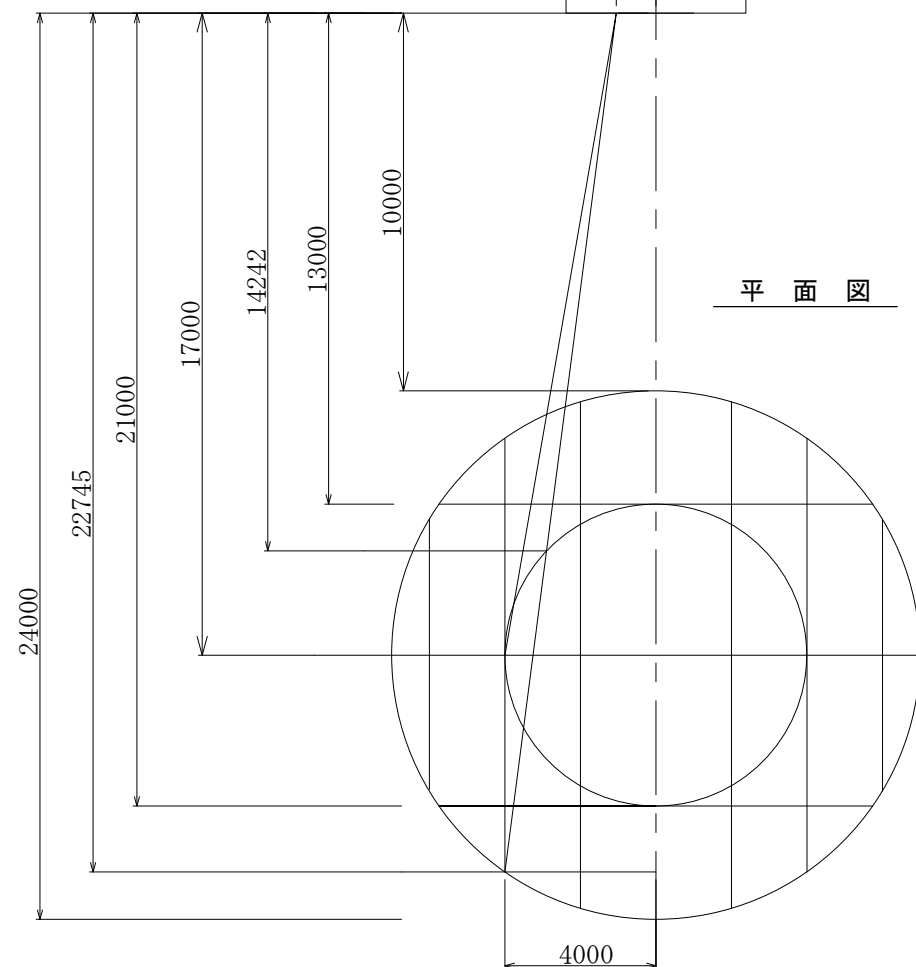


孔口配置断面図

数量表

ゾーン	孔数	削孔長				非注入区間		注入区間	
		Rm/孔	Lm/孔	平均m/孔	m	平均m/孔	m/孔	m	
A	3	15.60	16.10	15.93	47.80	(10.93)	(5.00)	15.00	
B	4	20.60	21.00	20.83	83.30	(15.83)	(5.00)	20.00	
C	14	21.50	24.40	22.39	313.50	(14.54)	(5.00)	110.00	
D	35	23.00	26.70	24.31	852.10	(16.49)	(5.00)	275.00	
4	56				1296.70			420.00	

平面図



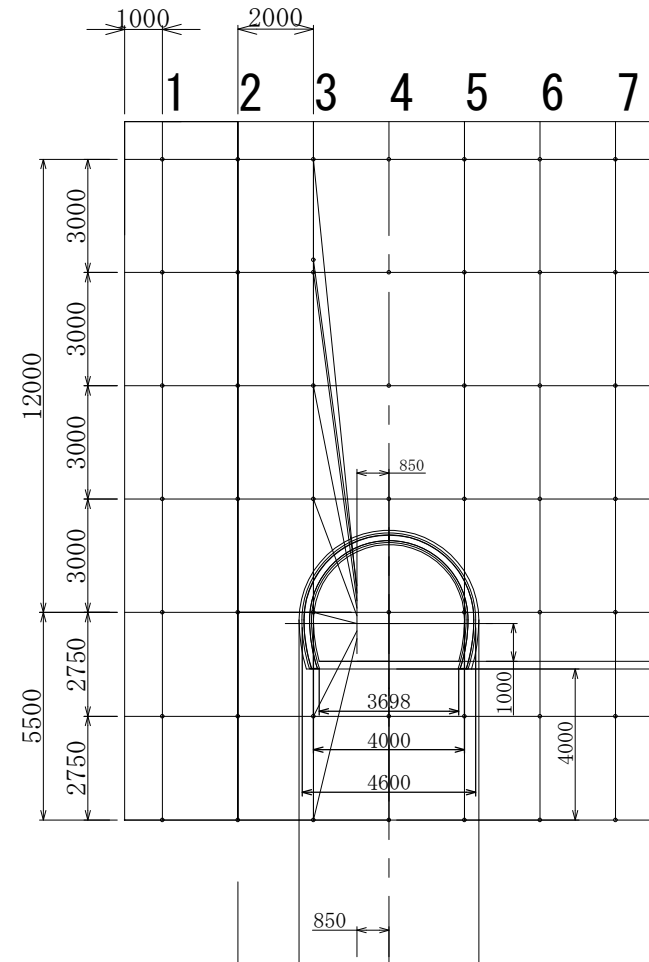
- 凡例
- 3-a'~5-a' (Aゾーン)
  - 1-a'・2-a'・5-a'・6-a' (Bゾーン)
  - 1-a~i・7-a~j (Cゾーン)
  - 2-a~j ~ 6-a~j (Dゾーン)

幌延深地層研究計画		第 76 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	グラウト工図 (500m水平坑道) 西立坑側 計画図2	縮尺	1/200
1枚の内	その 1	縮尺	1/200
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

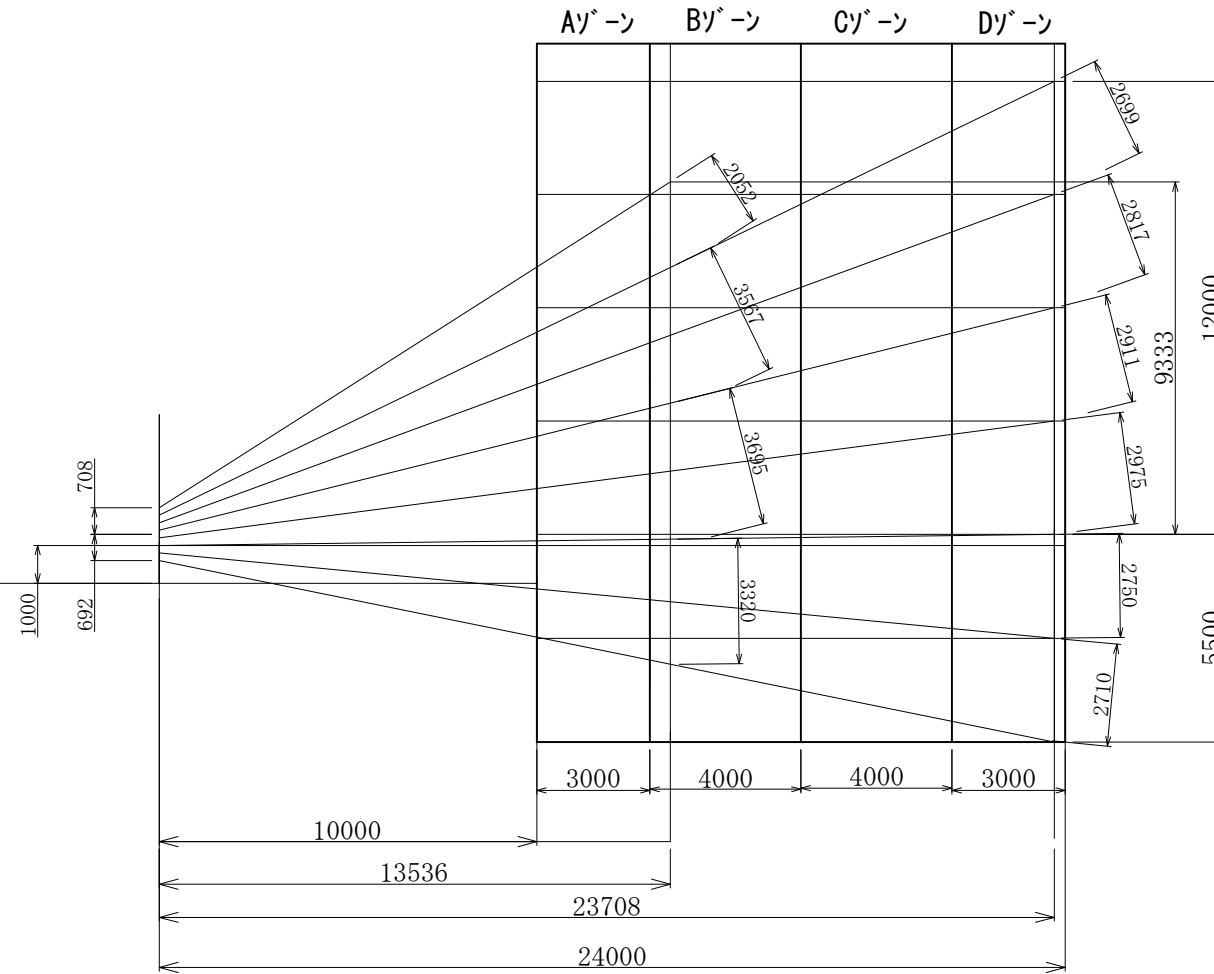
No.76

グラウト工図 (500m水平坑道) 西立坑側 計画図3

正面図



側面図  
3列目

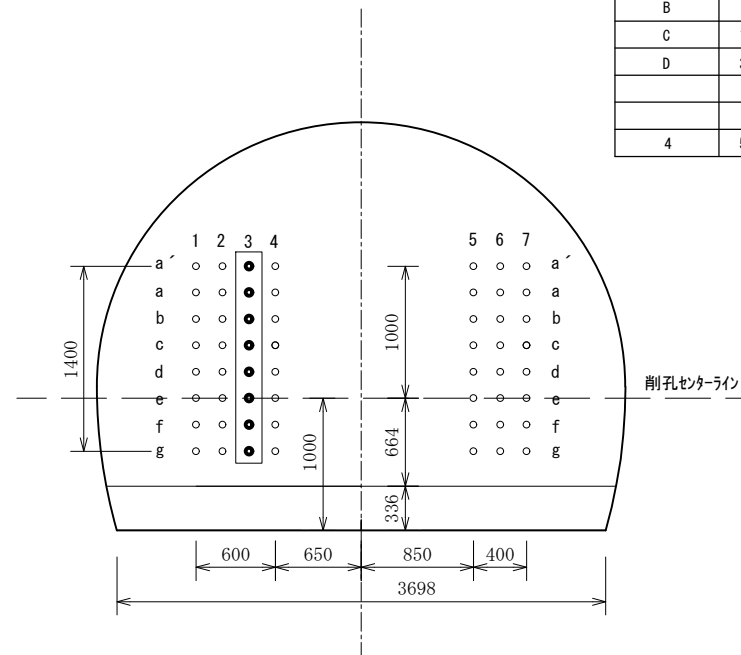
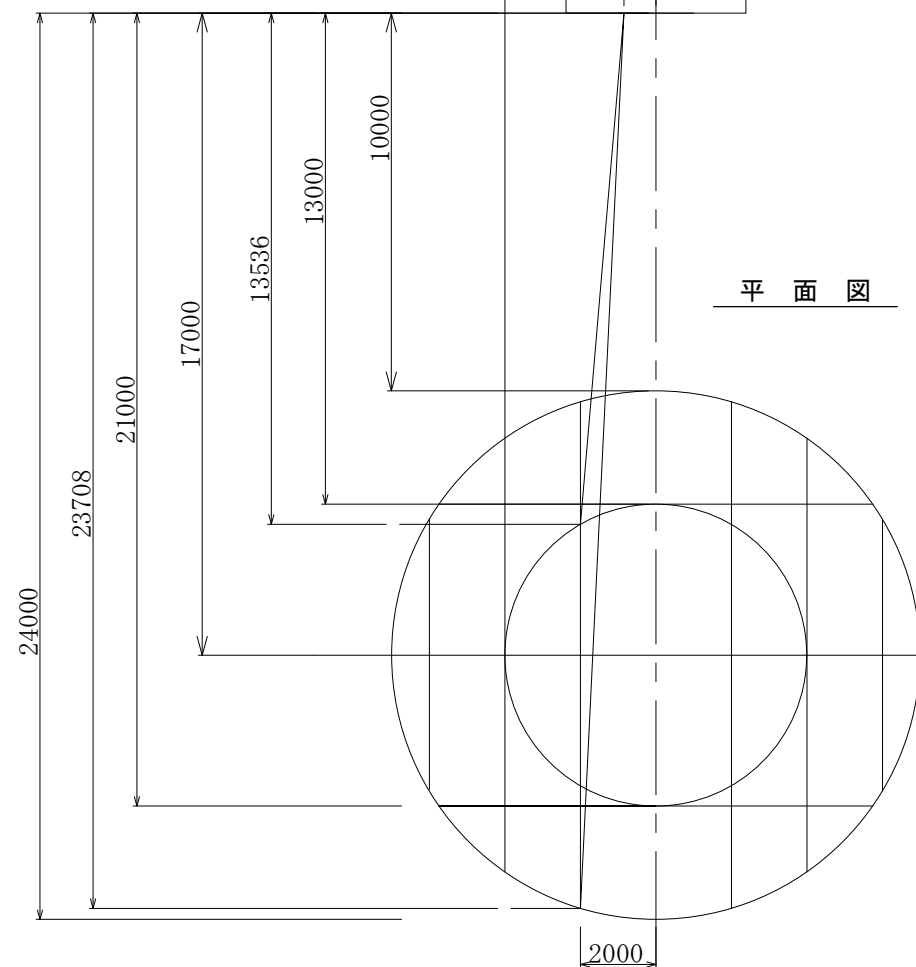


孔口配置断面図

数量表

ゾーン	孔数	削孔長				非注入区間		注入区間	
		Rm/孔	Lm/孔	平均m/孔	m	平均m/孔	m/孔	m	
A	3	15.60	16.10	15.93	47.80	(10.93)	(5.00)	15.00	
B	4	20.60	21.00	20.83	83.30	(15.83)	(5.00)	20.00	
C	14	21.50	24.40	22.39	313.50	(14.54)	(5.00)	110.00	
D	35	23.00	26.70	24.31	852.10	(16.49)	(5.00)	275.00	
4	56				1296.70			420.00	

平面図



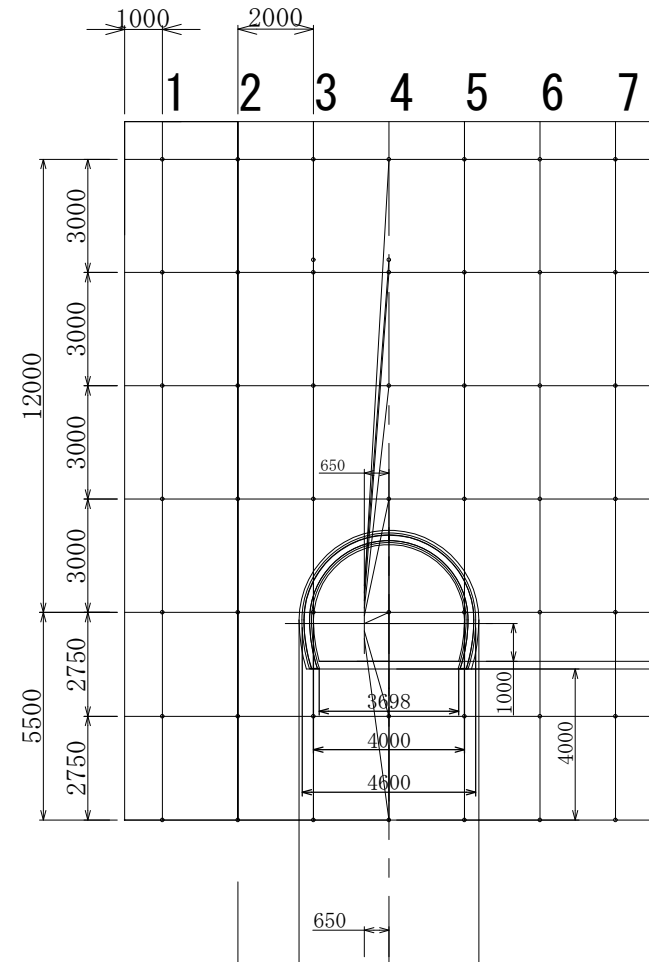
- 凡例
- 3-a'~5-a' (Aゾーン)
  - 1-a'・2-a'・5-a'・6-a' (Bゾーン)
  - 1-a~i・7-a~j (Cゾーン)
  - 2-a~j ~ 6-a~j (Dゾーン)

幌延深地層研究計画		第 77 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	グラウト工図 (500m水平坑道) 西立坑側 計画図3	縮尺	1/200
1枚の内	その 1	縮尺	1/200
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

No.77

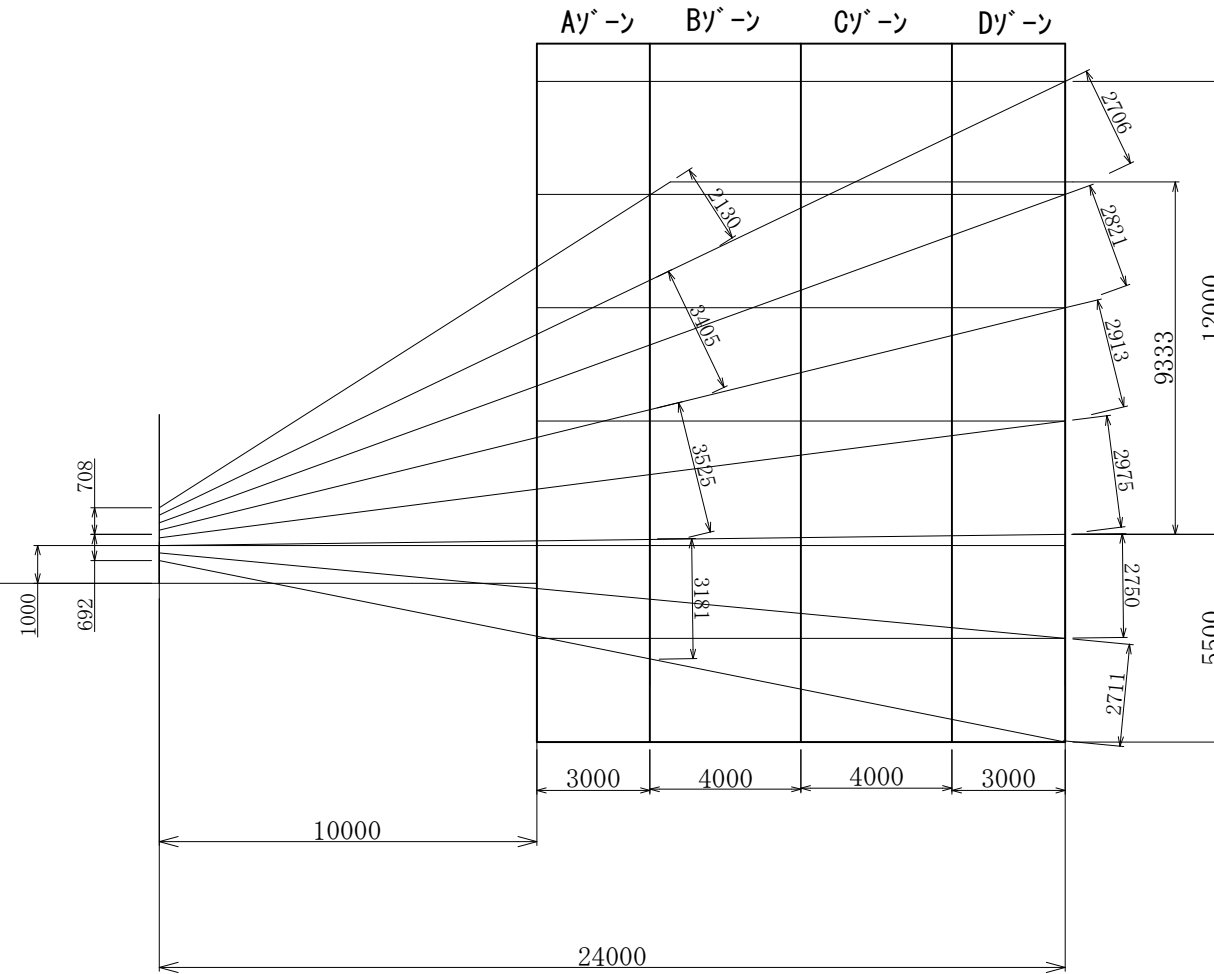
グラウト工図 (500m水平坑道) 西立坑側 計画図4

正面図



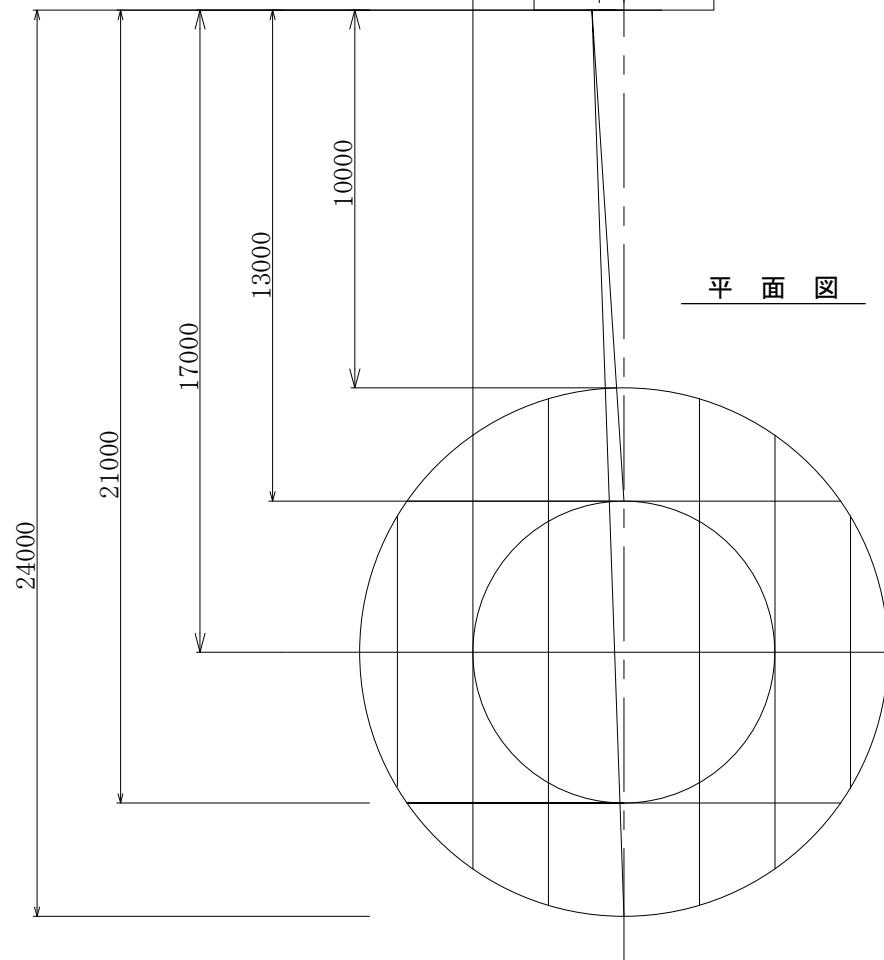
側面図

4列目



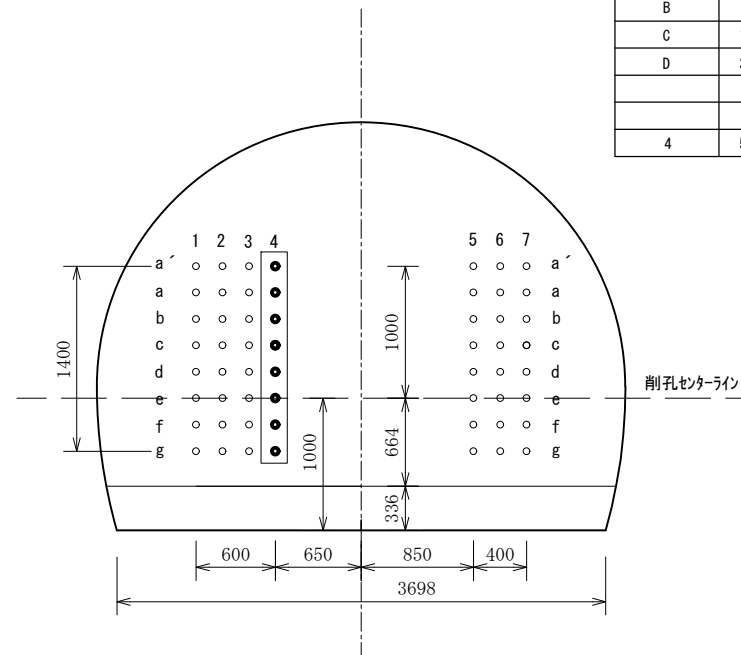
孔口配置断面図

平面図



数量表

ゾーン	孔数	削孔長				非注入区間		注入区間	
		Rm/孔	Lm/孔	平均m/孔	m	平均m/孔	m/孔	m	
A	3	15.60	16.10	15.93	47.80	(10.93)	(5.00)	15.00	
B	4	20.60	21.00	20.83	83.30	(15.83)	(5.00)	20.00	
C	14	21.50	24.40	22.39	313.50	(14.54)	(5.00)	110.00	
D	35	23.00	26.70	24.31	852.10	(16.49)	(5.00)	275.00	
4	56				1296.70			420.00	



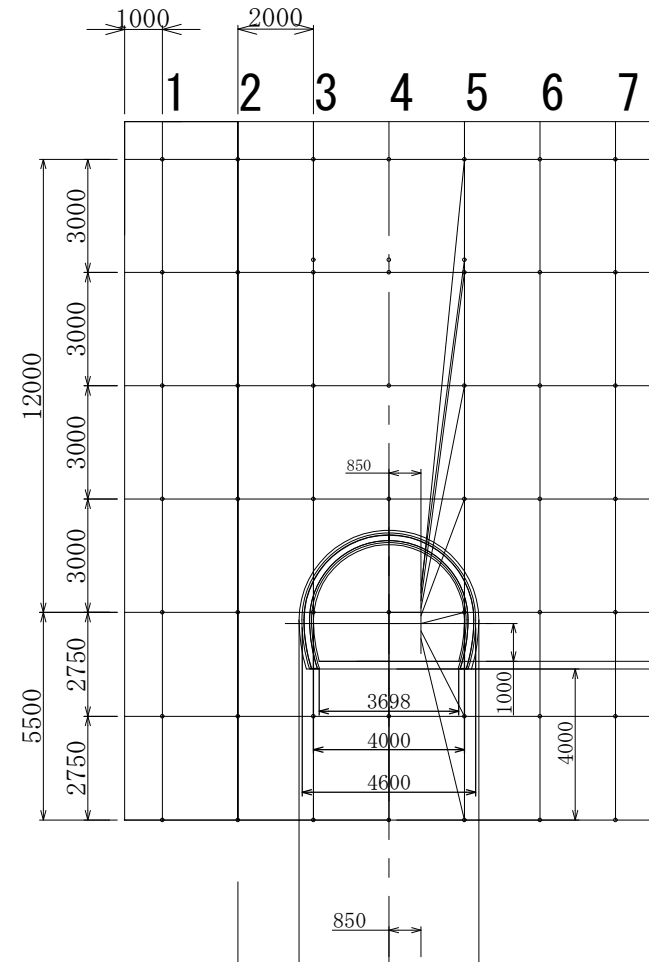
- 凡例
- 3-a'~5-a' (Aゾーン)
  - 1-a'・2-a'・5-a'・6-a' (Bゾーン)
  - 1-a~i・7-a~j (Cゾーン)
  - 2-a~j ~ 6-a~j (Dゾーン)

規延深地層研究計画		第 78 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	グラウト工図 (500m水平坑道) 西立坑側 計画図4	縮尺	1/200
1枚の内	その1	縮尺	1/200
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

No.78

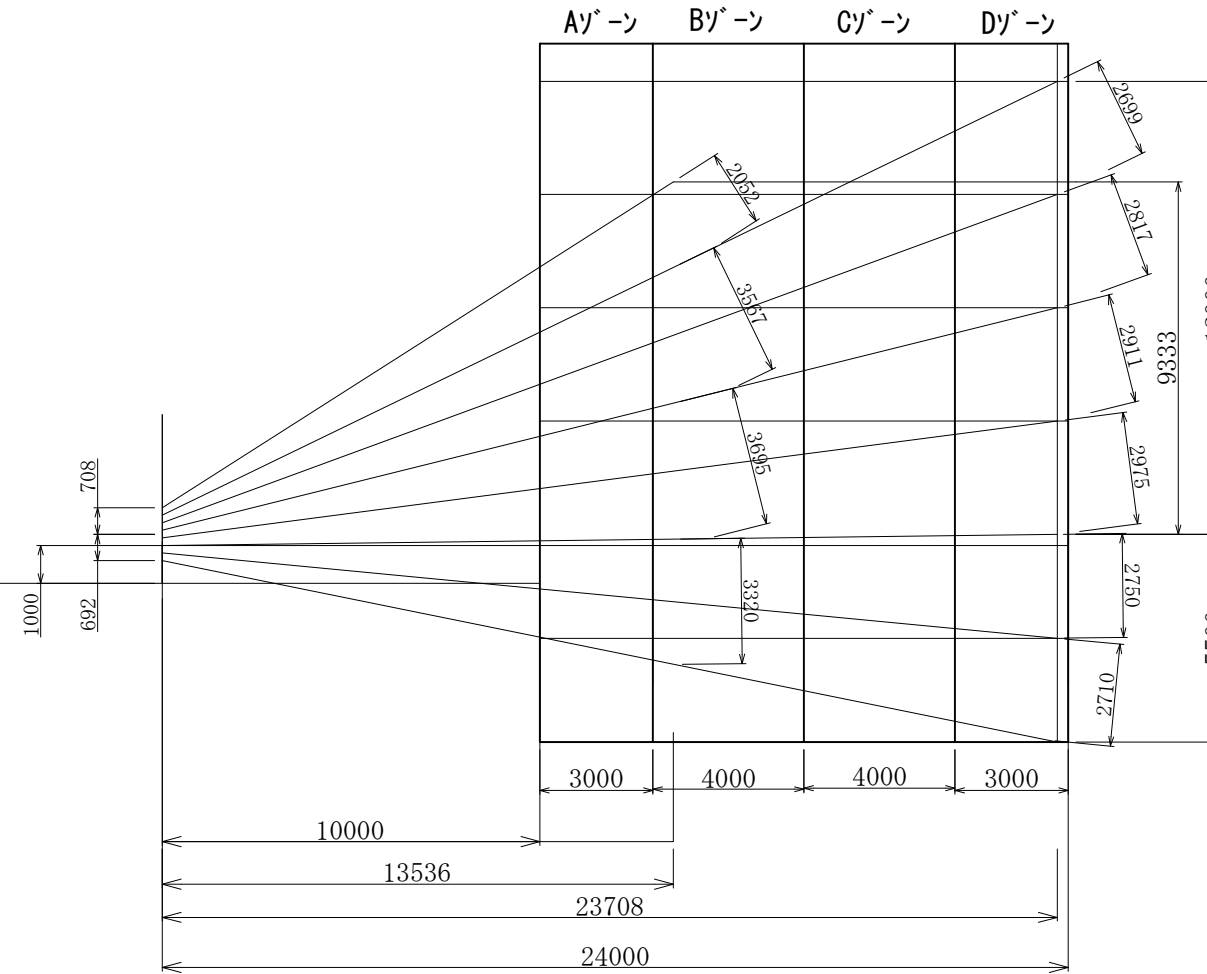
グラウト工図 (500m水平坑道) 西立坑側 計画図5

正面図



側面図

5列目

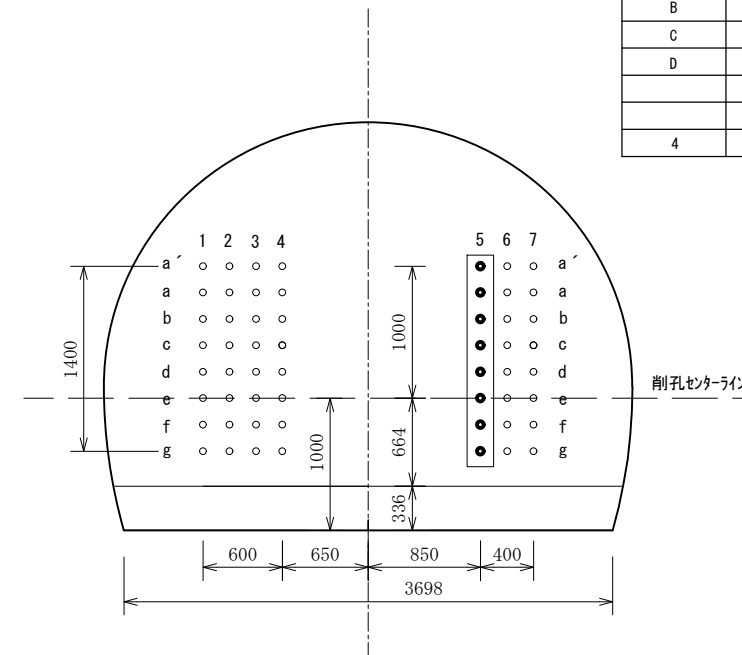
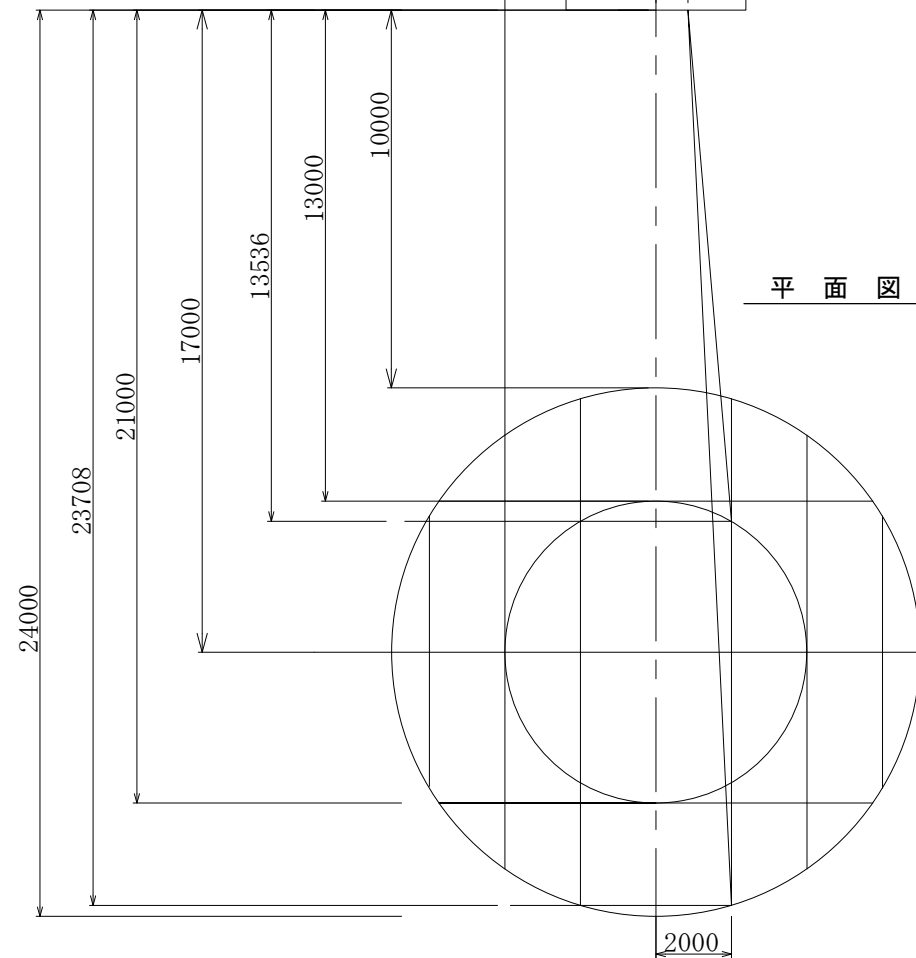


孔口配置断面図

数量表

ゾーン	孔数	削孔長				非注入区間		注入区間	
		Rm/孔	Lm/孔	平均m/孔	m	平均m/孔	m/孔	m	
A	3	15.60	16.10	15.93	47.80	(10.93)	(5.00)	15.00	
B	4	20.60	21.00	20.83	83.30	(15.83)	(5.00)	20.00	
C	14	21.50	24.40	22.39	313.50	(14.54)	(5.00)	110.00	
D	35	23.00	26.70	24.31	852.10	(16.49)	(5.00)	275.00	
4	56				1296.70			420.00	

平面図



- 凡例
- 3-a'~5-a' (Aゾーン)
  - 1-a'・2-a'・5-a'・6-a' (Bゾーン)
  - 1-a~i・7-a~j (Cゾーン)
  - 2-a~j ~ 6-a~j (Dゾーン)

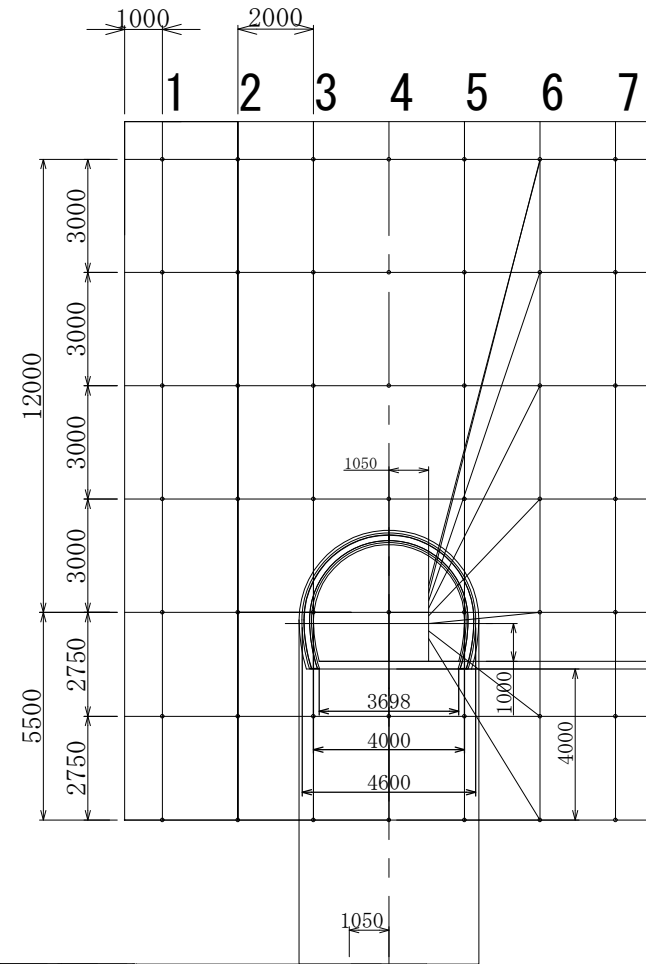
視延深地層研究計画		第 79 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	グラウト工図 (500m水平坑道) 西立坑側 計画図5	縮尺	1/200
1枚の内	その 1	縮尺	1/200
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

No.79



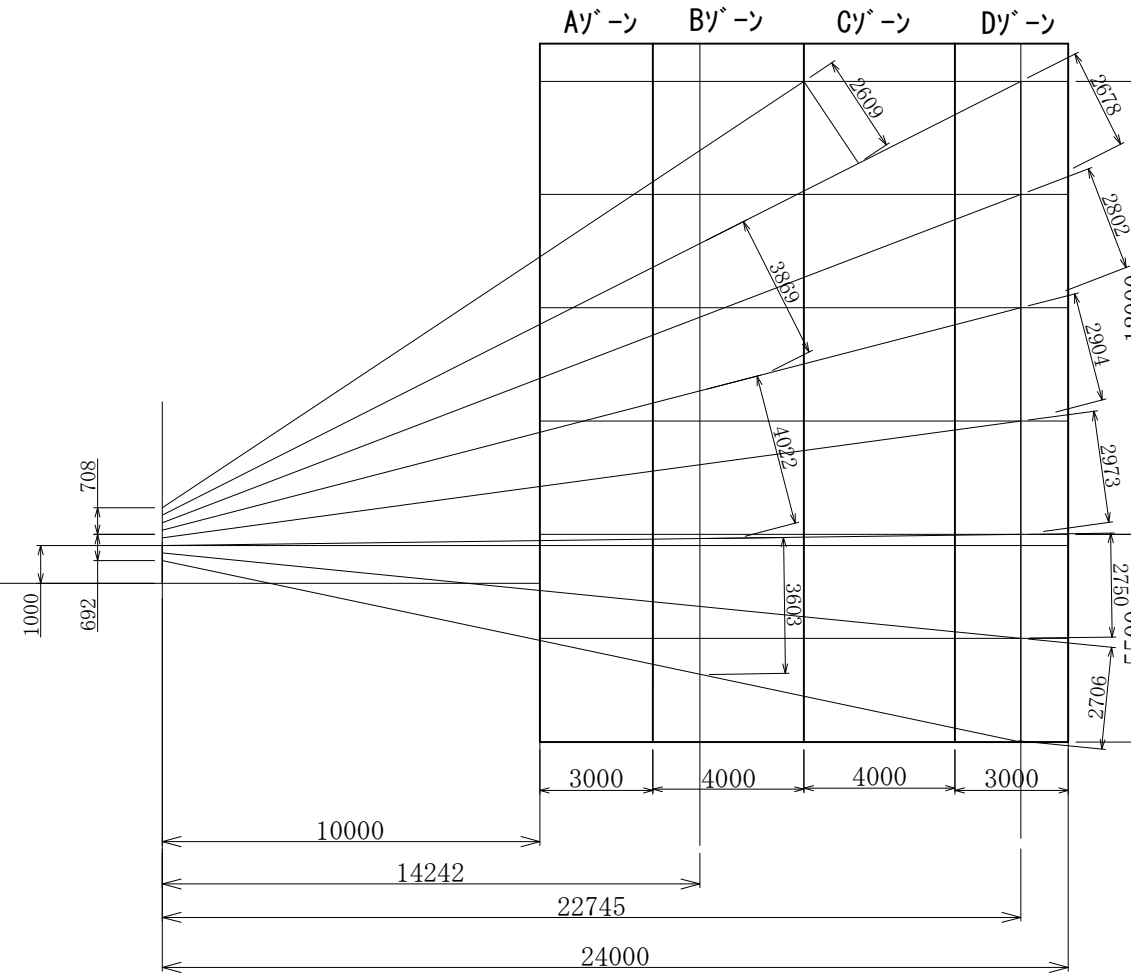
グラウト工図 (500m水平坑道) 西立坑側 計画図6

正面図

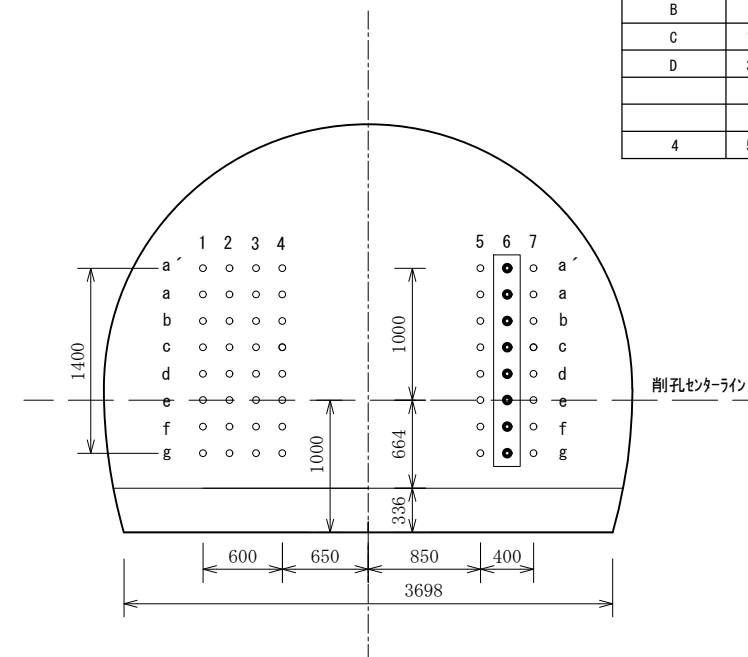


側面図

6列目



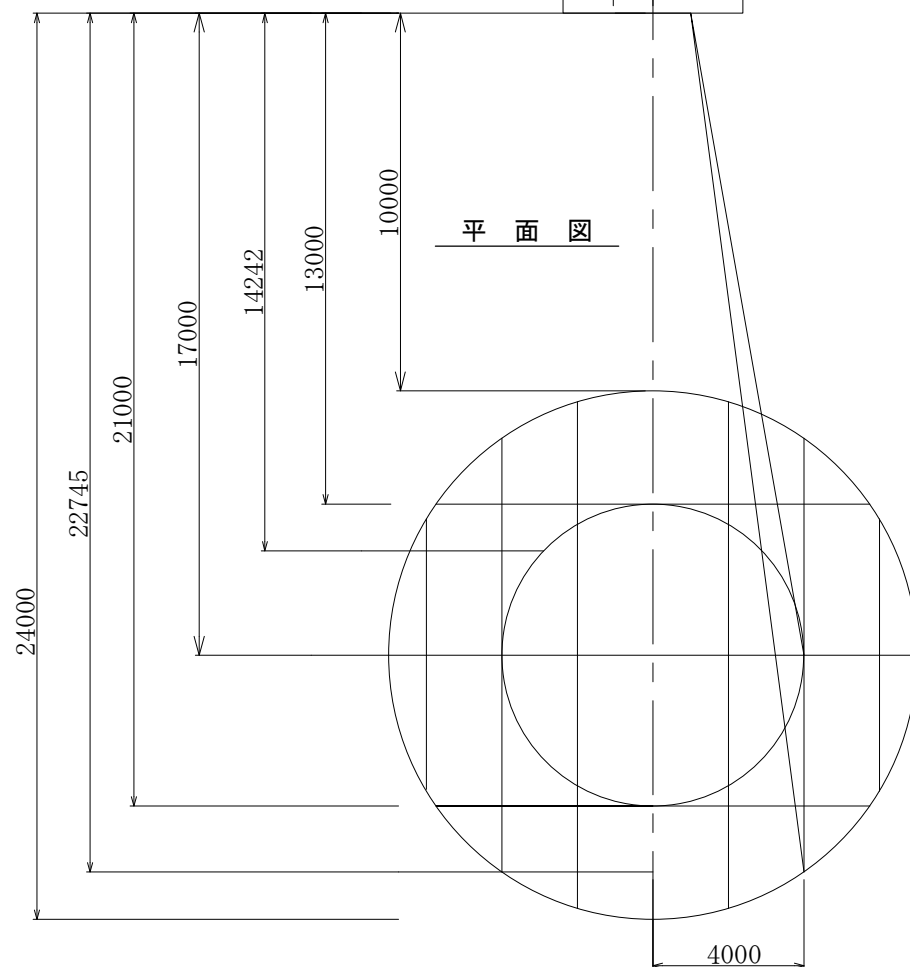
孔口配置断面図



数量表

ゾーン	孔数	削孔長				非注入区間		注入区間	
		Rm/孔	Lm/孔	平均m/孔	m	平均m/孔	m/孔	m	
A	3	15.60	16.10	15.93	47.80	(10.93)	(5.00)	15.00	
B	4	20.60	21.00	20.83	83.30	(15.83)	(5.00)	20.00	
C	14	21.50	24.40	22.39	313.50	(14.54)	(5.00)	110.00	
D	35	23.00	26.70	24.31	852.10	(16.49)	(5.00)	275.00	
4	56				1296.70			420.00	

- 凡例
- 3-a'~5-a' (Aゾーン)
  - 1-a'・2-a'・5-a'・6-a' (Bゾーン)
  - 1-a~i・7-a~j (Cゾーン)
  - 2-a~j ~ 6-a~j (Dゾーン)



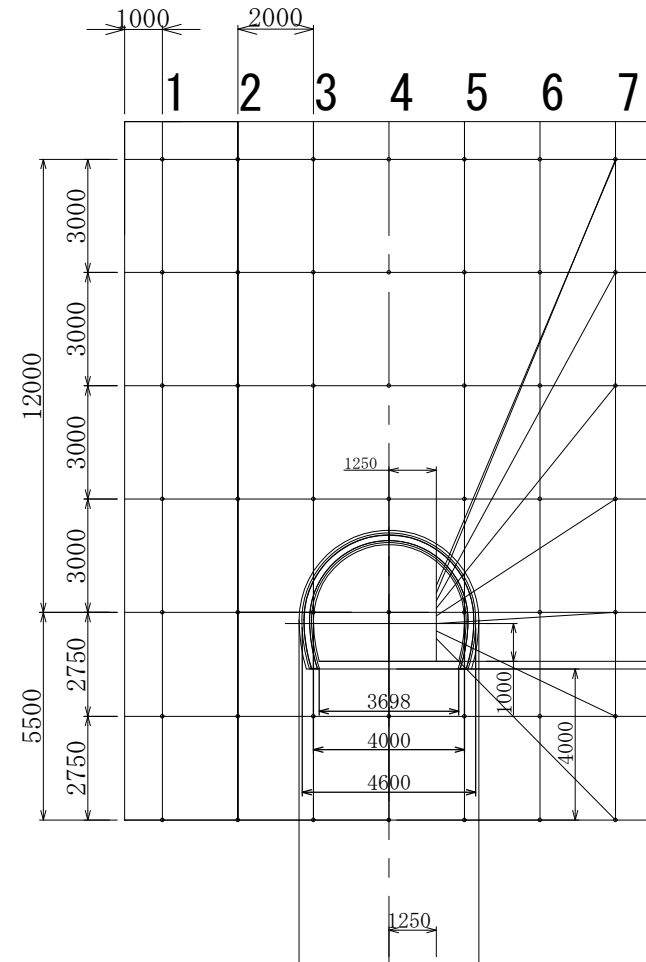
平面図

幌延深地層研究計画		第 80 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	グラウト工図 (500m水平坑道) 西立坑側 計画図6	縮尺	1/200
1枚の内	その 1	縮尺	1/200
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

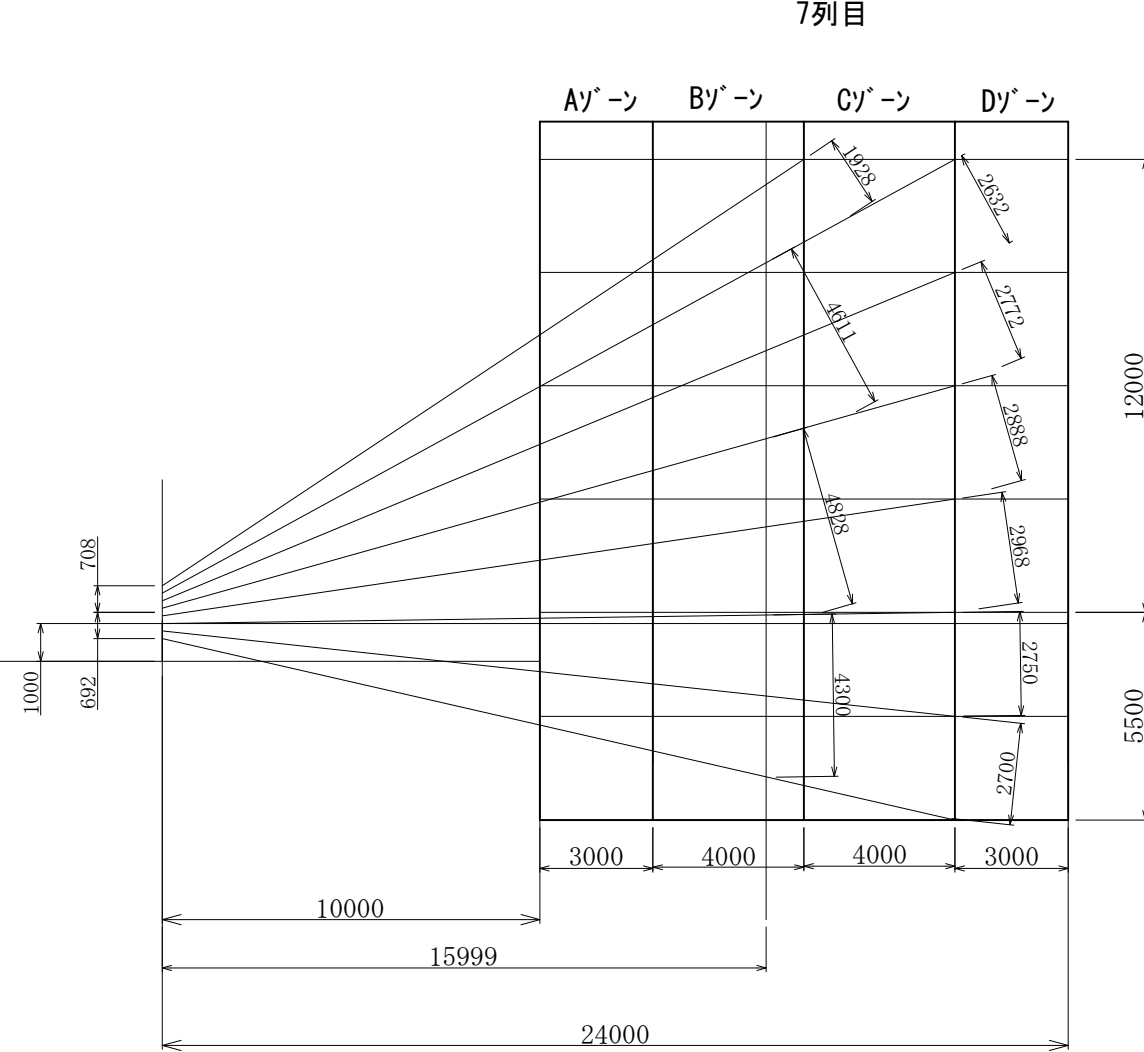
No.80

グラウト工図 (500m水平坑道) 西立坑側 計画図7

正面図



側面図

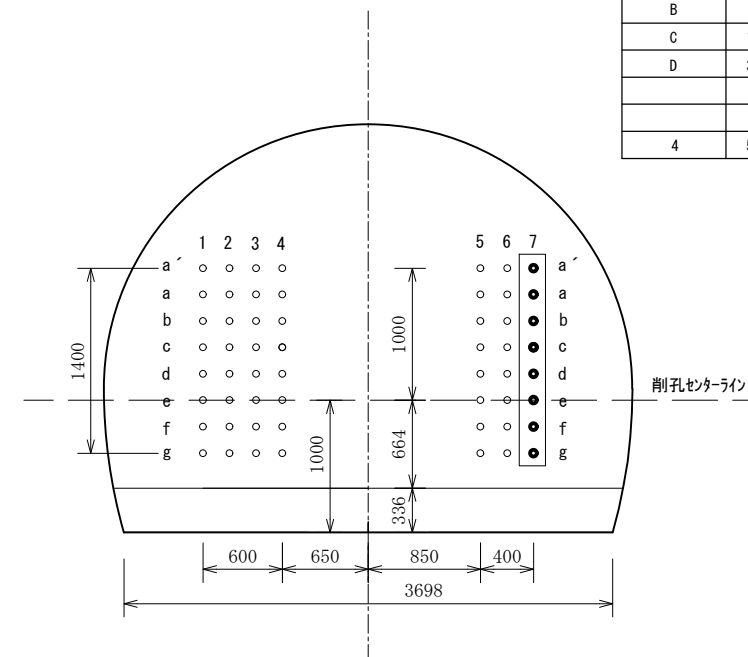
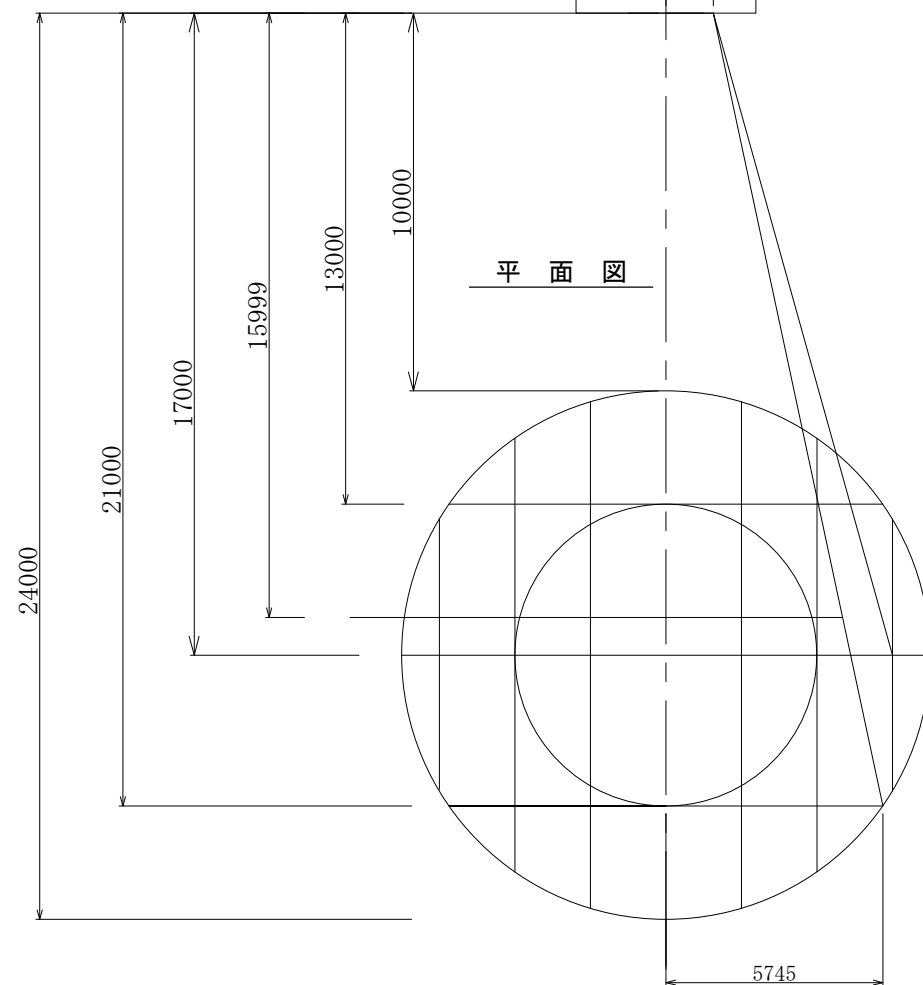


孔口配置断面図

数量表

ゾーン	孔数	削孔長				非注入区間		注入区間	
		Rm/孔	Lm/孔	平均m/孔	m	平均m/孔	m/孔	m	
A	3	15.60	16.10	15.93	47.80	(10.93)	(5.00)	15.00	
B	4	20.60	21.00	20.83	83.30	(15.83)	(5.00)	20.00	
C	14	21.50	24.40	22.39	313.50	(14.54)	(5.00)	110.00	
D	35	23.00	26.70	24.31	852.10	(16.49)	(5.00)	275.00	
4	56				1296.70			420.00	

平面図

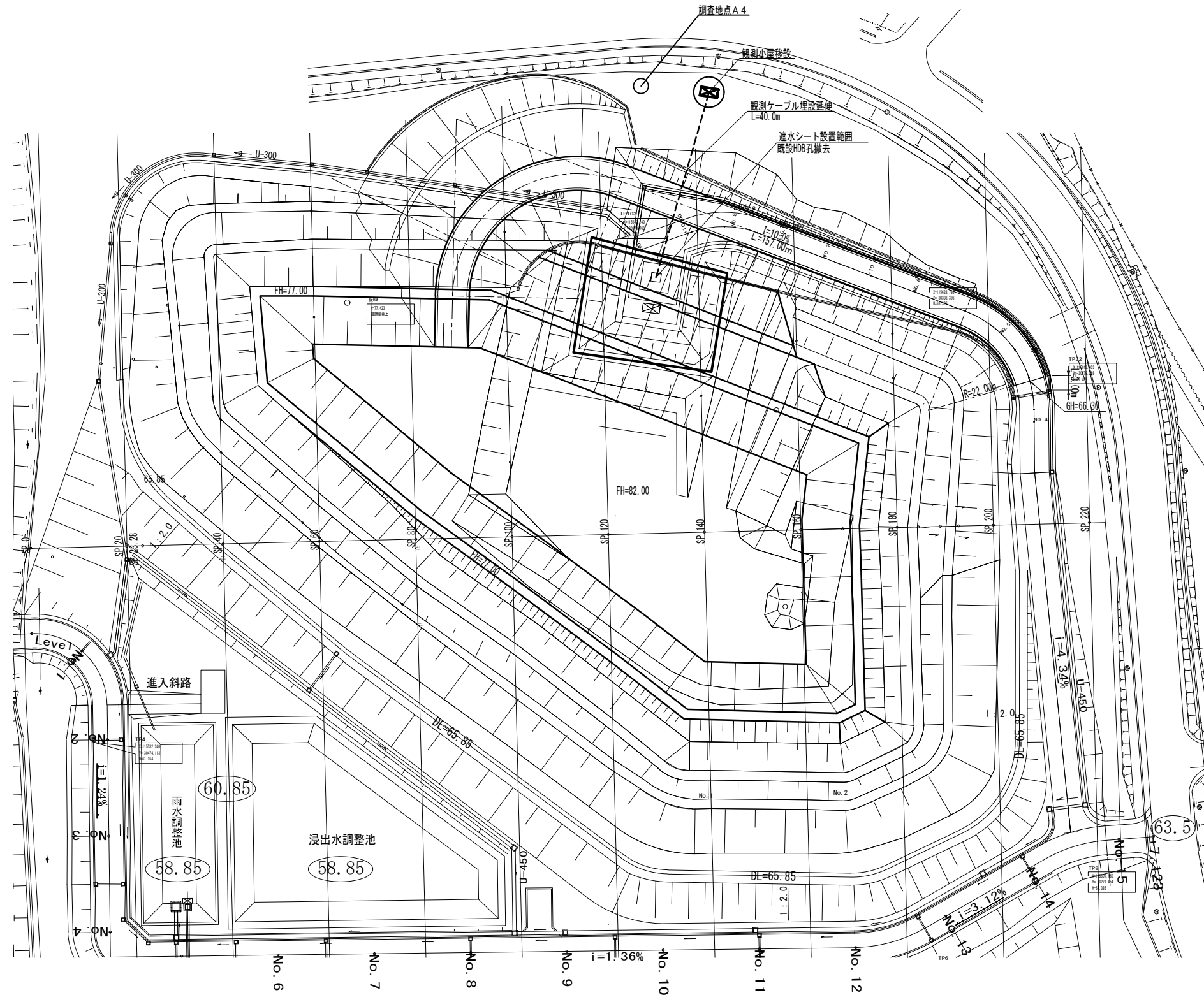


- 凡例
- 3-a'~5-a' (Aゾーン)
  - 1-a'・2-a'・5-a'・6-a' (Bゾーン)
  - 1-a~i・7-a~j (Cゾーン)
  - 2-a~j ~ 6-a~j (Dゾーン)

幌延深地層研究計画		第 81 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	グラウト工図 (500m水平坑道) 西立坑側 計画図7	縮尺	1/200
1枚の内	その 1	縮尺	1/200
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

No.81

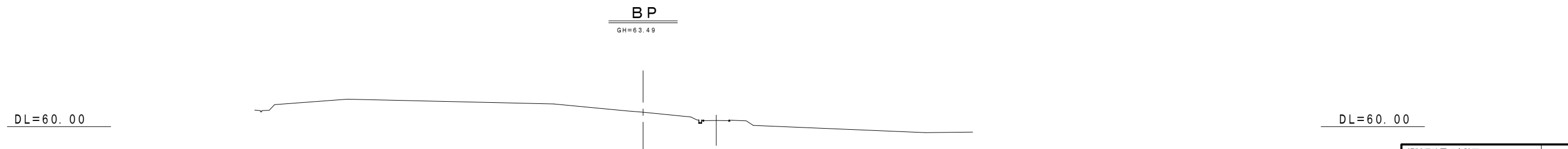
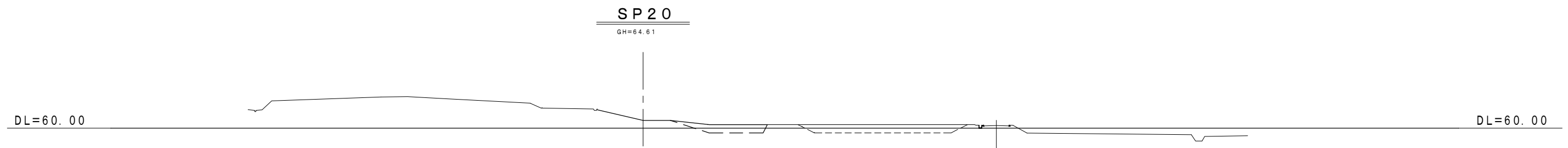
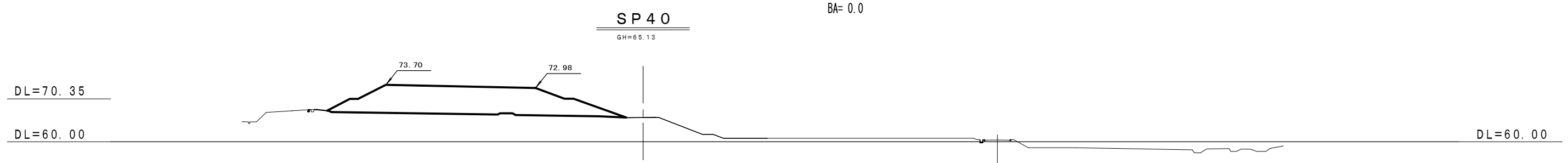
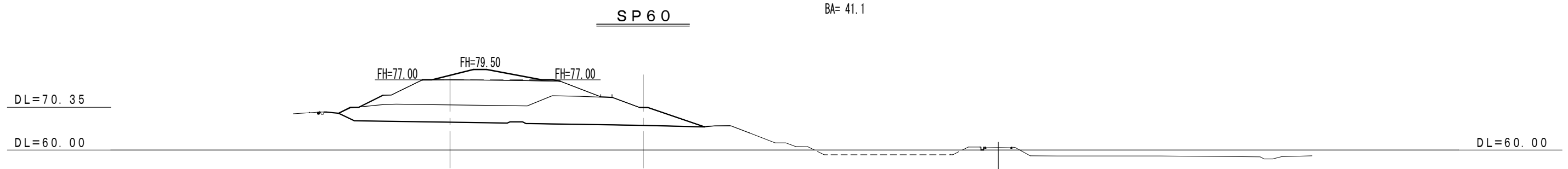
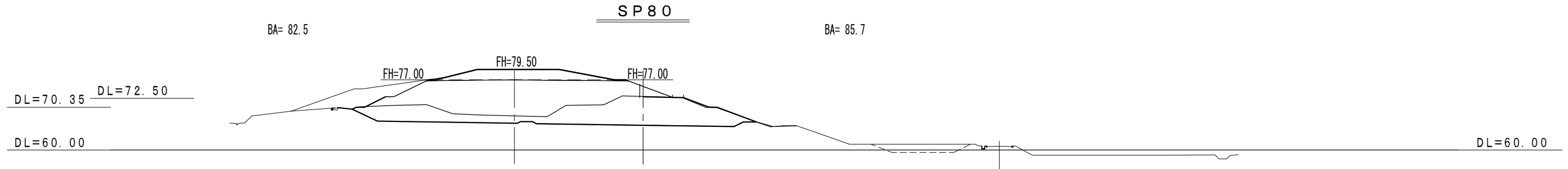
掘削土(ズリ)置場 全体平面図



幌延深地層研究計画 地下研究施設整備(第三期)等事業		第 82 号図
図面名称	掘削土(ズリ)置場 全体平面図	
1枚の内	その1	縮尺 1/500
承 認 設 計 写 図		作成年月日
整理番号	No.	令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構		

No.82

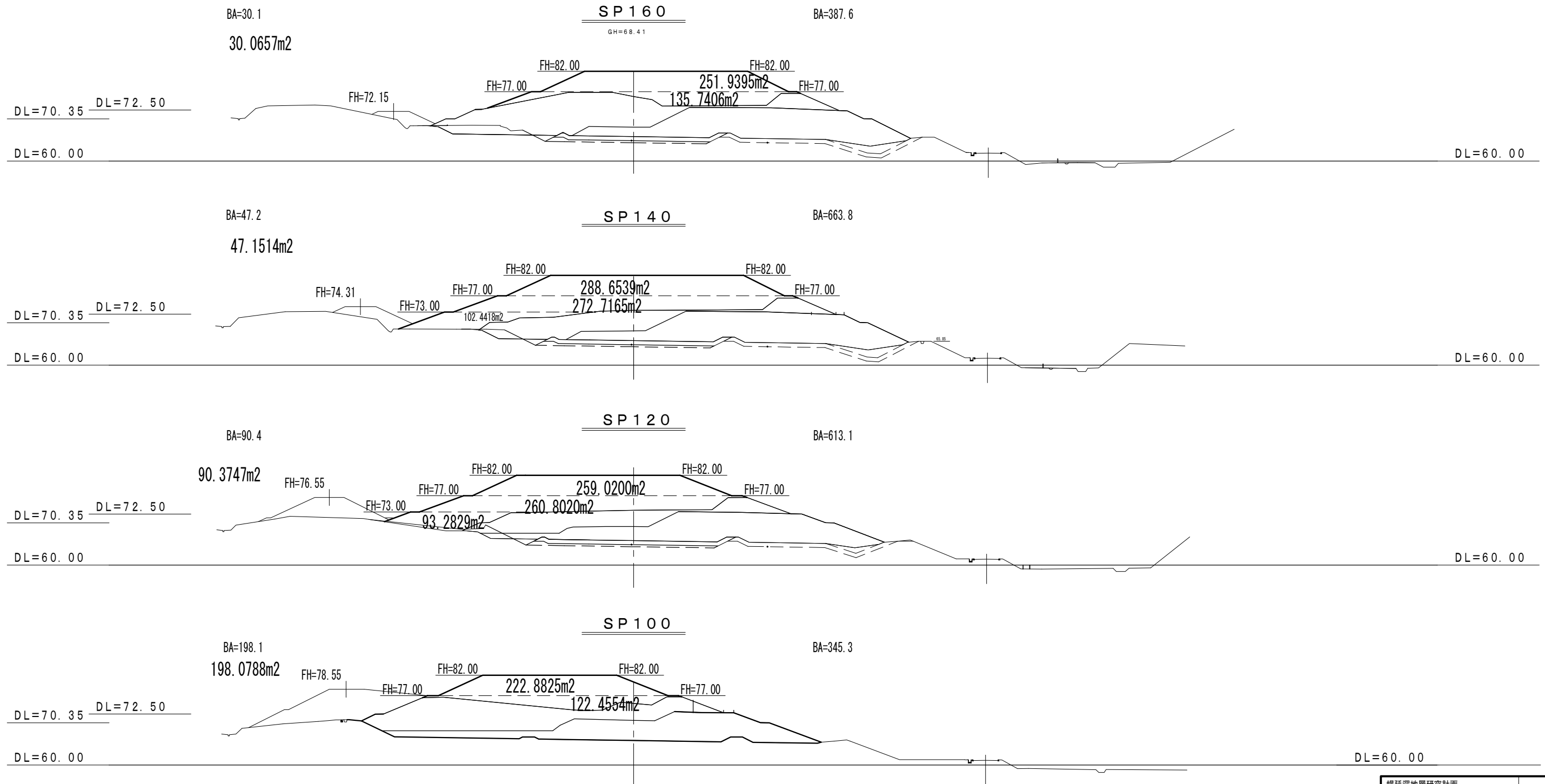
掘削土(ズリ)置場 撤去嵩上げ横断図(1)



視延深地層研究計画		第 83 号図	
地下研究施設整備(第三期)等事業			
図面名称	掘削土(ズリ)置場 撤去嵩上げ横断図(1)		
3枚の内	その1	縮尺	1/500
承	認	設計	写図
			作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

No.83

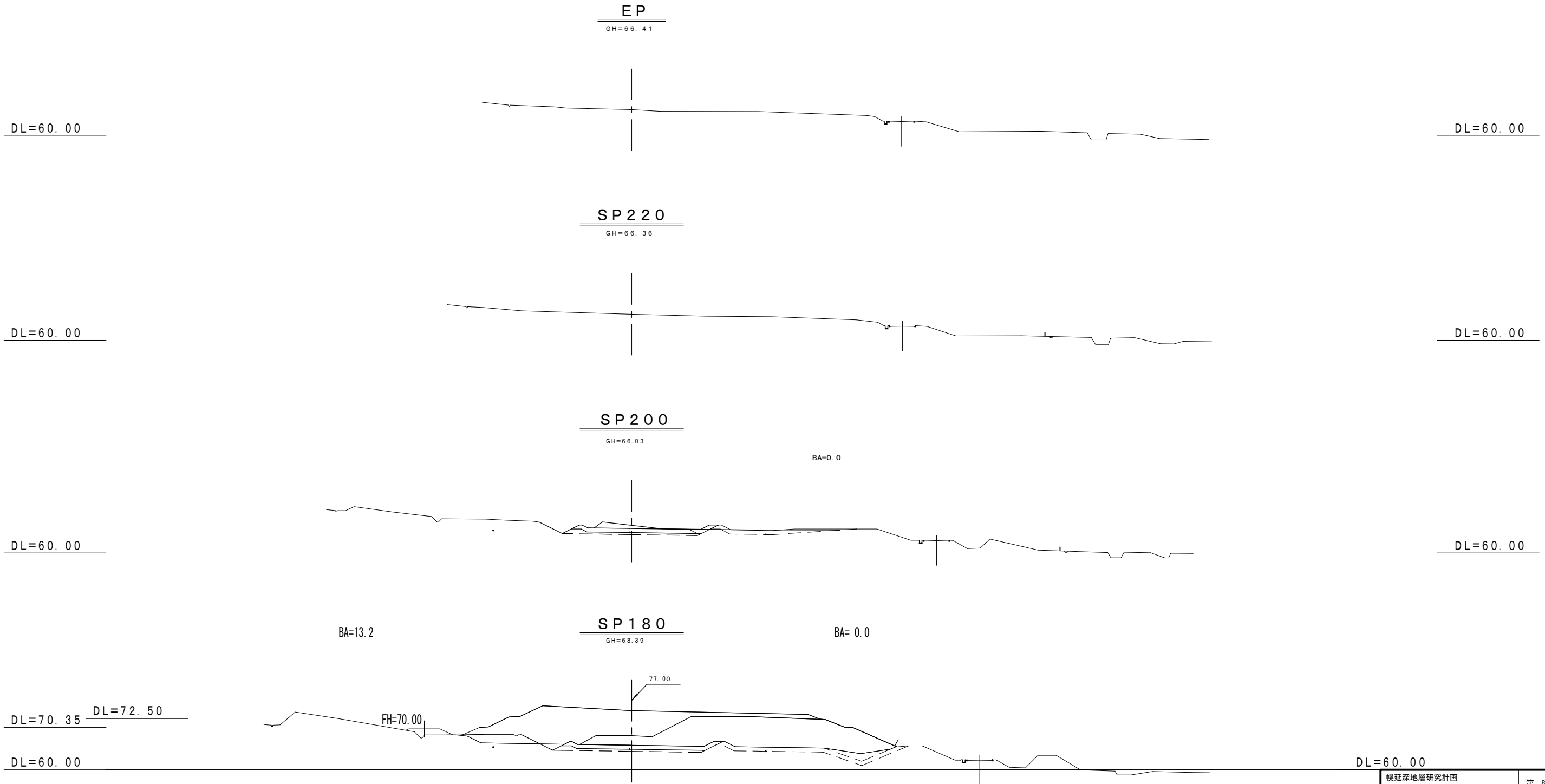
掘削土(ズリ)置場 撤去嵩上げ横断図(2)



視延深地層研究計画		第 84 号図	
地下研究施設整備(第三期)等事業			
図面名称	掘削土(ズリ)置場 撤去嵩上げ横断図(2)		
3枚の内	その2	縮尺	1/500
承	認	設計	写図
			作成年月日
			令和3年9月30日 完工
整理番号	No.		
日本原子力研究開発機構			

No.84

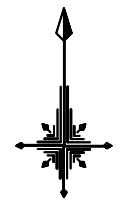
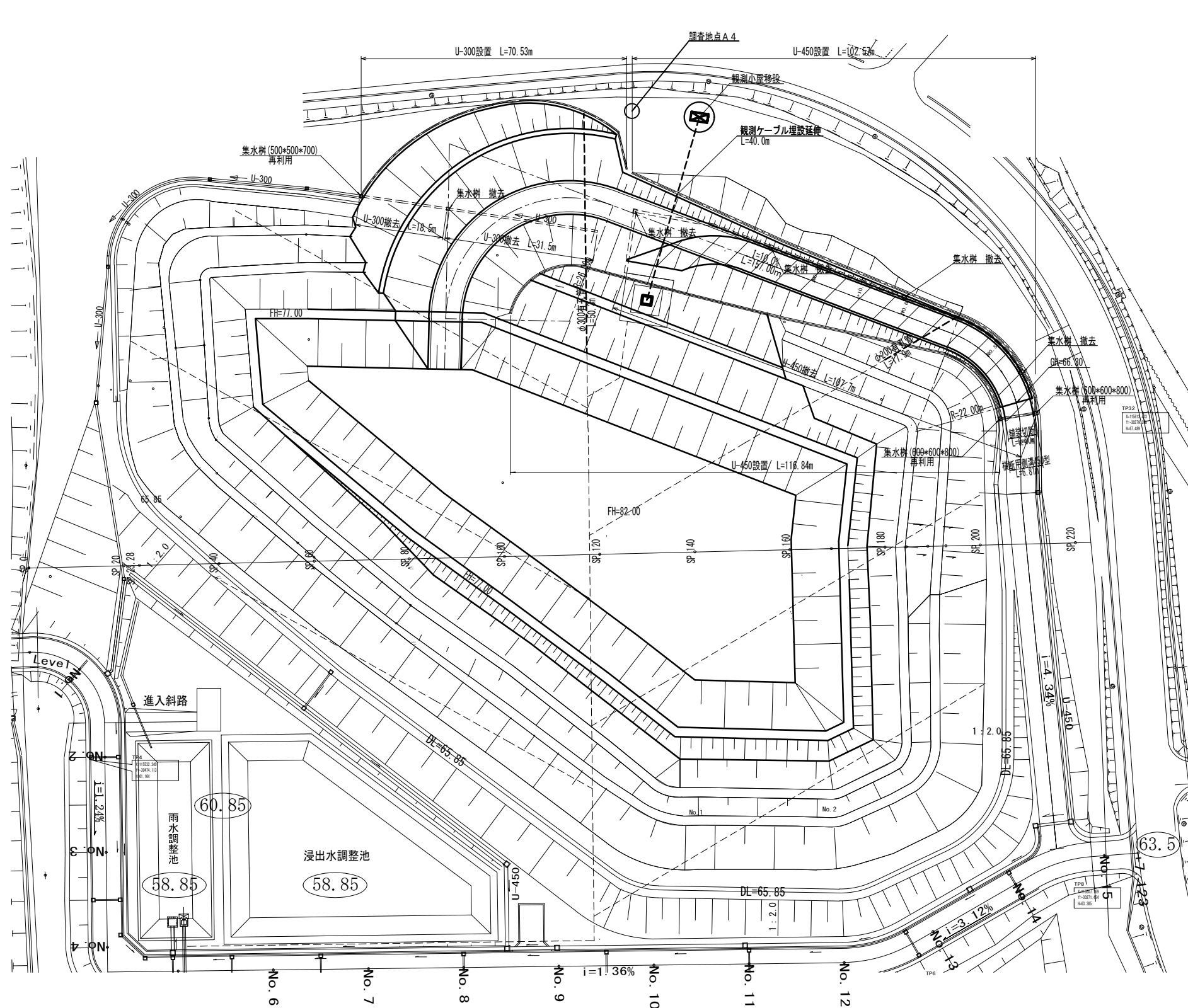
掘削土(ズリ)置場 撤去嵩上げ横断図(3)



視延深地層研究計画 地下研究施設整備(第三期)等事業		第 85 号図	
図面名称	掘削土(ズリ)置場 撤去嵩上げ横断図(3)		
3枚の内	その3	縮尺	1/500
承	認	設計	写図
			作成年月日
			令和3年9月30日 完工
整理番号	No.		
日本原子力研究開発機構			

No.85

ズリ置き場 排水計画平面図



凡例

-----	新設 排水管
-----	既設 排水管
———	排水側溝
□	集水樹
▨	舗装版撤去

排水設備数量集計表

地下水集排水管	幹線 有孔管 φ300	50.3m
	枝線 有孔管 φ200	17.9m
表面水排水側溝	U300(新設)	20.5m
	U300(再利用)	50.0m
	70.53m(表示延長)	計 70.5m
	U450(新設)	111.7m
	U450(再利用)	107.7m
	102.57+116.84m(表示延長)	計 219.4m
集水樹	集水樹B500-L500-H700	1箇所
	集水樹B600-L600-H800	2箇所
表面水排水横断側溝	グレーチング蓋付U450ト57(1-25対応ホト固定式)	6.81m

排水設備撤去数量集計表

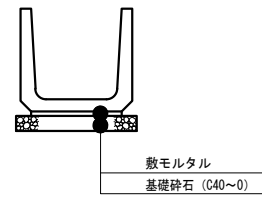
排水施設撤去再利用	U300	50.0m
	U450	107.7m
	集水樹B500-L500-H700 (撤去敷設替え)	1箇所
	集水樹B600-L600-H800 (撤去敷設替え)	2箇所
排水施設撤去	集水樹B600-L600-H800	2箇所
舗装切断	細粒度アスコン アス安定処理 t=3cm t=5cm	L=6.00m
舗装版撤去	細粒度アスコン アス安定処理 t=3cm t=5cm	A=542.4m <sup>2</sup>

観延深地層研究計画 地下研究施設整備(第三期)等事業		第 86 号図
図面名称	ズリ置き場 排水計画平面図	
1枚の内	その1	縮尺 1/500
承	認 設 計 写 図	作成年月日
整理番号	No.	令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構		

No.86

掘削土(ズリ)置場 排水施設構造図

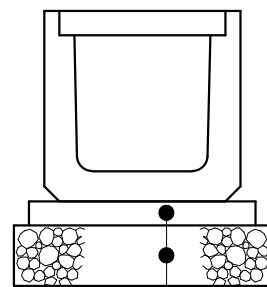
U型側溝



寸法表

種別	B	H	b1	b2
B300-H300	300	300	300	500
B450-H450	450	450	430	630

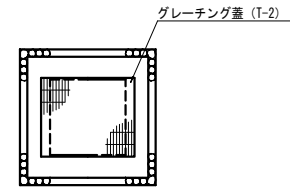
横断用U型側溝  
U450



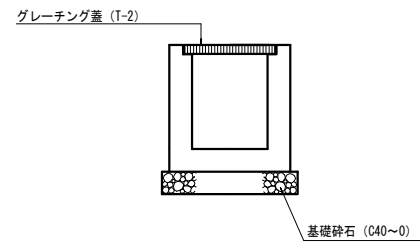
基礎コンクリート(C-1)  
基礎砕石 (C40~0)

集水桝

平面図

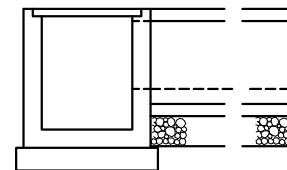


断面図

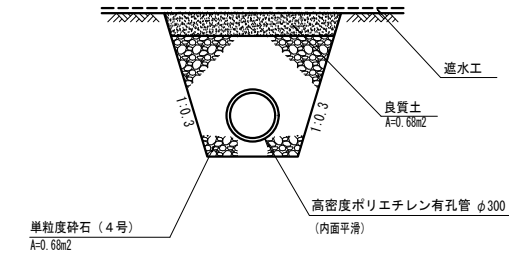


寸法表

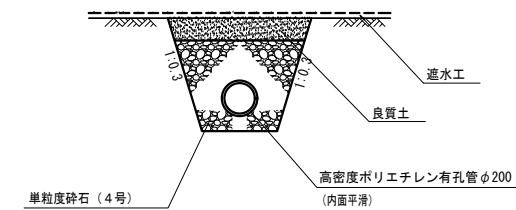
種別	B	L	t	H
B500-L500-H700	500	500	100	700
B600-L600-H800	600	600	120	800



幹線 φ300 (有孔管) S=1:40



支線 φ200 (有孔管) S=1:40

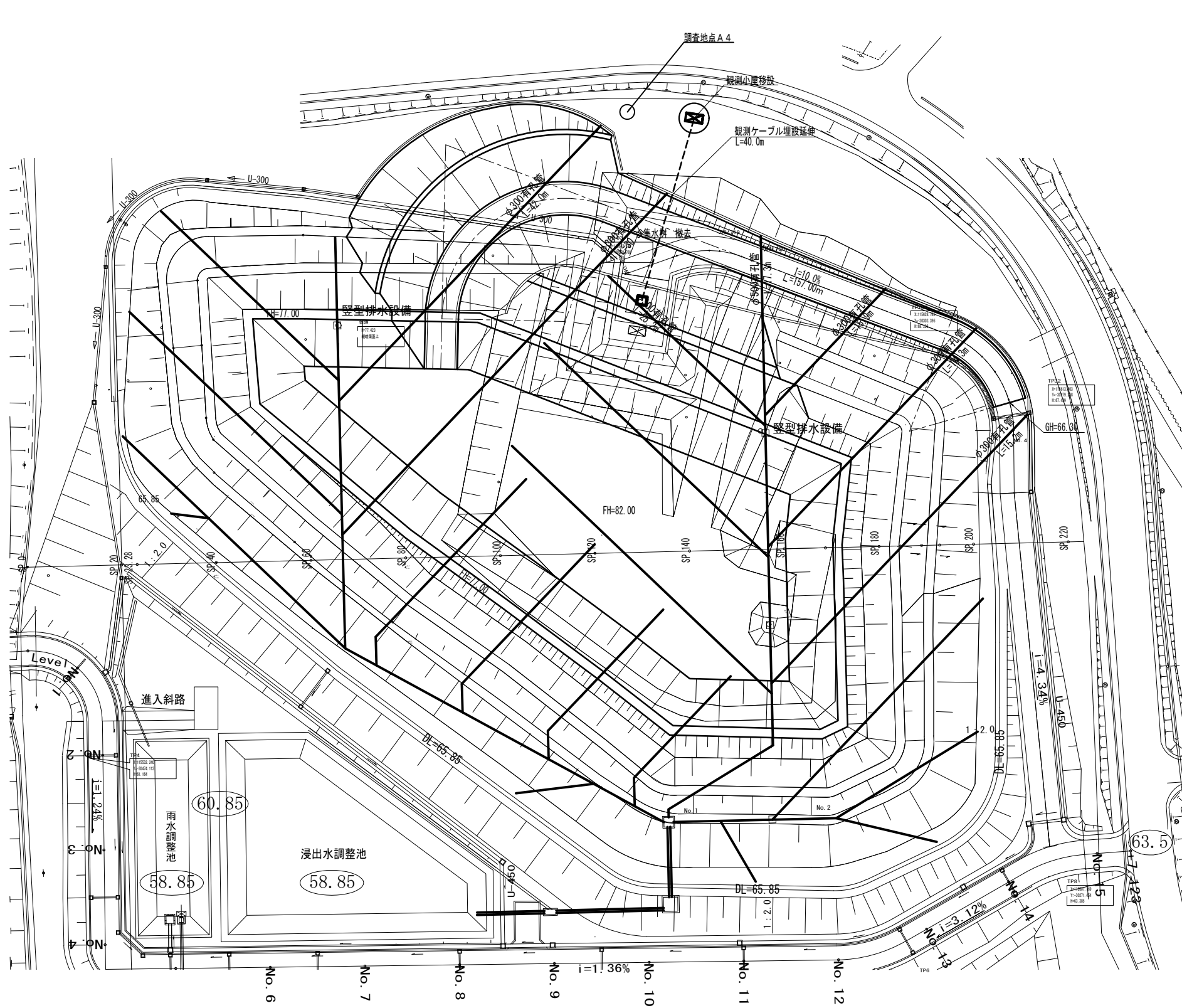


規延深地層研究計画 地下研究施設整備(第三期)等事業		第 87 号図	
図面名称	掘削土(ズリ)置場	排水施設構造図	
1枚の内	その1	縮尺	1/50
承認	設計	写図	作成年月日
整理番号	No.		令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構			

No.87



掘削土(ズリ)置場 浸出水集排水管平面図



凡例

	新設 浸出排水管
	既設 浸出排水管

浸出水集排水設備数量集計表

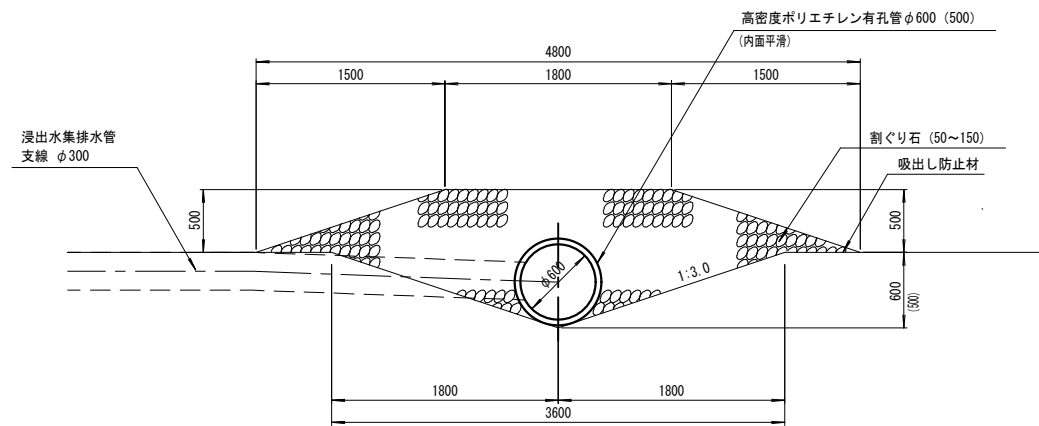
浸出水集排水管	幹線 有孔管φ500	17.3m
	枝線 有孔管φ300	142.9m
竖型排水設備	FH=77.00-GH=65.00 高さH=12.0m	2箇所

視延深地層研究計画		第 88 号図
地下研究施設整備 (第三期) 等事業		
図面名称	掘削土(ズリ)置場 浸出水集排水管平面図	
1枚の内	その 1	縮尺 1/500
承 認 設 計 写 図	作成年月日	
整理番号	No.	令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構		

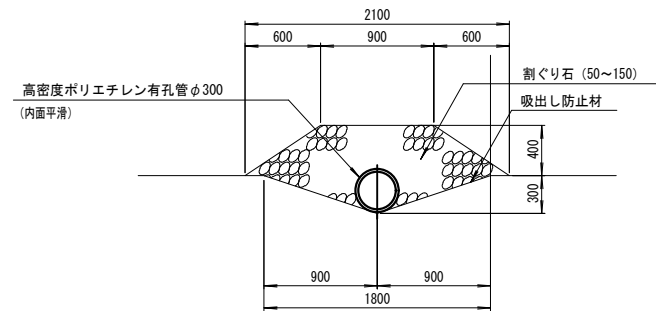
No.88

浸出水集排水管

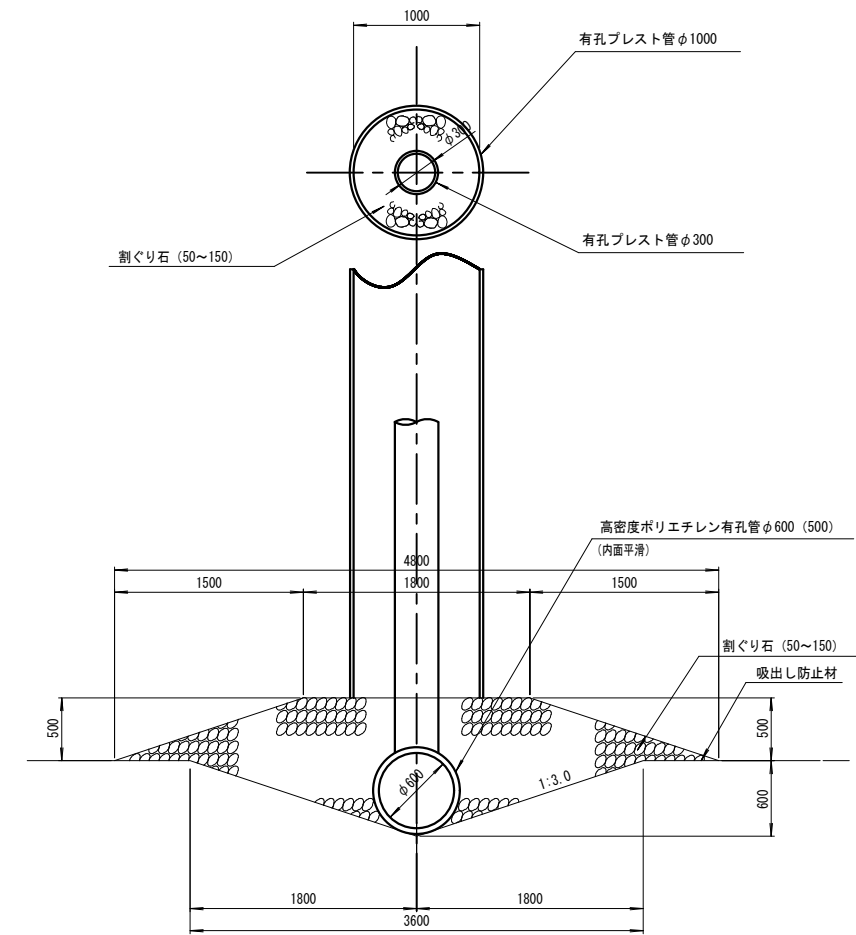
幹線 φ600 (500) (有孔管)



支線(底面) φ300 (有孔管)



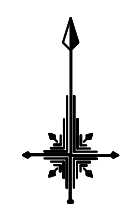
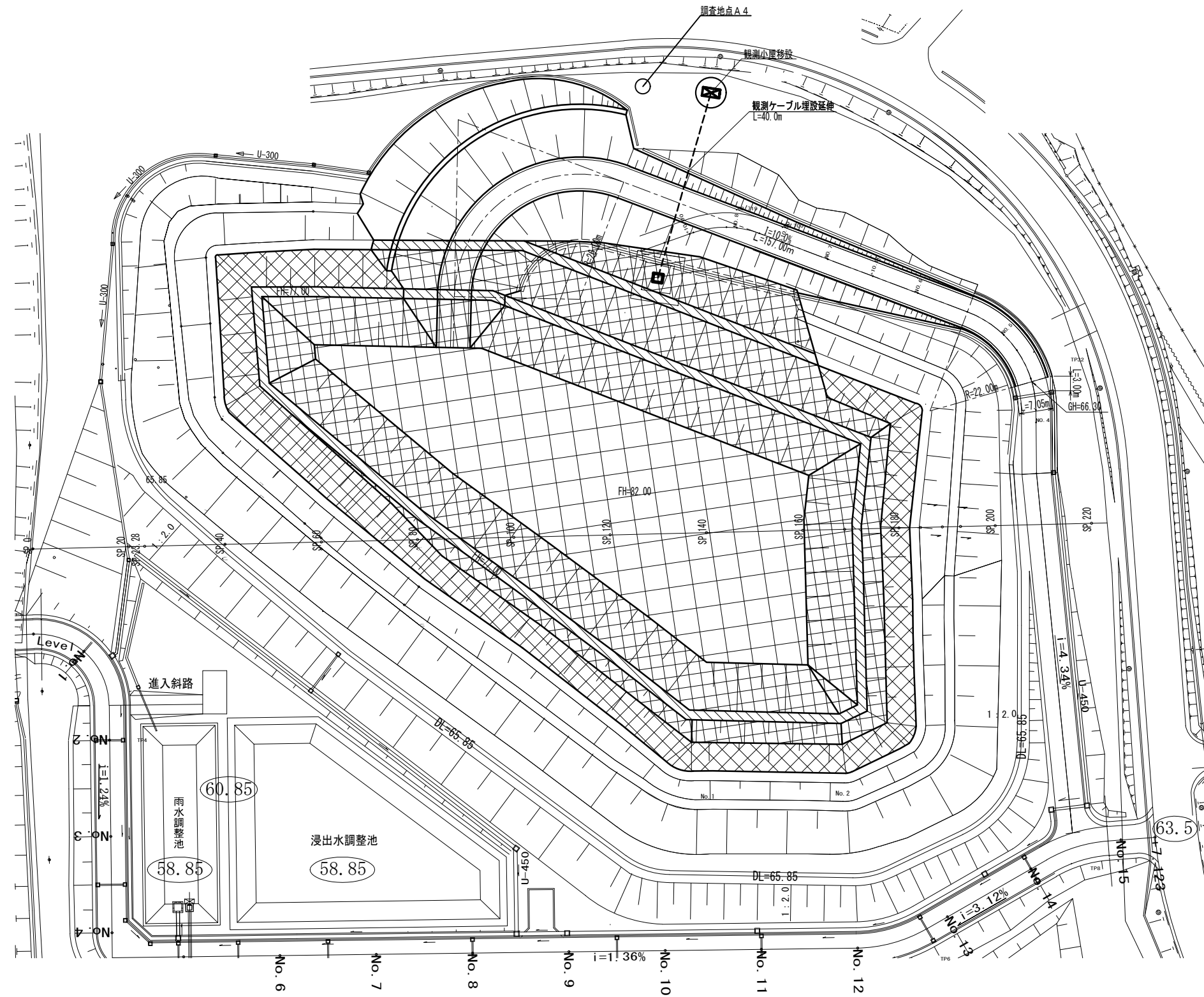
豎型排水設備



梶延深地層研究計画		第 89 号図	
地下研究施設整備(第三期)等事業			
図面名称	掘削土(ズリ)置場	浸出水集排水管構造図	
1枚の内	その1	縮尺	1/50
承	認	設計	写図
			作成年月日
			令和3年9月30日 完工
整理番号	No.		
日本原子力研究開発機構			

No.89

掘削土(ズリ)置場 遮水工平面図



凡例

記号	工種	備考
	防水シート工 (天端部)	A=3,275.6m <sup>2</sup>
	吹付けコンクリート工 (1:2法面部) (斜比 1.118) t=5cm	A=5,192.3m <sup>2</sup> × 1.118 =5,805.0m <sup>2</sup>
	遮水シート撤去後 吹付けコンクリート工 (1:2法面部) (斜比 1.118)	A=2,025.9m <sup>2</sup> × 1.118 =2,265.0m <sup>2</sup>
	平坦部 (ステップ) 吹付けコンクリート工 t=5cm	A=902.5m <sup>2</sup>
	遮水シート設置 (既設HUB撤去後)	A= 3.6m <sup>2</sup>

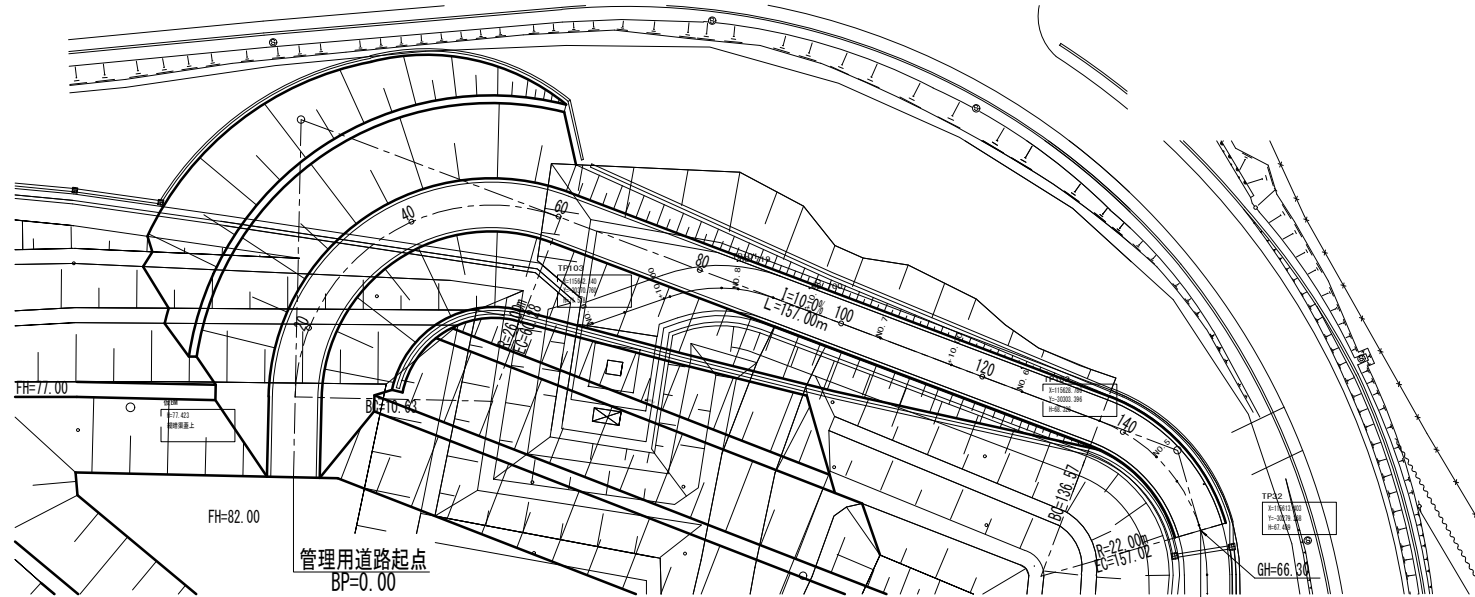
※CAD計測による

幌延深地層研究計画 地下研究施設整備 (第三期) 等事業		第 90 号図
図面名称	掘削土(ズリ)置場 遮水工平面図	
1枚の内	その1	縮尺 1/500
承 認 設 計 写 図		作成年月日
整理番号	No.	令和3年9月30日 完工
日本原子力研究開発機構		

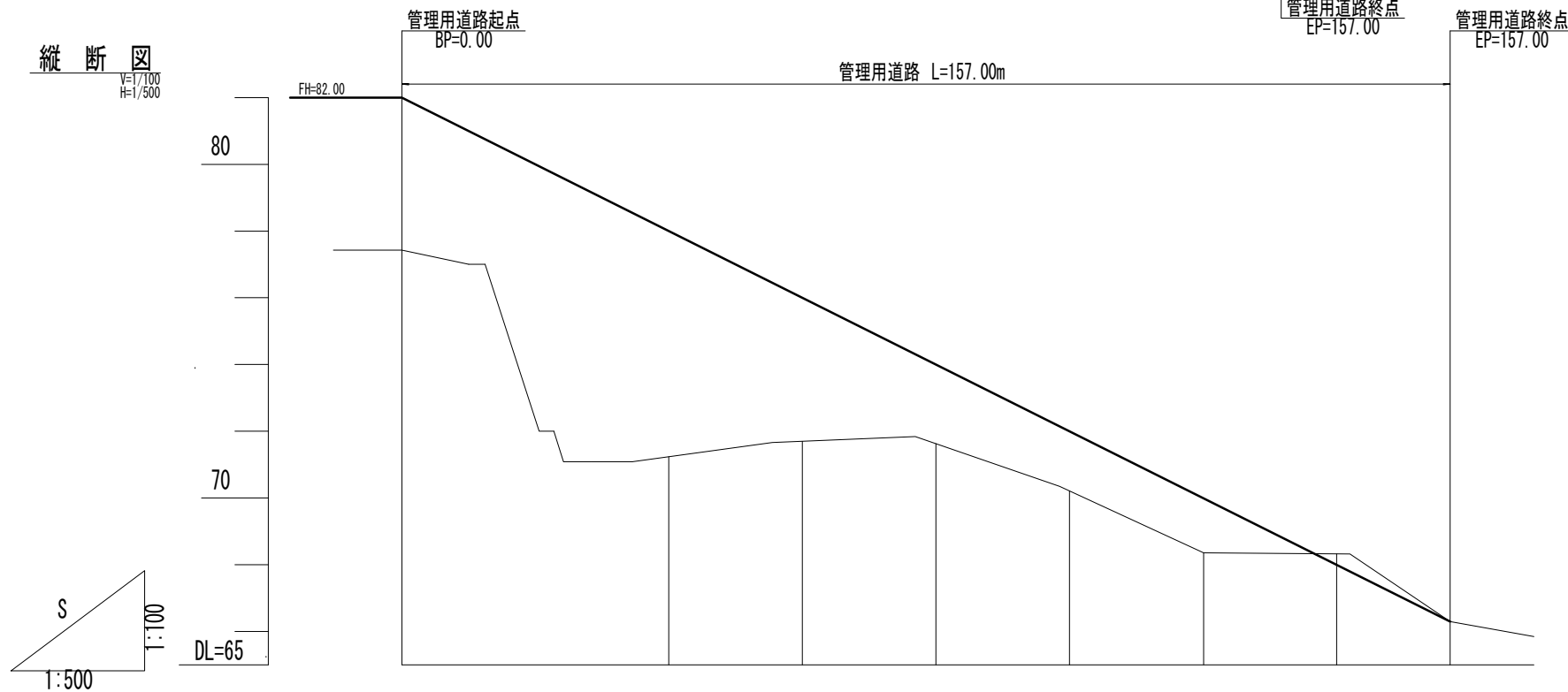
No.90

掘削土(ズリ)置場 管理用道路計画図

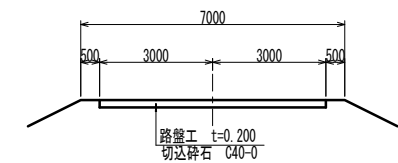
平面図  
S=1/500



縦断面図  
V=1/100  
H=1/500



標準断面図  
S=1/100

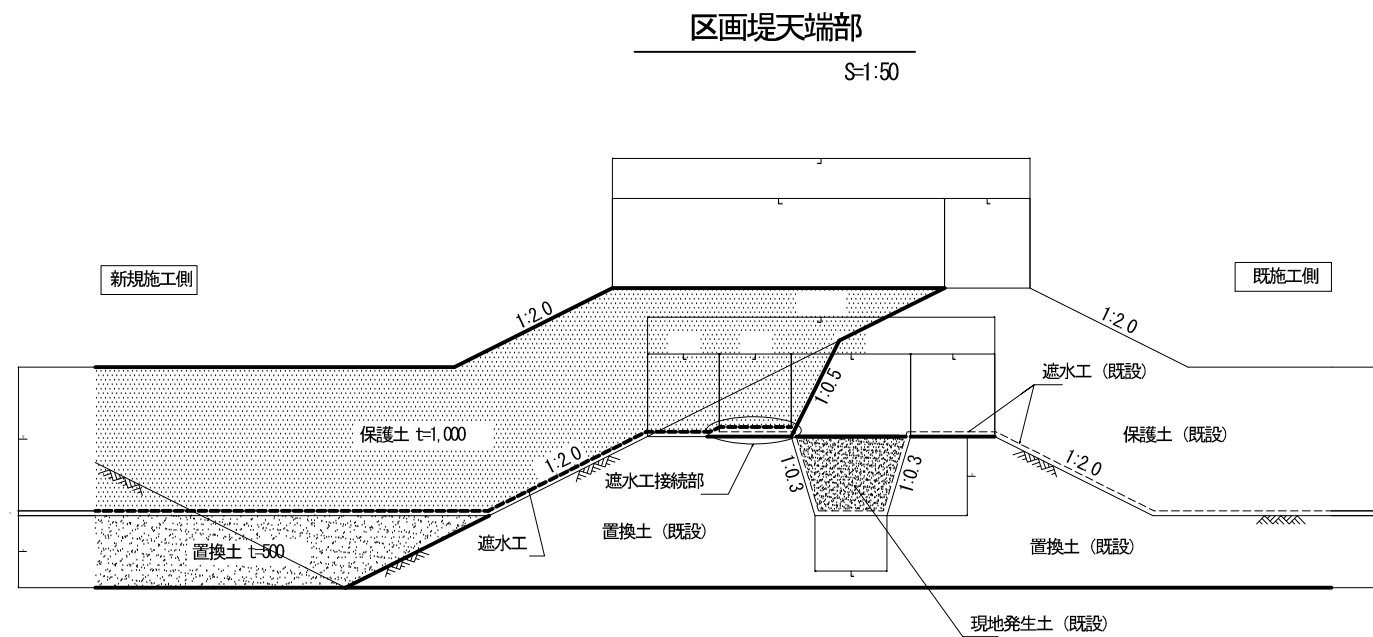
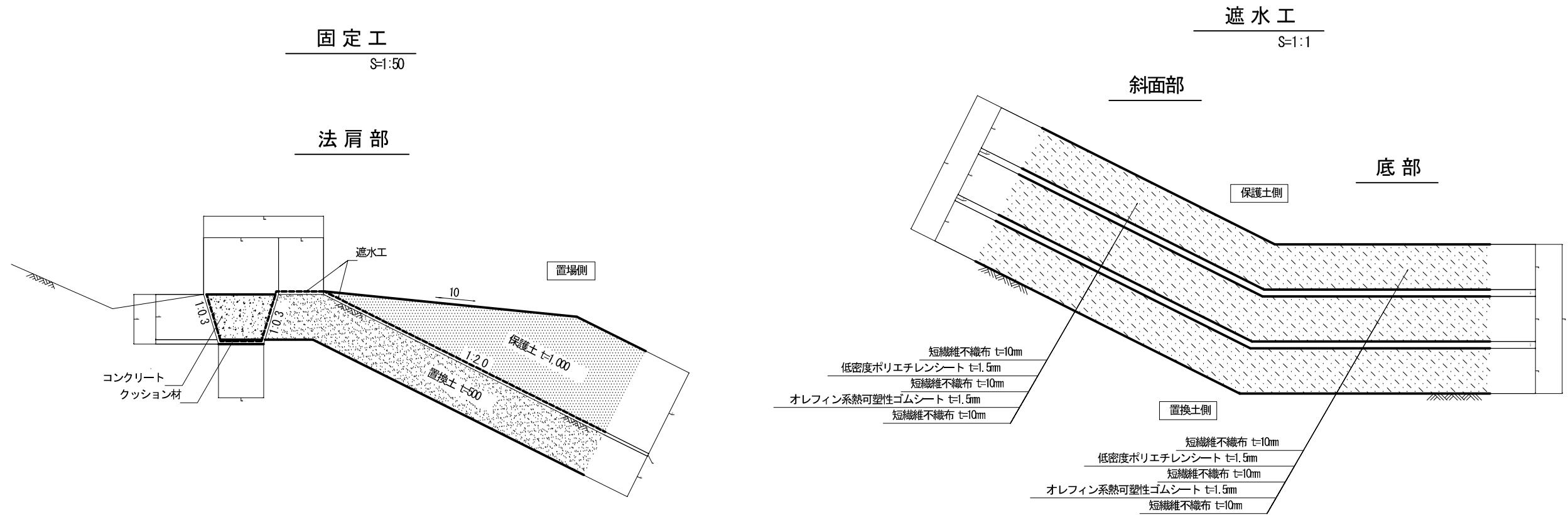


盛	高	5.00	8.00	6.76	4.30	2.31	1.79	1.64	0.00
切	深							0.32	0.00
施	工	82.00	80.00	78.00	76.00	74.00	72.00	70.00	66.30
基	高	82.00	80.00	78.00	76.00	74.00	72.00	70.00	66.30
面	配	82.00	80.00	78.00	76.00	74.00	72.00	70.00	66.30
勾									
地	盤	71.00	72.00	71.24	71.70	71.63	70.21	68.36	66.30
測	点	0.00	20.00	40.00	60.00	80.00	100.00	120.00	140.00
曲	線	BP	BC=10.63	IPNo1(R) IA=109.25-22 R=26.000 TL=36.737 CL=49.655 SL=19.006	EC=60.28	BC=136.57	IPNo2(R) IA=53.13-03 R=22.000 TL=11.021 CL=20.434 SL=2.606	EC=157.00	EP=157.00

No.91

規延深地層研究計画		第 91 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	掘削土(ズリ)置場 管理用道路計画図	縮尺	1/500
1枚の内	その1	作成年月日	
承	認	設計	写図
整理番号	No.	令和3年9月30日 完工	
日本原子力研究開発機構			

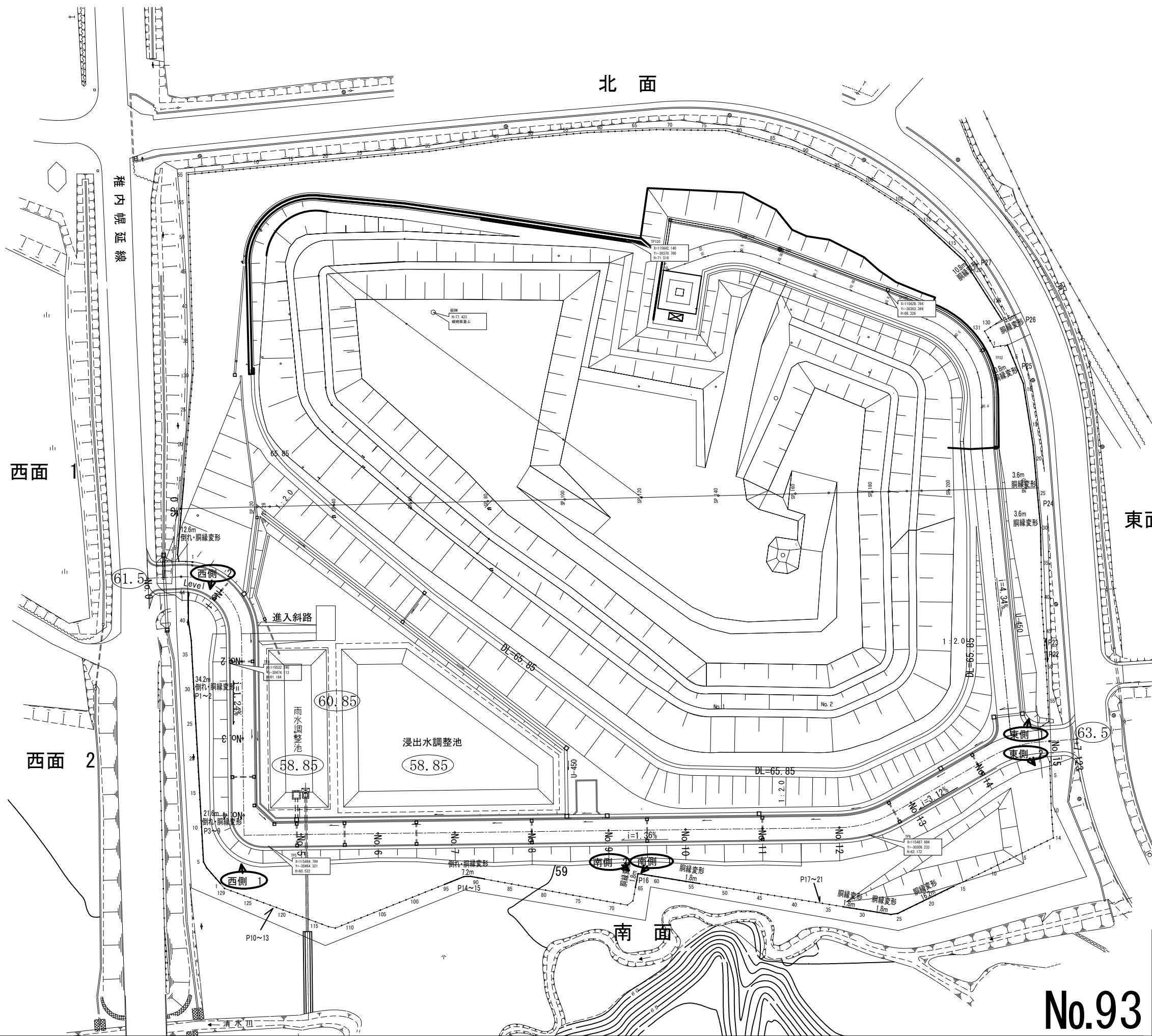
掘削土(ズリ)置場 遮水工構造図



規延深地層研究計画		第 92 号図
地下研究施設整備 (第三期) 等事業		
図面名称	掘削土(ズリ)置場 遮水工構造図	
1 枚の内	その 1	縮尺 1/1. 1/50
承認	設計 写 図	作成年月日
整理番号	No.	令和 3 年 9 月 30 日 完工
日本原子力研究開発機構		

No.92

掘削土(ズリ)置場 フェンス修繕工

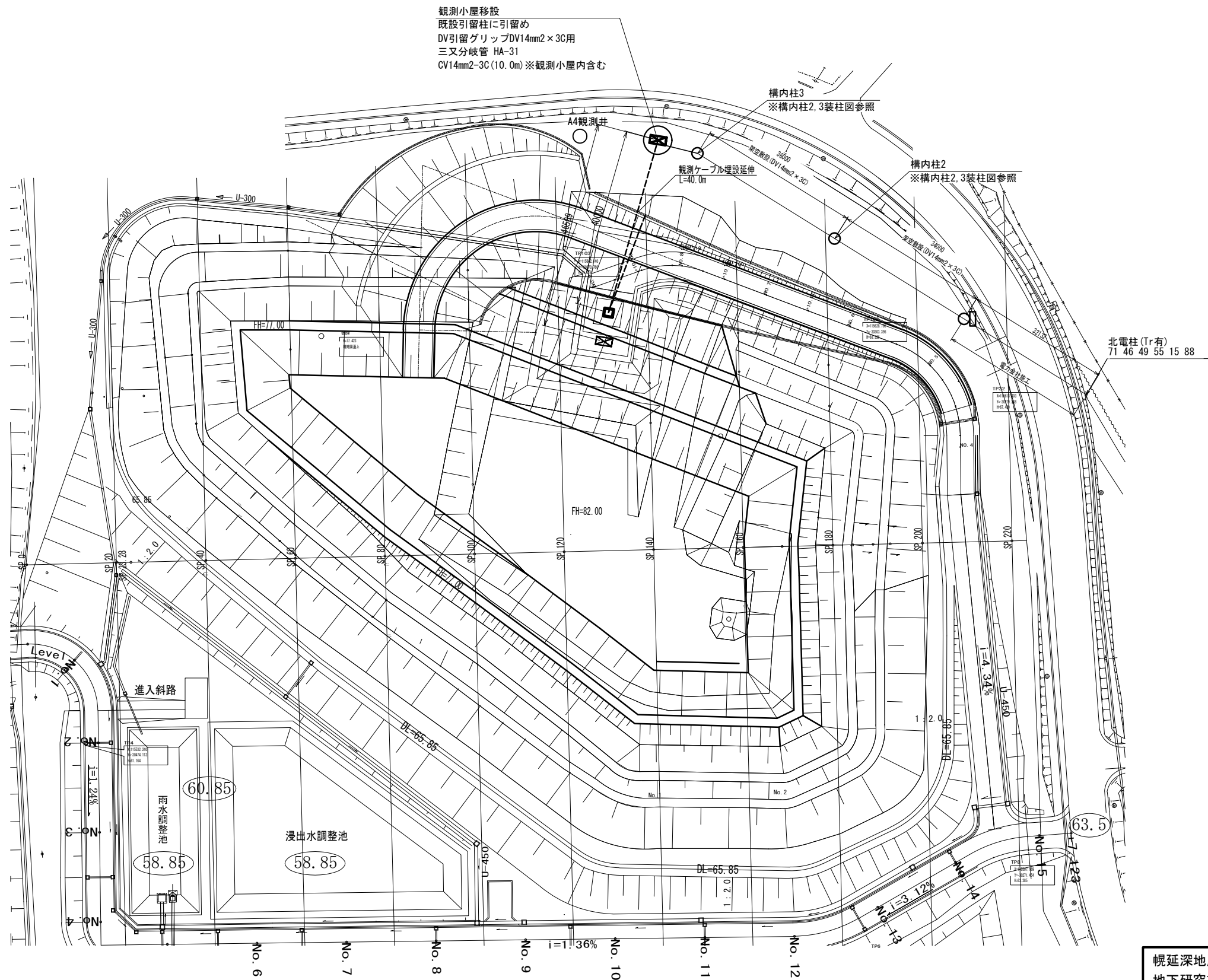


- 凡例
- フェンス修繕工対象範囲
  - フェンス修繕延長: 1.8m × 139スパン=250m
  - 西面 1: 3~15
  - 西面 2: 1~44
  - 南面: 16~33.54~65.89~95
  - 東面: 3~34.109~128

No.93

視延深地層研究計画		第 93 号図	
地下研究施設整備 (第三期) 等事業			
図面名称	掘削土(ズリ)置場	フェンス修繕工	
1枚の内	その1	縮尺	1/500
承	認	設計	写図
			作成年月日
			令和3年9月30日 完工
整理番号	No.		
日本原子力研究開発機構			

掘削土(ズリ)置場 配電柱移設工



幌延深地層研究計画 地下研究施設整備 (第三期) 工事		第 94 号図	
図面名称	掘削土(ズリ)置場 配電柱移設工		
1 枚の内	その 1	縮 尺	1/500
承 認	設 計	写 図	作成年月日
整理番号	No.		令和 3 年 9 月 30 日 完工
日本原子力研究開発機構			

No.94